

# シニア層状況調査業務委託報告書

平成 28 年 2 月



---

## 目 次

---

第1章 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の概要 .....	3
3. 回収結果 .....	3
4. 報告書の見方 .....	3
第2章 調査結果 .....	5
I 調査結果の概要 .....	7
II 元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査（個人） .....	9
1. 自身に関すること .....	9
(1) 性別 .....	9
(2) 年齢 .....	9
(3) 居住区 .....	9
(4) 現在の区での居住年数 .....	10
(5) 現在の世帯の状況 .....	10
(6) 自身の年収 .....	12
(7) 世帯の年収 .....	15
(8) 世帯年収の種類 .....	18
2. 就業について .....	21
(1) 現在の働き方 .....	21
①現在の働き方 .....	21
②現在の仕事の頻度 .....	24
③現在の一日の就労時間 .....	26
④今後希望する働き方 .....	28
(2) 今後の働き方 .....	31
①今後希望する勤務の頻度 .....	31
②今後希望する一日の就労時間 .....	33
③今後目標とする年収 .....	35
④今後希望する仕事内容 .....	38
⑤今後も仕事をしたいと考える理由 .....	41
(3) 働いていないまたは、働く意向はない人 .....	45
①働いていない・働く意向がない .....	45

②家でしなければならないこと .....	48
(4) 仕事を探す際に利用する手段 .....	51
(5) 仕事を選ぶ際に重視する条件 .....	58
3. 地域活動・ボランティアについて .....	65
(1) 過去1年間に参加したもの.....	65
(2) 今後参加したいもの.....	69
(3) 参加するきっかけとなったもの・参加するきっかけになると思うもの.....	73
(4) 地域活動に参加する上で必要だと思うこと .....	76
4. インターネットについて.....	79
(1) インターネットの利用について.....	79
(2) インターネットを利用する機器.....	82
(3) インターネットを利用した就労等への関心.....	85
5. これからの生活について.....	88
(1) 高齢者とは何歳以上だと思うか.....	88
(2) 住み替え等の希望 .....	91
(3) 高齢期に備えて取り組むことが大切だと思うこと .....	95
6. 自由意見.....	98
Ⅲシニア層の活用に関する企業調査.....	101
1. 会社概要について .....	101
(1) 業種.....	101
(2) 従業員人数.....	101
(3) 従業員の定年年齢 .....	102
2. 高齢者の活用について.....	103
(1) 高齢者の雇用について .....	103
①現在の状況と今後の動向.....	103
②提供できる仕事内容.....	106
③雇用形態.....	110
④募集方法.....	115
⑤実施している措置 .....	121
(2) インターネットを活用した仕事の発注の利用状況 .....	125
(3) 高齢者を雇用するにあたって期待すること .....	129
(4) 高齢者を雇用するにあたっての課題.....	133
(5) 高齢者を雇用するために必要な公的援助 .....	137

第3章 参考資料.....	143
I 元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査.....	145
(1) 調査票.....	145
(2) 単純集計結果.....	153
II シニア層の活用に関する企業調査.....	157
(1) 調査票.....	157
(2) 単純集計結果.....	161



---

## 第 1 章 調査の概要

---



## 1. 調査の目的

2025年に高齢者人口が100万人となる見込みのなかで、高齢者が地域や企業でいきいきと活躍できるための効果的な施策を検討するにあたっての基礎資料として活用する。

## 2. 調査の概要

調査期間 平成27年10月1日～10月21日

調査方法 郵送配付、郵送回収

調査機関 株式会社アストジェイ

### (1) 元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査

調査対象 横浜市内に居住する55歳から65歳の男女3,000人

抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

調査の項目 現在の働き方、今後希望する働き方、地域活動・ボランティアについて、インターネットの利用について 等

### (2) シニア層の活用に関する企業調査

調査対象 横浜市内企業1,000社

抽出方法 本市保有企業情報より無作為抽出

調査の項目 高齢者雇用の状況と今後の動向、高齢者雇用に期待することや課題、必要な公的援助について 等

## 3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
市民調査	3,000	1,449	48.3%
企業調査	1,000	397	39.7%

## 4. 報告書の見方

(1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

(2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。

(3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

(4) 本文や図表中の選択肢表記は、一部語句を短縮・簡略化している。



---

## 第 2 章 調査結果

---



## I 調査結果の概要

調査の結果から、横浜市のシニア層は、約 6 割が 20 年以上市内に居住しており、市内の定住意向は約 8 割と高い。また、回答者の約 7 割が 70 歳までは高齢者ではないという意識を持っていることが分かった。

就労に関しては、元気なうちは働きたいと考えている方が約 9 割と高く、中でも男性は正社員でフルタイム勤務、女性はパート・アルバイトで週に 3~4 日働きたいという回答が多く見られた。

仕事内容に関しては、清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業よりも経理やパソコンの入力といった事務を希望する傾向にあり、男性は、法務や企業会計・経営企画など専門的な知識を要する仕事、女性は、介護・家事・子守など、これまでの経験を活かせる仕事を希望している。

地域活動に関しては、趣味や特技を活かしてそうした活動に参画したいという意向があり、時間や期間に拘束されない自宅の近くで活動する場を求めている。この意向は、就労においても共通し、従事する時間や通勤時間を重視する傾向にあるため、全体を通して身近な地域での活動場所を必要としている。

さらに、現役で活躍し続けるためには健康であることが最も大切だと感じており、健康維持や体力づくりに関心が高いことが分かった。

市内企業は、高齢者の高い技術や知識、豊富な経験や人脈を活用できるという考えのもと高齢者を雇用している。

高齢者の雇用を拡大していきたいという意向は、約 7 割と高いが、そのうちの 3 割が課題があり難しいとしている。課題については、能力や体力に個人差が大きいことや高齢者の担当する仕事を確保するのが難しいこと、求める技術を有する高齢者が見つからないことなどが主なものとして挙げられた。

高齢者を雇用するための支援としては、賃金に対する助成のほか、人材の紹介などマッチングの場の提供、雇用に関するノウハウの提供を必要としていることなどが分かった。



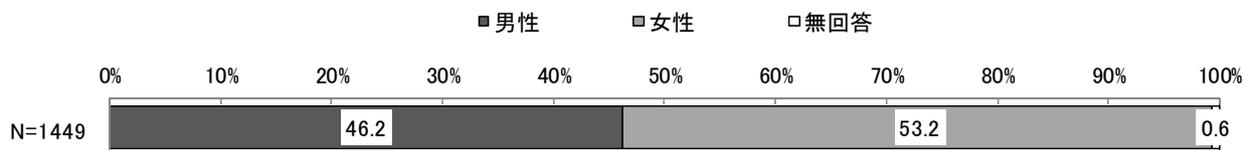
## Ⅱ元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査（個人）

### 1. 自身に関すること

#### （1）性別

問1. あなたの性別をご回答ください。（1つに○）

図表 1-1 性別

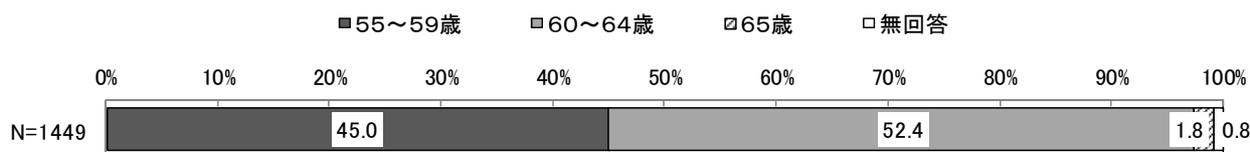


性別は「男性」が46.2%、「女性」が53.2%となっている。

#### （2）年齢

問2. あなたの年齢をご回答ください。（1つに○）

図表 1-2 年齢

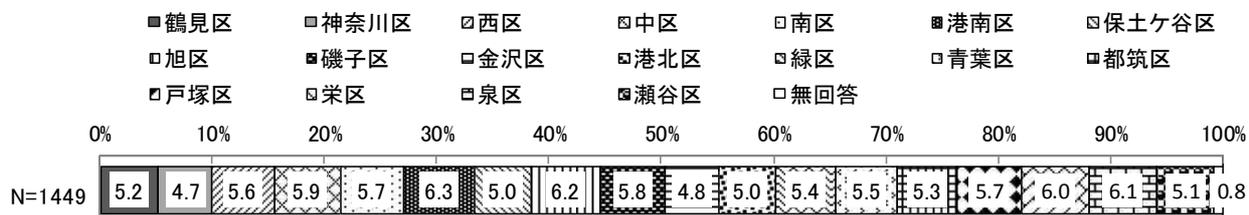


年齢は、「60～64歳」が52.4%と最も多く、次いで、「55～59歳」（45.0%）、「65歳」（1.8%）となっている。

#### （3）居住区

問3. あなたの居住区をご回答ください。（1つに○）

図表 1-3 居住区

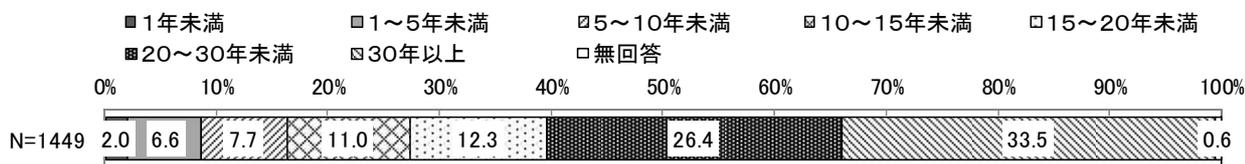


居住区は、全ての区でほぼ5%と、大きな差はみられない。

(4) 現在の区での居住年数

問4. 現在の区での居住年数をご回答ください。(1つに○)

図表 1-4 現在の区での居住年数

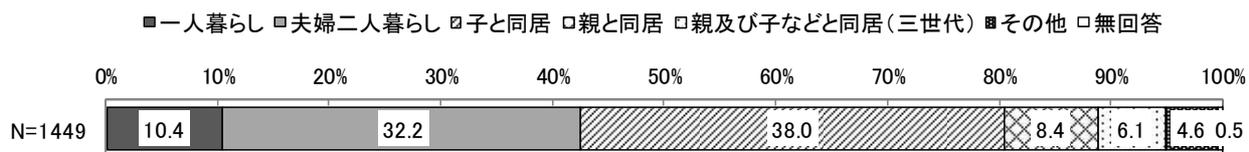


現在の区での居住年数は、「30年以上」が33.5%と最も多く、次いで、「20～30年未満」(26.4%)、「15～20年未満」(12.3%)と続いている。

(5) 現在の世帯の状況

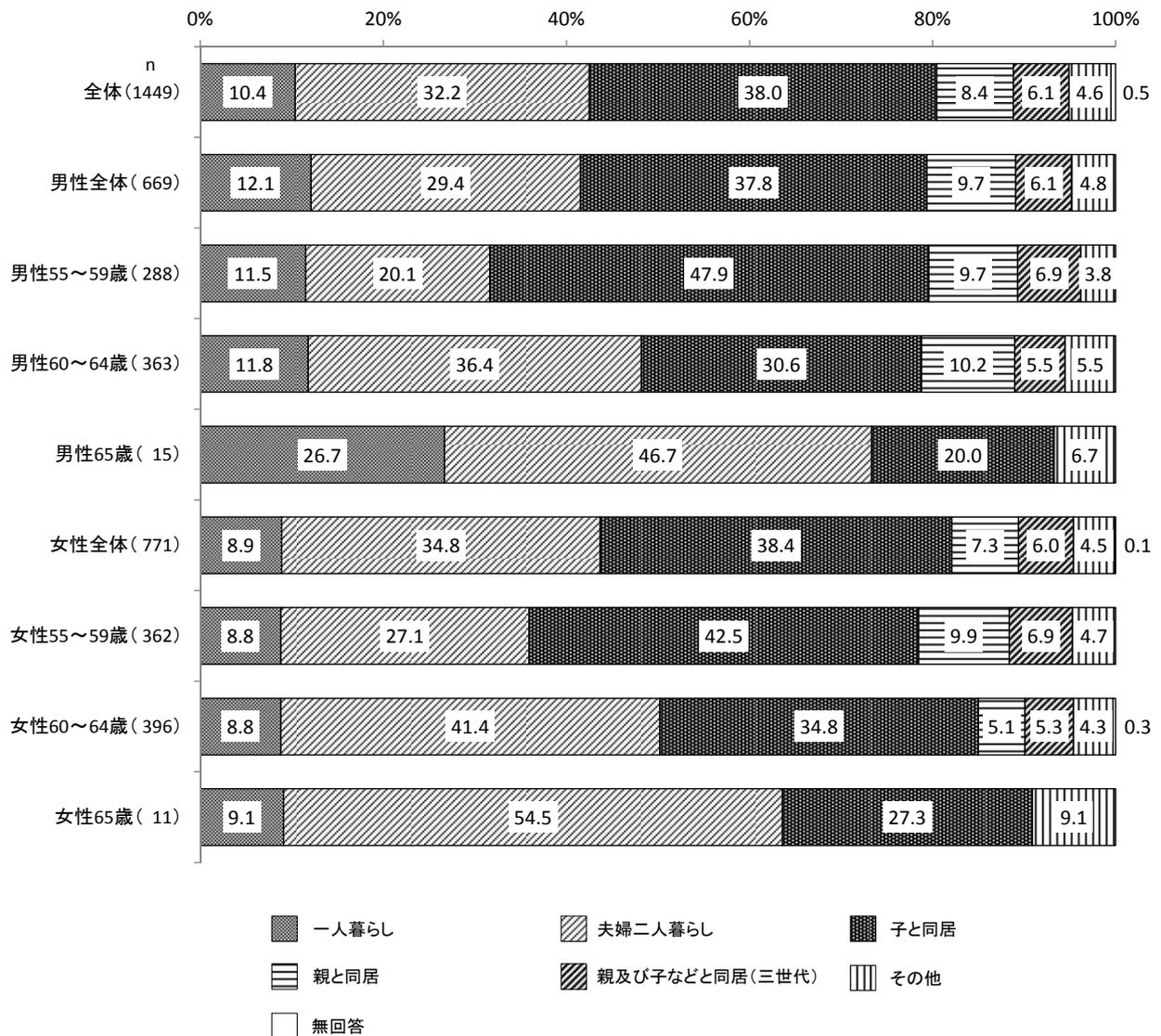
問5. 現在の世帯の状況をご回答ください。(1つに○)

図表 1-5 現在の世帯の状況



現在の世帯の状況は、「子と同居」が38.0%と最も多く、次いで、「夫婦二人暮らし」(32.2%)、「一人暮らし」(10.4%)と続いている。

図表 1-5-1 現在の世帯の状況【性別・年代別】

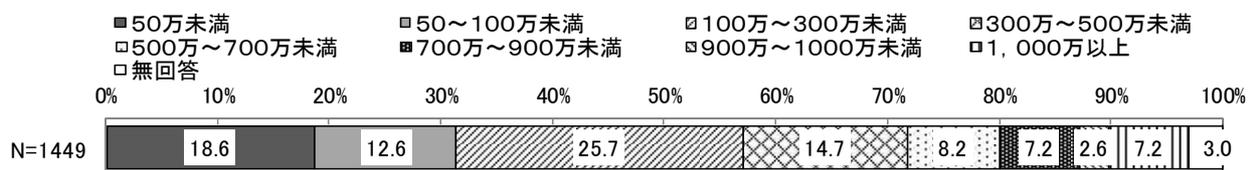


性別・年代別で見ると、「一人暮らし」では『男性 65 歳』が 26.7%と最も多くなっている。「夫婦二人暮らし」は男女ともに 60 代で高い割合を占めている。

(6) 自身の年収

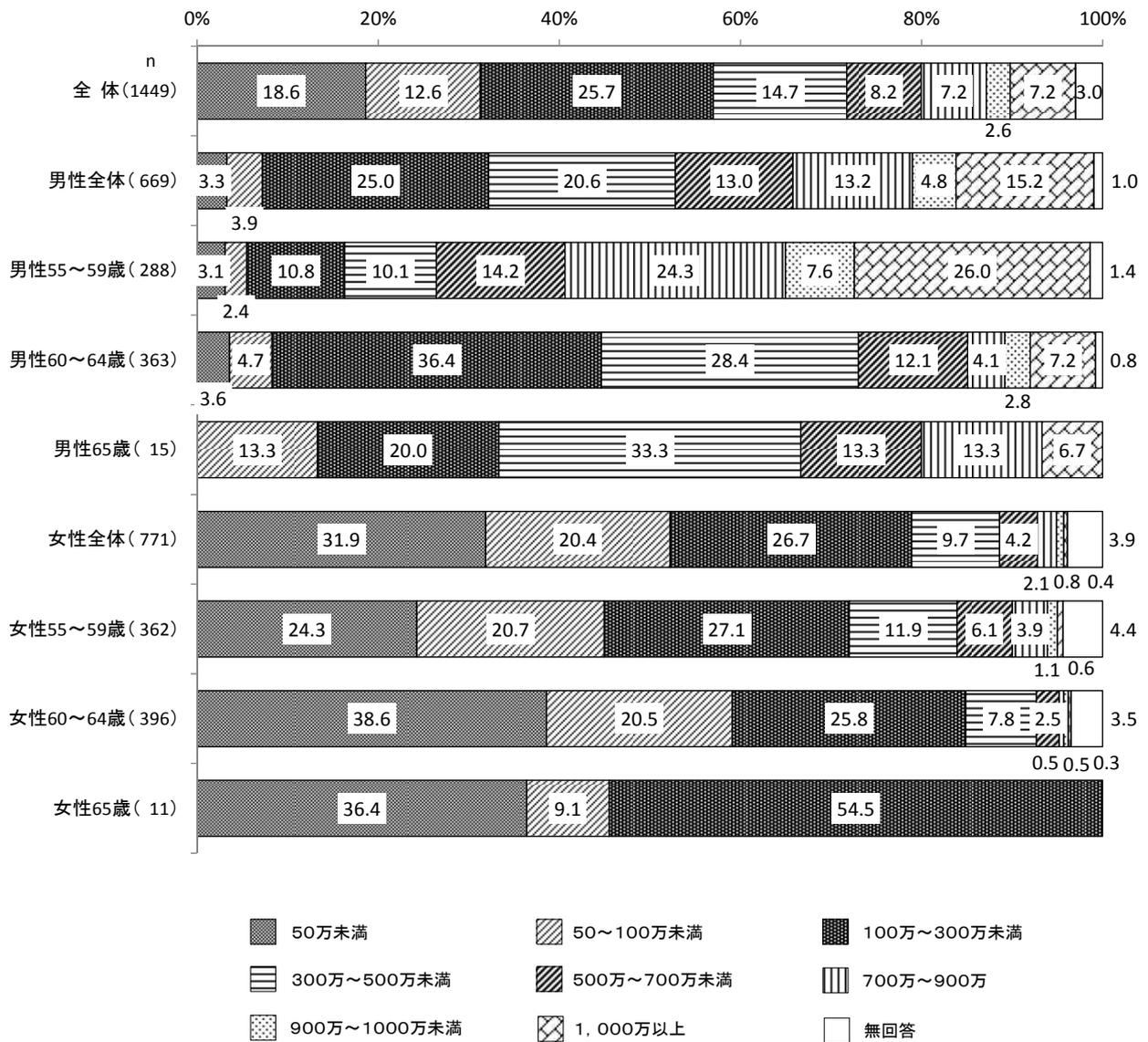
問6. あなたの年収をご回答ください。(1つに○)

図表 1-6 自身の年収



自身の年収は、「100万~300万未満」が25.7%と最も多く、次いで、「50万未満」(18.6%)、「300万~500万未満」(14.7%)と続いている。

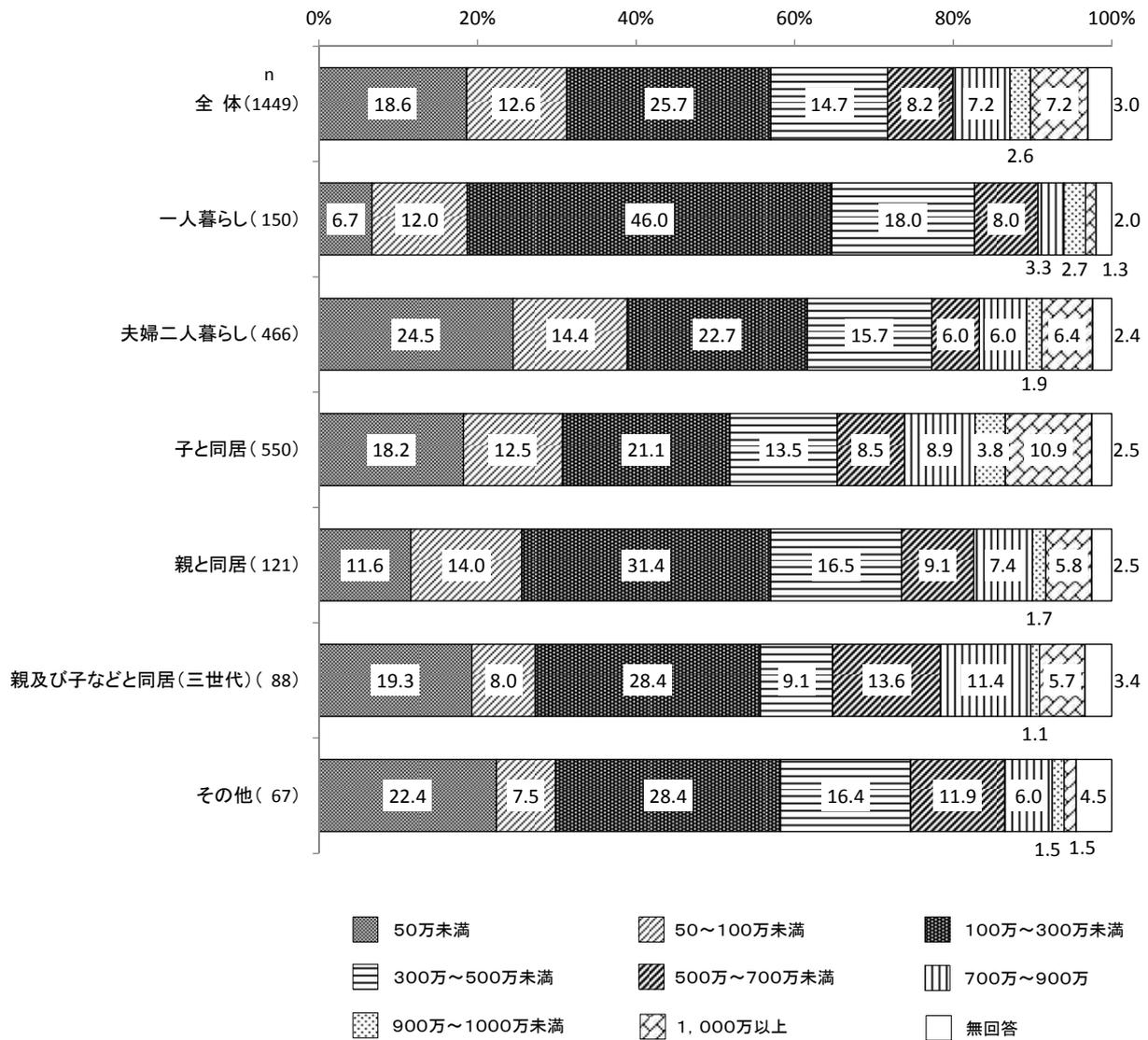
図表 1-6-1 自身の年収【性別・年代別】



性別・年代別でみると、『女性全体』の約80%が自身の年収が300万未満と回答している。一方、『男性全体』の70%近くが自身の年収が300万以上と回答している。

「300万~500万未満」は『男性65歳』で33.3%と最も多く、次いで、『男性60~64歳』(28.4%)と続いている。

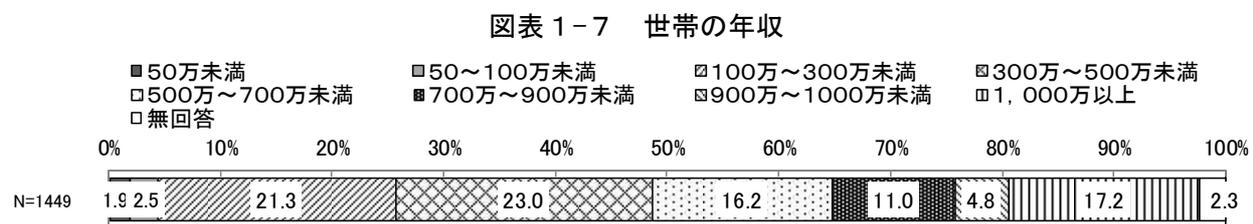
図表 1-6-2 自身の年収【世帯状況別】



世帯状況別で見ると、『夫婦二人暮らし』以外の世帯状況では、「100万~300万未満」が最も多くなっている。

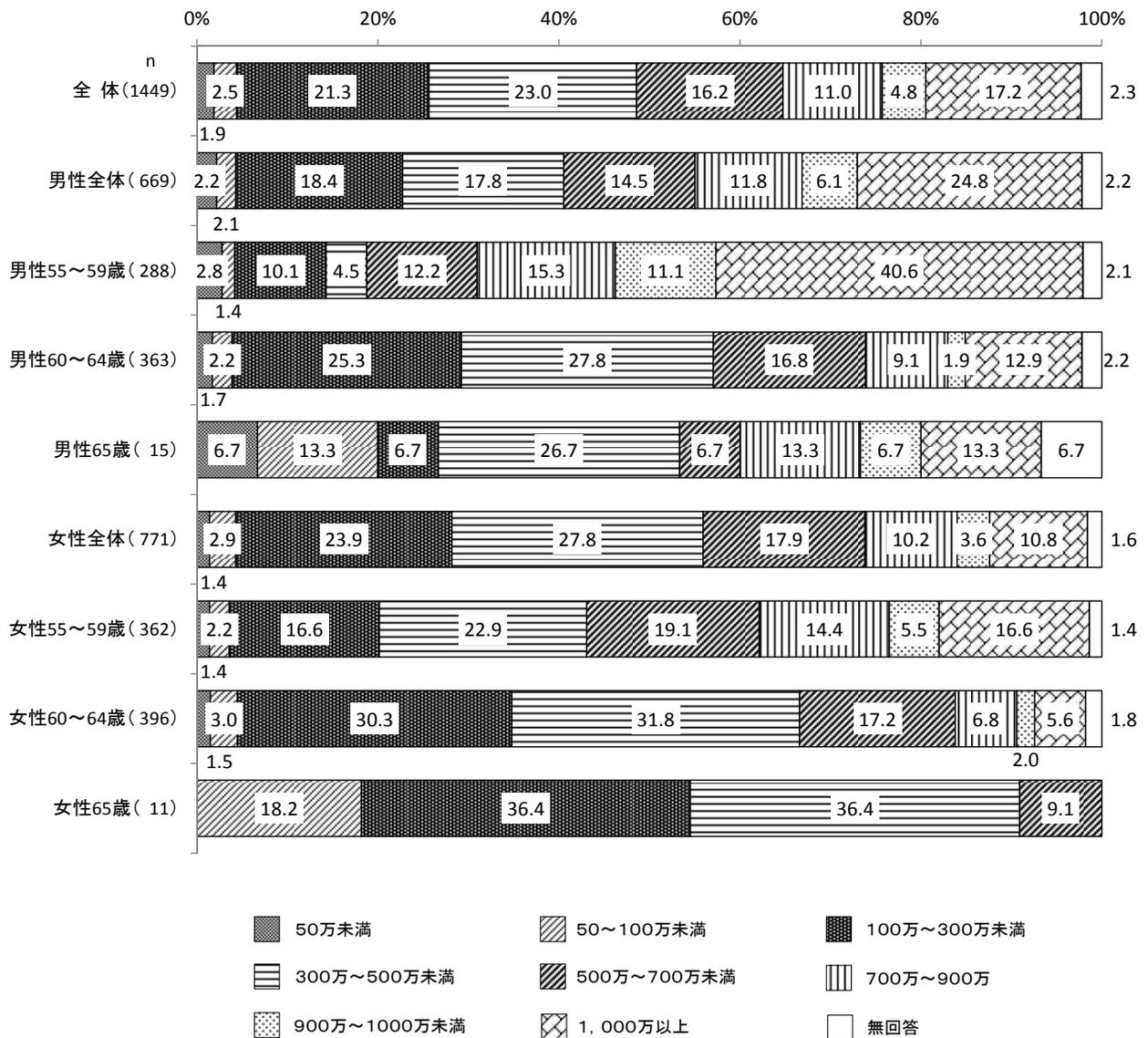
## (7) 世帯の年収

問7. 世帯の年収をご回答ください。(1つに○)



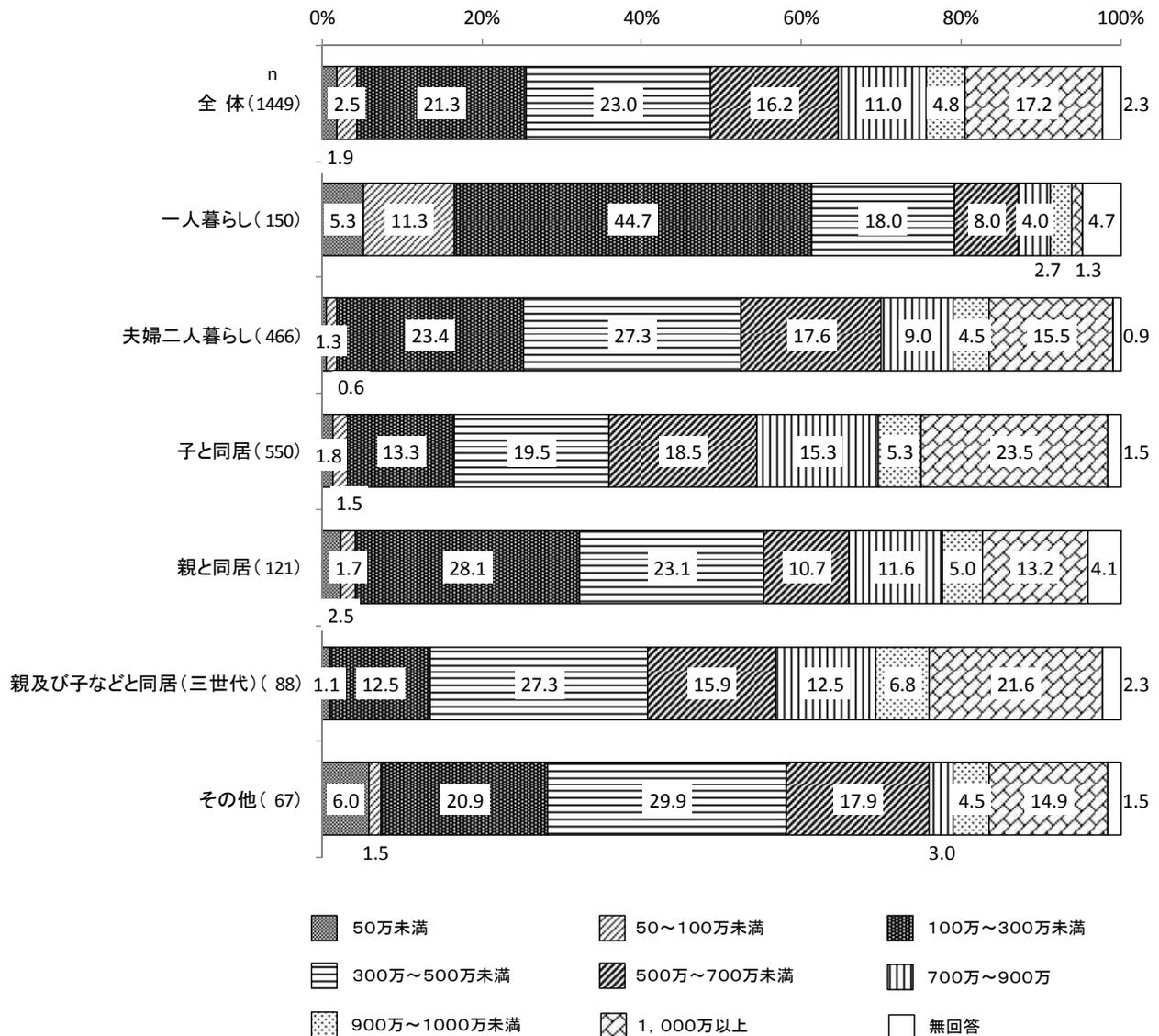
世帯の年収は、「300万～500万未満」が23.0%と最も多く、次いで、「100万～300万未満」(21.3%)、「1,000万以上」(17.2%)と続いている。

図表 1-7-1 世帯の年収【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、『男性 55~59 歳』では「1,000 万以上」が 40.6%と多くなっている。『男性 60~64 歳』『男性 65 歳』『女性 55~59 歳』『女性 60~64 歳』では「300 万~500 万未満」が多くなっている。

図表 1-7-2 世帯の年収【世帯状況別】



世帯状況別で見ると、『一人暮らし』では「100万～300万未満」が44.7%と最も多く、次いで、「300万～500万未満」(18.0%)と続いている。

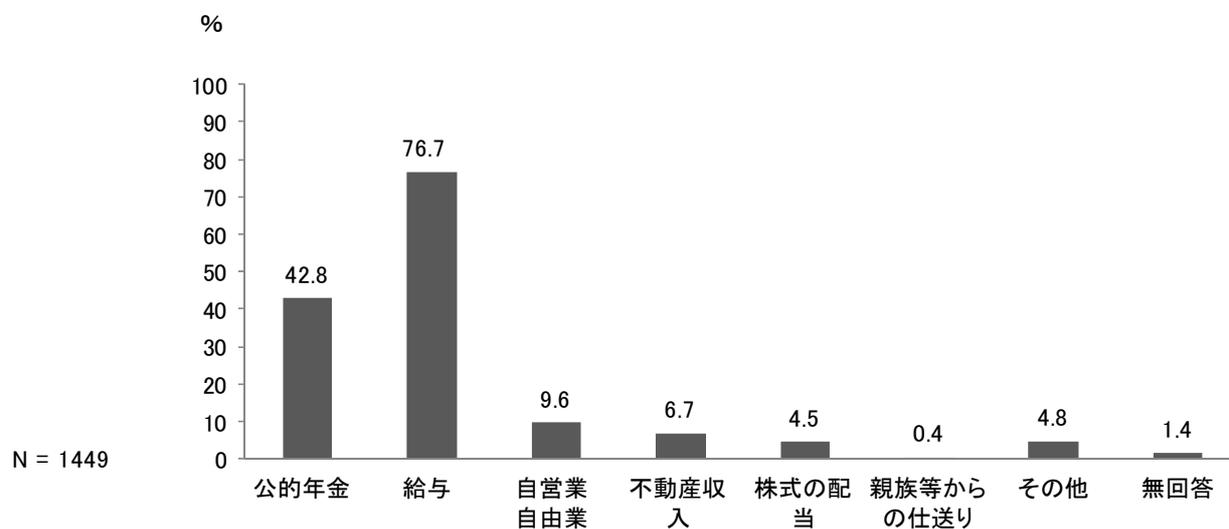
また、『親と同居』でも同様に「100万～300万未満」が28.1%と最も多く、次いで、「300万～500万未満」(23.1%)と続いている。

### (8) 世帯年収の種類

問8. 問7でお答えいただいた世帯収入の種類をご回答ください。

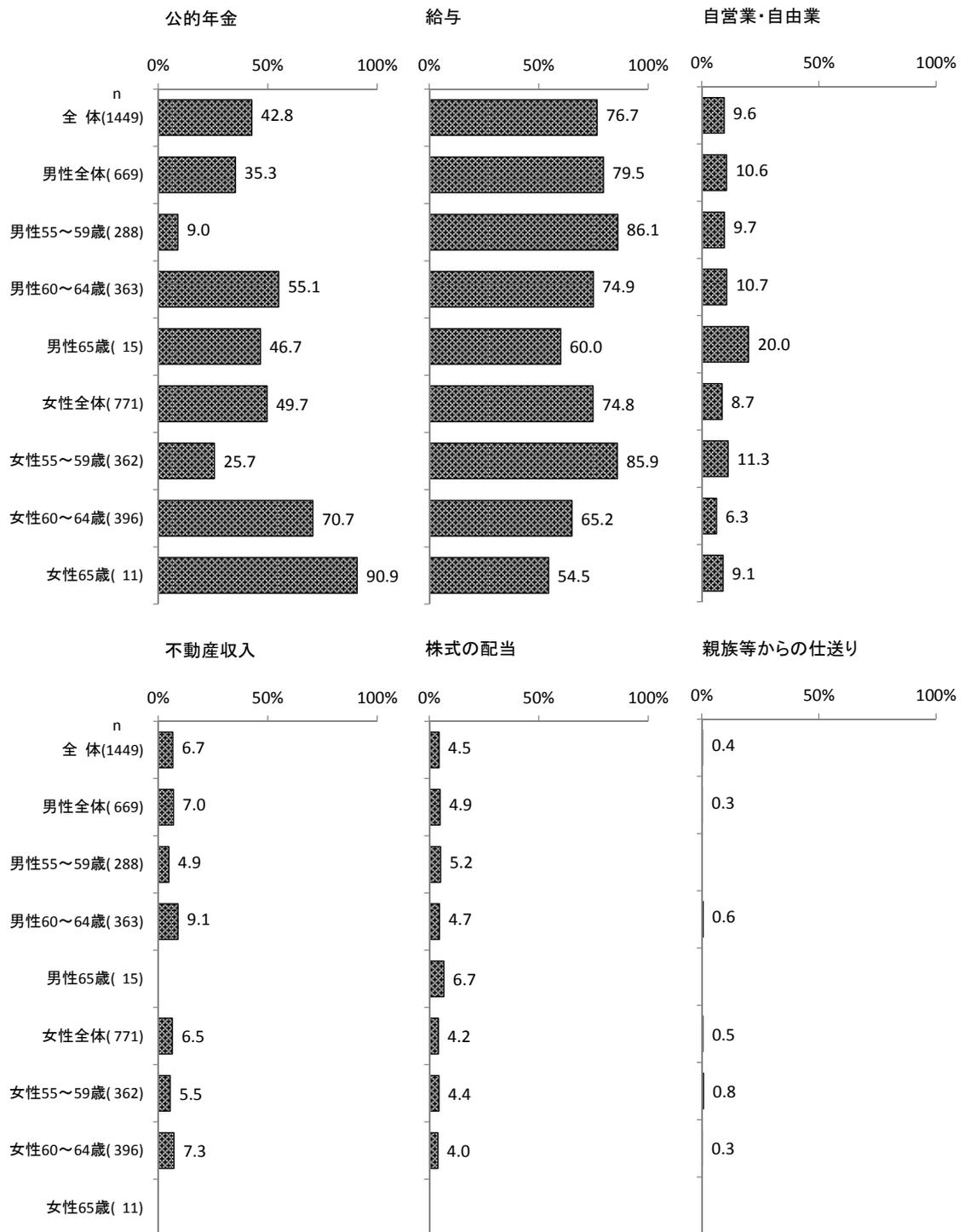
(あてはまるもの全てに○)

図表 1-8 世帯年収の種類



世帯年収の種類は、「給与」が 76.7%と最も多く、次いで、「公的年金」(42.8%)、「自営業・自由業」(9.6%)と続いている。

図表 1-8-1 世帯年収の種類【性別・年代別】

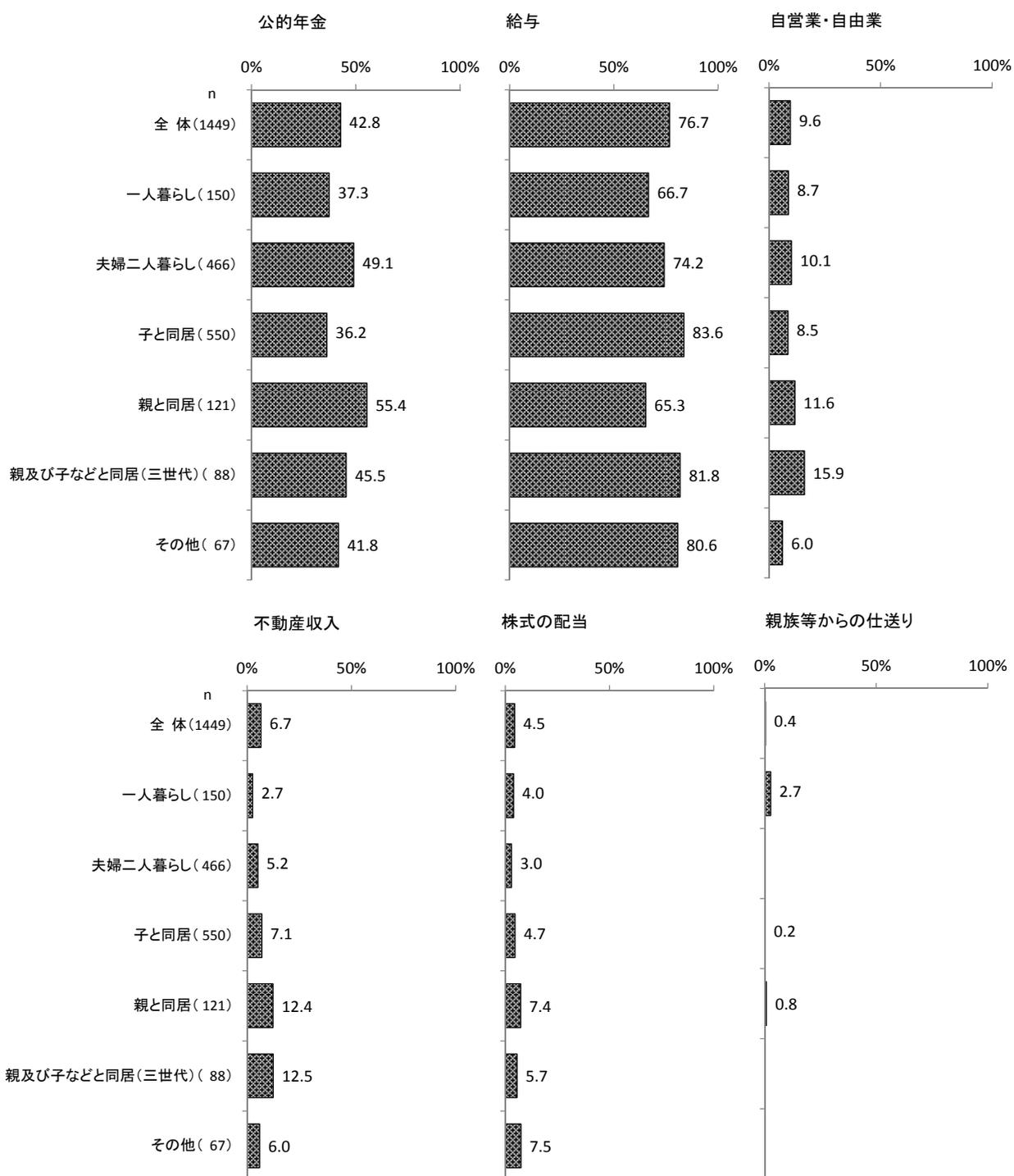


性別・年代別でみると、「公的年金」は『女性 65 歳』が 90.9%と最も多く、次いで、『女性 60～64 歳』(70.7%)、『男性 60～64 歳』(55.1%)と続いている。

「給与」は『男性 55～59 歳』が 86.1%と最も多く、次いで、『女性 55～59 歳』(85.9%)、『男性 60～64 歳』(74.9%)と続いている。

また、「親族等からの仕送り」と回答した人はほとんどいなかった。

図表 1-8-2 世帯年収の種類【世帯状況別】



世帯状況別でみると、「公的年金」は『親と同居』が 55.4%と最も多く、次いで、『夫婦二人暮らし』(49.1%)、『親及び子など同居 (三世帯)』(45.5%)と続いている。

「給与」は『子と同居』が 83.6%と最も多く、次いで、『親及び子など同居 (三世帯)』(81.8%)、『夫婦二人暮らし』(74.2%)と続いている。

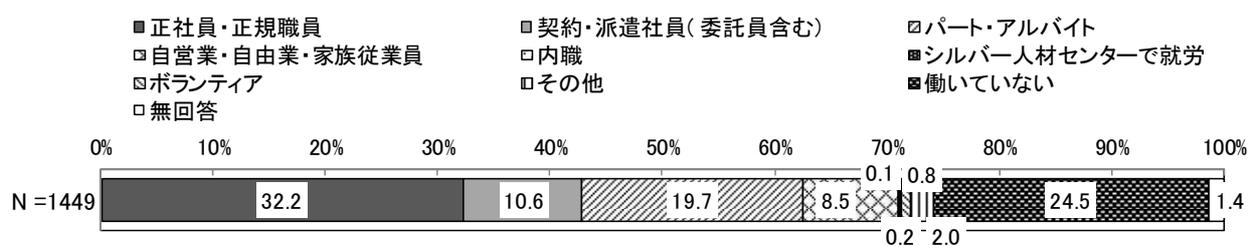
## 2. 就業について

### (1) 現在の働き方

#### ①現在の働き方

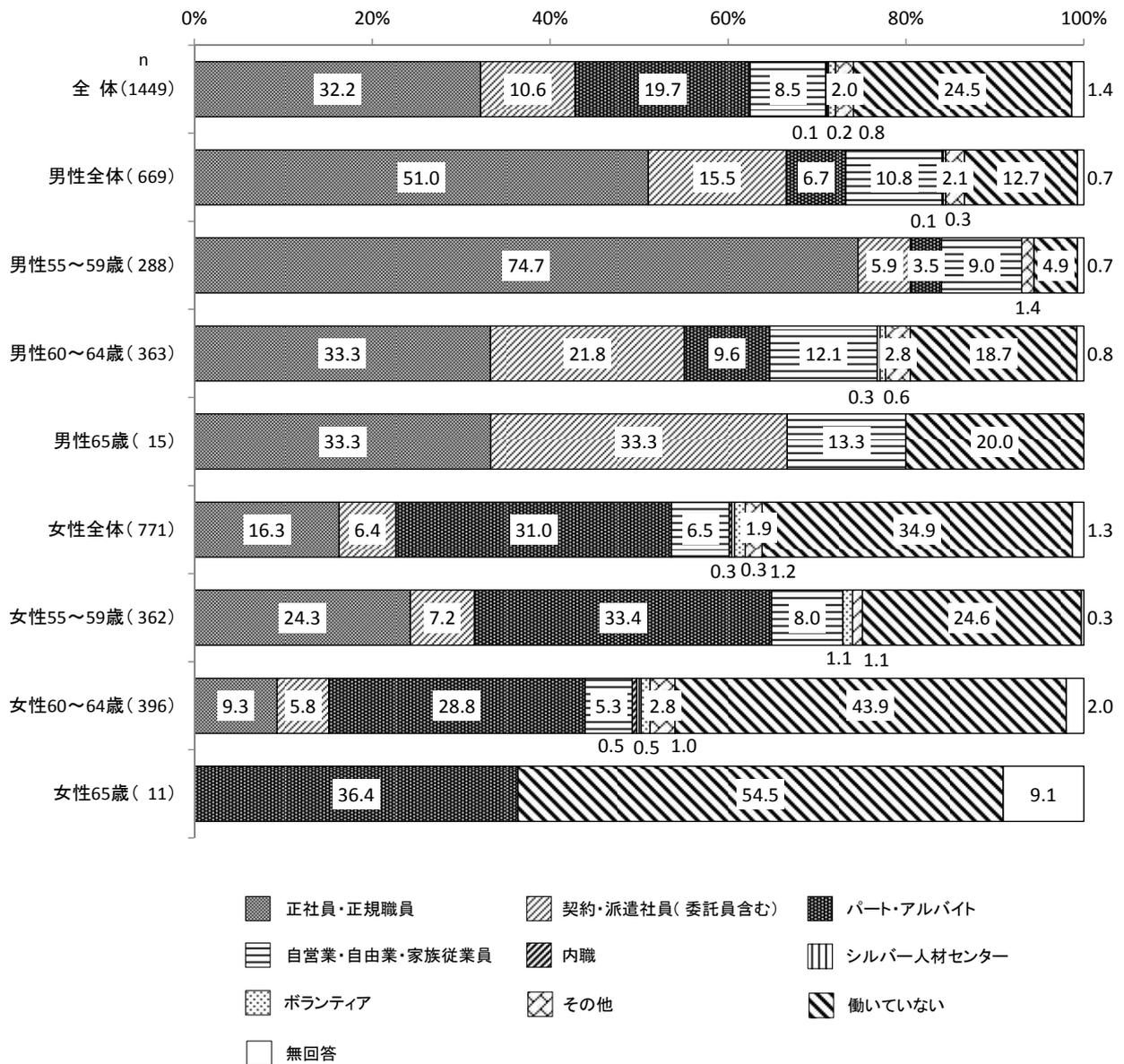
問9. 現在の働き方についてご回答ください。(1つに○)

図表 2-1 現在の働き方



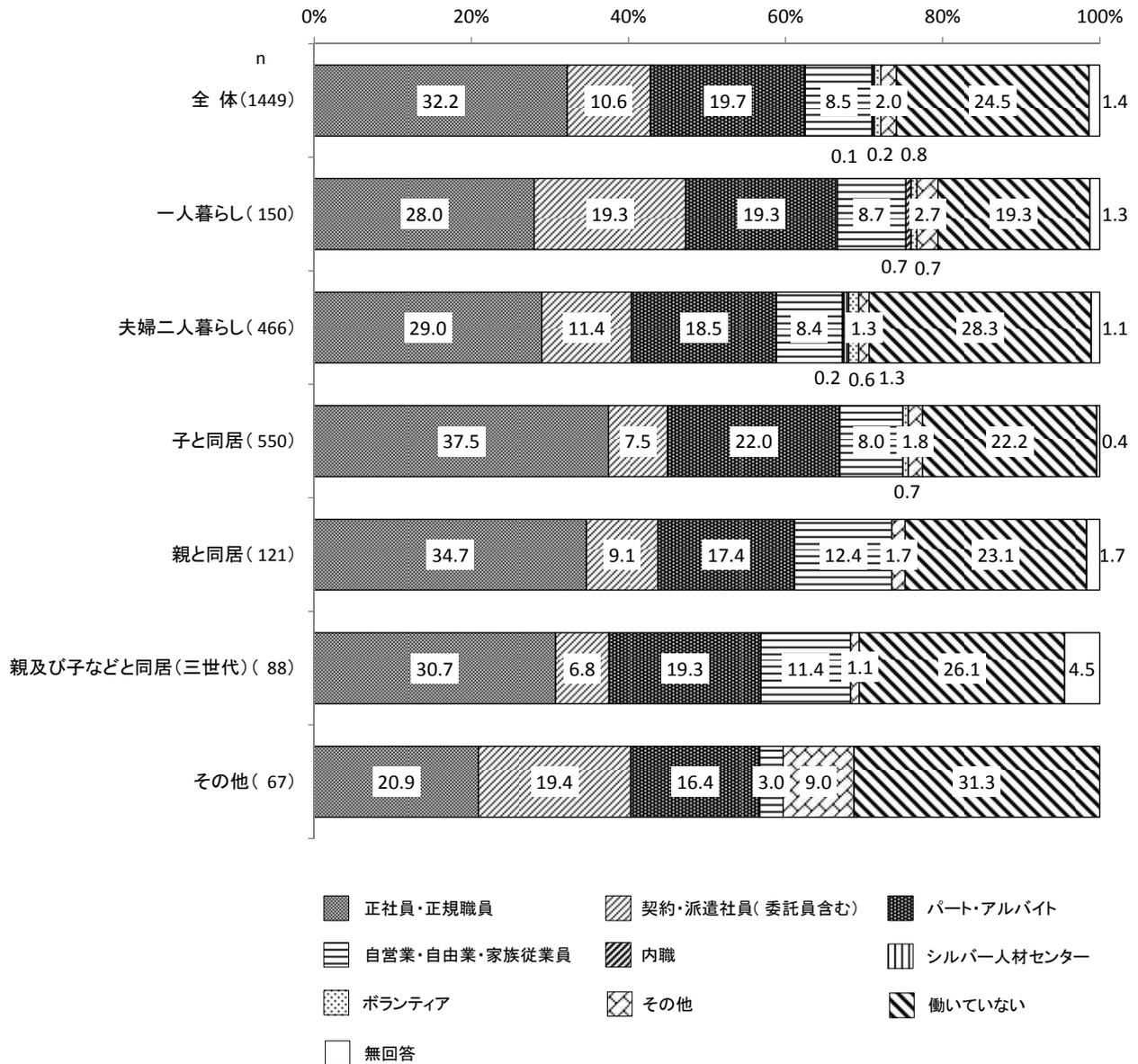
現在の働き方は、「正社員・正規職員」が32.2%と最も多く、次いで、「働いていない」(24.5%)、「パート・アルバイト」(19.7%)と続いている。

図表 2-1-1 現在の働き方【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、「正社員・正規職員」は『男性 55～59 歳』が 74.7%と最も多く、次いで、『男性 60～64 歳』『男性 65 歳』が 33.3%と続いている。60 歳以上の女性は「働いていない」と回答した人が 40%以上いた。

図表 2-1-2 現在の働き方【世帯状況別】



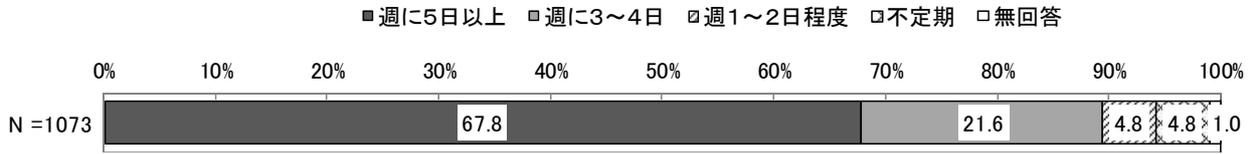
世帯状況別で見ると、「正社員・正規職員」は『子と同居』が37.5%と最も多く、次いで、『親と同居』(34.7%)、『親及び子など同居(三世代)』(30.7%)と続いている。

また、「働いていない」は『夫婦二人暮らし』が28.3%と最も多く、次いで、『親及び子など同居(三世代)』(26.1%)、『親と同居』(23.1%)と続いている。

②現在の仕事の頻度

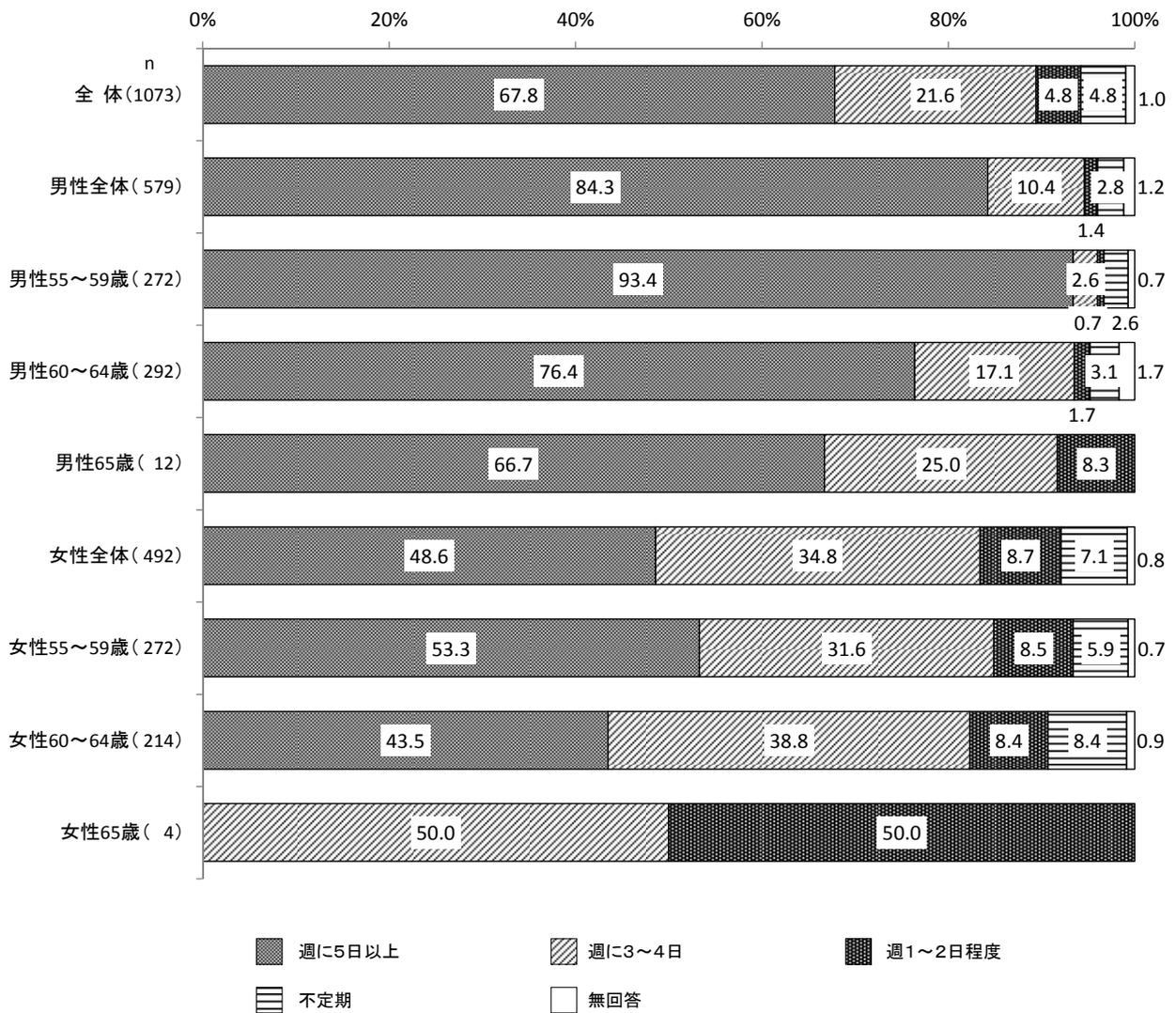
問10-1. 現在の仕事の頻度をご回答ください。(1つに○)

図表2-2 現在の仕事の頻度



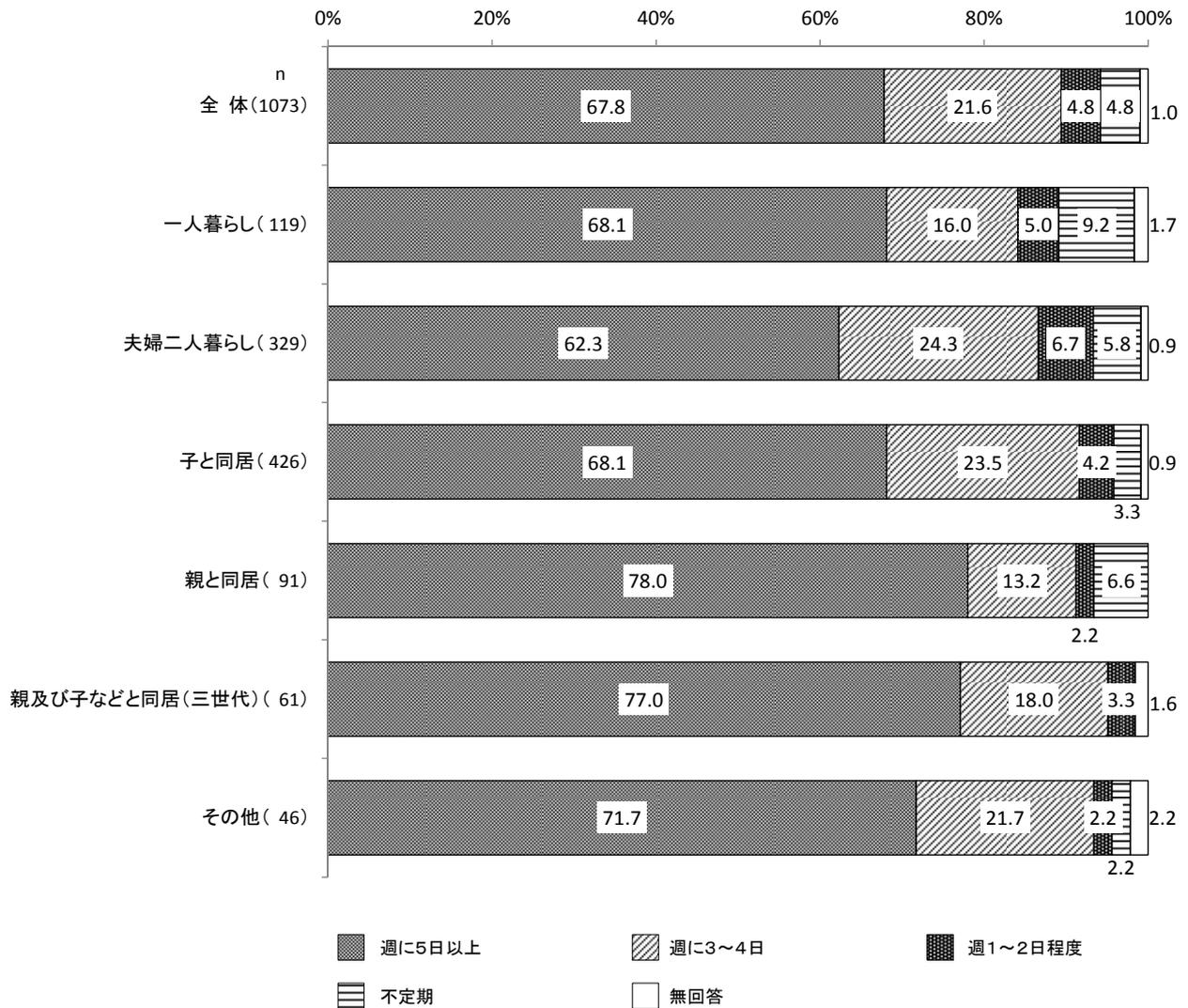
現在の仕事の頻度は、「週に5日以上」が67.8%と最も多く。次いで、「週に3~4日」(21.6%)、「週1~2日程度」「不定期」(4.8%)と続いている。

図表2-2-1 現在の仕事の頻度【性別・年代別】



性別・年代別でみると、『女性65歳』以外では「週に5日以上」が最も多く、中でも『男性55~59歳』は93.4%と最も多くなっている。

図表 2-2-2 現在の仕事の頻度【世帯状況別】

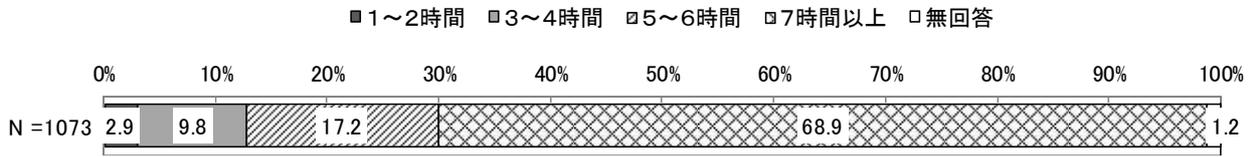


世帯状況別で見ると、全ての世帯状況で「週に5日以上」が最も多くなっていて、『親と同居』が78.0%と最も多く、次いで、『親及び子など同居 (三世帯)』(77.0%)、『一人暮らし』『子と同居』が68.1%と続いている。

③現在の一日の就労時間

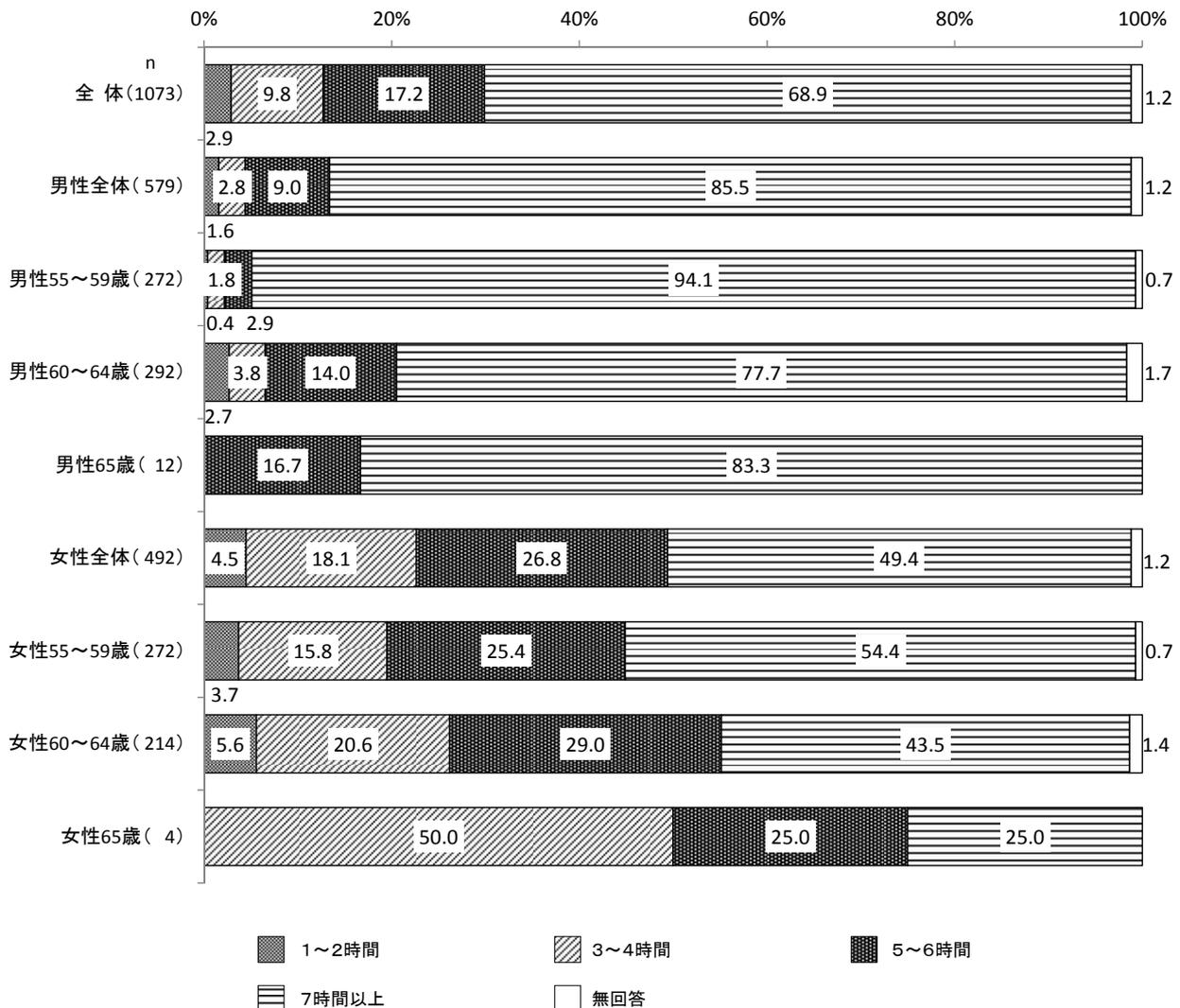
問10-2. 現在の一日の就労時間をご回答ください。(1つに○)

図表2-3 現在の一日の就労時間



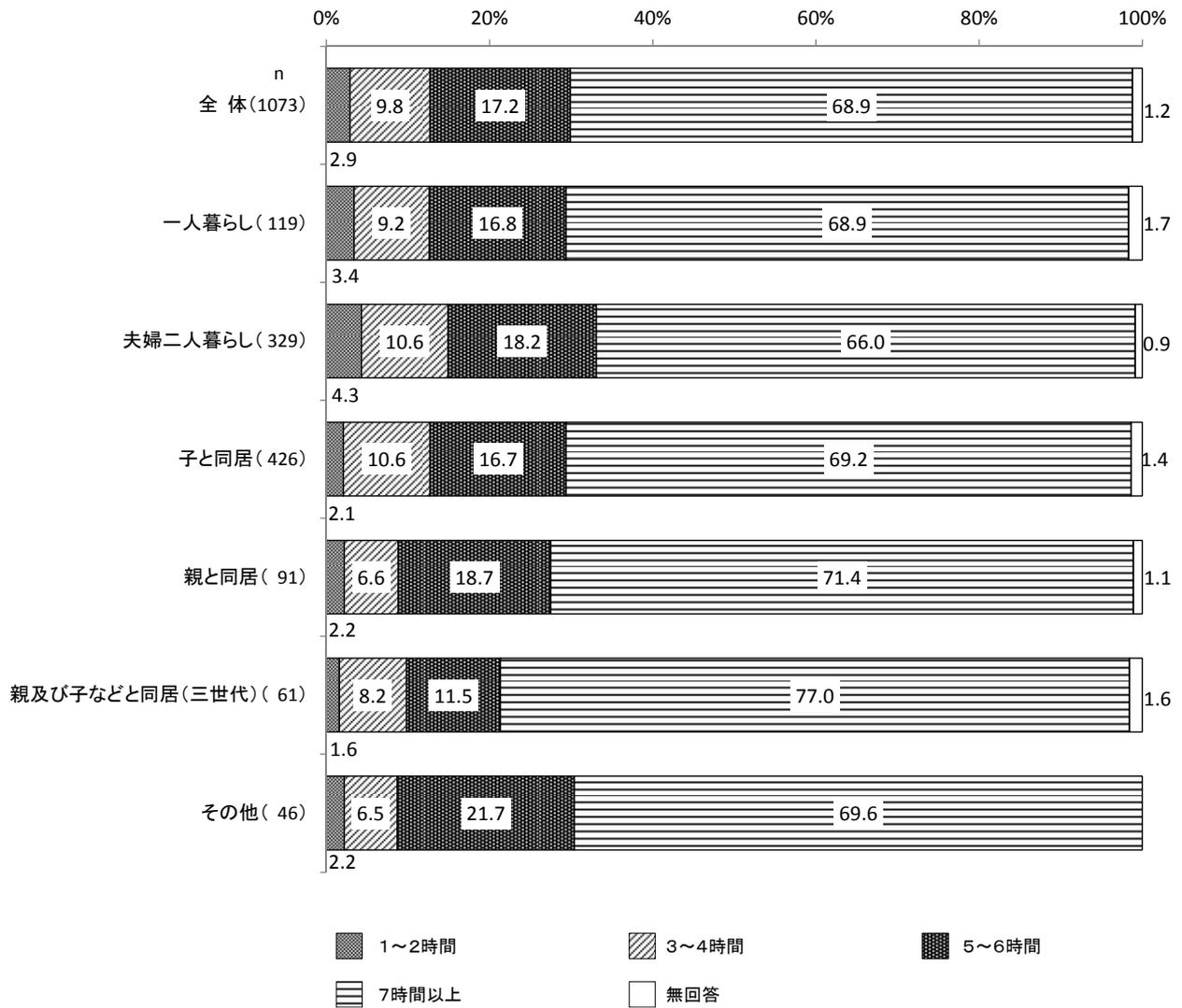
現在の一日の就労時間は、「7時間以上」が68.9%と最も多く、次いで、「5~6時間」(17.2%)、「3~4時間」(9.8%)と続いている。

図表2-3-1 現在の一日の就労時間【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、男性はどの年齢でも「7時間以上」と回答した人が70%を超えている。女性では「7時間以上」は『女性55~59歳』が54.4%と最も多く、次いで、『女性60~64歳』が43.5%となっている。

図表 2-3-2 現在の一日の就労時間【世帯状況別】

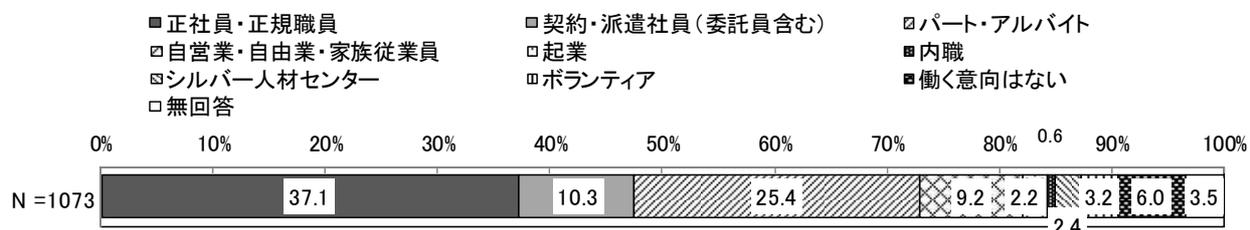


世帯状況別で見ると、全ての世帯状況で「7時間以上」が最も多くなっていて、『親及び子などと同居(三世代)』では77.0%、次いで、『親と同居』(71.4%)、『子と同居』(69.2%)となっている。

#### ④今後希望する働き方

問10-3. 今後希望する働き方があればご回答ください。(1つに○)

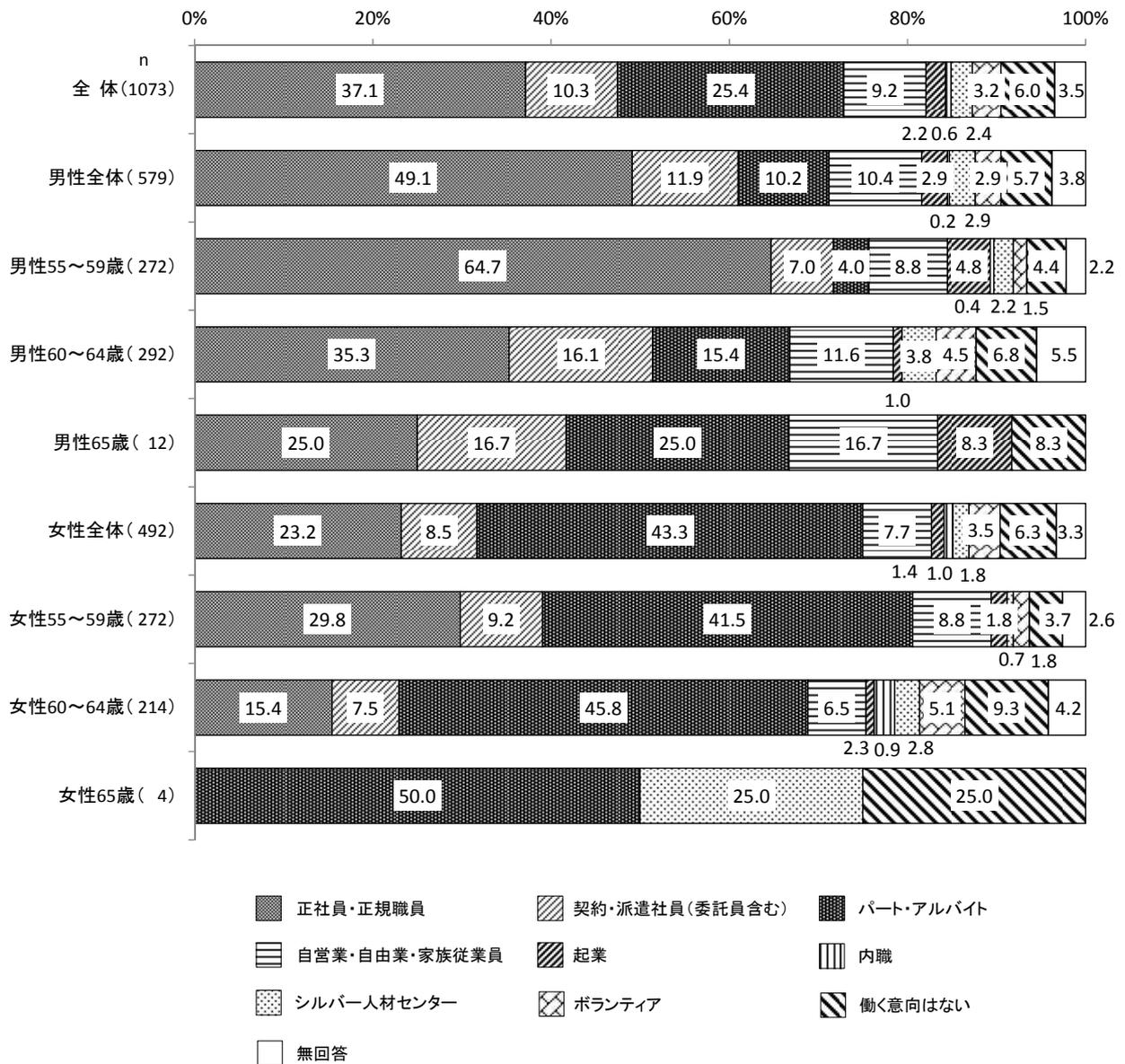
図表2-4 今後希望する働き方



今後希望する働き方は、「正社員・正規職員」が37.1%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト」(25.4%)、「契約・派遣社員(委託員含む)」(10.3%)と続いている。

「シニア層の活用に関する企業調査」の企業が高齢者を雇用する場合の形態(P.110)と比較すると、「正社員・正規職員」は23.7%と低く、「契約・派遣社員」は58.3%と高くなっており、高齢者の希望とは乖離がある。

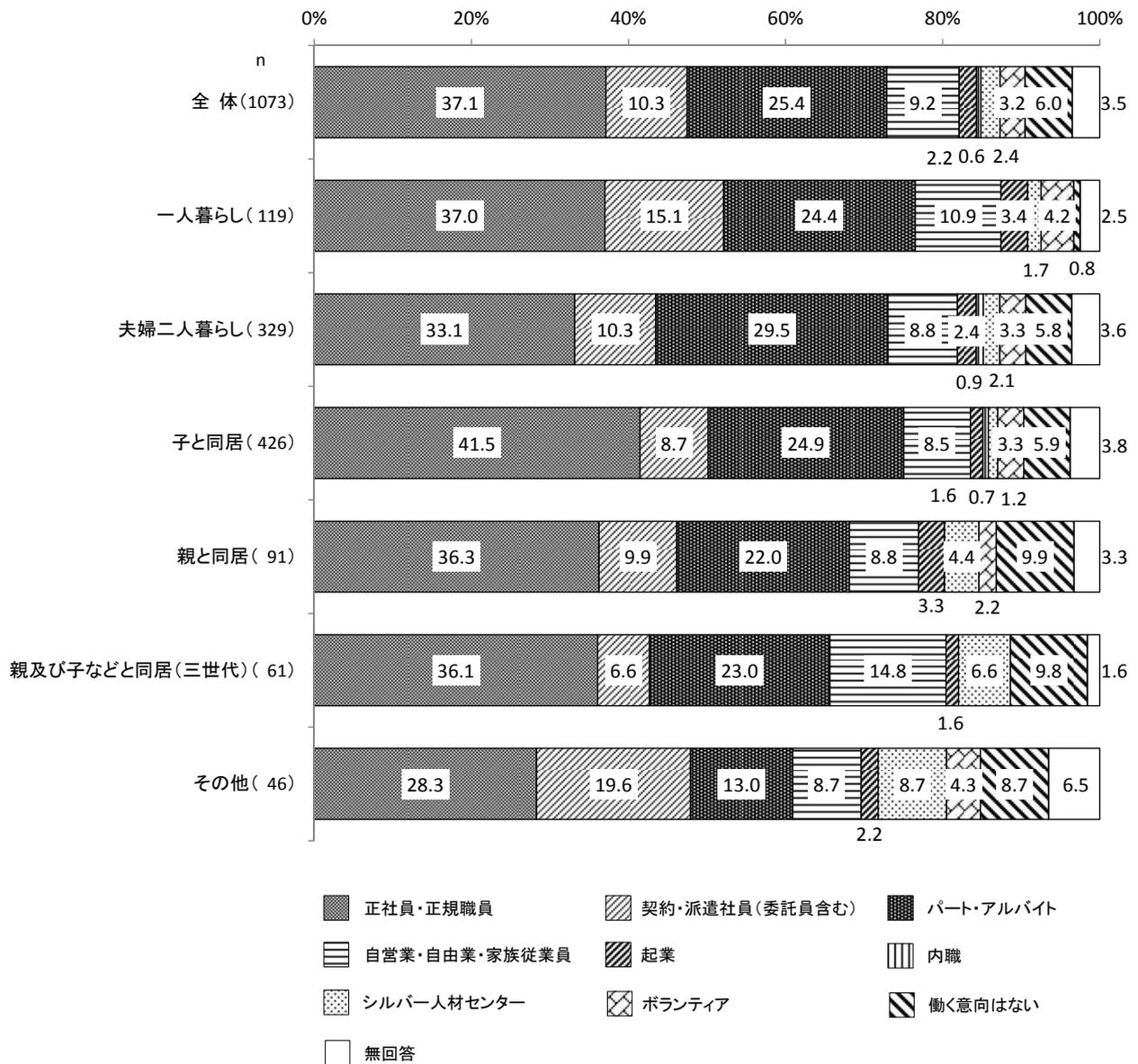
図表 2-4-1 今後希望する働き方【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、男性は約50%が「正社員・正規職員」、女性は「パート・アルバイト」が最も多くなっている。

『女性65歳』は「働く意向はない」が25.0%と他と比べて高くなっている。

図表 2-4-2 今後希望する働き方【世帯状況別】



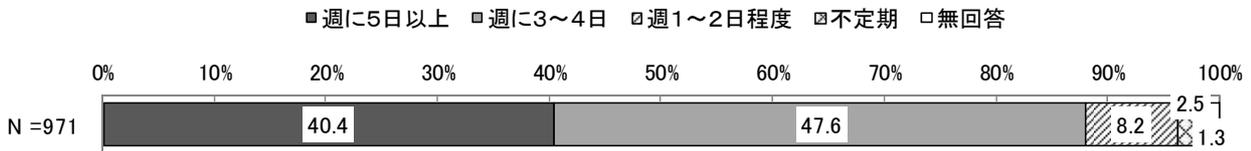
世帯状況別で見ると、全ての世帯状況で「正社員・正規職員」が最も多くなっている。次いで多くなっているのは、「パート・アルバイト」で、「働く意向はない」は最も多い『親と同居』でも9.9%となっている。

(2) 今後の働き方

① 今後希望する勤務の頻度

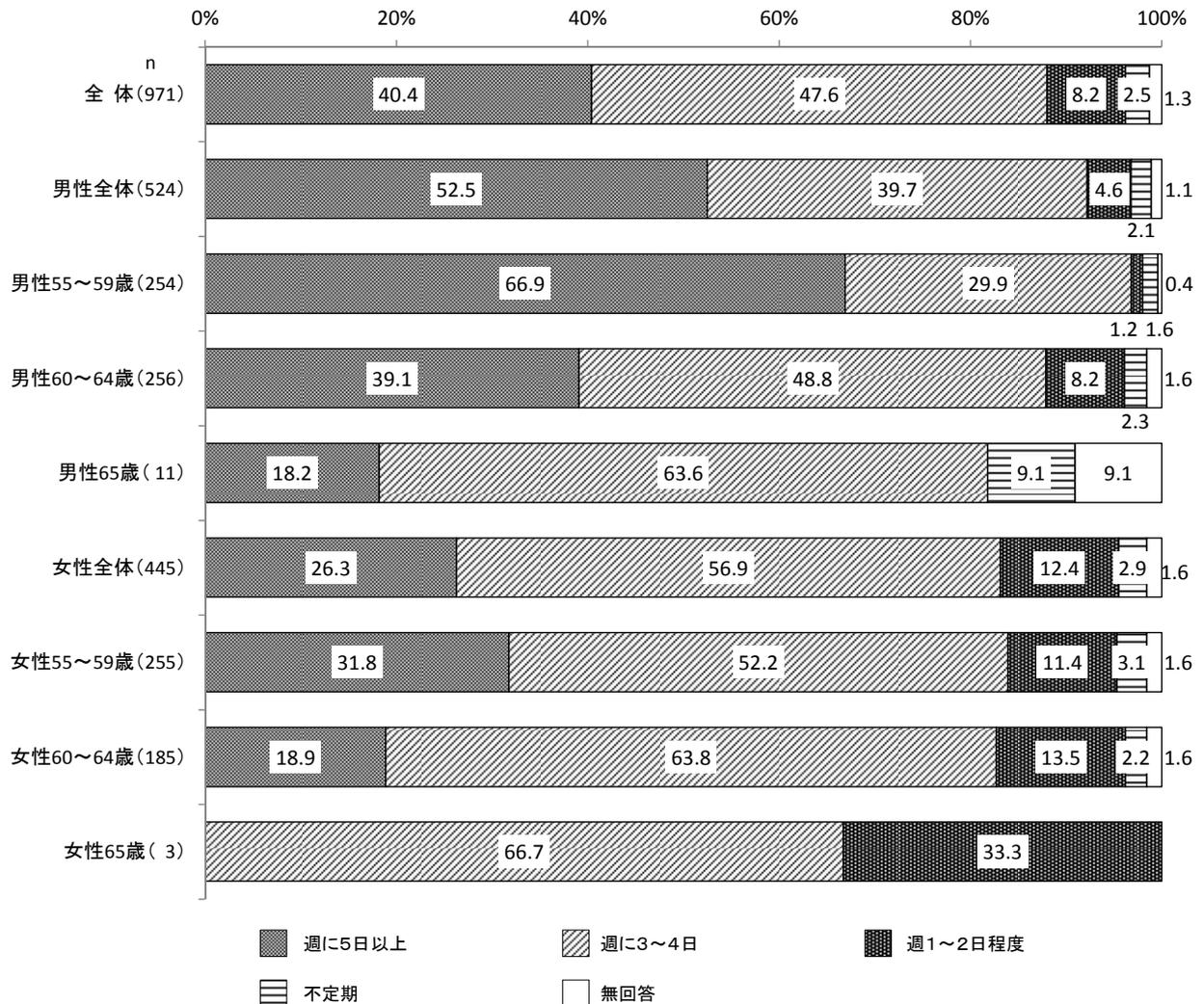
問 1 1 - 1. 今後希望する勤務の頻度についてご回答ください。(1つに○)

図表 2-5 今後希望する勤務の頻度



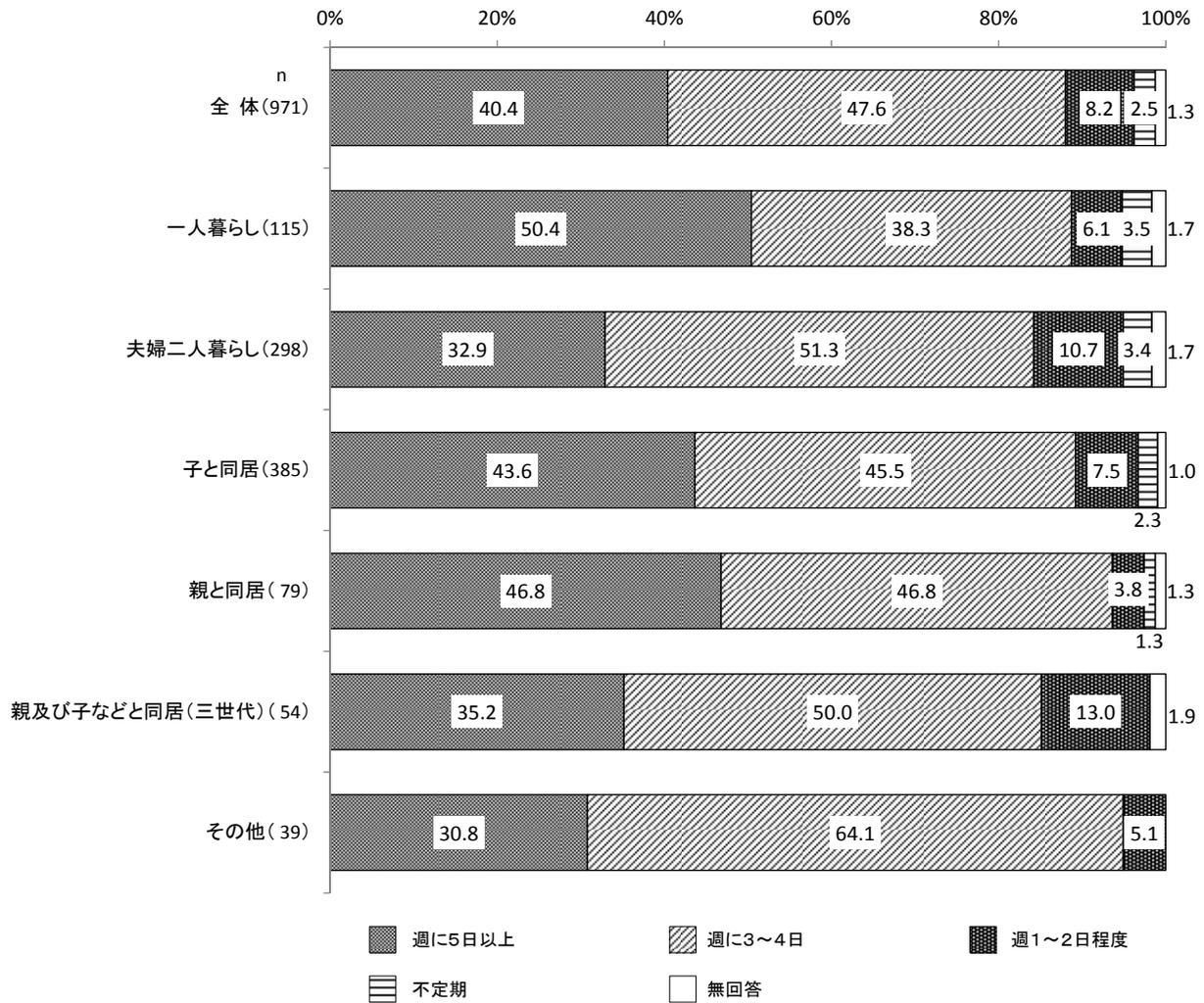
今後希望する勤務の頻度は、「週に3~4日」が47.6%と最も多く、次いで、「週に5日以上」(40.4%)、「週1~2日程度」(8.2%)と続いている。

図表 2-5-1 今後希望する勤務の頻度【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、「週に5日以上」は『男性55~59歳』が66.9%と最も多く、次いで、『男性60~64歳』(39.1%)、『女性55~59歳』(31.8%)となっている。男女ともに65歳では「週に3~4日」が最も多くなっている。

図表 2-5-2 今後希望する勤務の頻度【世帯状況別】

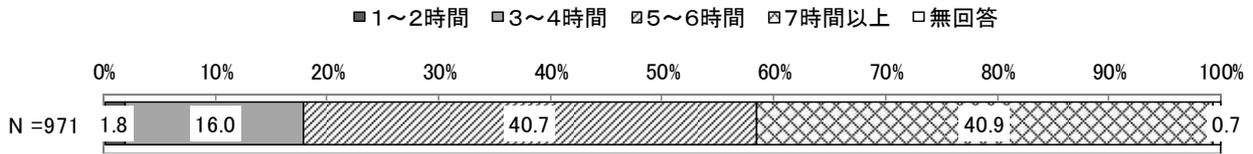


世帯状況別で見ると、全ての世帯状況で「週に5日以上」「週に3~4日」があわせて80%を越えている。

②今後希望する一日の就労時間

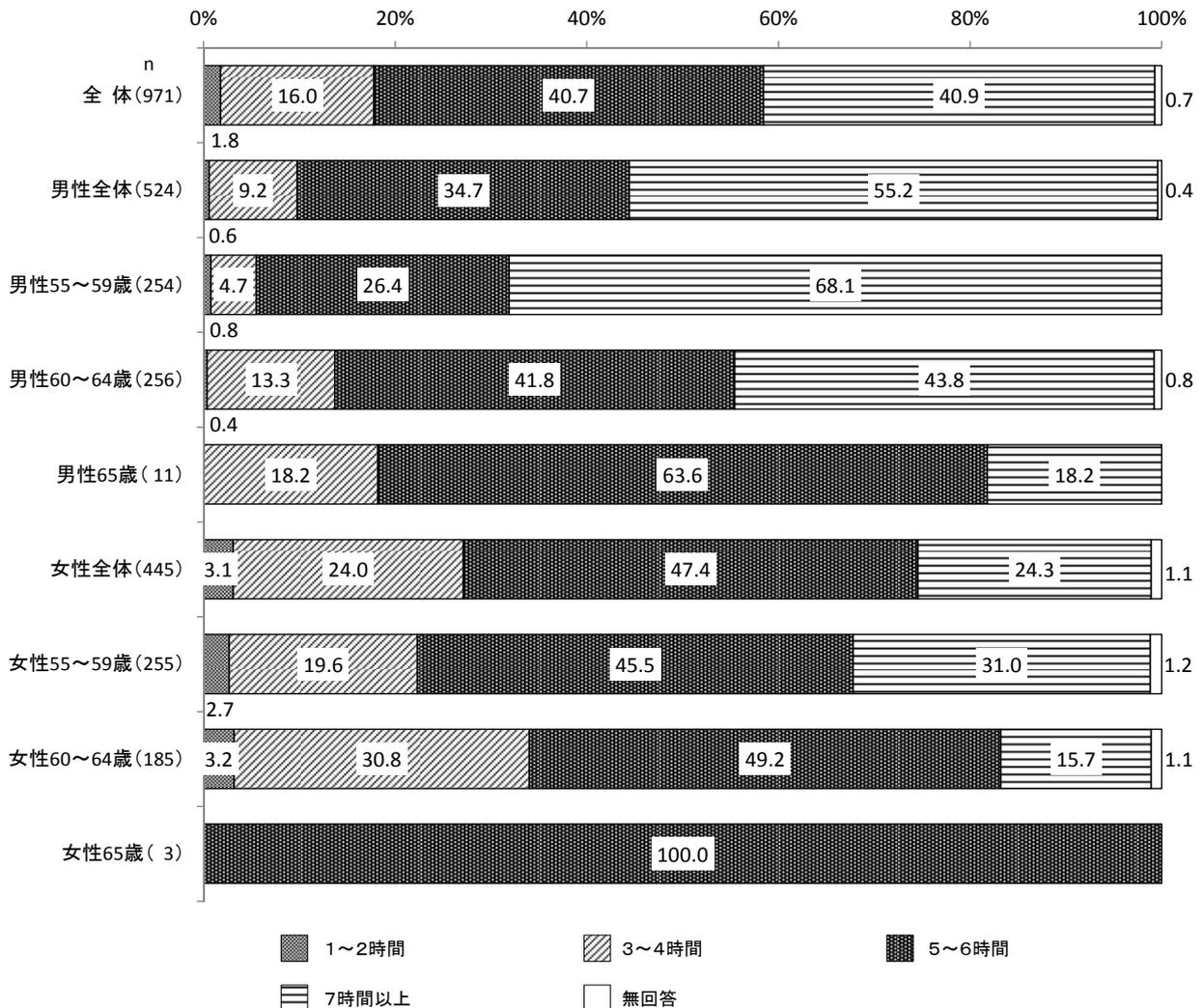
問 1 1 - 2. 今後希望する一日の就労時間についてご回答ください。(1つに○)

図表 2-6 今後希望する一日の就労時間



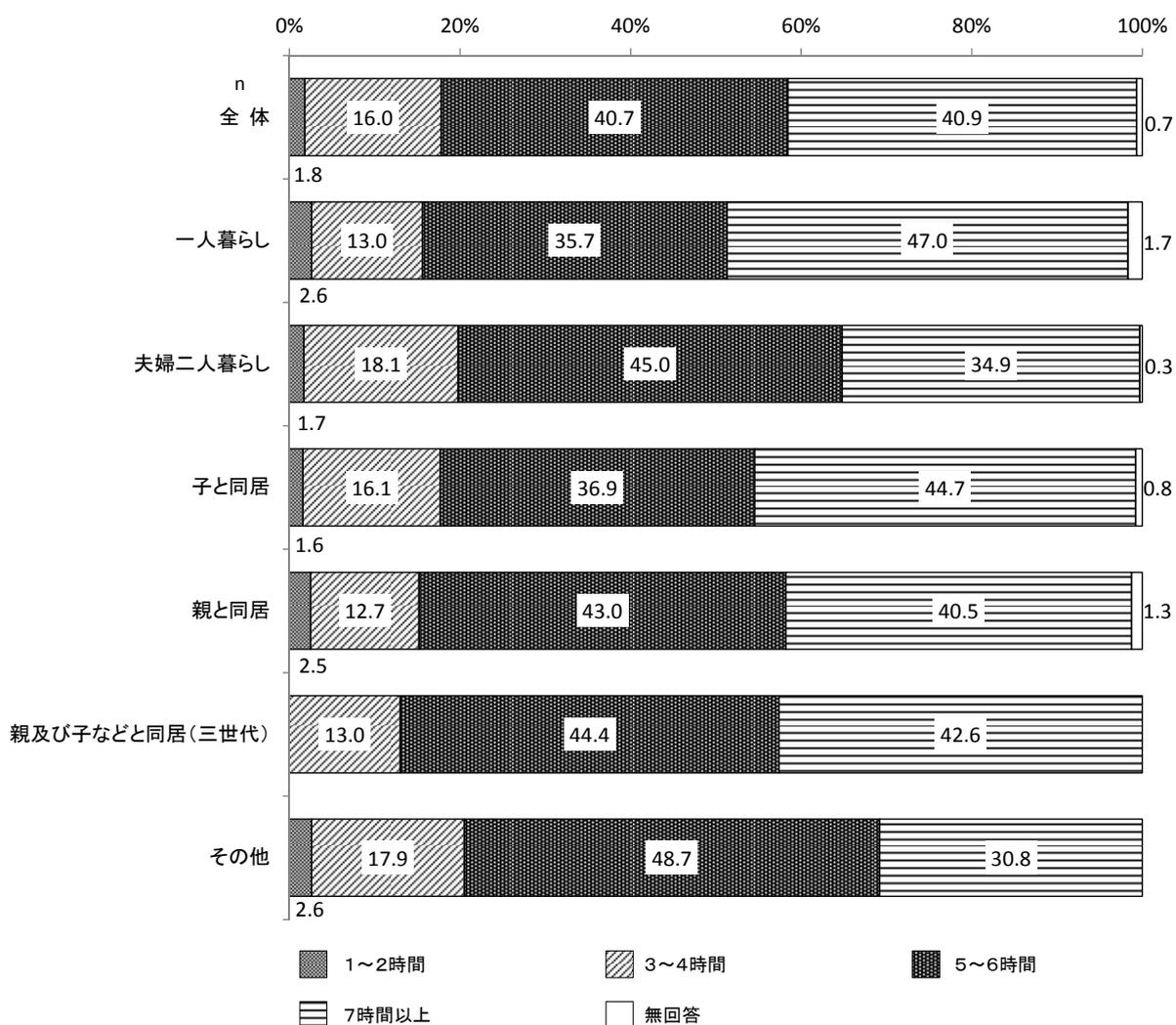
今後希望する一日の就労時間は、「7時間以上」が40.9%と最も多く、次いで、「5~6時間」(40.7%)、「3~4時間」(16.0%)と続いている。

図表 2-6-1 今後希望する一日の就労時間【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、男性は「7時間以上」が最も多く、女性では「5~6時間」が最も多くなっている。

図表2-6-2 今後希望する一日の就労時間【世帯状況別】



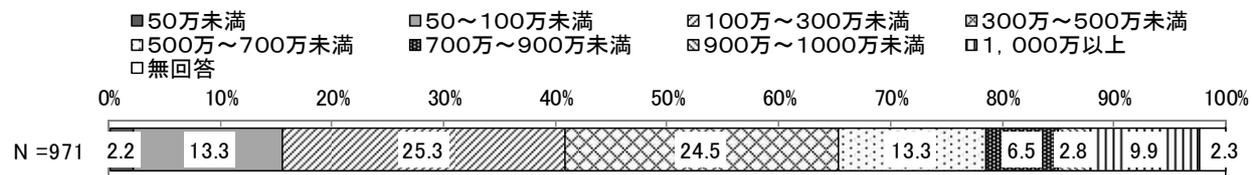
世帯状況別で見ると、『夫婦二人暮らし』『親と同居』『親及び子などと同居（三世代）』では「5～6 時間」が最も多くなっていて、それぞれ 45.0%、43.0%、44.4%となっている。

また、『一人暮らし』『子と同居』では「7時間以上」が最も多くなっていて、それぞれ 47.0%、44.7%となっている。

### ③ 今後目標とする年収

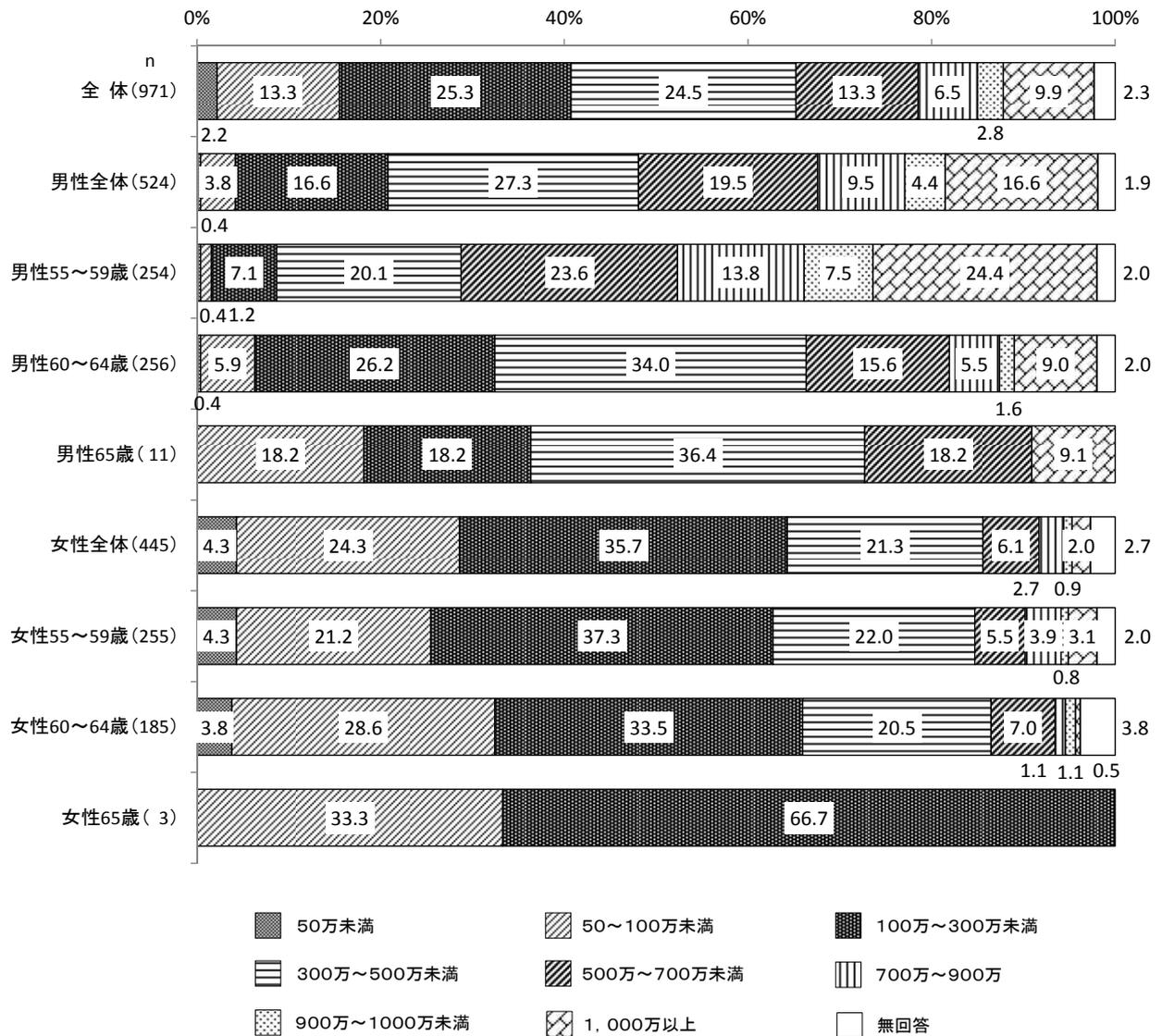
問 1 1 - 3. 今後目標とする年収についてご回答ください。(1つに○)

図表 2-7 今後目標とする年収



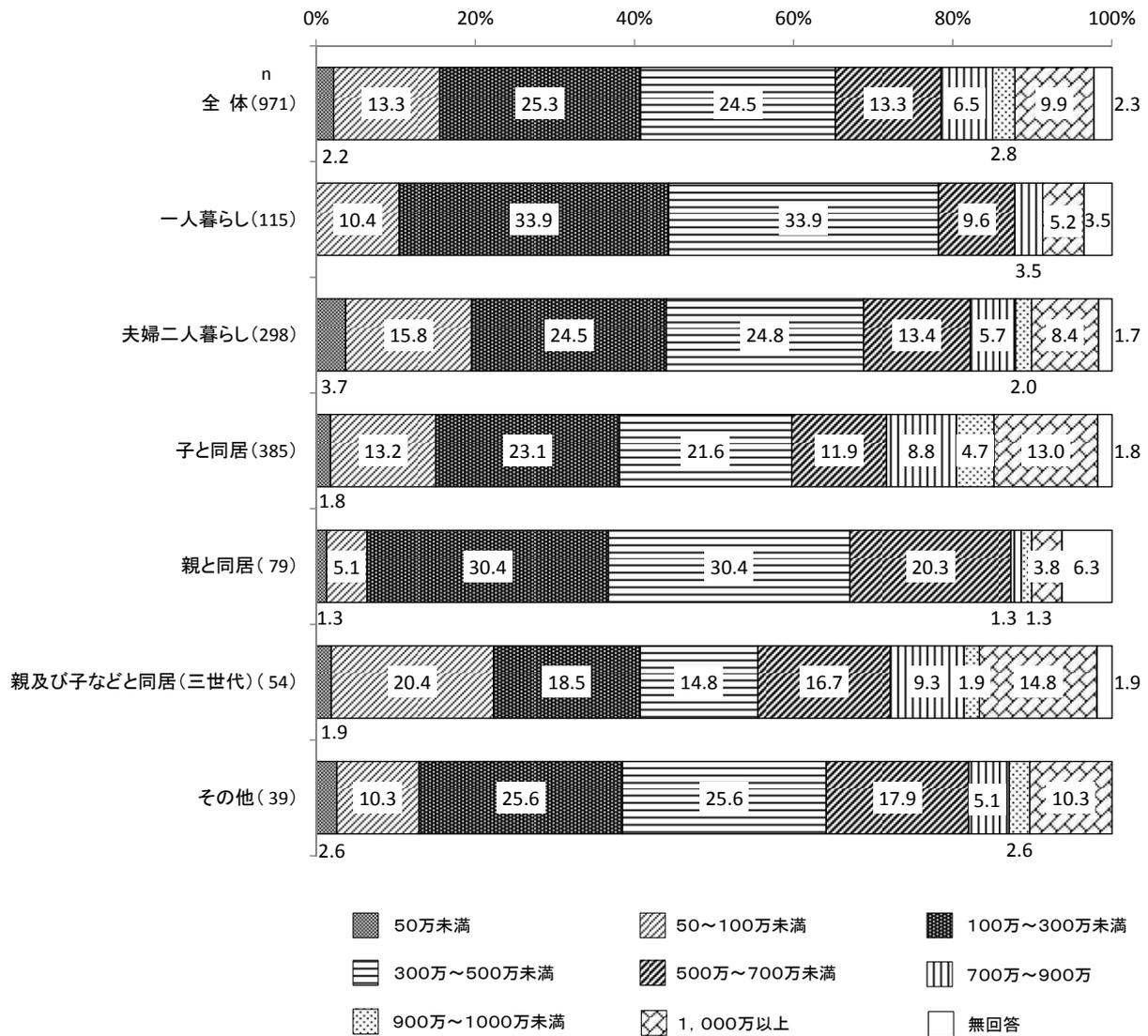
今後目標とする年収は、「100万～300万未満」が25.3%と最も多く、次いで、「300万～500万未満」(24.5%)、「50～100万未満」「500万～700万未満」(13.3%)と続いている。

図表 2-7-1 今後目標とする年収【性別・年代別】



性別・年代別でみると、『男性 55~59 歳』では「1,000 万以上」が最も多くなっている。  
 女性は全ての年齢で「100 万~300 万未満」が最も多くなっている。

図表 2-7-2 今後目標とする年収【世帯状況別】

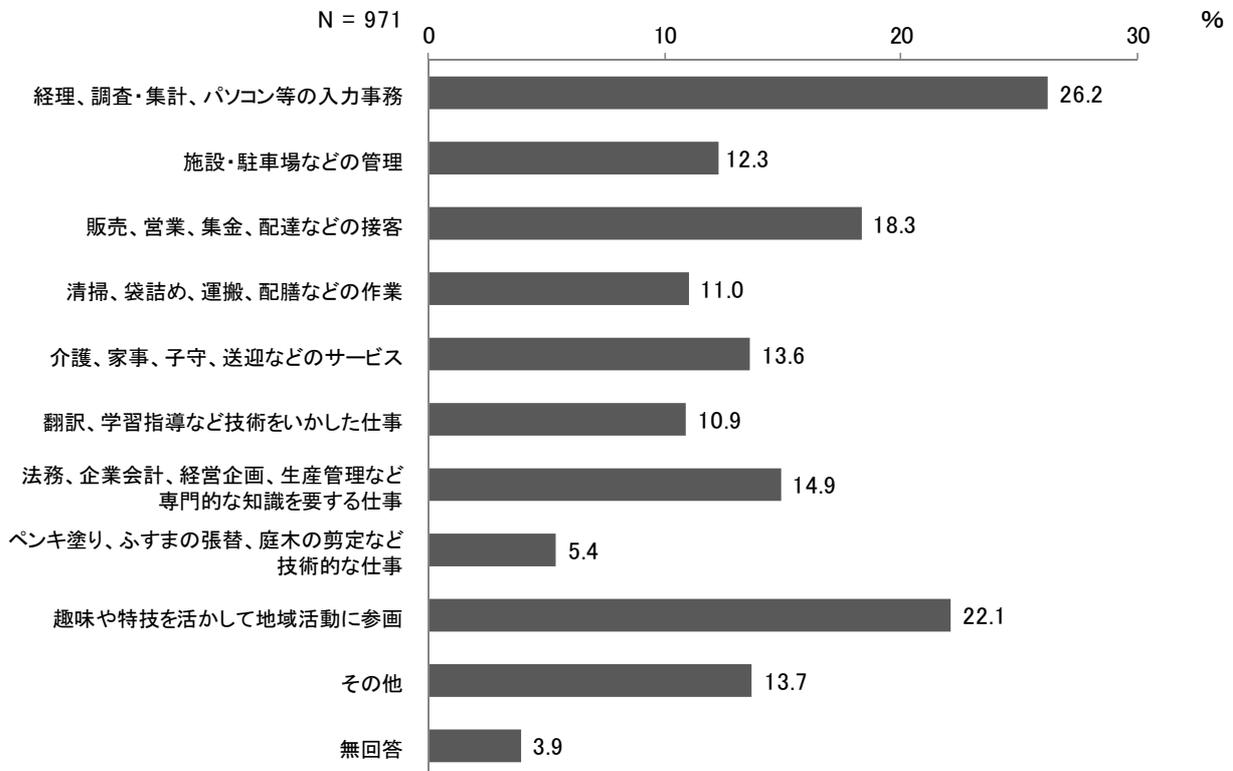


世帯状況別で見ると、『一人暮らし』『親と同居』では「100万～300万未満」「300万～500万未満」が多くなっている。

#### ④今後希望する仕事内容

問 1 1 - 4. 今後希望する仕事内容についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

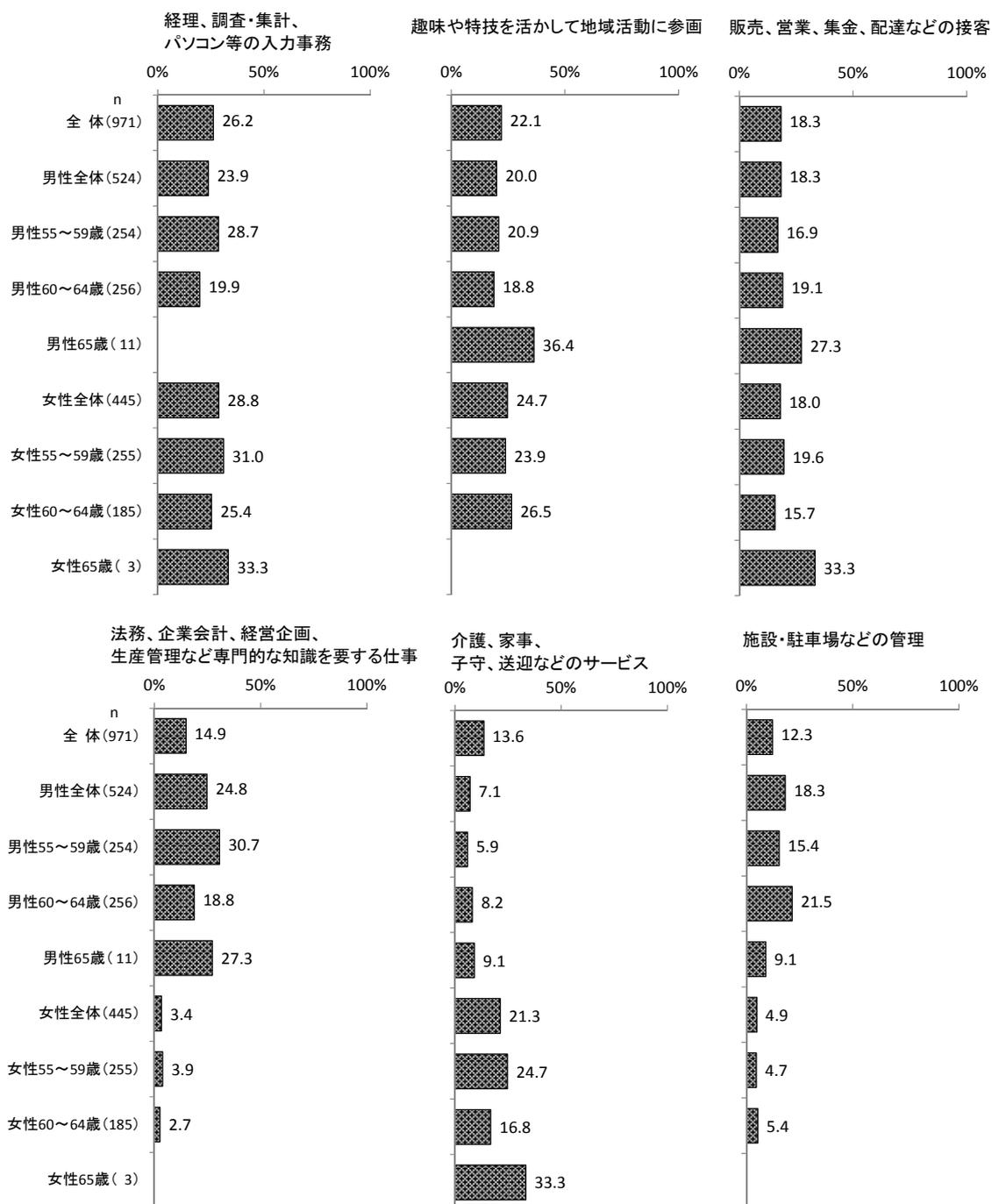
図表 2-8 今後希望する仕事内容



今後希望する仕事内容は、「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」が 26.2%と最も多く、「趣味や特技を活かして地域活動に参画」(22.1%)、「販売、営業、集金、配達などの接客」(18.3%)と続いている。

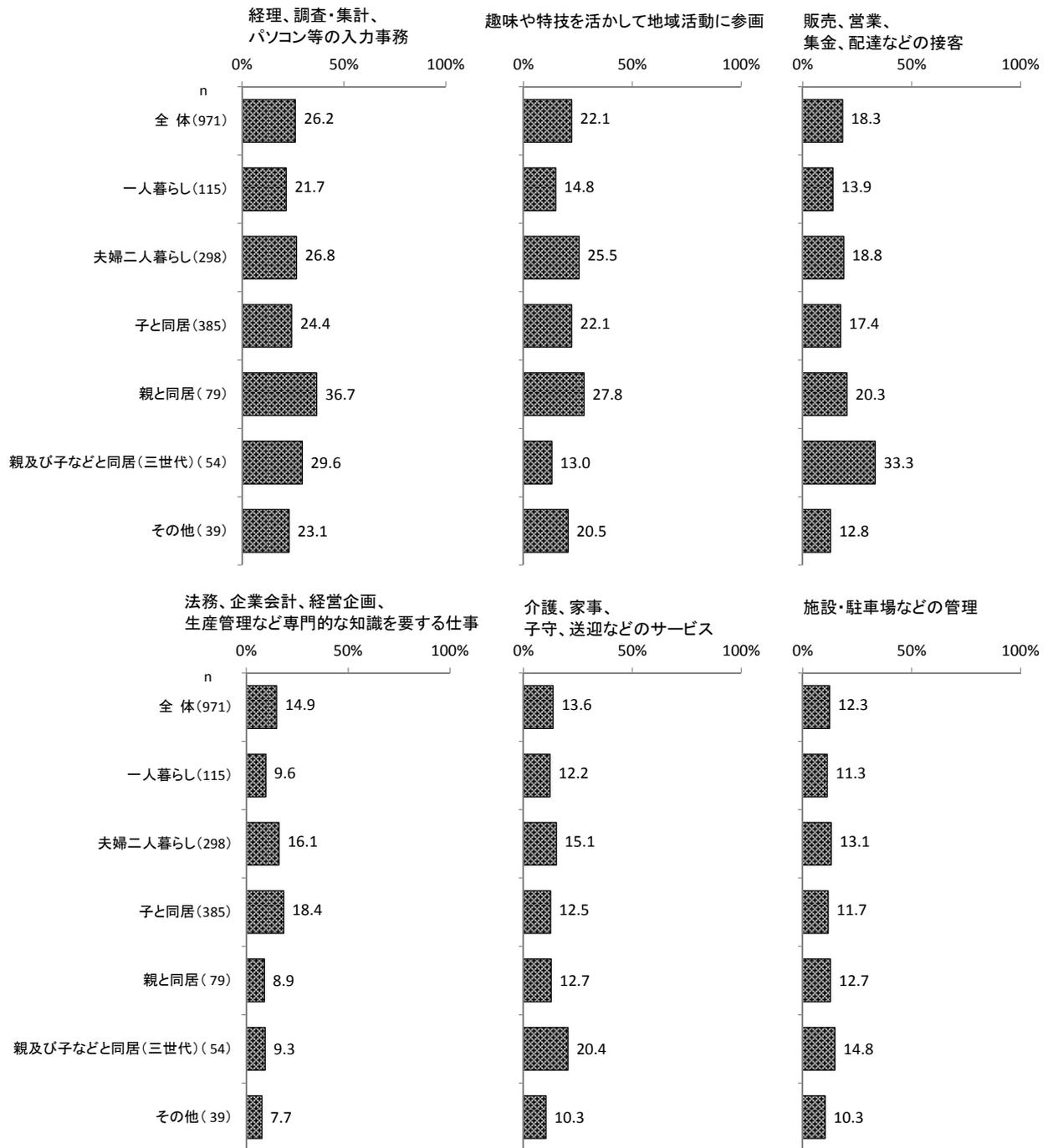
「シニア層の活用に関する企業調査」の企業が高齢者に提供できる仕事内容 (P. 106) と比較すると、「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」が 35.1%と最も多くなっており、高齢者の希望とあっている。「清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業」は 28.6%と多いが、高齢者の希望は低くなっている。

図表 2-8-1 今後希望する仕事内容【性別・年代別】(上位6つ)



性別・年代別で見ると、「介護、家事、子守、送迎などのサービス」は男性よりも女性の方が多くなっている。男性は「法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事」が多くなっている。

図表 2-8-2 今後希望する仕事内容【世帯状況別】（上位 6 つ）

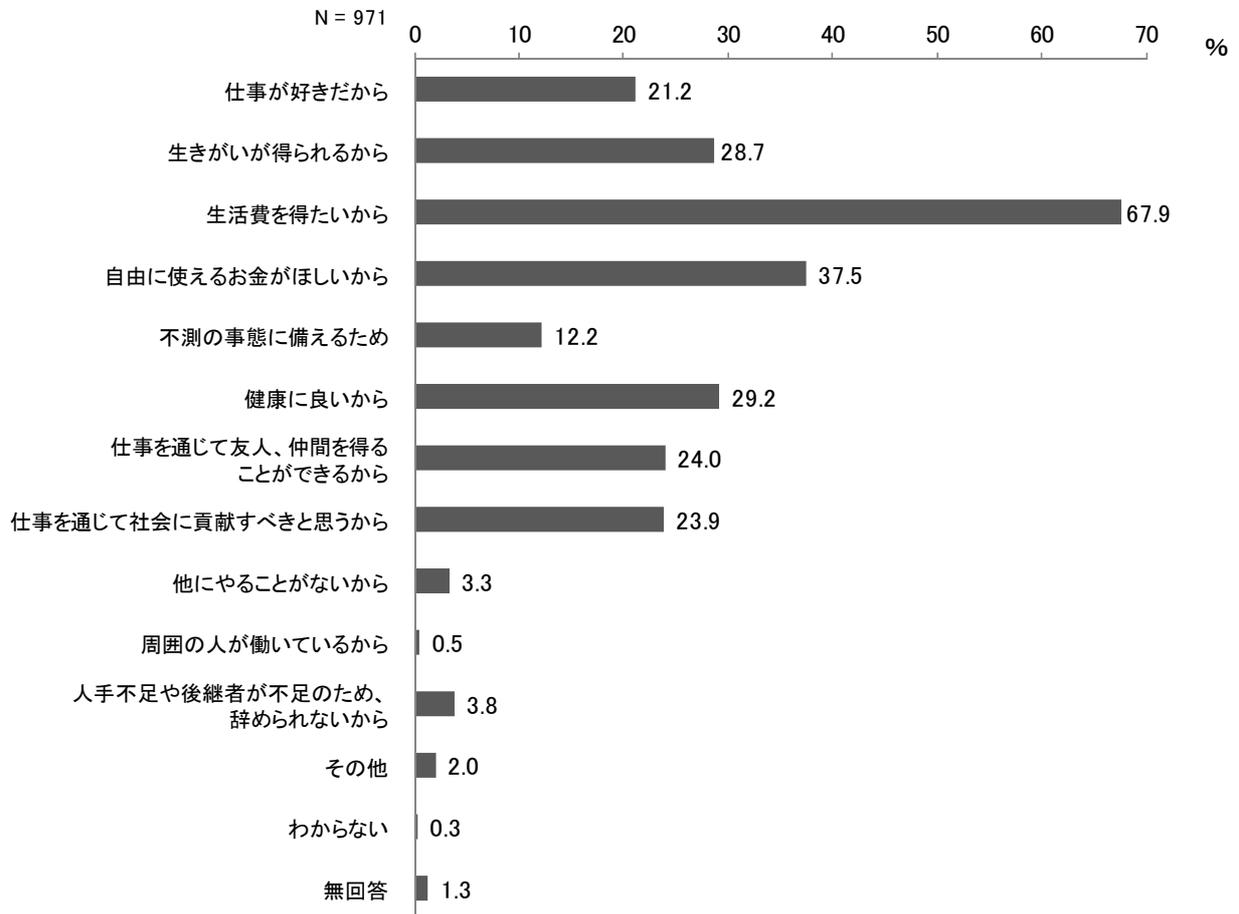


世帯状況別でみると、『親及び子など同居（三世代）』は、「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」（29.6%）「販売、営業、集金、配達などの接客」（33.3%）「介護、家事、子守、送迎などのサービス」（20.4%）が多くなっている。『親と同居』では「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」（36.7%）「趣味や特技を活かして地域活動に参画」（27.8%）が多くなっている。

## ⑤ 今後も仕事をしたいと考える理由

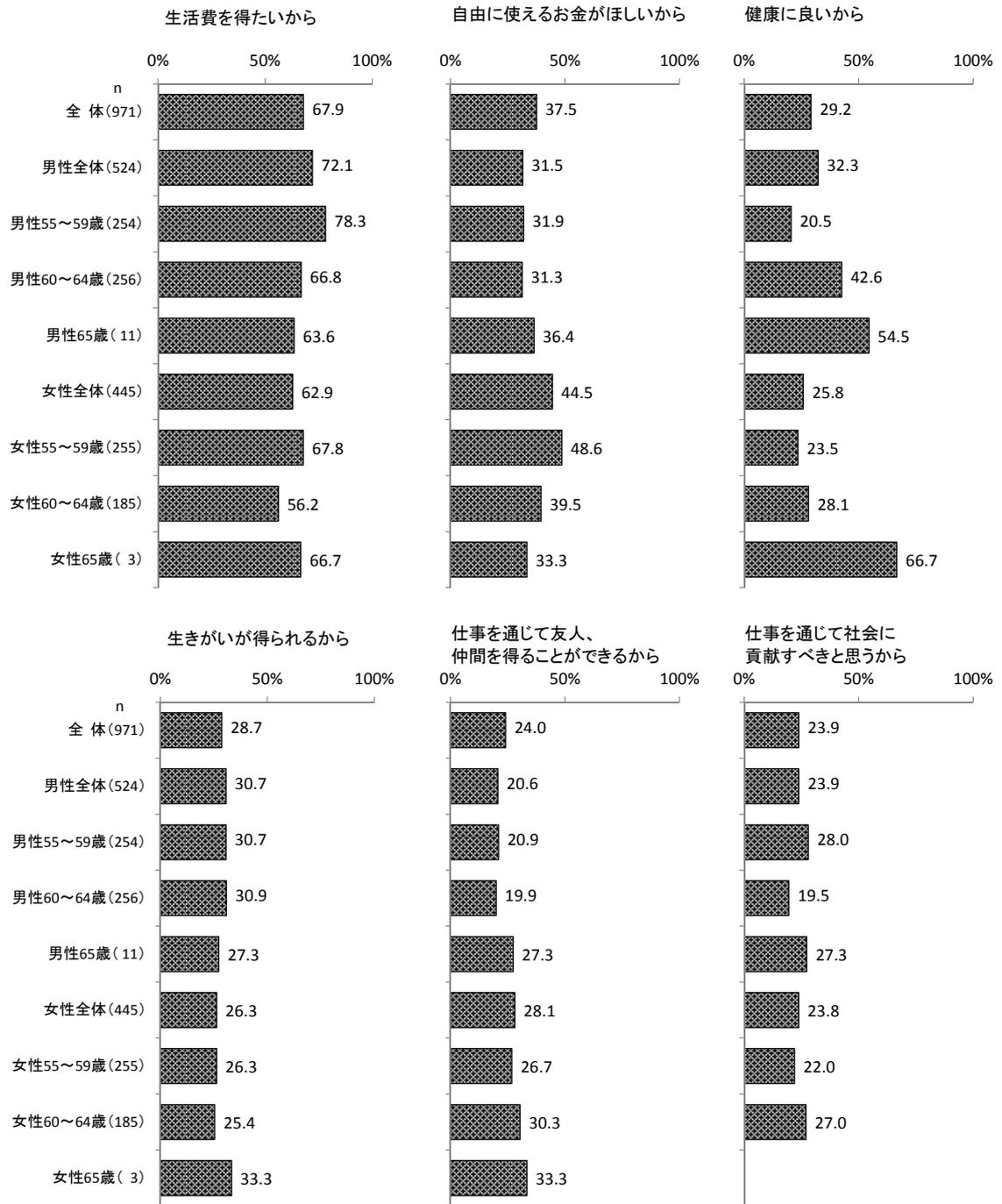
問 1 1 - 5. 今後も仕事をしたいと考える理由をご回答ください。(最大3つに○)

図表 2-9 今後も仕事をしたいと考える理由



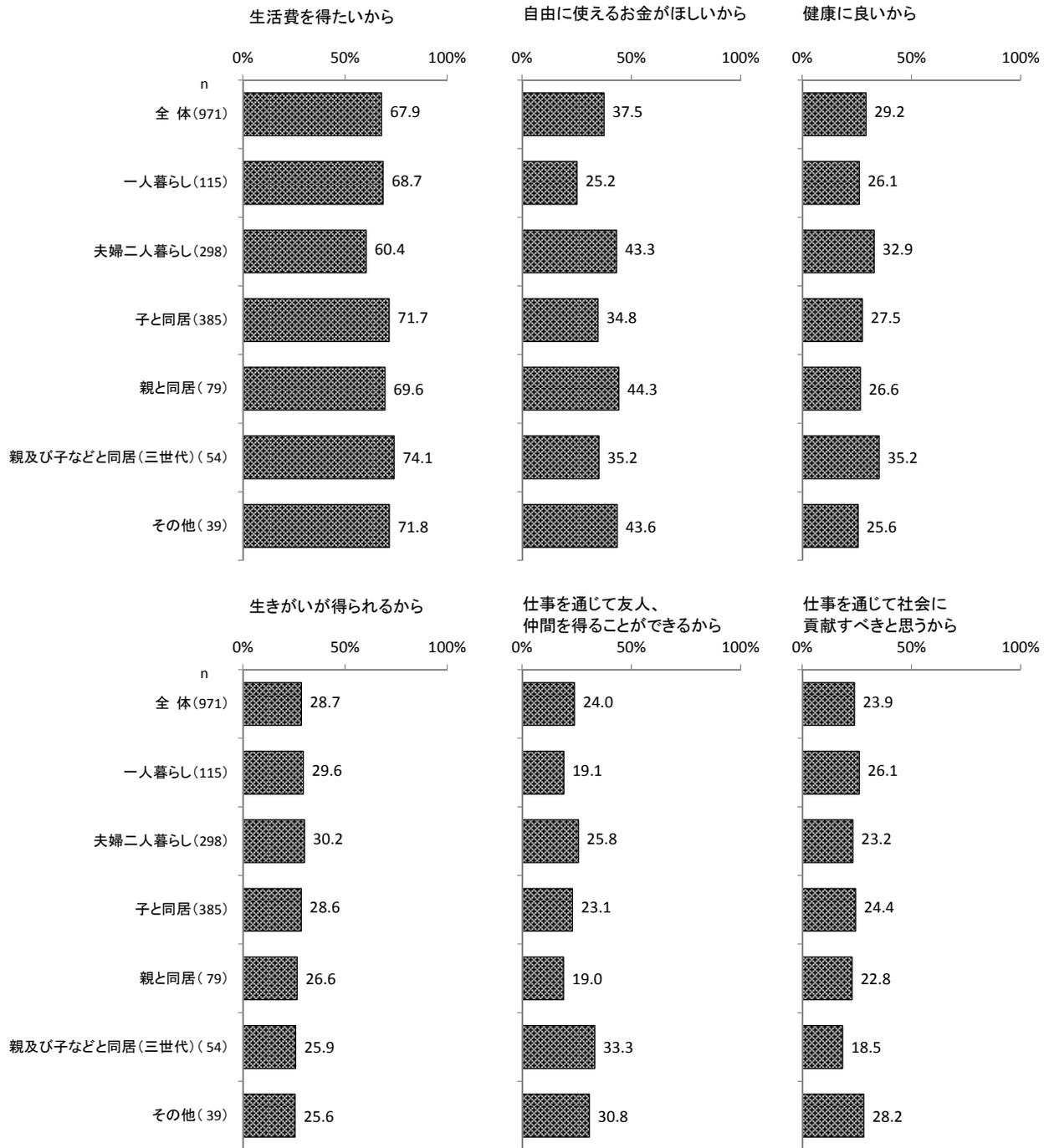
今後も仕事をしたいと考える理由は、「生活費を得たいから」が 67.9%と最も多く、次いで、「自由に使えるお金がほしいから」(37.5%)、「健康に良いから」(29.2%)と続いている。

図表2-9-1 今後も仕事をしたいと考える理由【性別・年代別】（上位6つ）



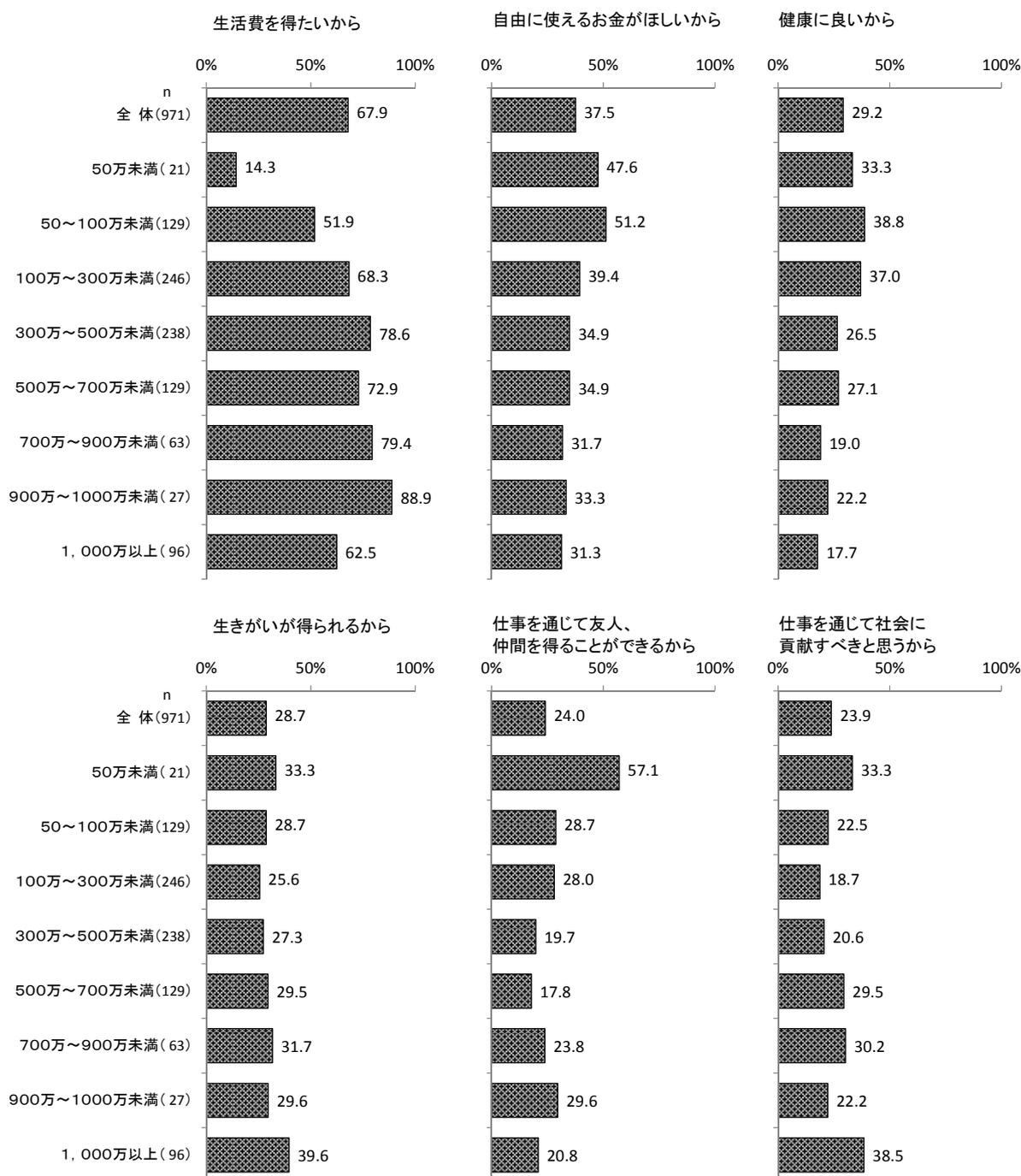
性別・年代別でみると、男女ともに全ての年代で「生活費を得たいから」が最も多くなっている。「自由に使えるお金がほしいから」は男性よりも女性の方が多くなっている。

図表 2-9-2 今後も仕事をしたいと考える理由【世帯状況別】(上位 6 つ)



世帯状況別でみると、「生活費を得たいから」は『親及び子など同居 (三世代)』が 74.1%と最も多く、次いで、『子と同居』(71.7%)、『親と同居』(69.6%)となっている。

図表 2-9-3 今後も仕事をしたいと考える理由【目標年収別】(上位6つ)



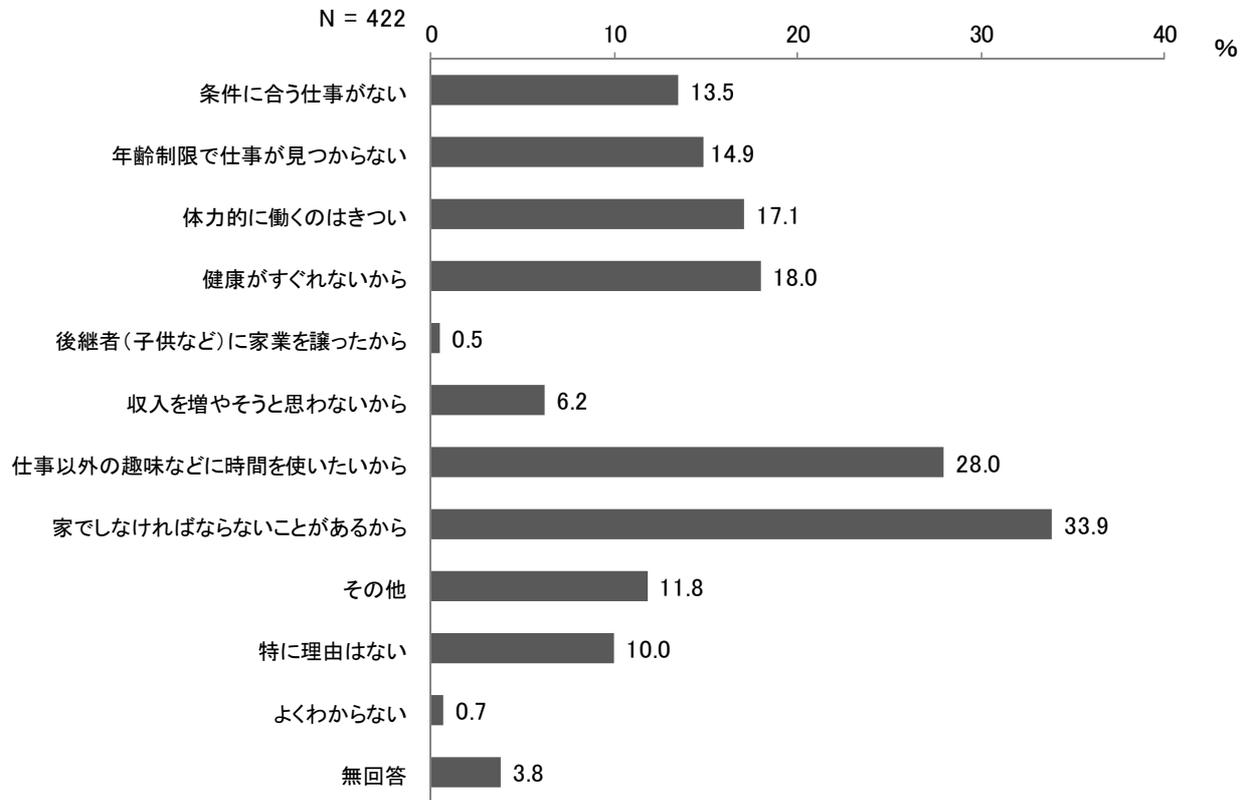
目標年収別でみると、「健康に良いから」「仕事を通じて友人、仲間を得ることができるから」と回答した人は、目標年収が高い人よりも目標年収が低い人の方が多くなっている。目標年収が高い人は、「生活費を得たいから」と回答した人が多い。

(3) 働いていないまたは、働く意向はない人

①働いていない・働く意向がない

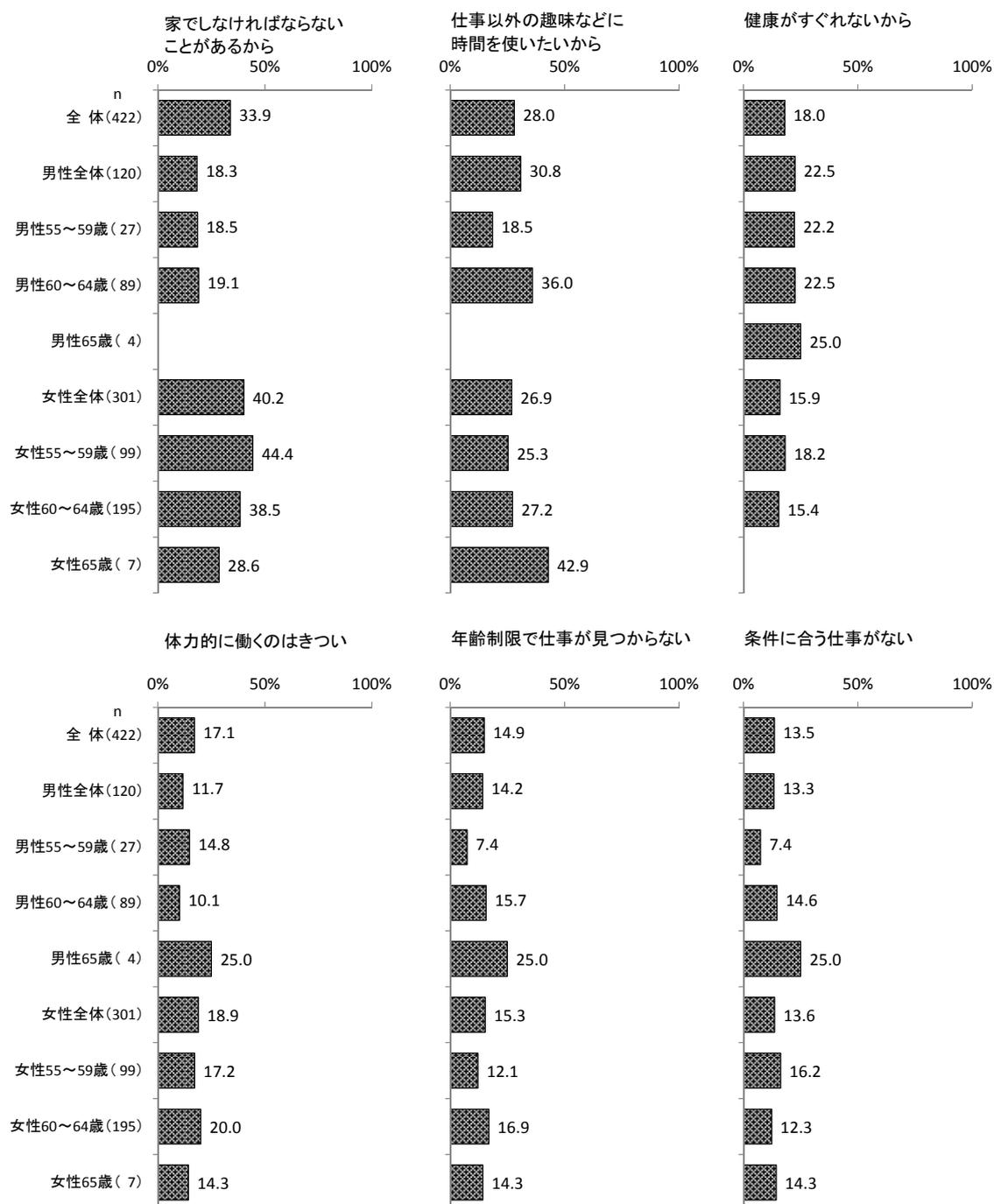
問12-1. そのように考える理由についてご回答ください。(最大3つに○)

図表2-10 働いていない・働く意向がない理由



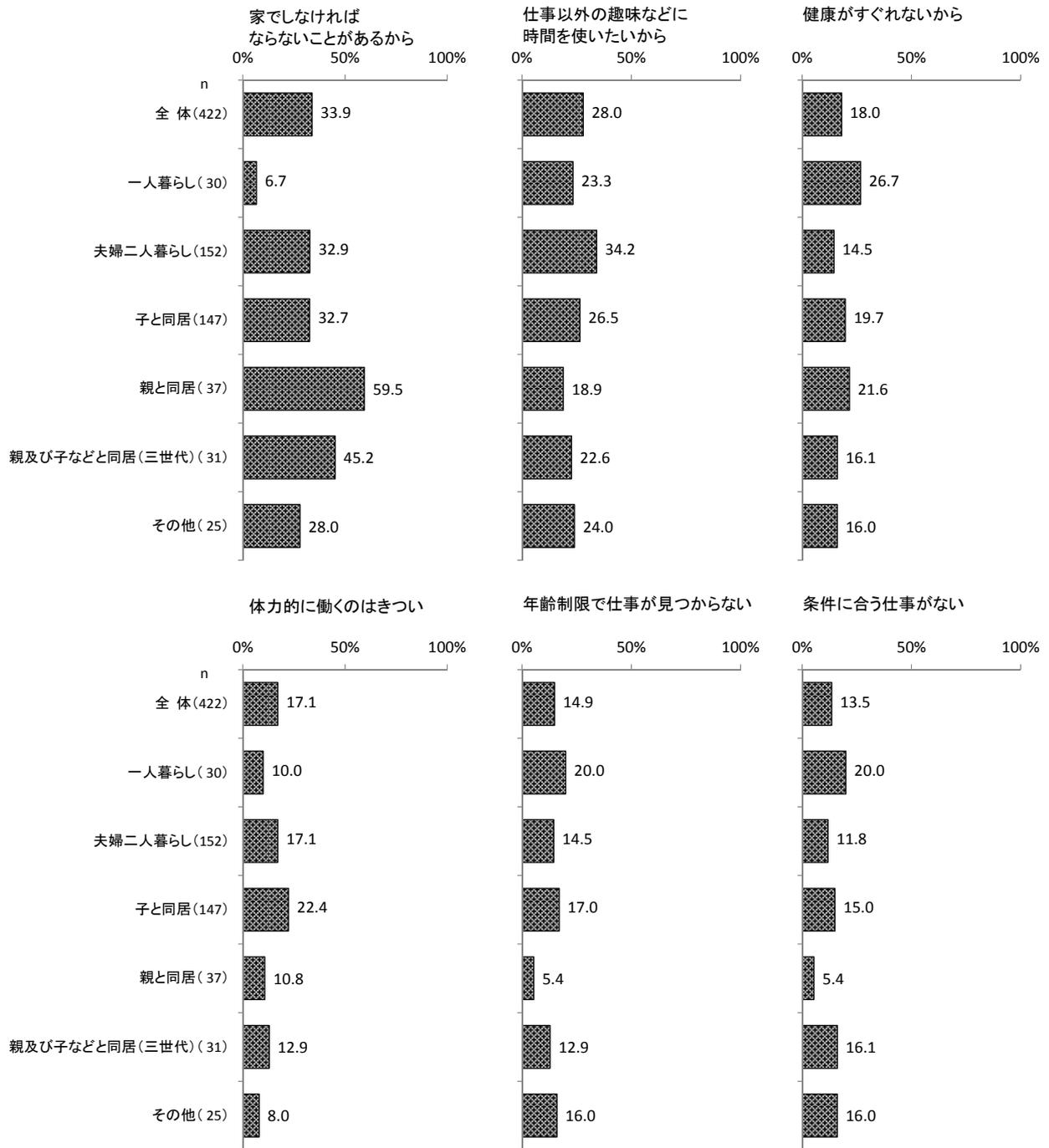
働いていない・働く意向がない理由は、「家でしなければならないことがあるから」が33.9%と最も多く、次いで、「仕事以外の趣味などに時間を使いたいから」(28.0%)、「健康がすぐれないから」(18.0%)と続いている。

図表 2-10-1 働いていない・働く意向がない理由【性別・年代別】（上位6つ）



性別・年代別でみると、「家でしなければならないことがあるから」は女性が多く、中でも『女性 55～59 歳』が 44.4%と最も多い。女性 60 代では「仕事以外の趣味などに時間を使いたいから」が多くなっている。

図表 2-10-2 働いていない・働く意向がない【世帯状況別】(上位6つ)



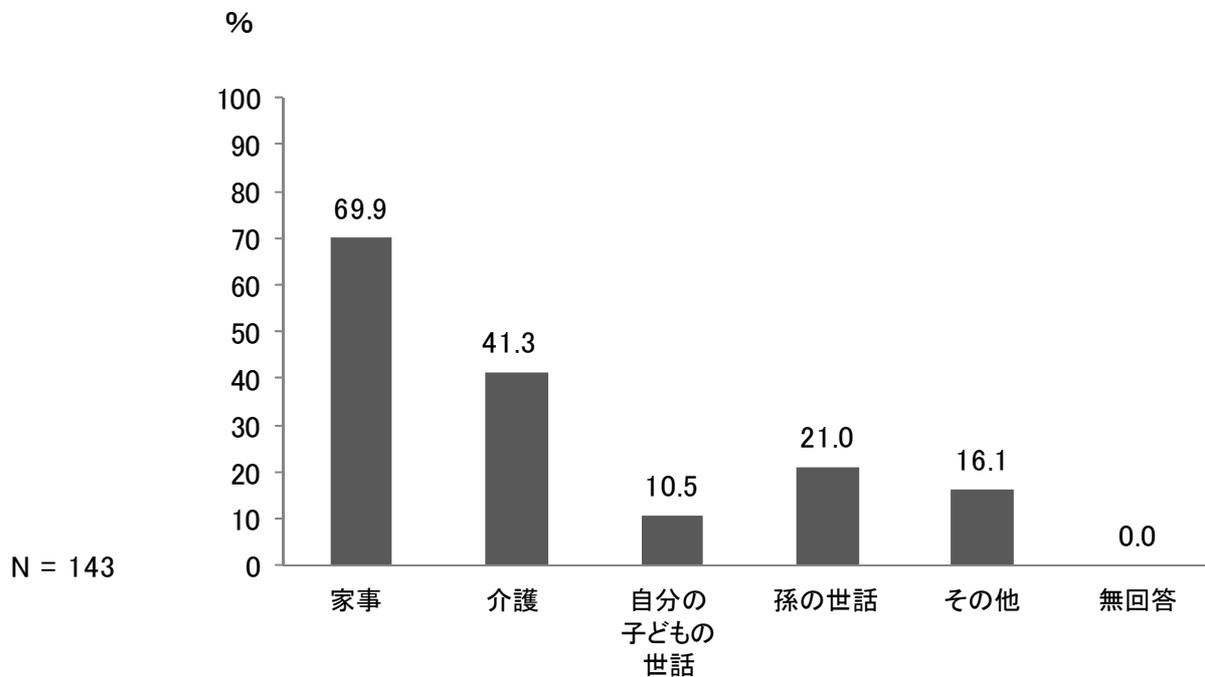
世帯状況別でみると、『親と同居』では「家ですなければならぬことがある」が59.5%と多くなっている。『夫婦二人暮らし』では「仕事以外の趣味などに時間を使いたいから」が34.2%と最も多くなっている。

②家でしなければならないこと

問12-2. 家でしなければならないことについてご回答ください。

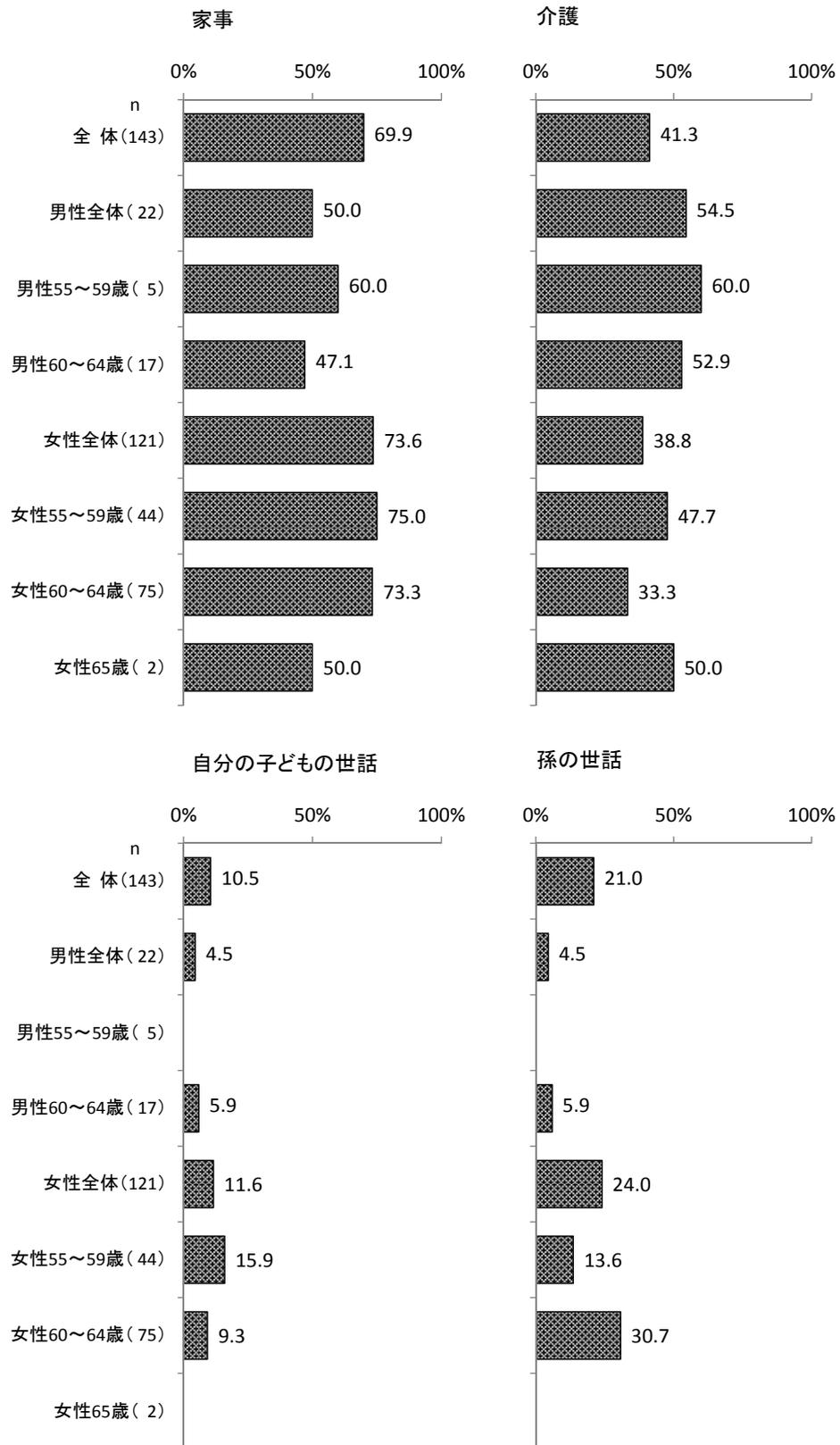
(あてはまるもの全てに○)

図表2-11 家でしなければならないこと



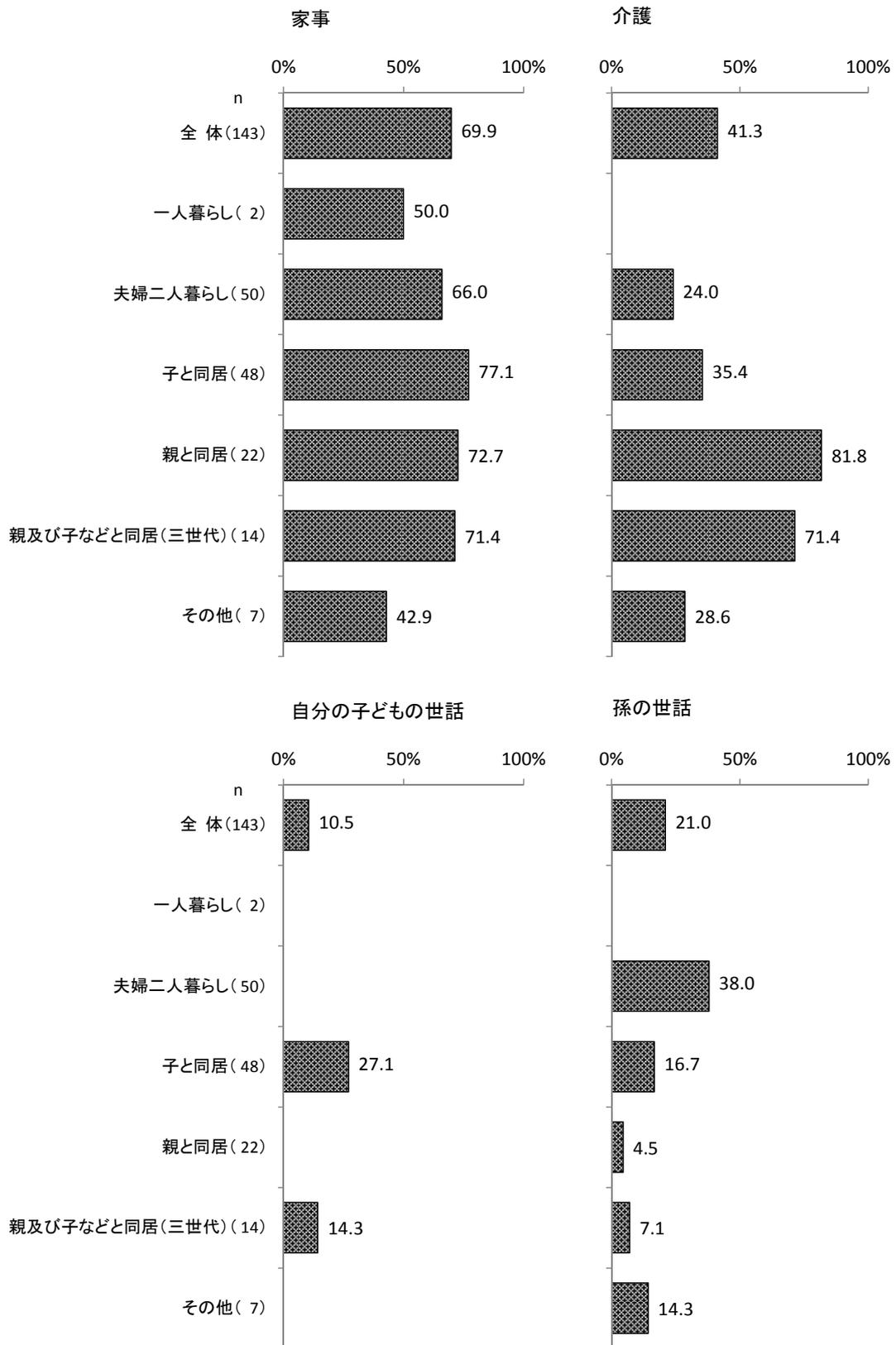
家でしなければならないことは、「家事」が69.9%と最も多く、次いで、「介護」(41.3%)、「孫の世話」(21.0%)と続いている。

図表 2-1 1-1 家でしなければならないこと【性別・年代別】



性別・年代別でみると、女性の70%以上が「家事」、男性の50%以上が「介護」と回答している。「自分の子どもの世話」「孫の世話」は女性が多くなっている。

図表2-1 1-2 家でしなければならないこと【世帯状況別】

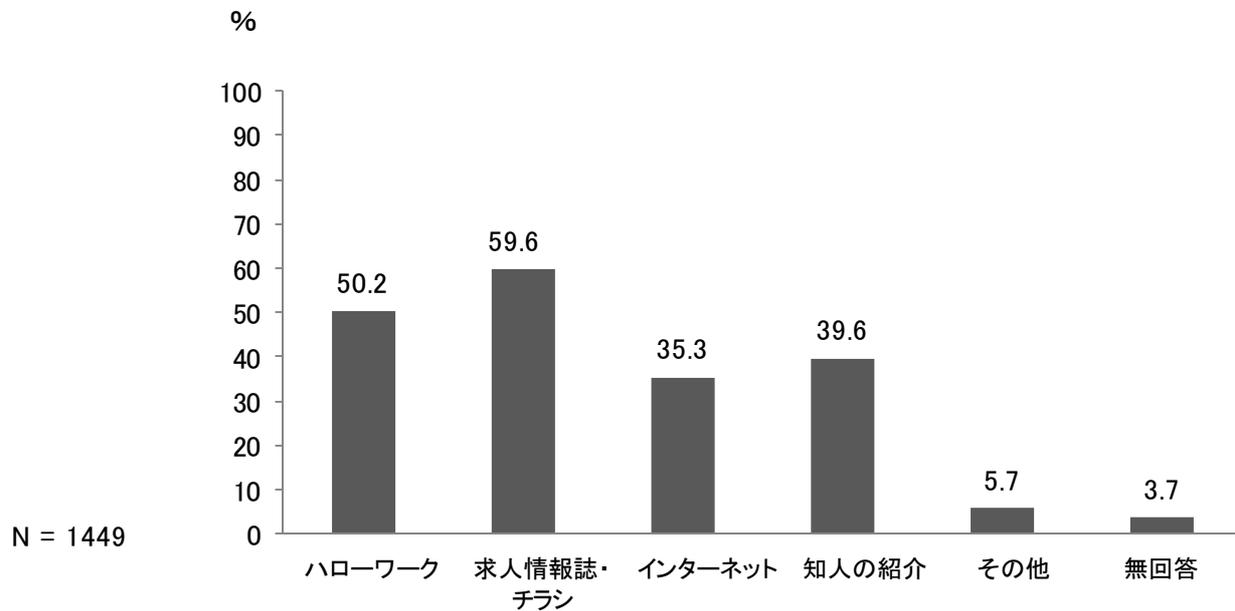


世帯状況別でみると、『一人暮らし』以外では「家事」が60%を越えている。『親と同居』『親及び子などと同居 (三世代)』では「介護」がそれぞれ、81.8%、71.4%と多くなっている。

(4) 仕事を探す際に利用する手段

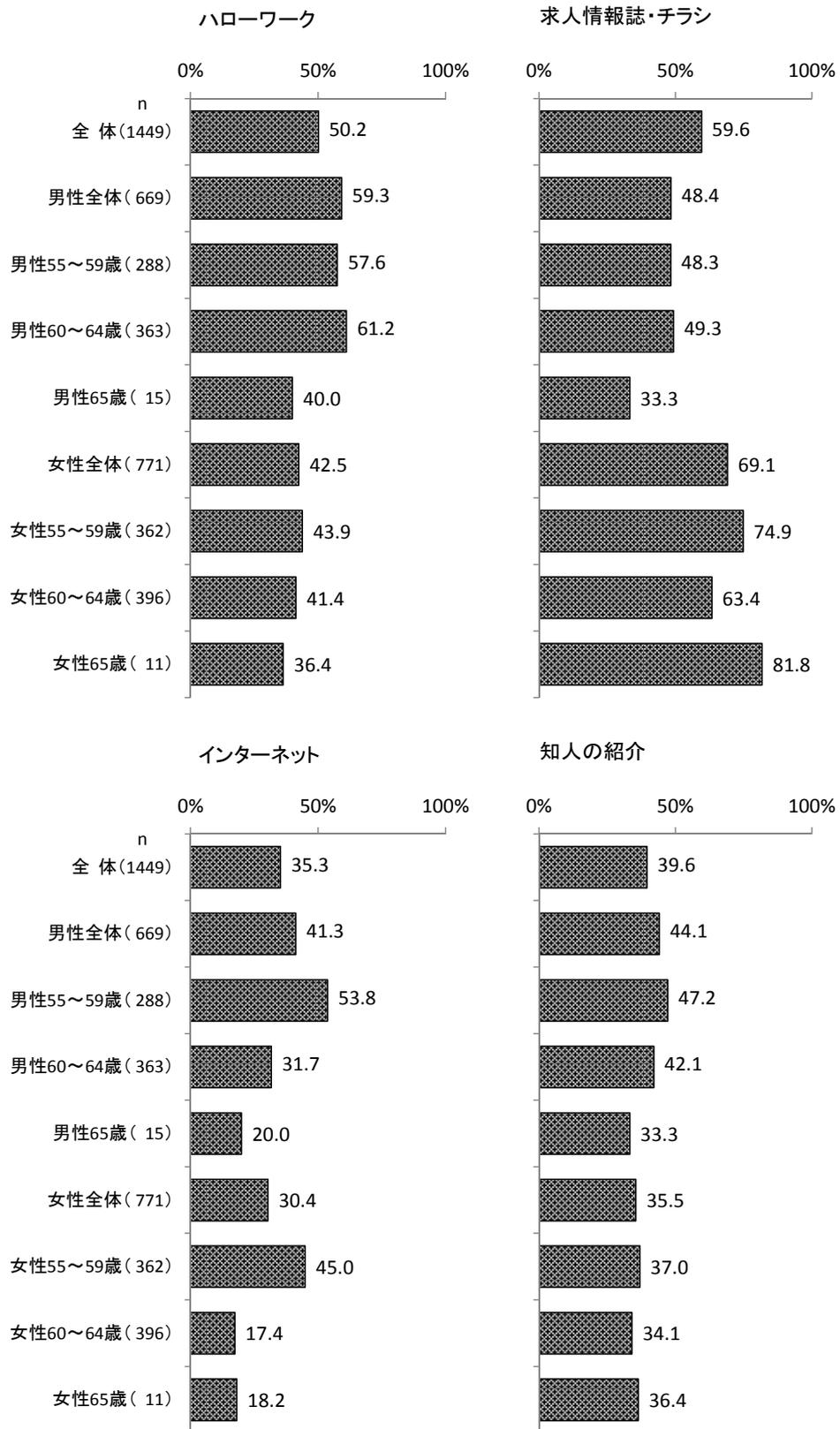
問13. 仕事を探す場合、どのような手段を利用しますか。(あてはまるもの全てに○)

図表2-12 仕事を探す際に利用する手段



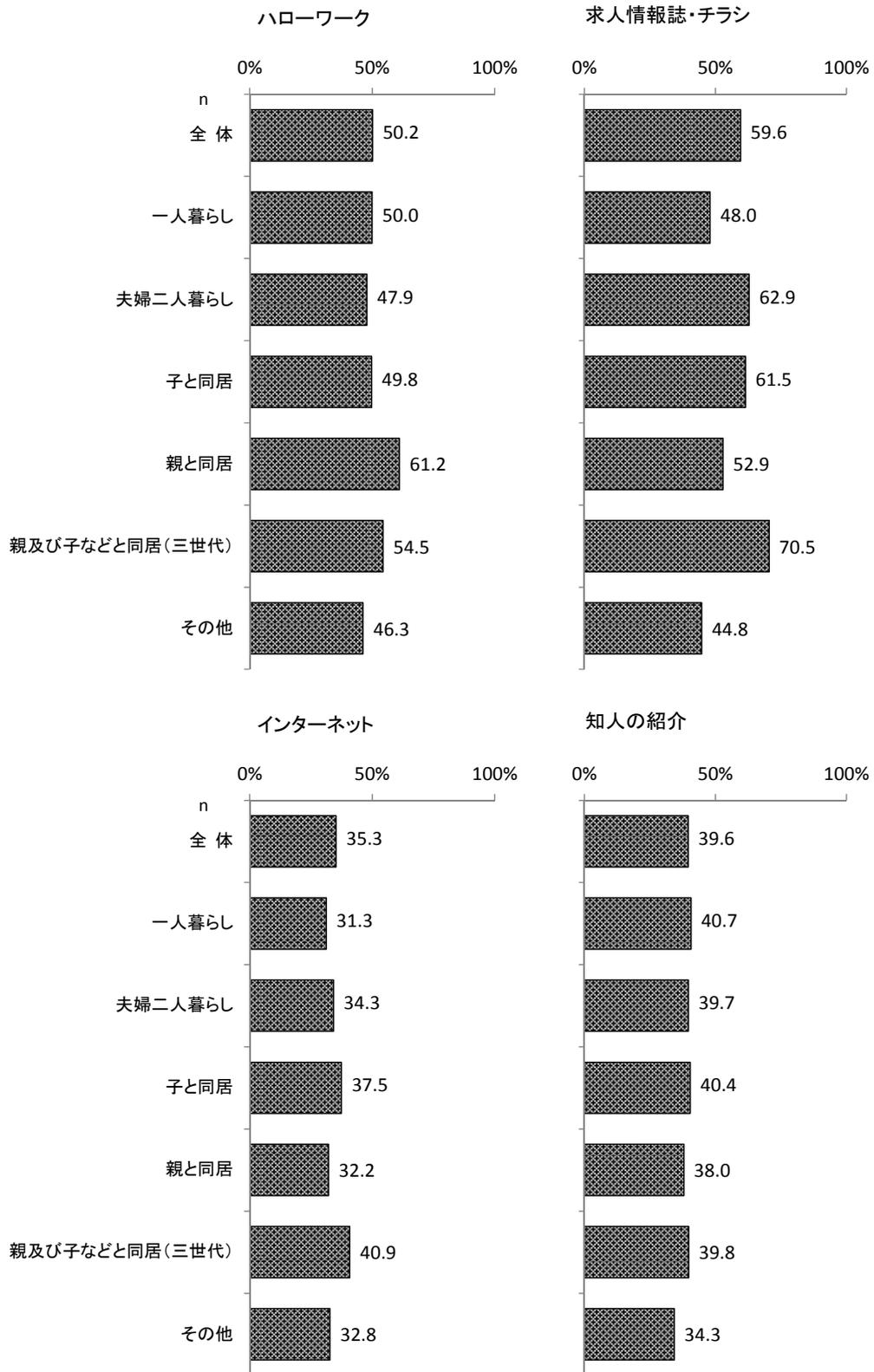
仕事を探す際に利用する手段は、「求人情報誌・チラシ」が59.6%、次いで、「ハローワーク」(50.2%)、「知人の紹介」(39.6%)と続いている。

図表 2-1 2-1 仕事を探す際に利用する手段【性別・年代別】



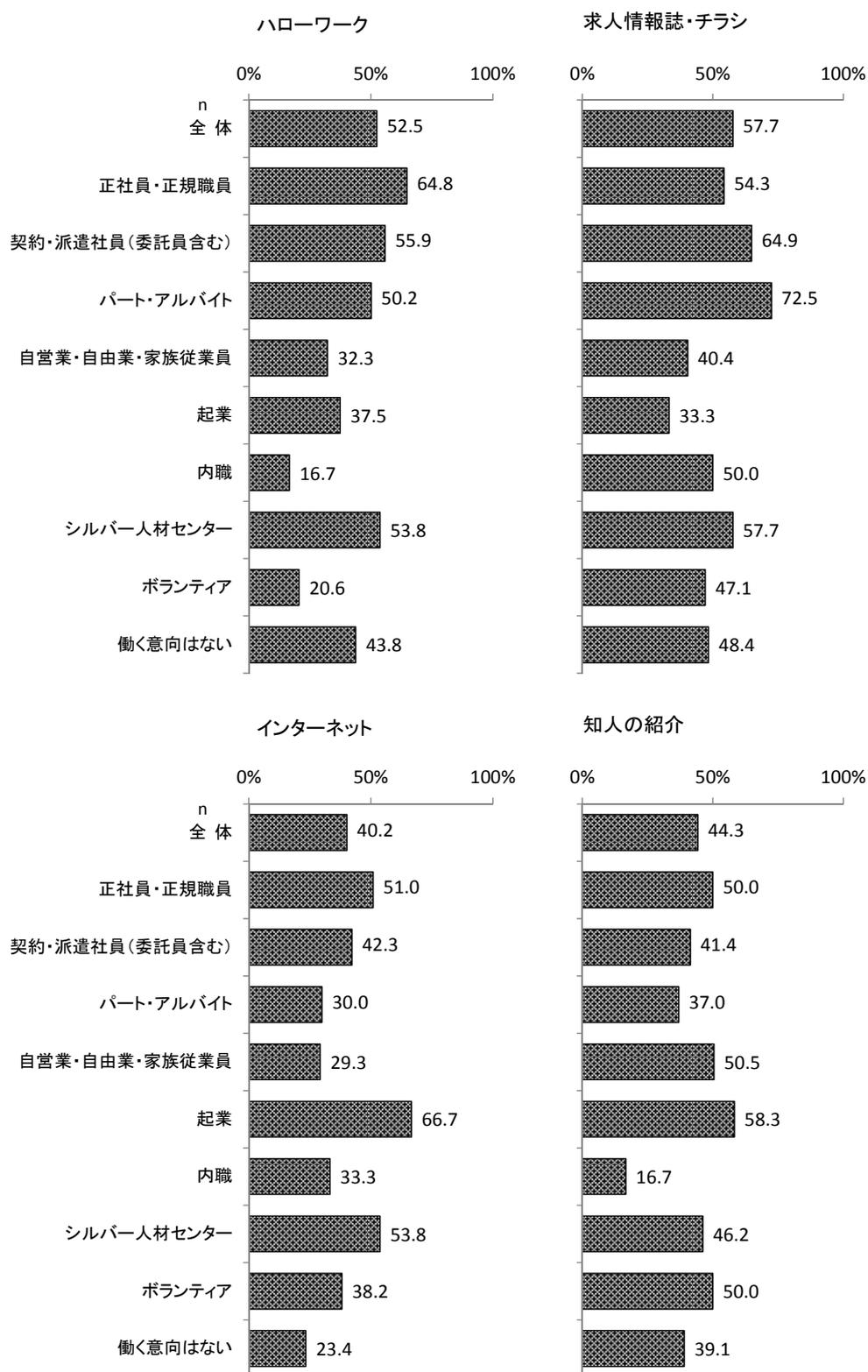
性別・年代別でみると、男性より女性の方が「求人情報誌・チラシ」が多く、男性の方が女性より「ハローワーク」が多くなっている。

図表 2-1 2-2 仕事を探す際に利用する手段【世帯状況別】



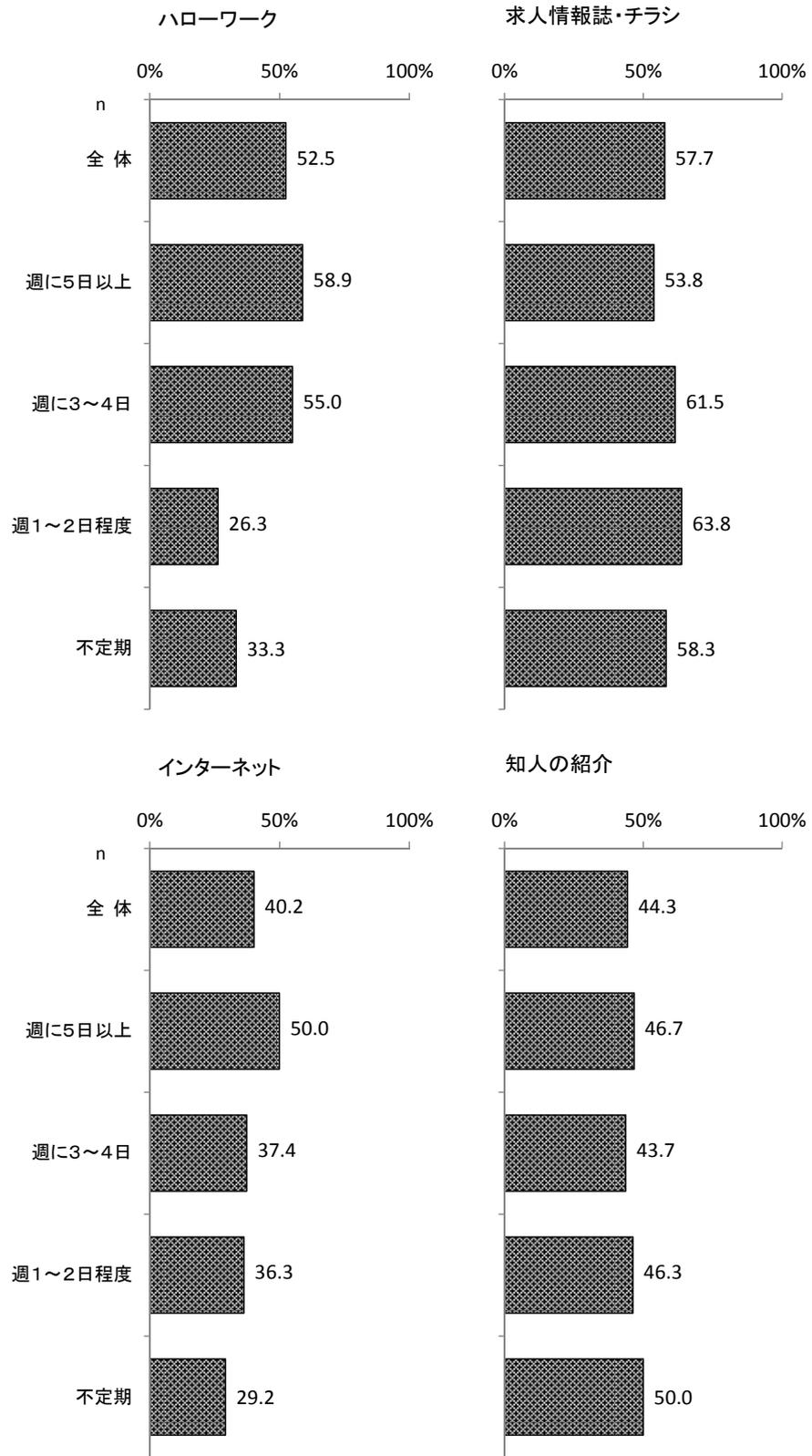
世帯状況別でみると、「ハローワーク」は『親と同居』が 61.2%と最も多く、「求人情報誌・チラシ」は『親及び子などと同居(三世代)』が 70.5%と最も多くなっている。

図表 2-1 2-3 仕事を探す際に利用する手段【希望する働き方別】



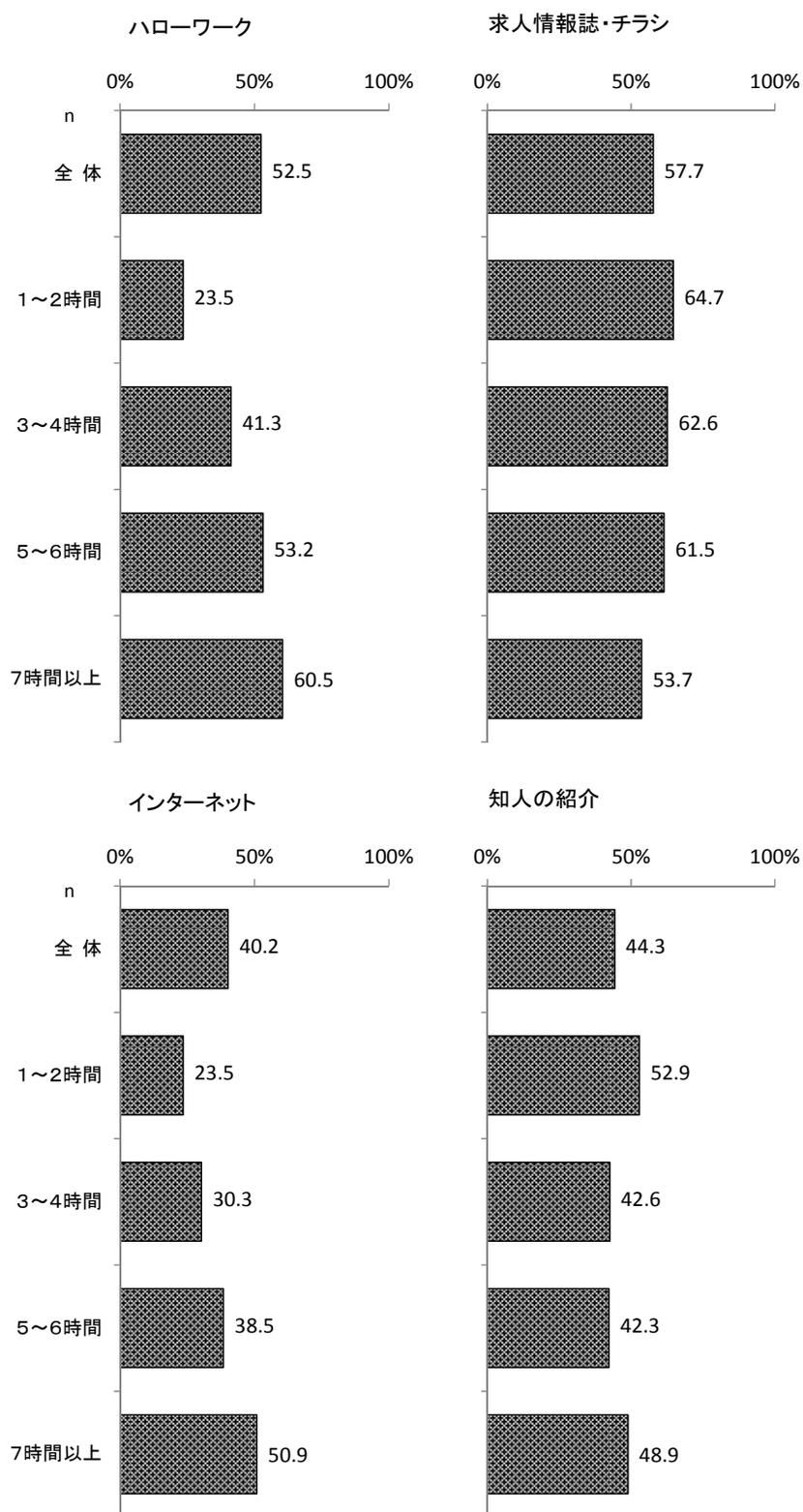
希望する働き方別でみると、『起業』が「インターネット」「知人の紹介」でそれぞれ 66.7%、58.3%と最も多くなっている。また、「ハローワーク」では『正社員・正規職員』が 64.8%と最も多く、「求人情報誌・チラシ」では『パート・アルバイト』の 72.5%が最も多い

図表 2-1 2-4 仕事を探す際に利用する手段【希望勤務頻度別】



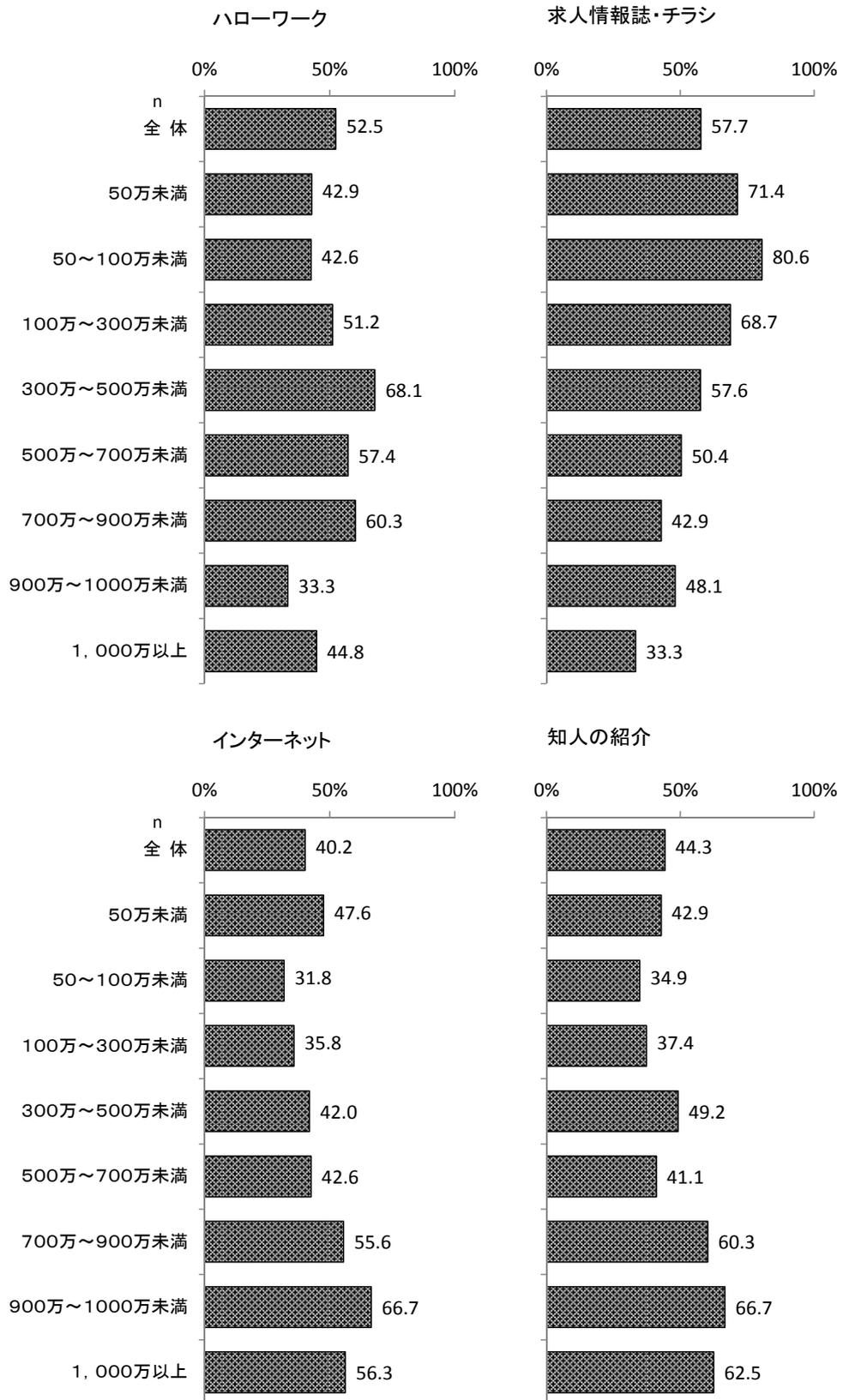
希望勤務頻度別でみると、『週に5日以上』は全ての項目で45%を越えている。

図表 2-1 2-5 仕事を探す際に利用する手段【希望就労時間別】



希望就労時間別でみると、「ハローワーク」は『7 時間以上』が 60.5%と最も多くなっている。「知人の紹介」は『1~2 時間』が 52.9%と最も多くなっている。

図表 2-1 2-6 仕事を探す際に利用する手段【目標年収別】



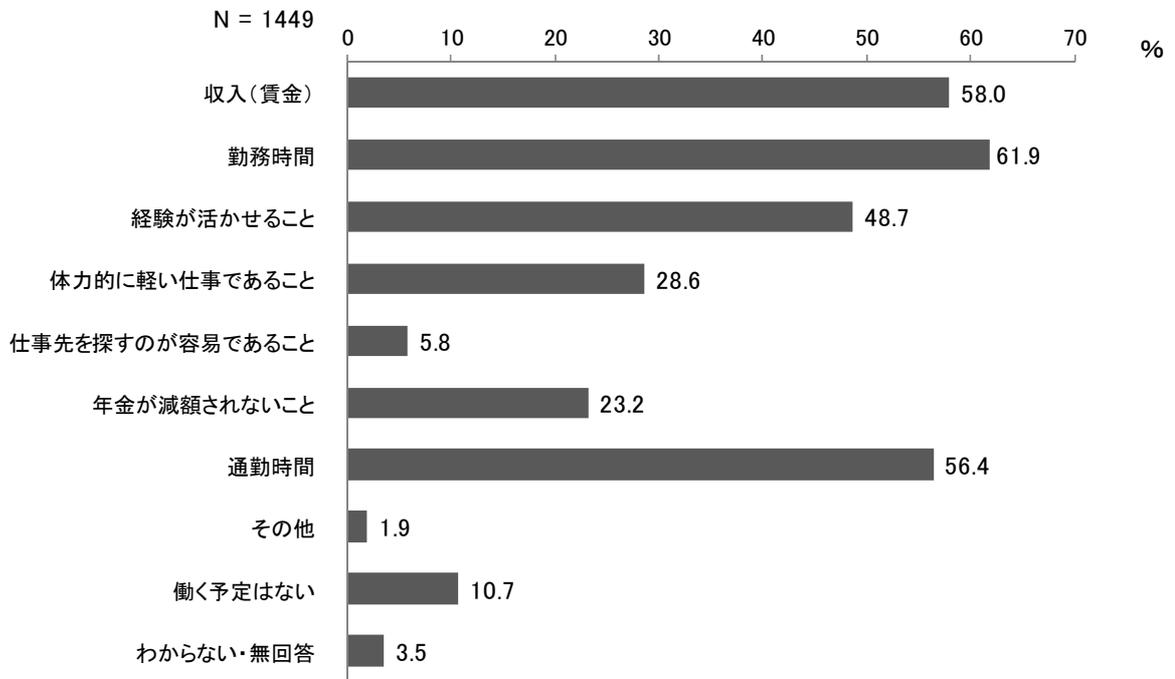
目標年収別で見ると、目標年収が高い人は「インターネット」「知人の紹介」が多くなっている。

(5) 仕事を選ぶ際に重視する条件

問14. 仕事を選ぶにあたって、重視する条件をご回答ください。

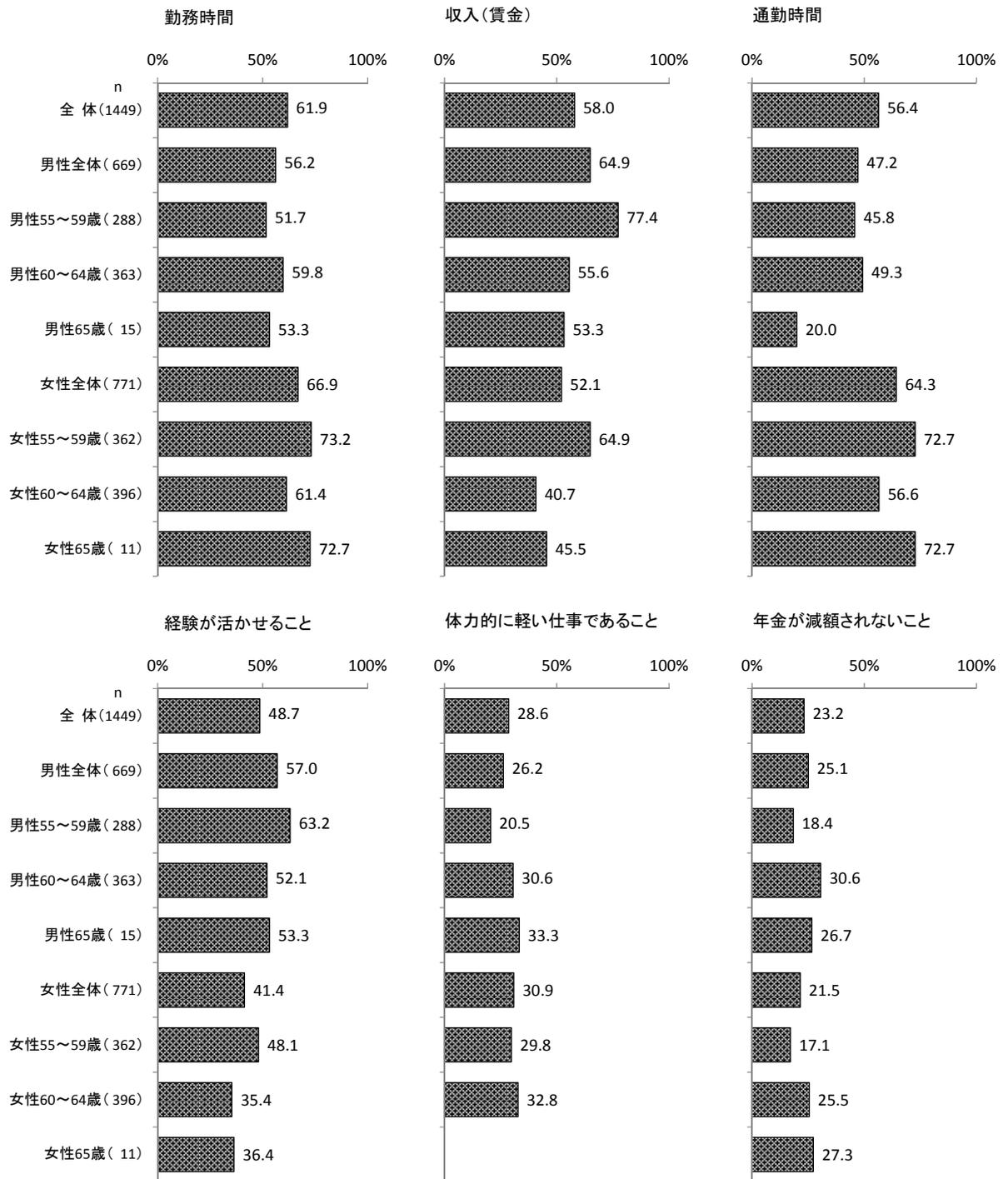
(あてはまるもの全てに○)

図表2-13 仕事を選ぶ際に重視する条件



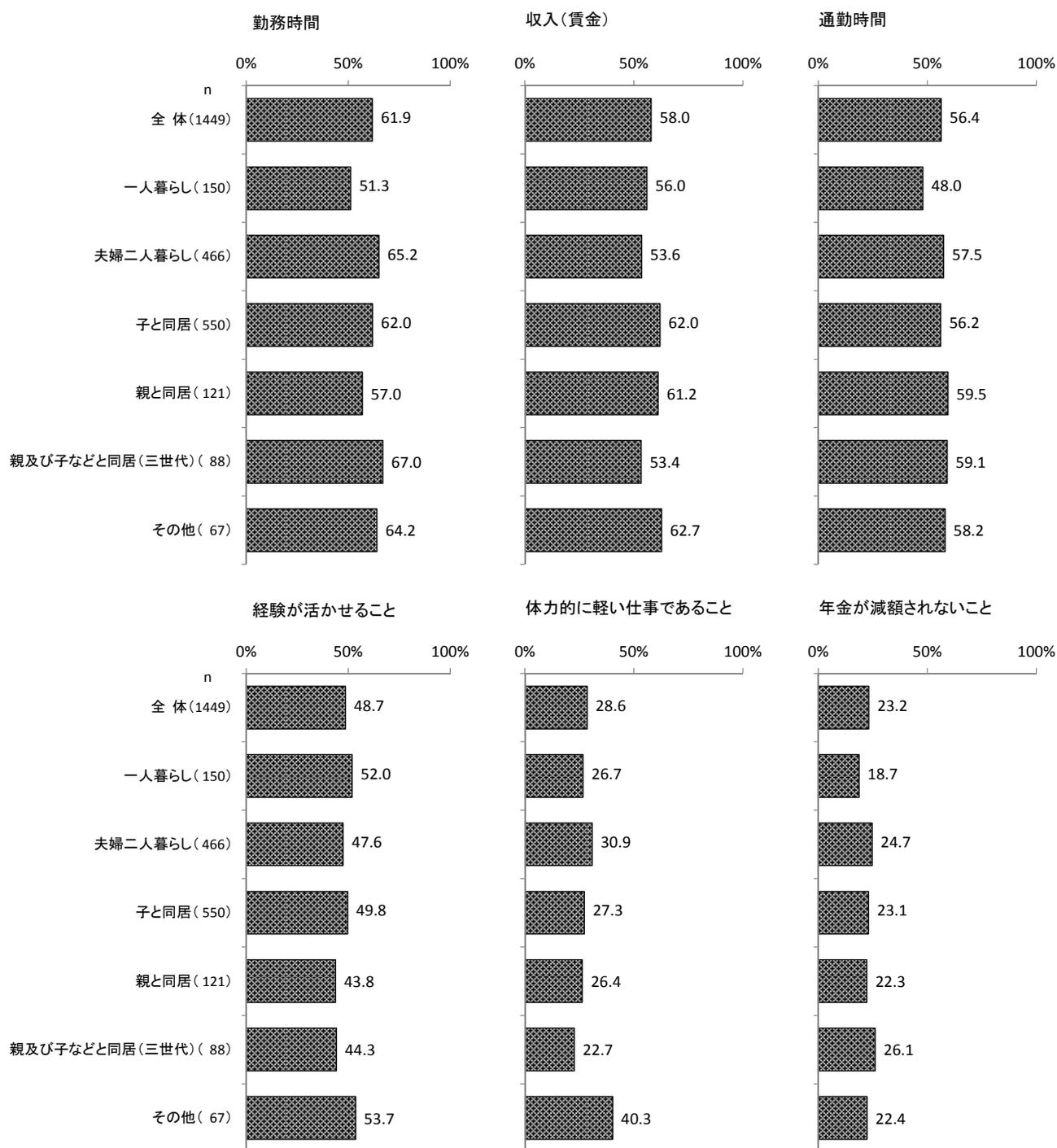
仕事を選ぶ際に重視する条件は、「勤務時間」が61.9%と最も多く、次いで、「収入(賃金)」(58.0%)、「通勤時間」(56.4%)と続いている。

図表 2-13-1 仕事を選ぶ際に重視する条件【性別・年代別】(上位6つ)



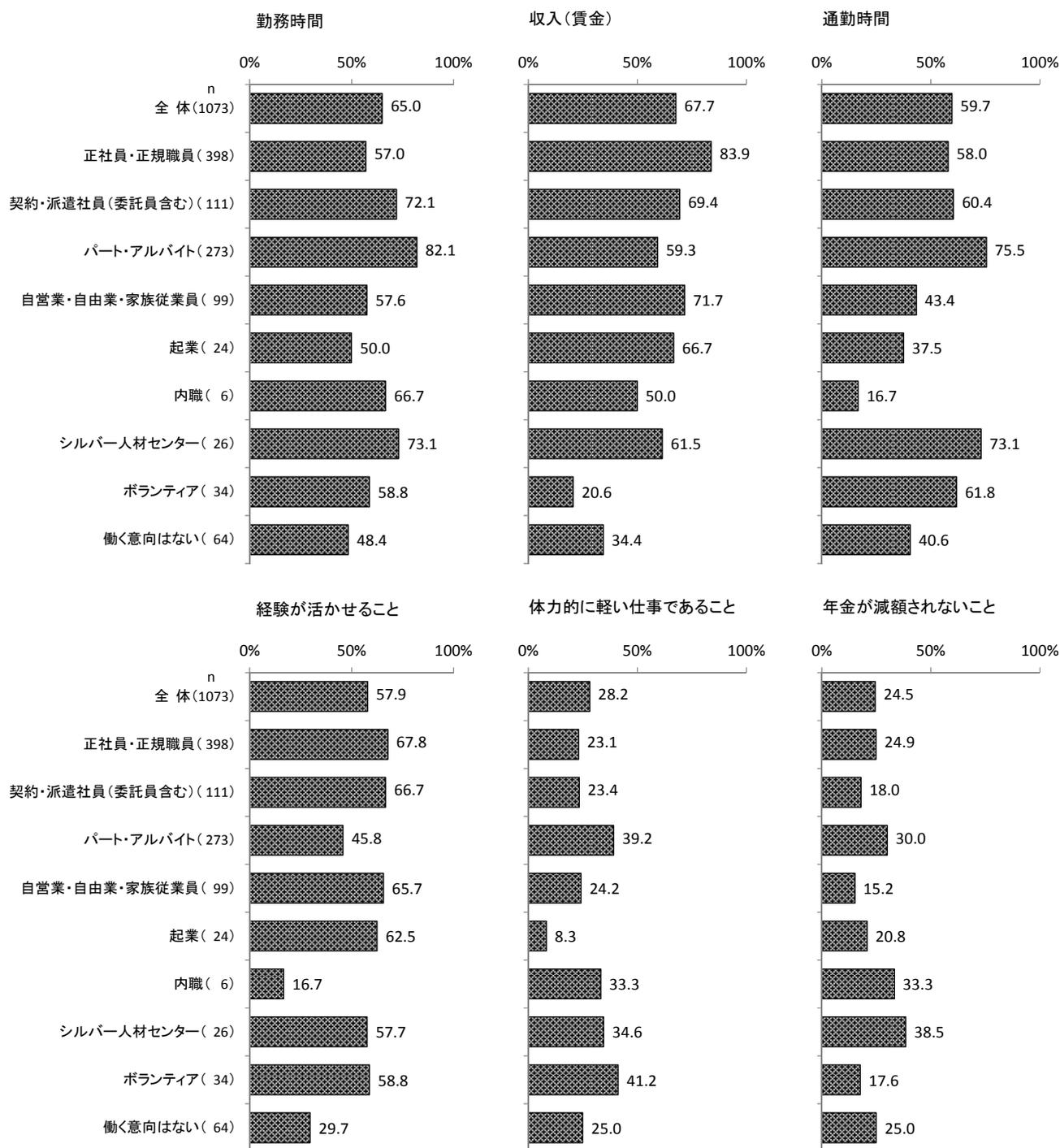
性別・年代別で見ると、男性は女性よりも「収入(賃金)」「経験が活かせること」が多く、女性は男性よりも「勤務時間」「通勤時間」を重視する傾向がある。

図表 2-13-2 仕事を選ぶ際に重視する条件【世帯状況別】(上位6つ)



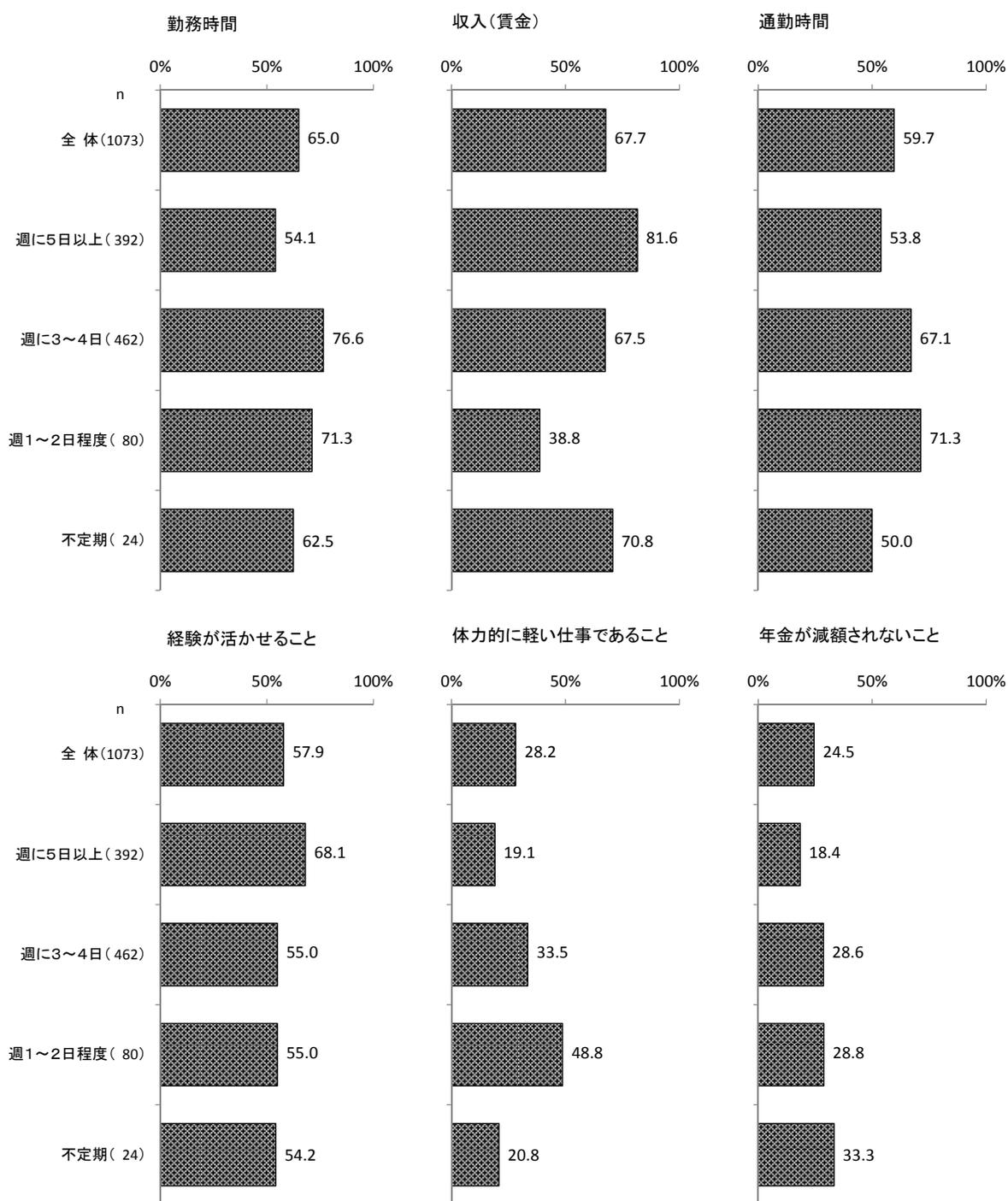
世帯状況別でみると、『一人暮らし』は「収入(賃金)」が56.0%と多くなっている。『子と同居』は「勤務時間」「収入(賃金)」が62.0%と多くなっている。

図表 2-13-3 仕事を選ぶ際に重視する条件【希望する働き方別】（上位 6 つ）



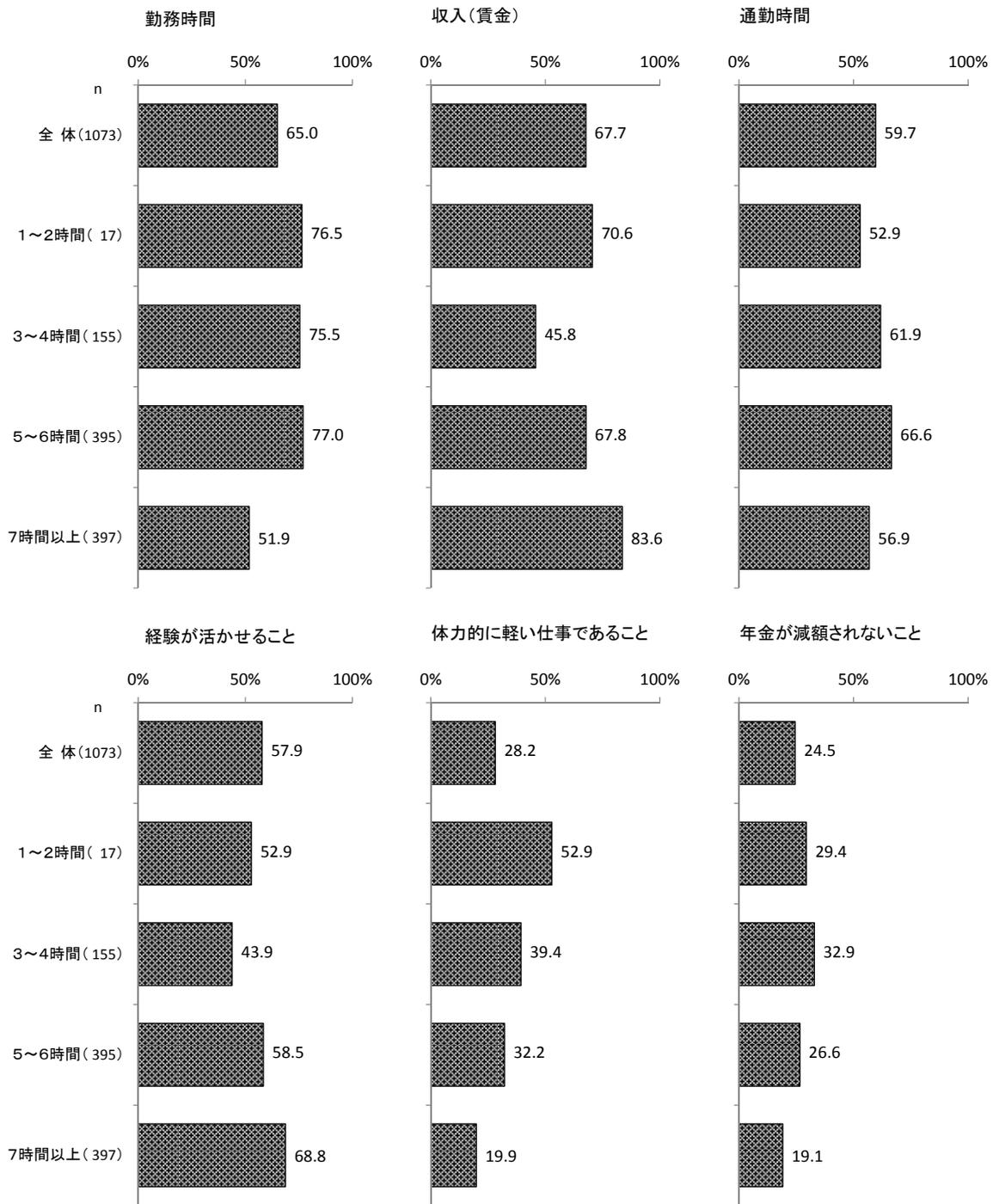
希望する働き方別でみると、『正社員・正規職員』は「収入(賃金)」が 83.9%と多くなっている。『パート・アルバイト』は「勤務時間」「通勤時間」を重視する傾向がある。

図表 2-1 3-4 仕事を選ぶ際に重視する条件【希望勤務頻度別】（上位 6 つ）



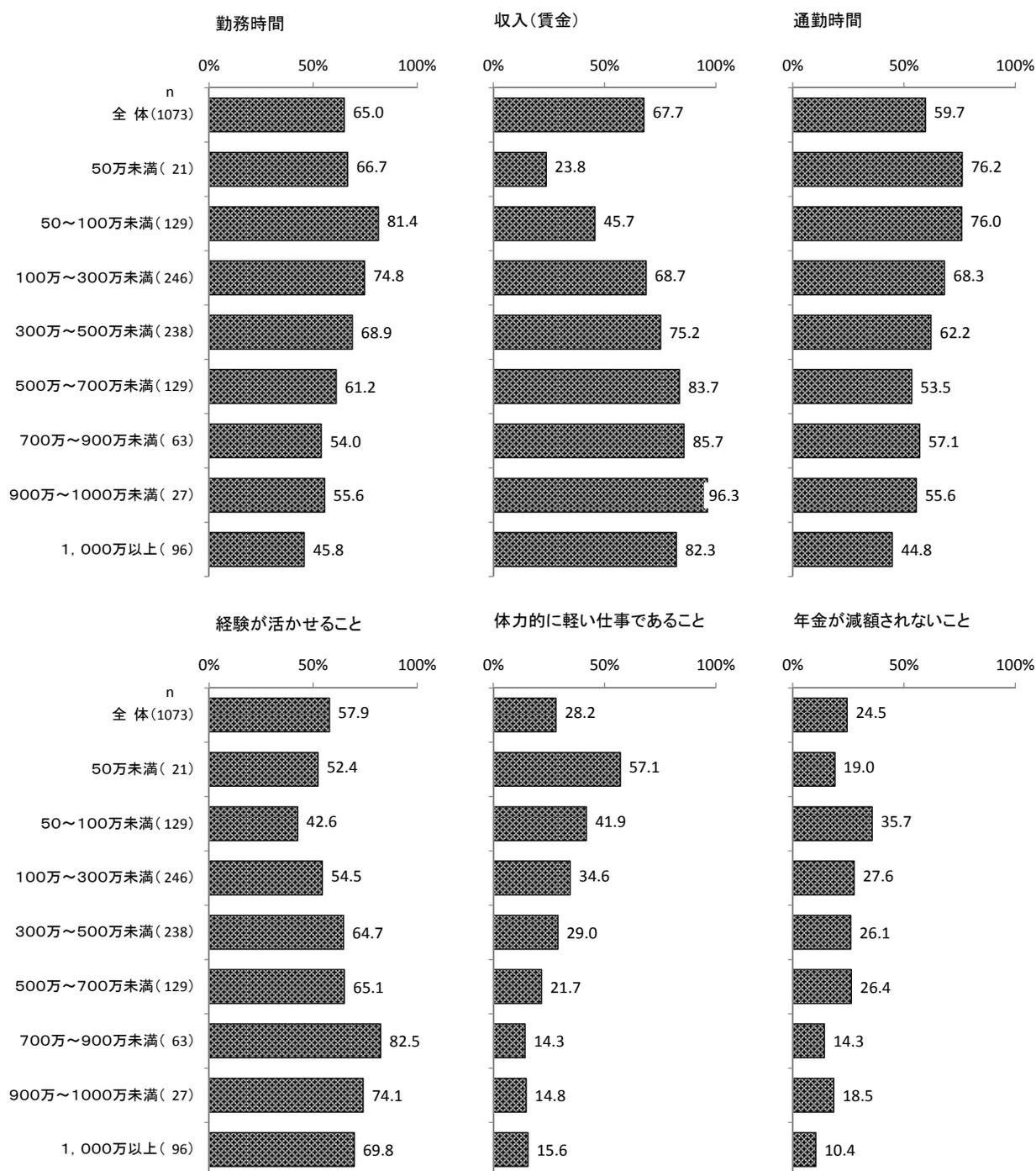
希望勤務頻度別でみると、『週に5日以上』は「収入(賃金)」「経験が活かせること」が多く、『週に3~4日』『週1~2日程度』は「通勤時間」「勤務時間」が多くなっている。

図表2-13-5 仕事を選ぶ際に重視する条件【希望就労時間別】（上位6つ）



希望就労時間別でみると、『7時間以上』は「収入(賃金)」(83.6%)「経験が活かせること」(68.8%)が多くなっている。

図表 2-1 2-6 仕事を選ぶ際に重視する条件【目標年収別】(上位 6 つ)



目標年収別で見ると、目標年収が高い人は「収入(賃金)」を重視し、目標年収が低い人は「体力的に軽い仕事であること」「勤務時間」「通勤時間」を重視する傾向がある。

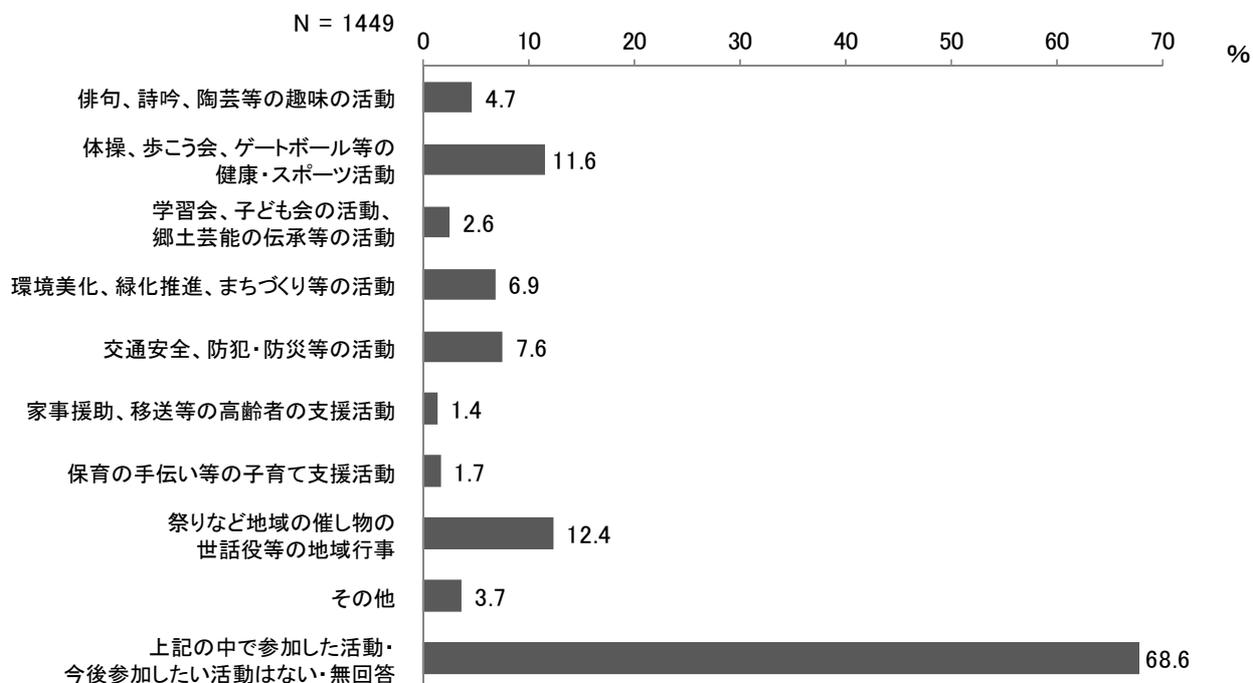
### 3. 地域活動・ボランティアについて

#### (1) 過去1年間に参加したもの

問15. 過去1年間に参加したものについてご回答ください。

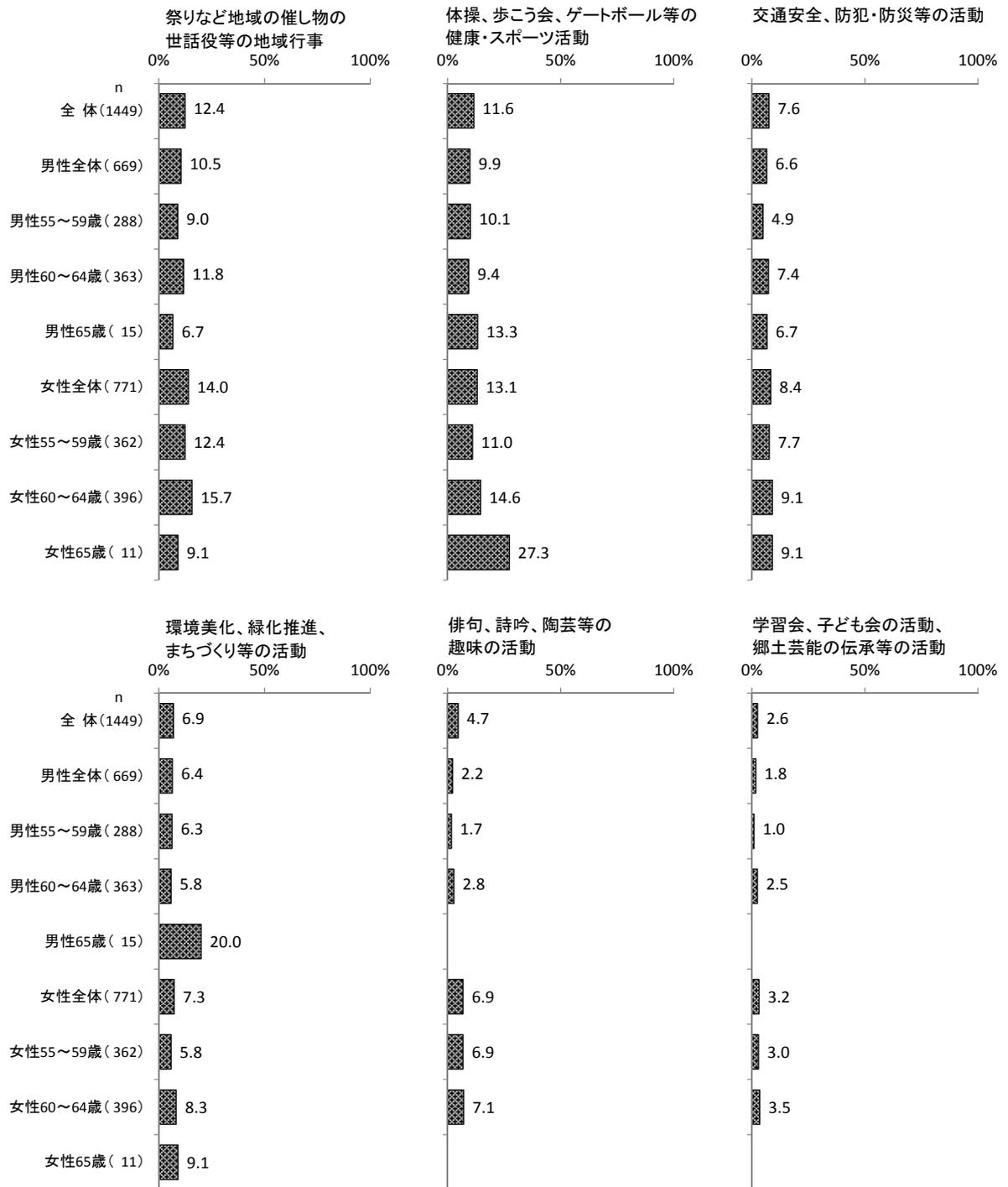
(あてはまるもの全てに○)

図表3-1 過去一年間に参加したもの



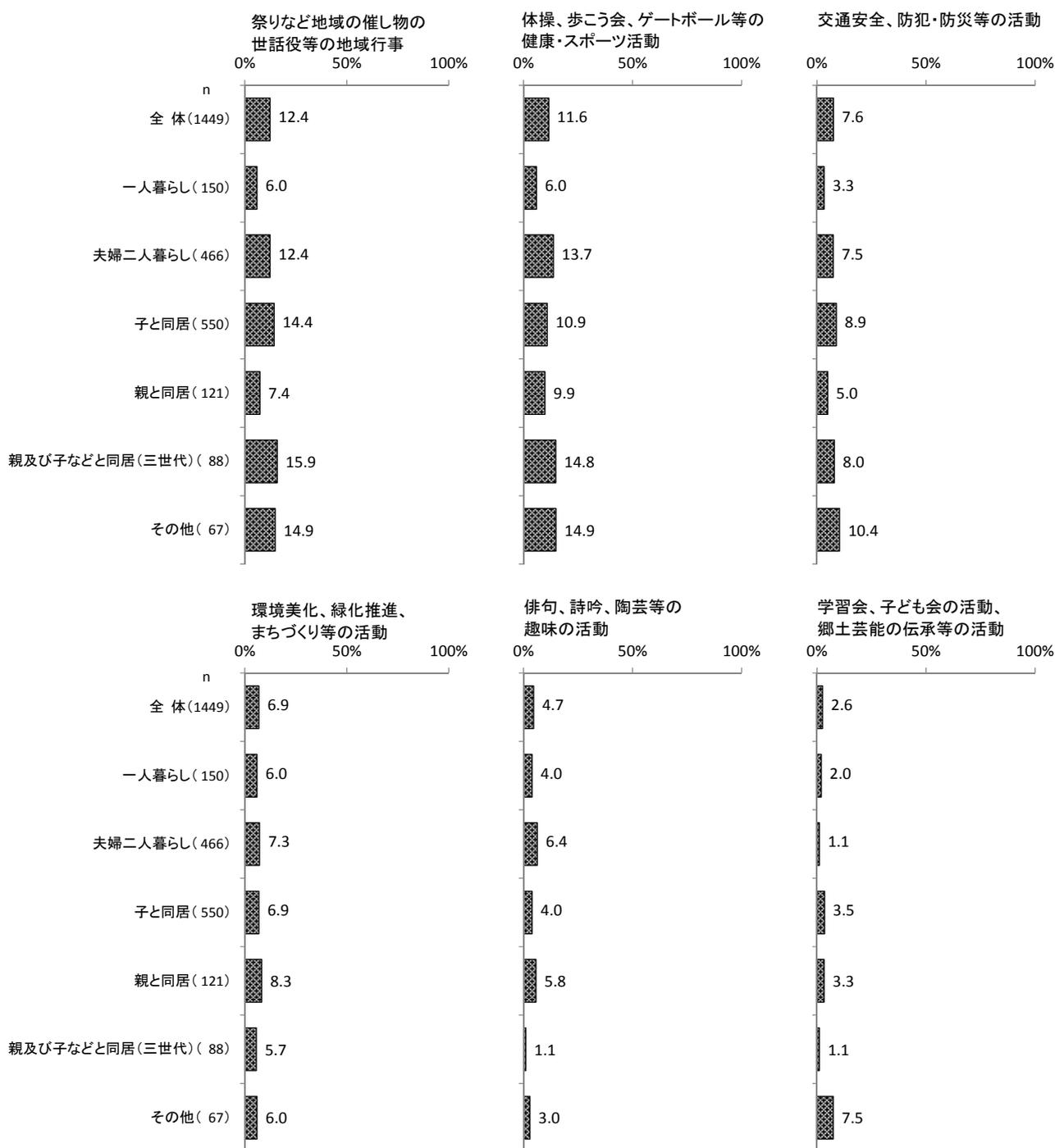
過去一年間に参加したものは、「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」が 12.4%と最も多く、次いで、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」(11.6%)、「交通安全、防犯・防災等の活動」(7.6%)と続いている。

図表 3-1-1 過去一年間に参加したもの【性別・年代別】(上位6つ)



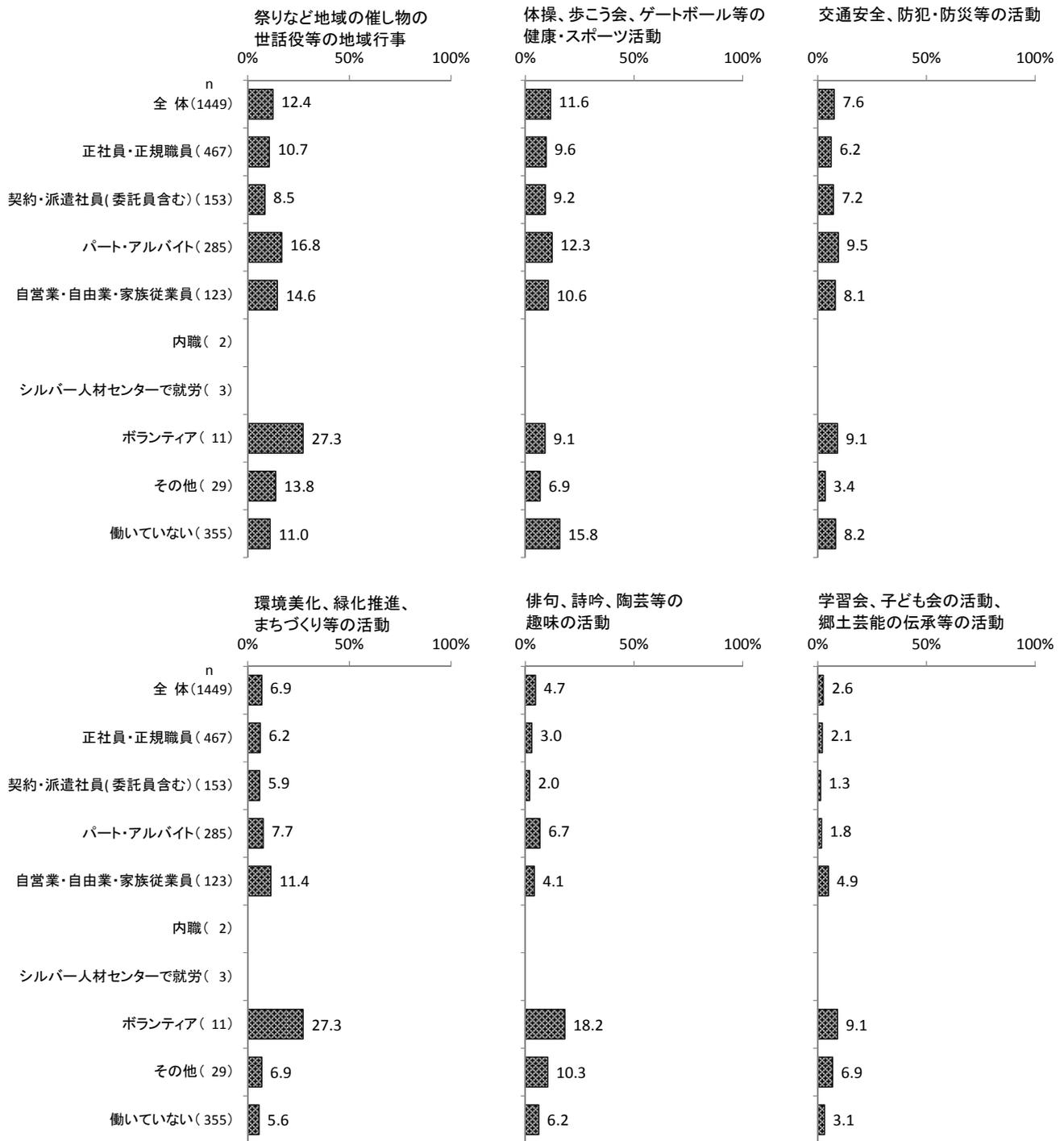
性別・年代別でみると、『女性 65 歳』は「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が 27.3%と最も多くなっており、『男性 65 歳』は「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」が 20.0%と最も多くなっている。

図表3-1-2 過去一年間に参加したもの【世帯状況別】(上位6つ)



世帯状況別でみると、『親及び子などと同居(三世帯)』は「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」(15.9%)「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」(14.8%)が多くなっている。

図表 3-1-3 過去一年間に参加したもの【現在の働き方別】(上位6つ)



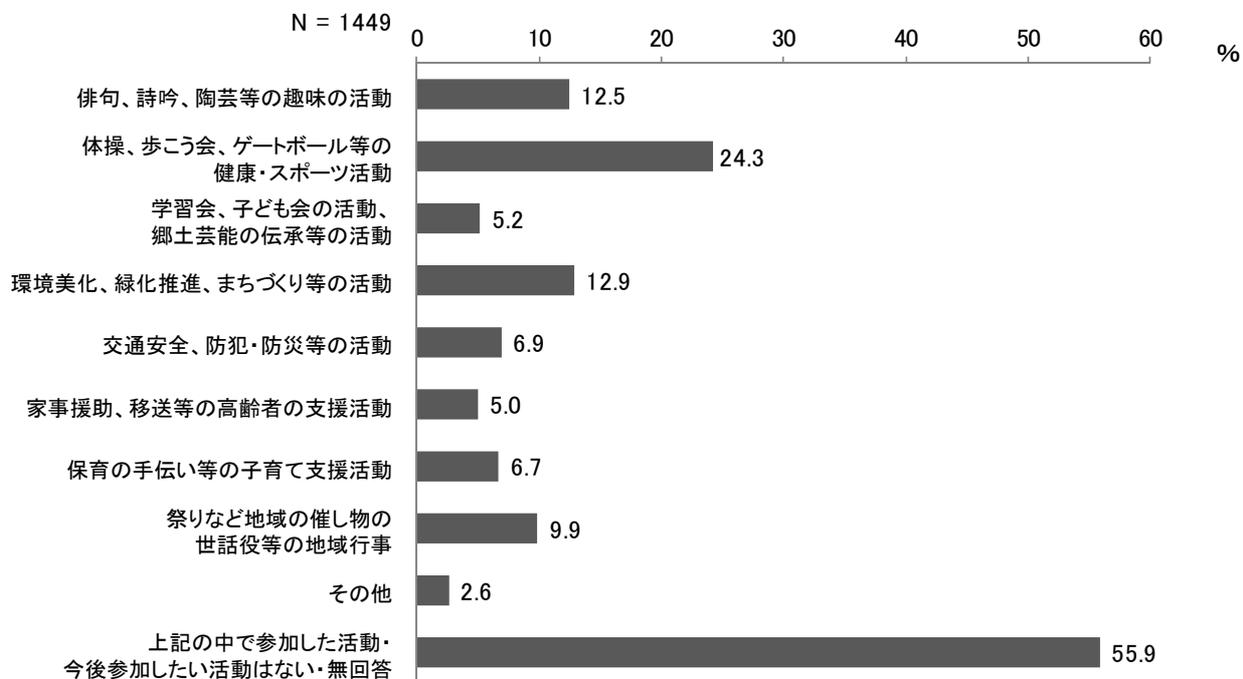
現在の働き方別でみると、『ボランティア』は「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」(27.3%)「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」(27.3%)「俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動」(18.2%)が多くなっている。

(2) 今後参加したいもの

問15. 今後参加したいものについてご回答ください。

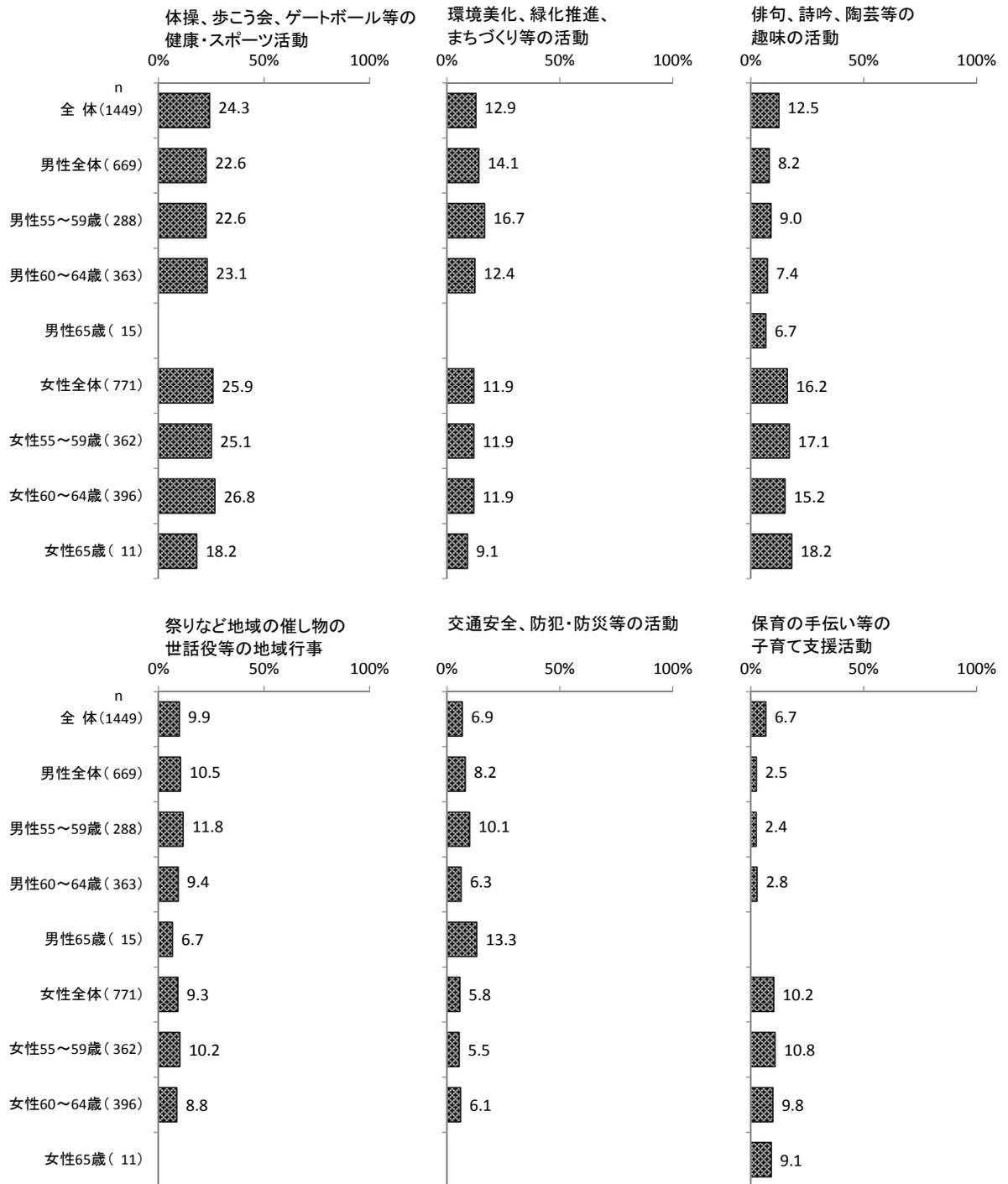
(あてはまるもの全てに○)

図表3-2 今後参加したいもの



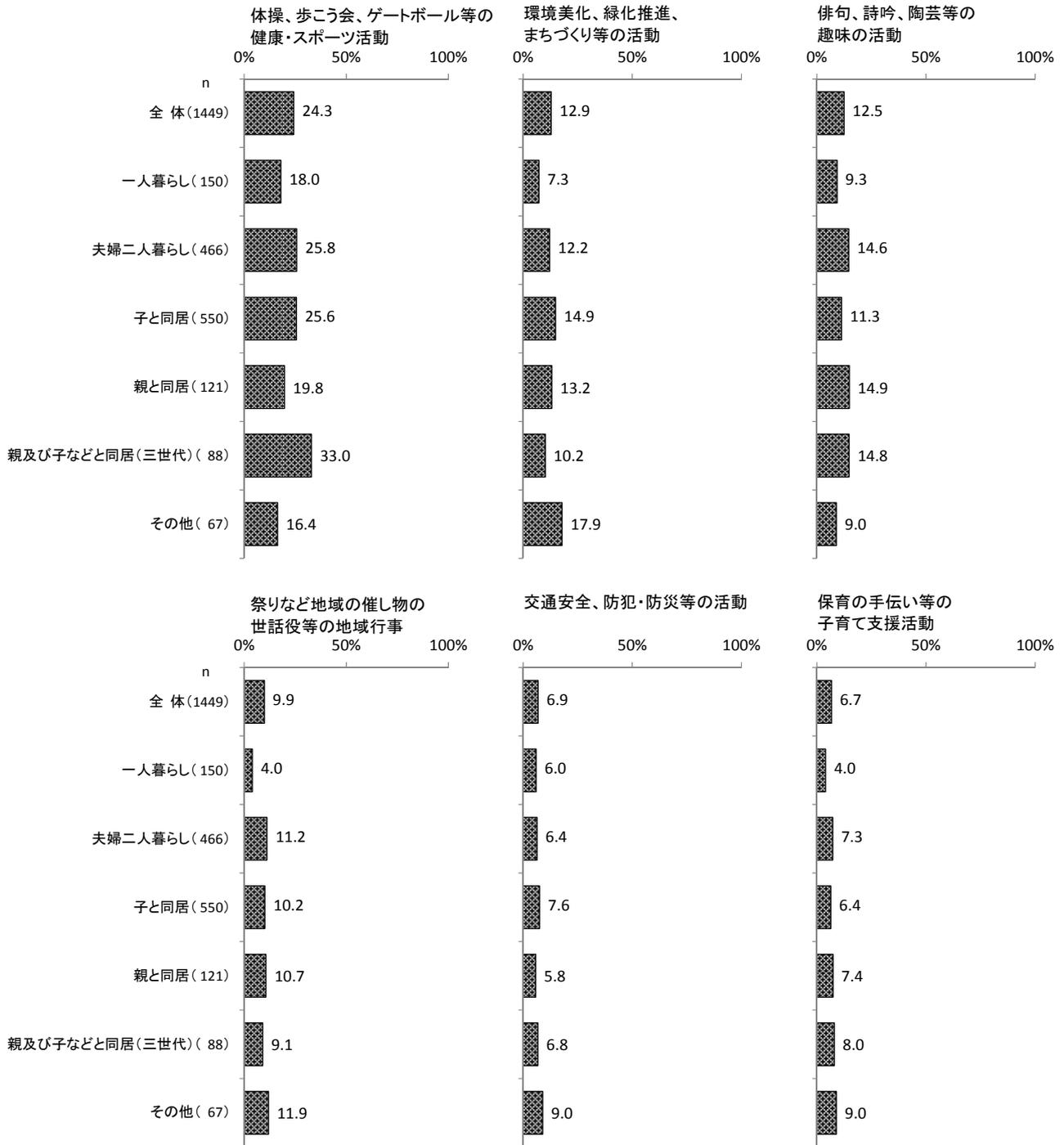
今後参加したいものは、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が24.3%と最も多く、次いで、「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」(12.9%)、「俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動」(12.5%)と続いている。

図表 3-2-1 今後参加したいもの【性別・年代別】(上位6つ)



性別・年代別で見ると、男女ともに「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」は全ての年齢で20%を超えている。「交通安全、防犯・防災等の活動」では『男性65歳』が13.3%で最も多くなっている。女性の全ての年齢で「保育の手伝い等の子育て支援活動」は10%近くになっている。

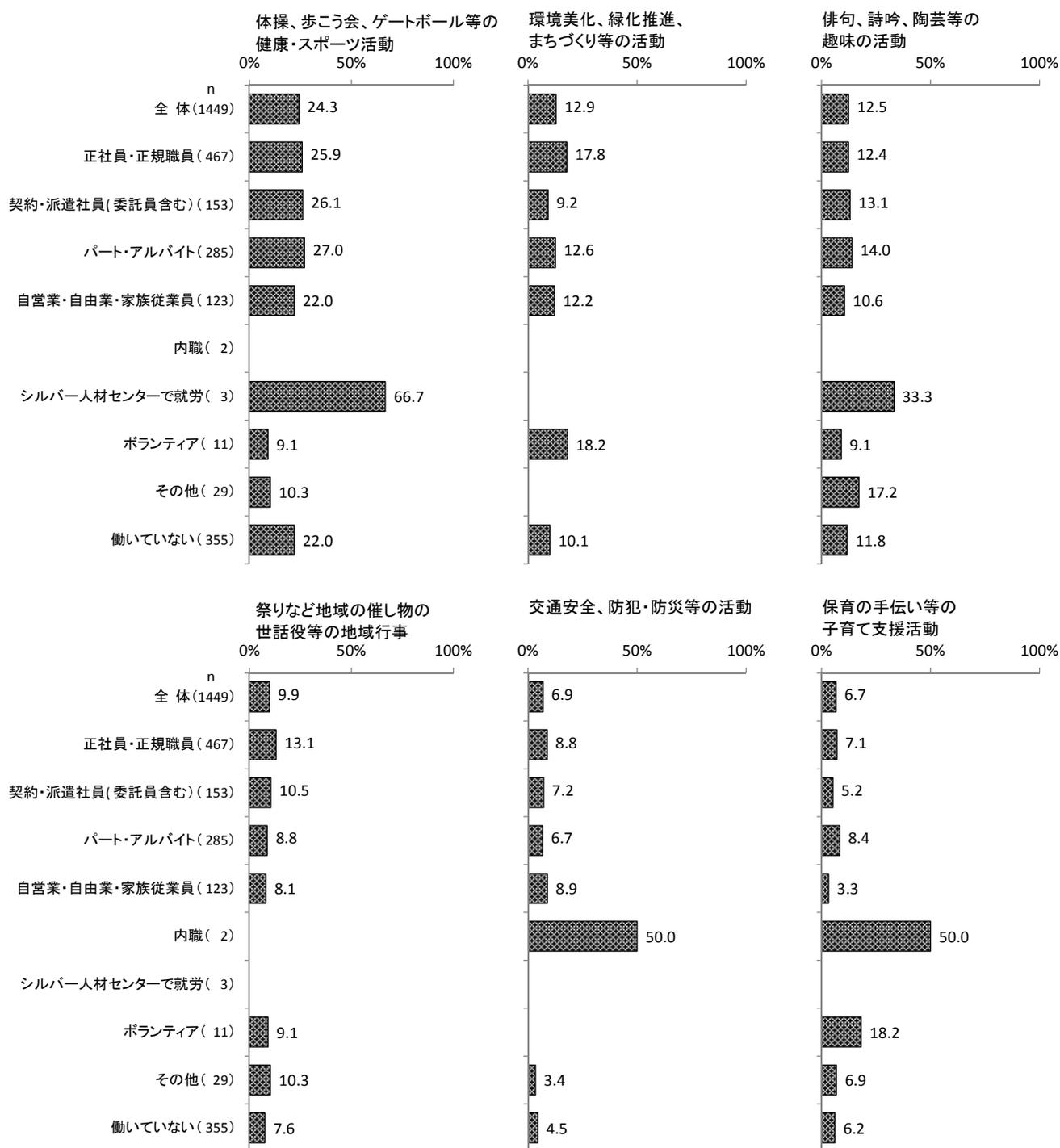
図表3-2-2 今後参加したいもの【世帯状況別】(上位6つ)



世帯状況別でみると、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」は『親及び子などと同居(三世代)』が33.0%と最も多く、次いで、『夫婦二人暮らし』(25.8%)、『子と同居』(25.6%)と続いている。

また、「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」は『夫婦二人暮らし』が11.2%と最も多く、次いで、『親と同居』(10.7%)、『子と同居』(10.2%)と続いている。

図表 3-2-3 今後参加したいもの【現在の働き方別】（上位 6 つ）



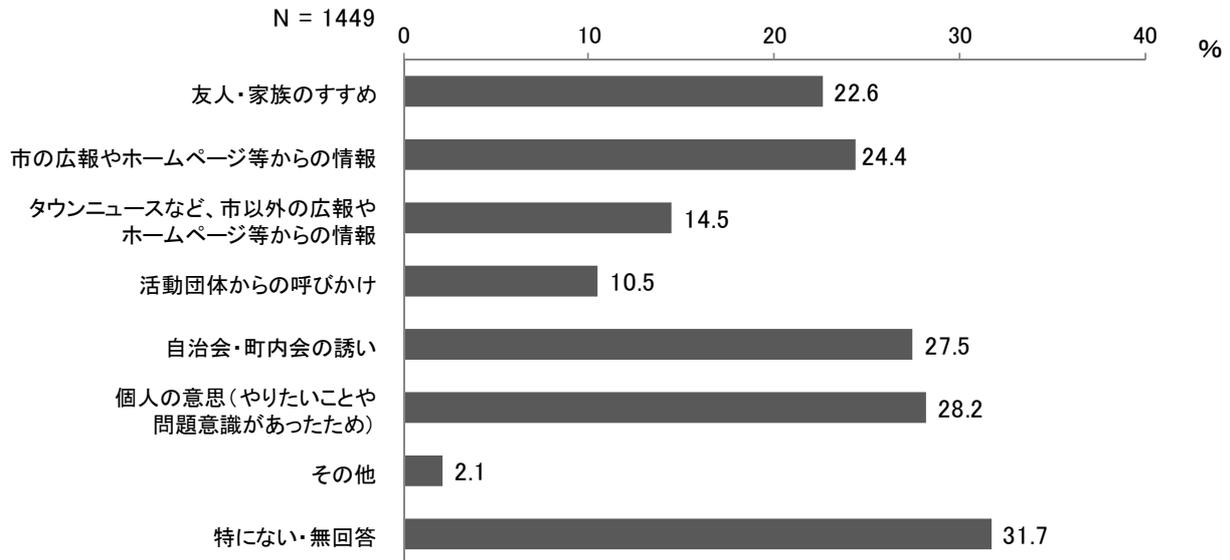
現在の働き方別でみると、「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」では『ボランティア』が 18.2% と最も多く、次いで、『正社員・正規職員』(17.8%)、『パート・アルバイト』(12.6%)と続いている。

(3) 参加するきっかけとなったもの・参加するきっかけになると思うもの

問16. 問15で回答した活動について、参加するきっかけとなったもの、または参加するきっかけになると思うものについて、ご回答ください。(参加した・したい活動はない方は参加のきっかけになるだろうと思われるものをお選びください)

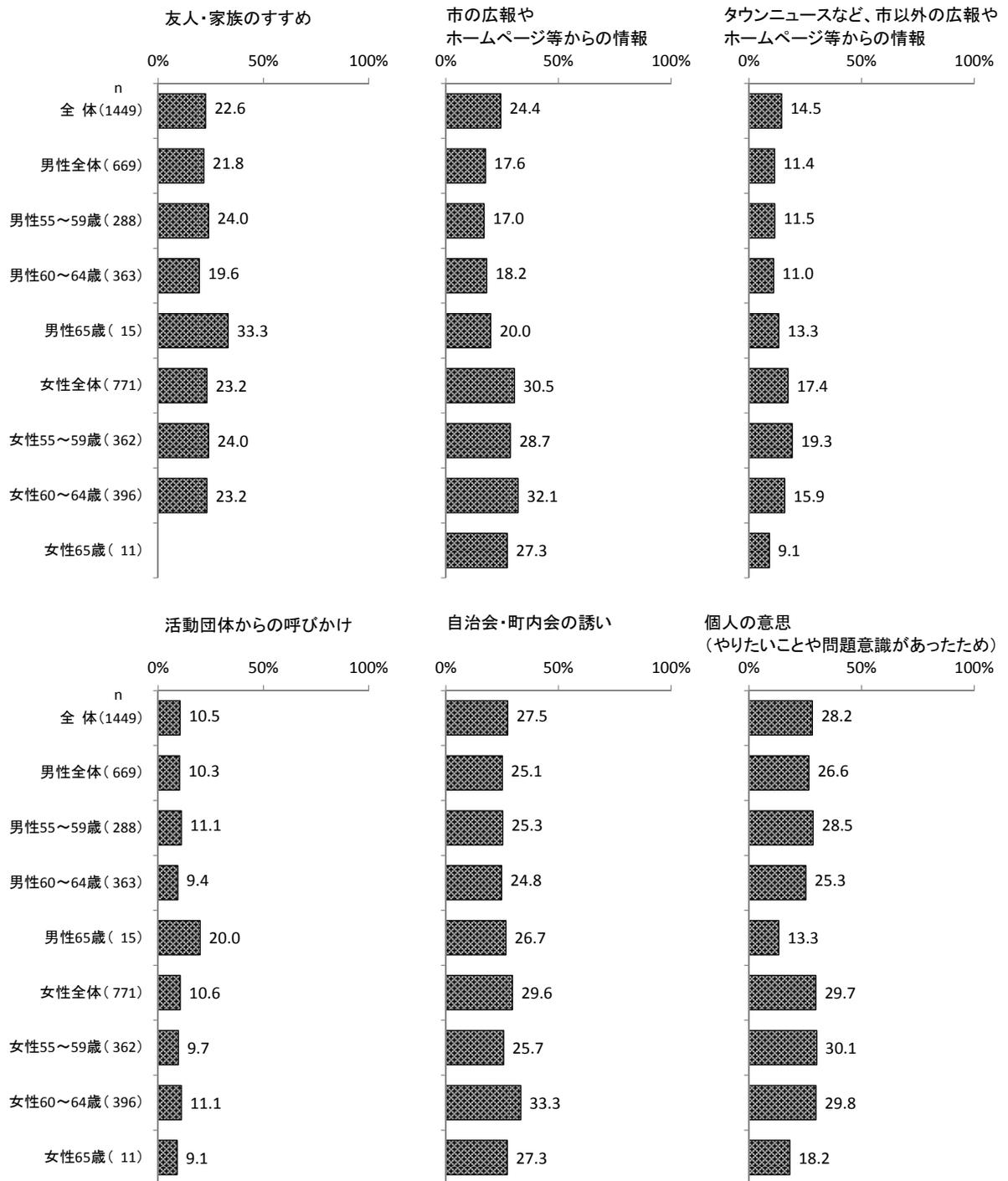
(あてはまるもの全てに○)

図表3-3 参加するきっかけとなったもの・参加するきっかけになると思うもの



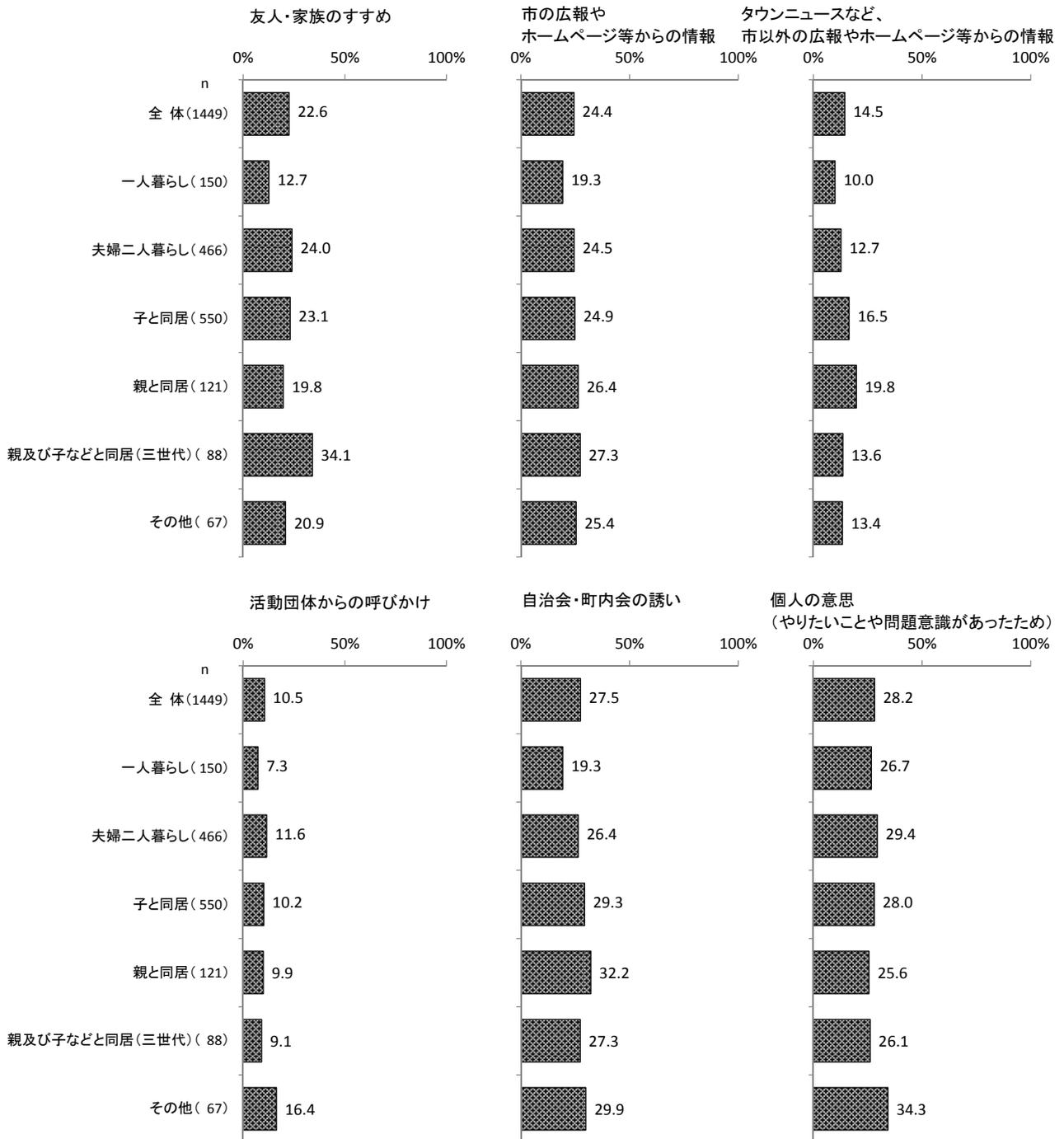
参加するきっかけとなったもの・参加するきっかけになると思うものは、「個人の意思(やりたいことや問題意識があったため)」が28.2%と最も多く、次いで、「自治会・町内会の誘い」(27.5%)、「市の広報やホームページ等からの情報」(24.4%)と続いている。

図表 3-3-1 参加するきっかけとなったもの・参加するきっかけになると思うもの  
【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、「個人の意思（やりたいことや問題意識があったため）」は『男性 65 歳』『女性 65 歳』以外では 20%を超えている。『男性 65 歳』では「友人・家族のすすめ」が 33.3%と最も多くなっている。

図表 3-3-2 参加するきっかけとなったもの・参加するきっかけになると思うもの  
【世帯状況別】

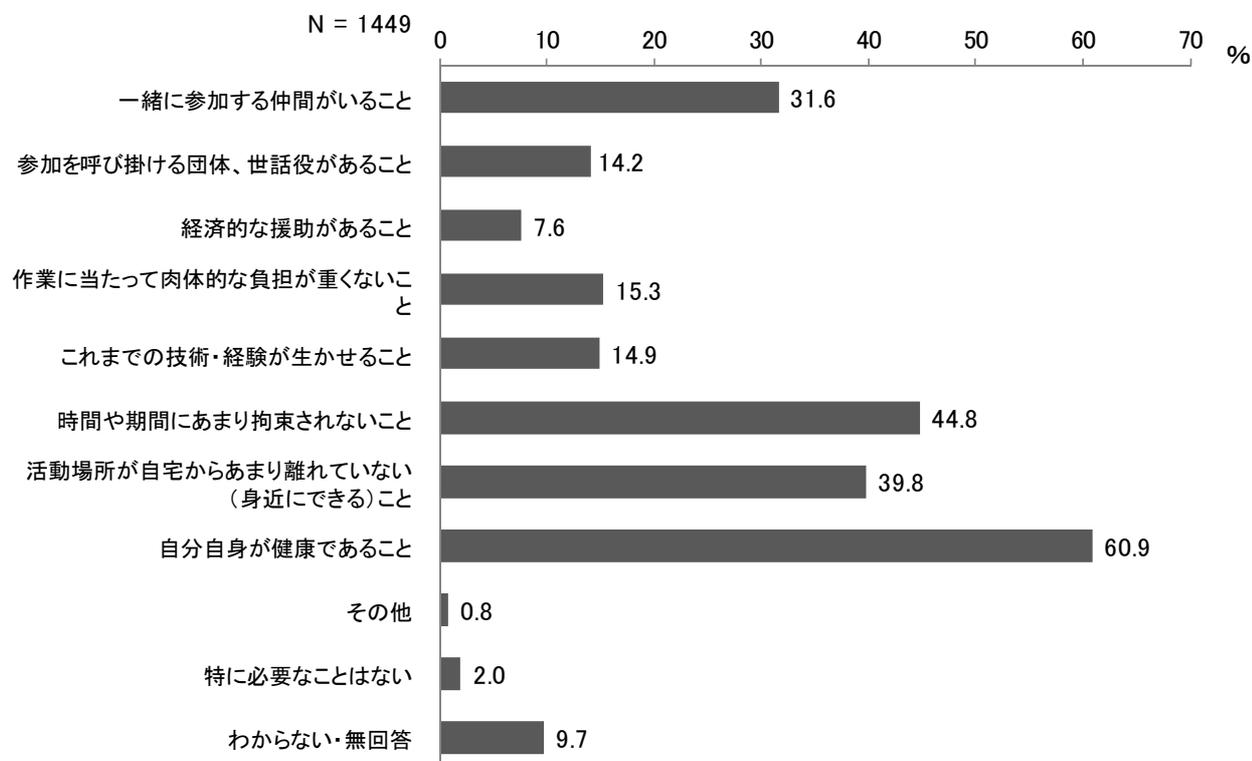


世帯状況別でみると、「友人・家族のすすめ」は『親及び子などと同居 (三世帯)』が 34.1%と最も多く、次いで、『夫婦二人暮らし』(24.0%)、『子と同居』(23.1%)と続いている。

#### (4) 地域活動に参加する上で必要だと思うこと

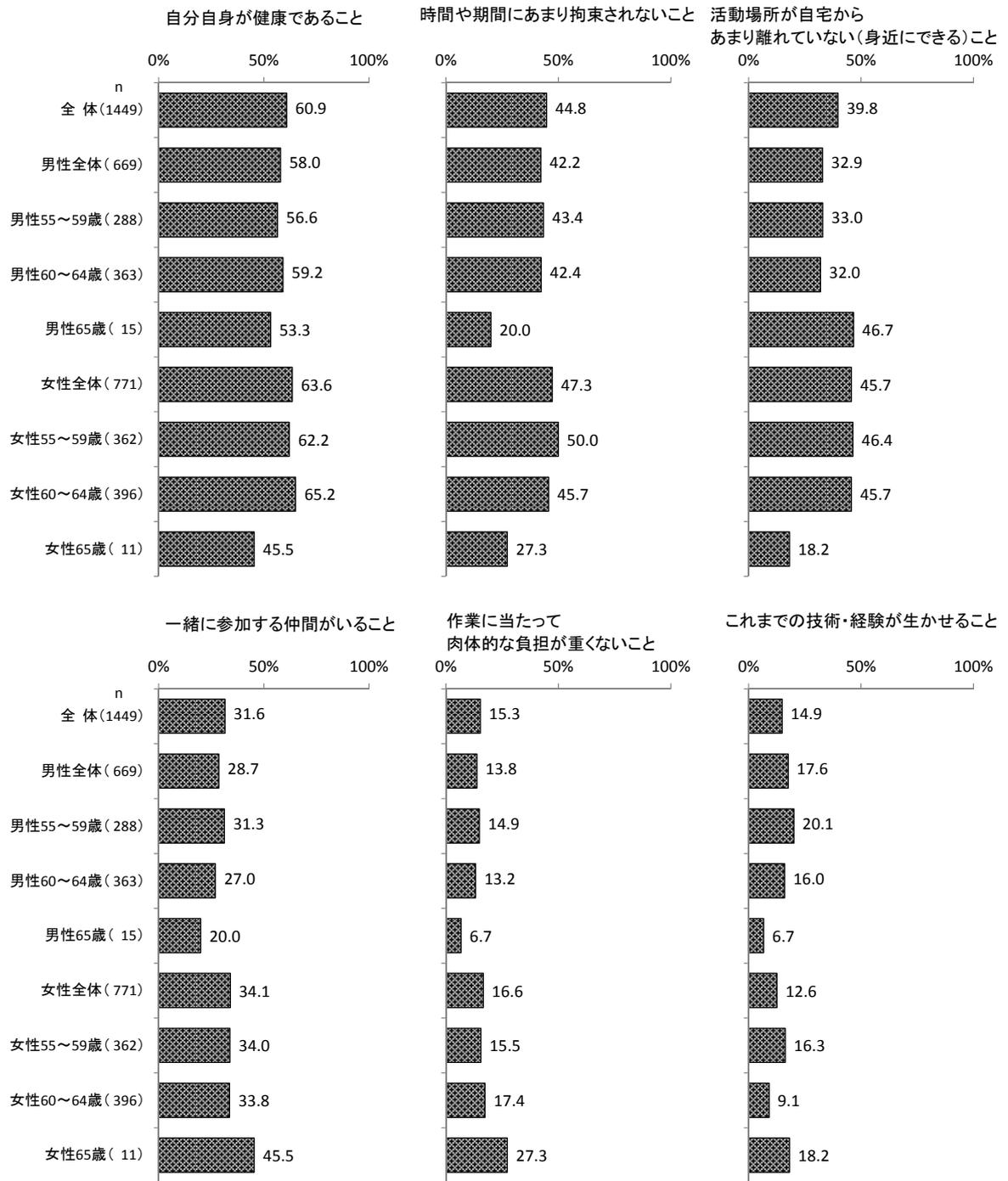
問17. 地域活動に参加する上で必要だと思うことをご回答ください。(最大3つに○)

図表3-4 地域活動に参加する上で必要だと思うこと



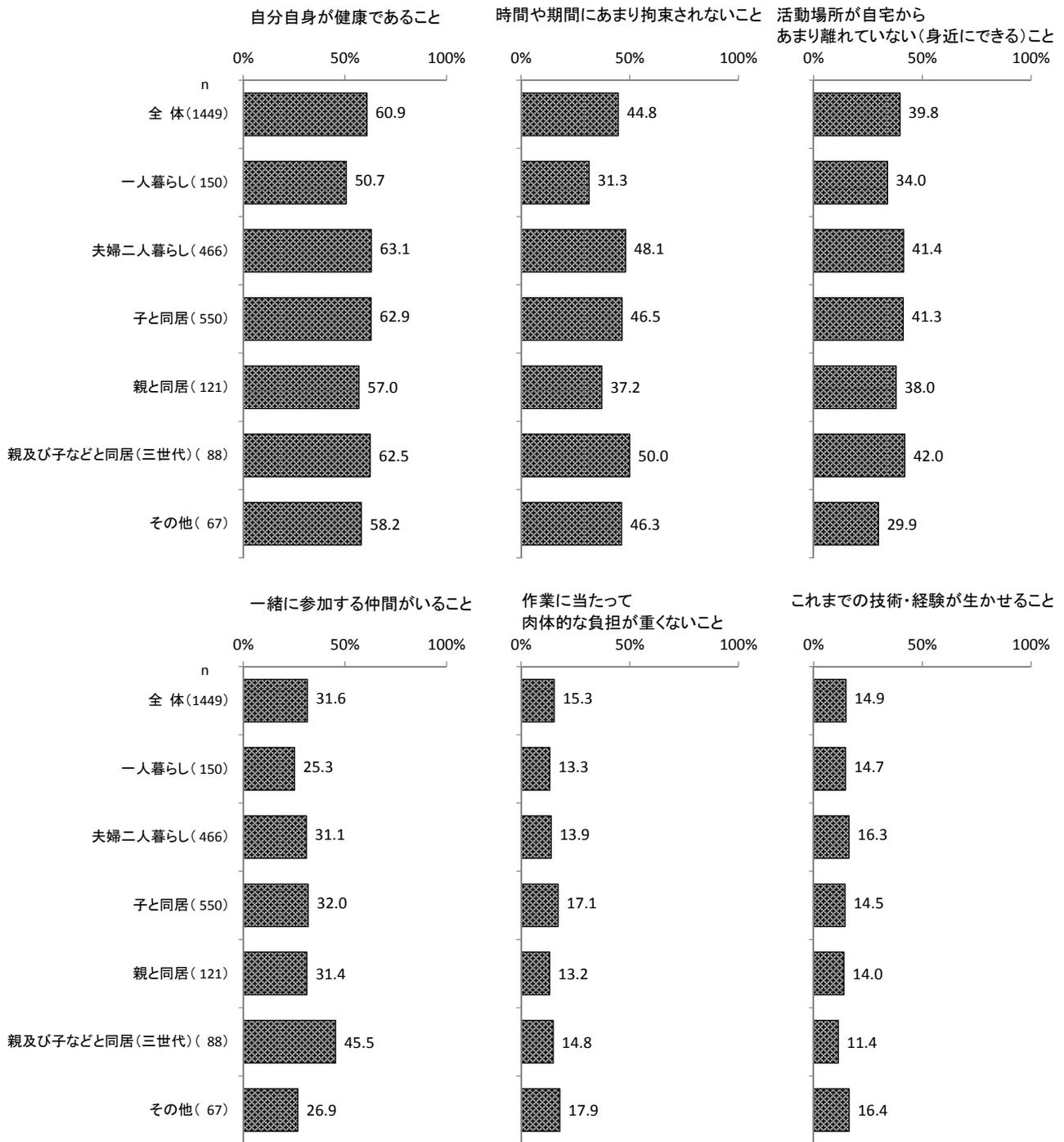
地域活動に参加する上で必要だと思うことは、「自分自身が健康であること」が60.9%と最も多く、次いで、「時間や期間にあまり拘束されないこと」(44.8%)と続いている。

図表 3-4-1 地域活動に参加する上で必要だと思うこと【性別・年代別】(上位6つ)



性別・年代別でみると、「自分自身が健康であること」は全ての年齢で 40%を越えている。「時間や期間にあまり拘束されないこと」は男女ともに 65 歳が少なく、それ以外は 40%を越えている。

図表 3-4-2 地域活動に参加する上で必要だと思うこと【世帯状況別】(上位6つ)



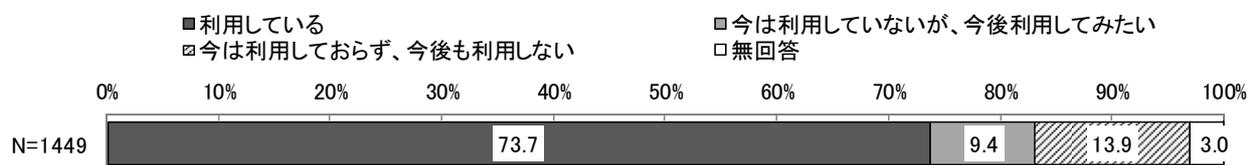
世帯状況別でみると、「自分自身が健康であること」は全ての世帯状況で 50%を超えている。『親及び子などと同居 (三世帯)』は「時間や期間にあまり拘束されないこと」(50.0%)「活動場所が自宅からあまり離れていない(身近にできる)こと」(42.0%)「一緒に参加する仲間がいること」(45.5%)で最も多くなっている。

#### 4. インターネットについて

##### (1) インターネットの利用について

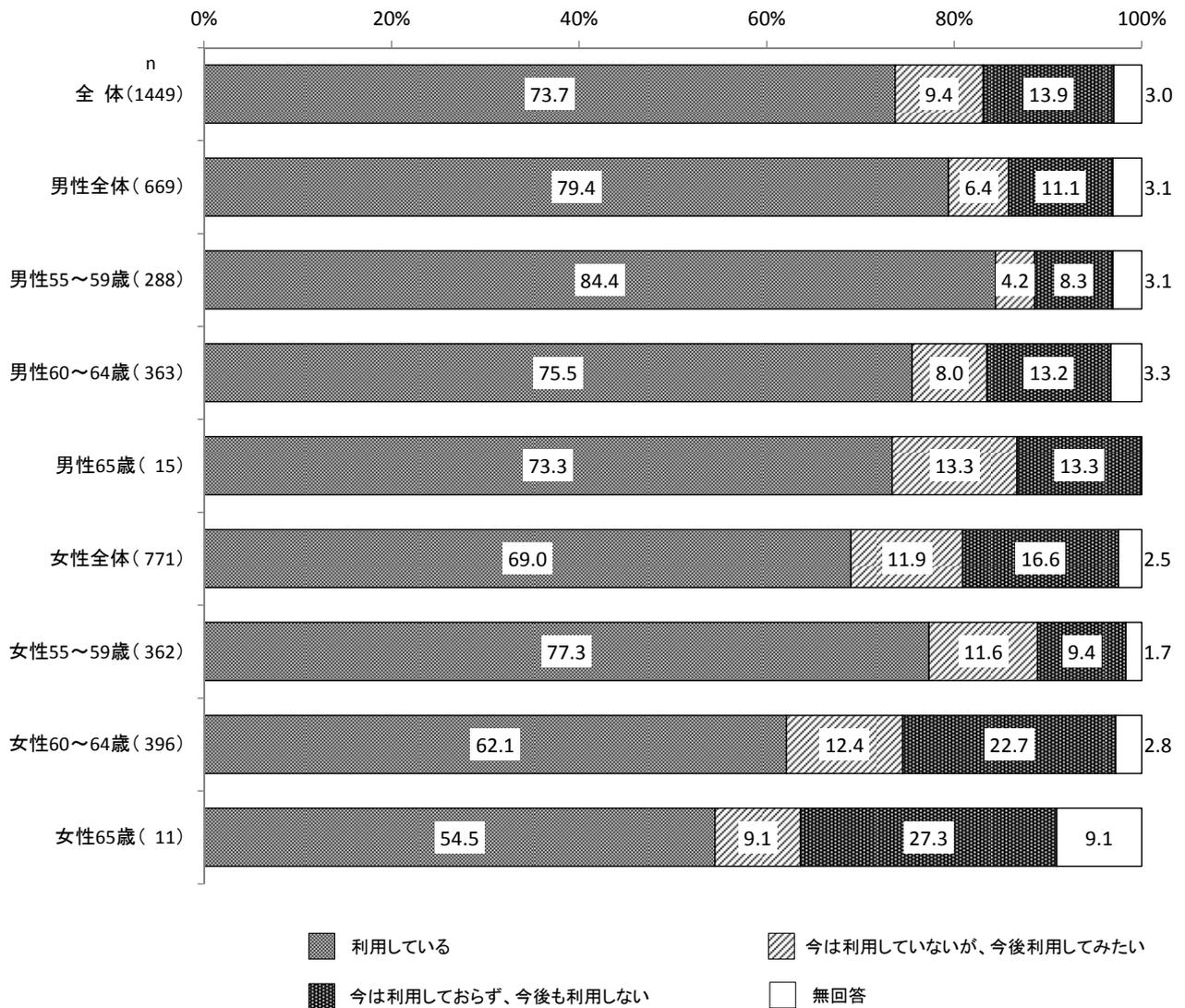
問18. インターネットの利用についてご回答ください。(1つに○)

図表4-1 インターネットの利用について



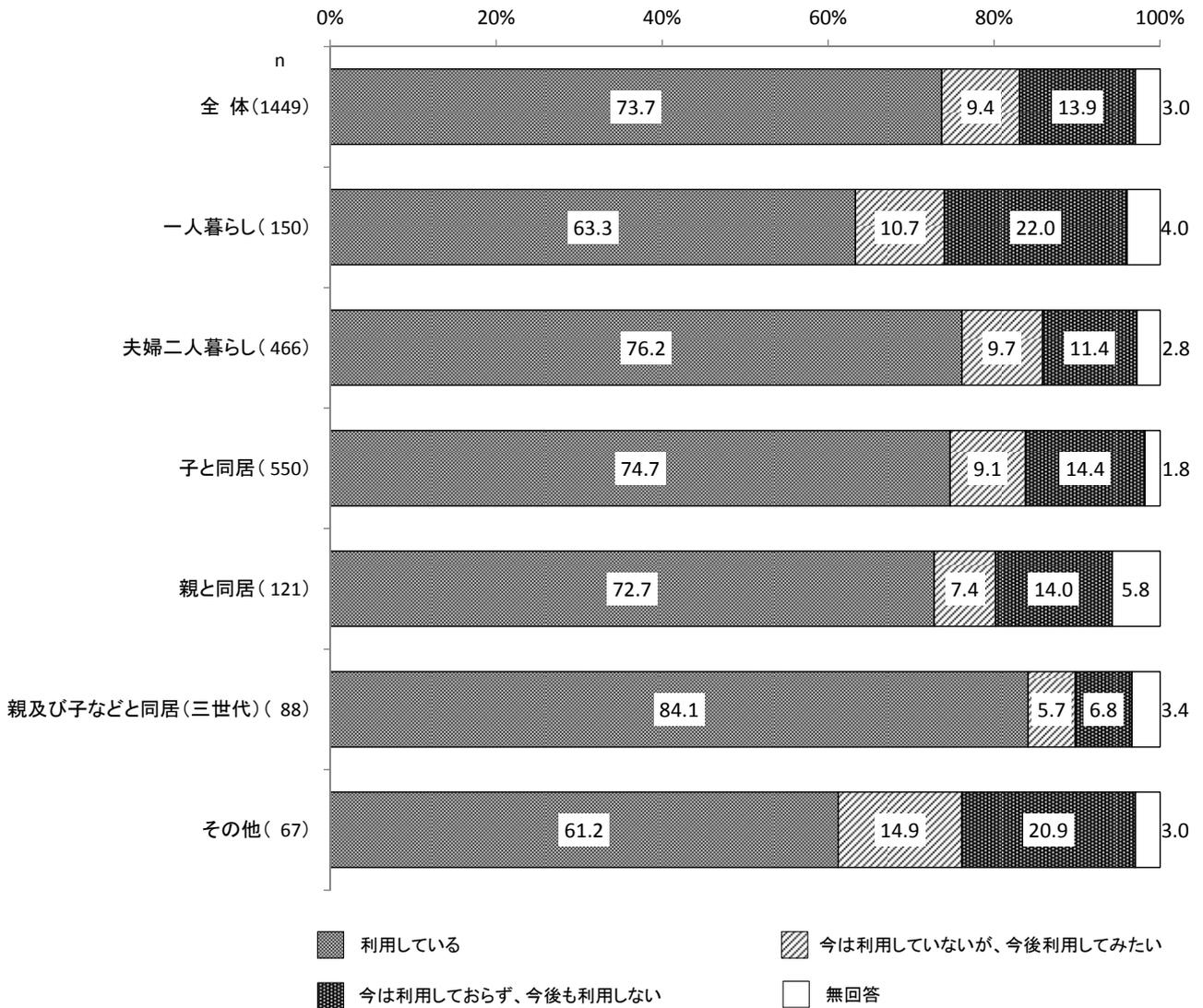
インターネットの利用については、「利用している」が73.7%、「今は利用しておらず、今後も利用しない」が13.9%、「今は利用していないが、今後利用してみたい」が9.4%となっている。

図表 4-1-1 インターネットの利用について【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「利用している」は全ての年齢で 50%を越えていて、最も多い『男性 55～59 歳』では 84.4%、次いで、『女性 55～59 歳』(77.3%)、『男性 60～64 歳』(75.5%)と続いている。「今は利用しておらず、今後も利用しない」は『女性 65 歳』が 27.3%と最も多く、次いで、『女性 60～64 歳』(22.7%)、『男性 65 歳』(13.3%)と続いている。

図表 4-1-2 インターネットの利用について【世帯状況別】



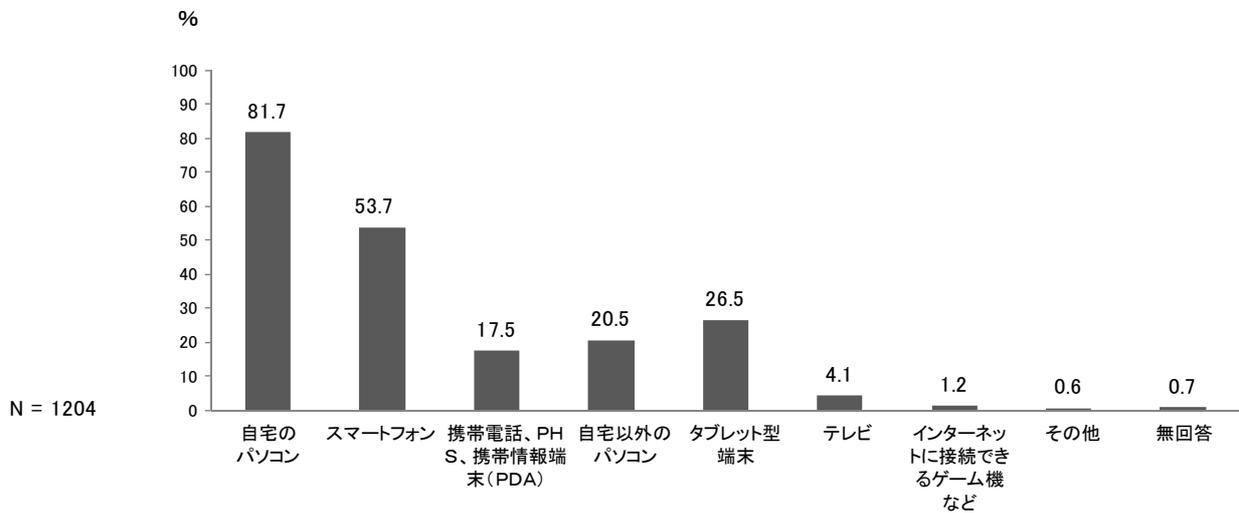
世帯状況別でみると、全ての世帯状況で「利用している」が60%を超えている。『親及び子などと同居(三世帯)』が84.1%と最も多く、次いで、『夫婦二人暮らし』(76.2%)、『子と同居』(74.7%)と続いている。「今は利用しておらず、今後も利用しない」は『一人暮らし』が22.0%で最も多くなっている。

(2) インターネットを利用する機器

問19. どのような機器でインターネットを利用しますか(したいと思いますか)。

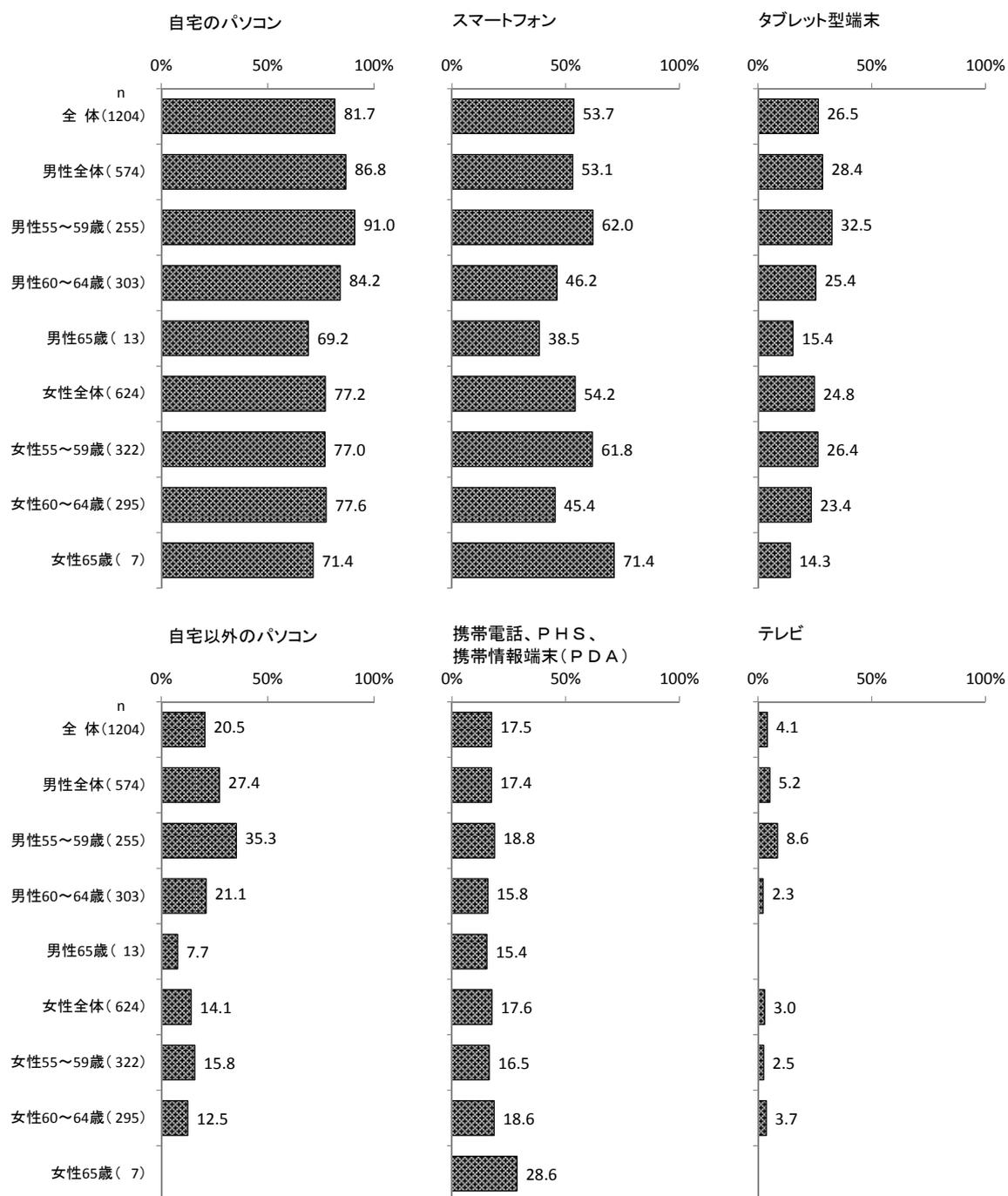
(あてはまるもの全てに○)

図表4-2 インターネットを利用する機器



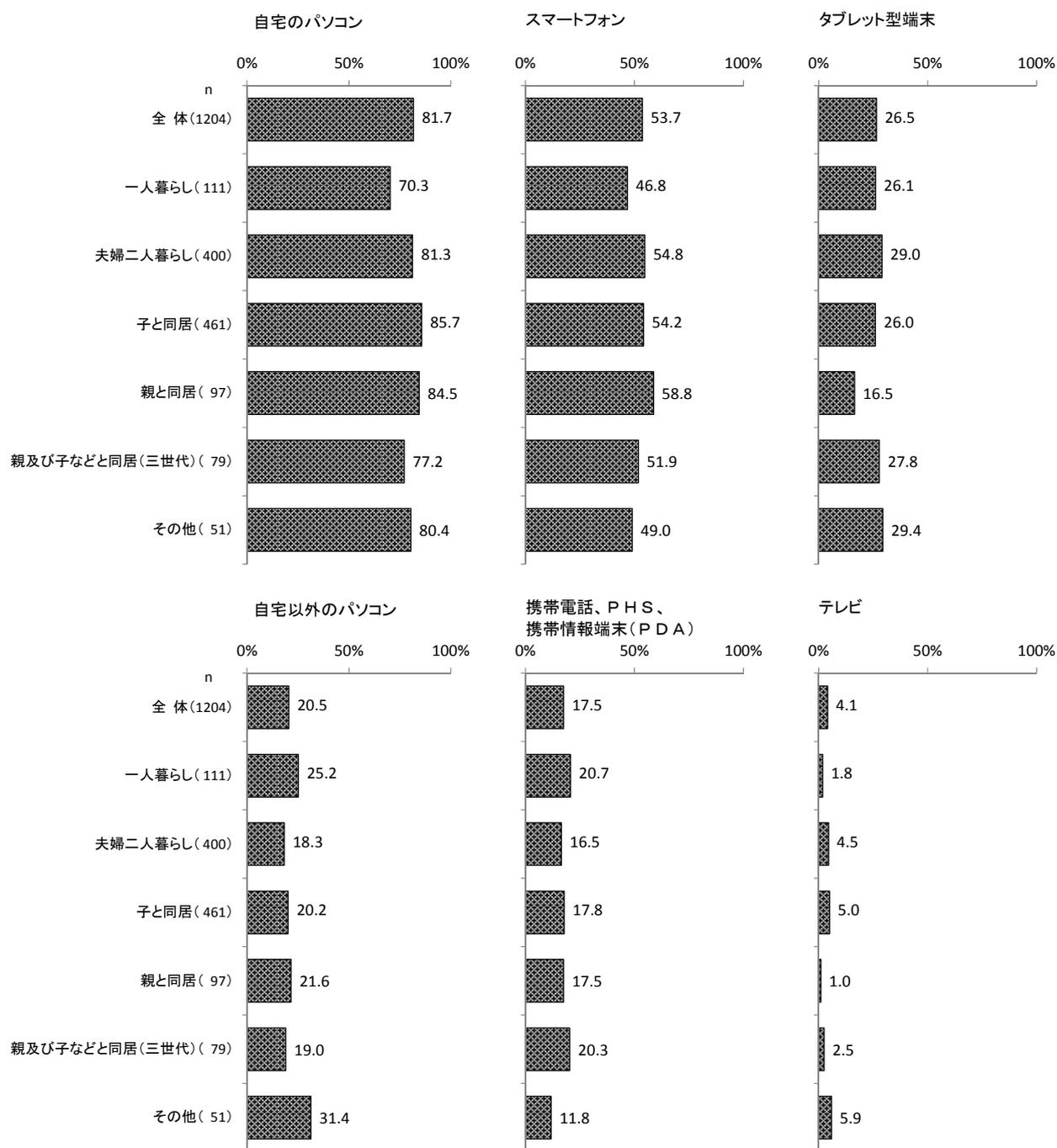
インターネットを利用する機器は、「自宅のパソコン」が81.7%と最も多く、次いで、「スマートフォン」(53.7%)、「タブレット型端末」(26.5%)と続いている。

図表 4-2-1 インターネットを利用する機器【性別・年代別】(上位 6 つ)



性別・年代別でみると、「自宅のパソコン」は全ての年齢で60%を越えていて、特に『男性55~59歳』では91.0%と非常に多くなっている。「携帯電話、PHS、携帯情報端末(PDA)」は『女性65歳』が28.6%と最も多くなっている。

図表 4-2-2 インターネットを利用する機器【世帯状況別】（上位 6 つ）



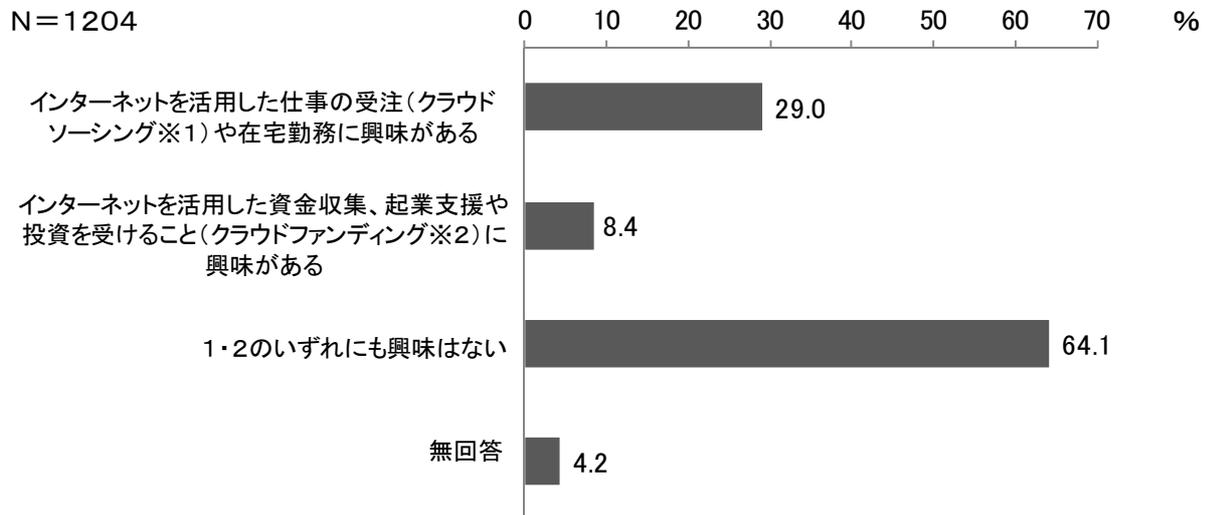
世帯状況別でみると、「自宅のパソコン」は『子と同居』が 85.7%と最も多く、次いで、『親と同居』(84.5%)、『夫婦二人暮らし』(81.3%)となっている。「自宅以外のパソコン」は『一人暮らし』が 25.2%と最も多くなっている。

(3) インターネットを利用した就労等への関心

問20. インターネットを活用した就労等への関心についてご回答ください。

(あてはまるもの全てに○)

図表4-3 インターネットを利用した就労等への関心

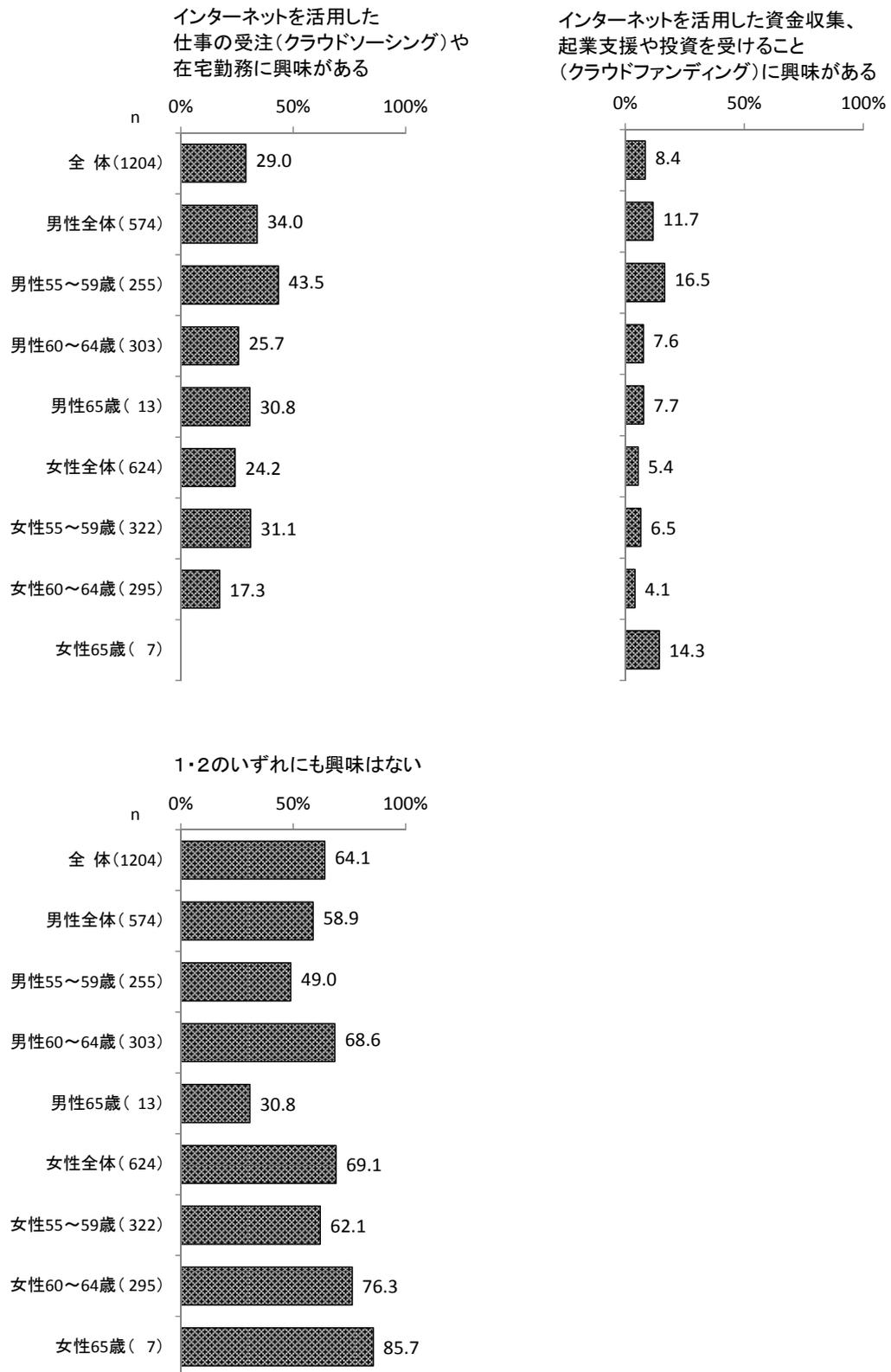


インターネットを利用した就労等への関心は、「インターネットを活用した仕事の受注（クラウドソーシング）や在宅勤務に興味がある」が29.0%、「インターネットを活用した資金収集、起業支援や投資を受けること（クラウドファンディング）に興味がある」が8.4%、「どちらにも興味がない」が64.1%となっている。

※1クラウドソーシングとは、企業等が発注したい業務の内容をインターネット上で告知し、受注者側が業務内容や収入等の条件を見ながら、受注したい業務に応募する仕組み。

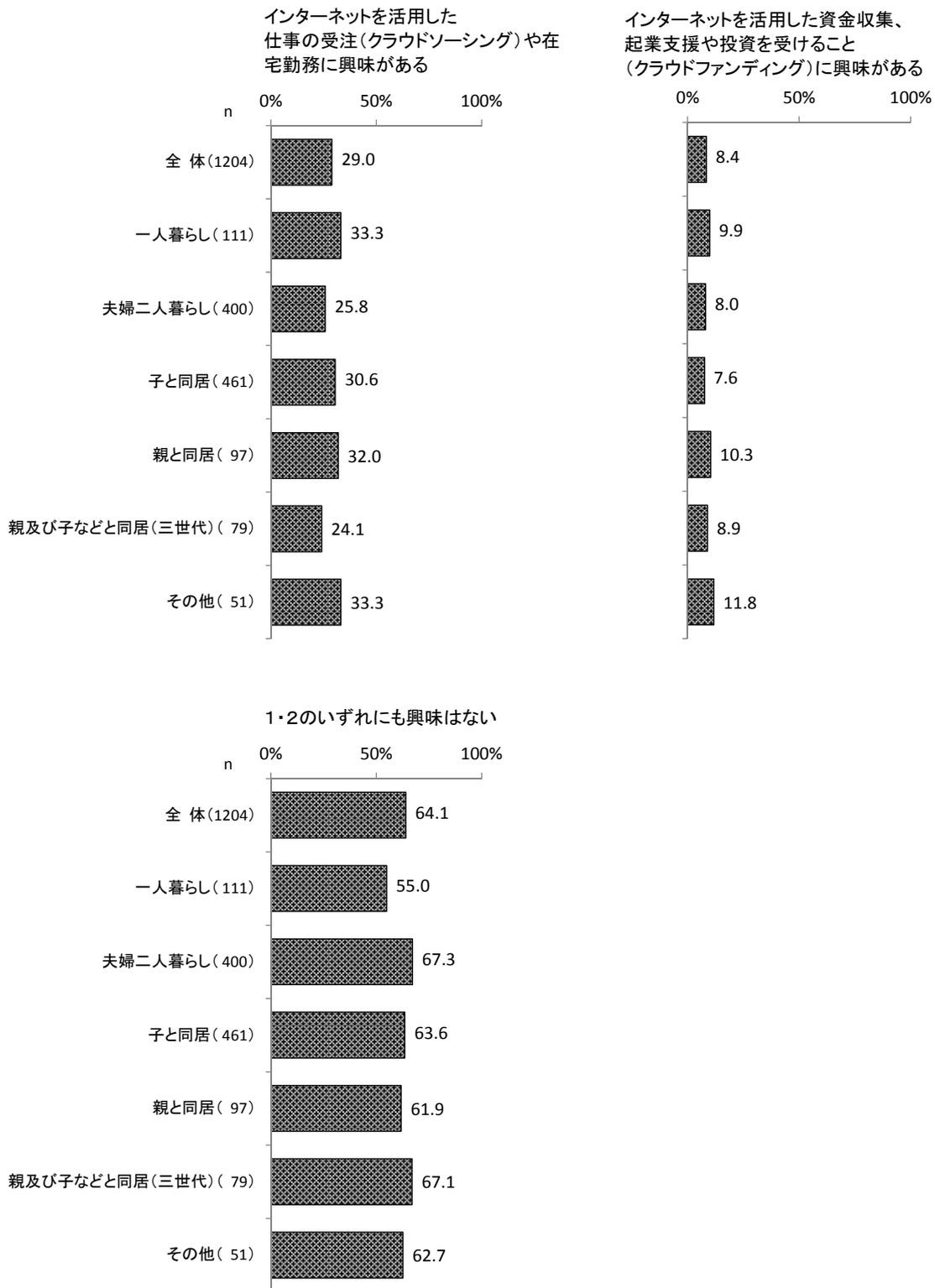
※2クラウドファンディングとは、起業や、製品・サービスの開発趣旨等をインターネット上に掲載し、それに賛同する一般の人々から出資を受ける仕組み。

図表 4-3-1 インターネットを利用した就労等への関心【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「インターネットを活用した仕事の受注（クラウドソーシング）や在宅勤務に興味がある」は男女ともに 55～59 歳で最も多くなっている。「1・2のいずれにも興味はない」は『女性 65 歳代』が 85.7%と最も多く、『男性 65 歳』が 30.8%と最も少なくなっている。

図表 4-3-2 インターネットを利用した就労等への関心【世帯状況別】



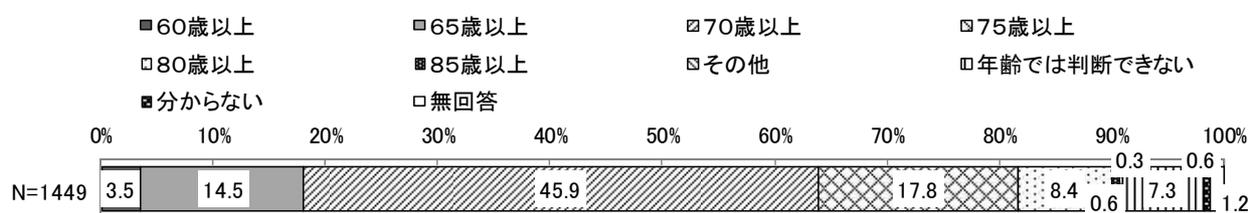
世帯状況別でみると、「インターネットを活用した仕事の受注（クラウドソーシング）や在宅勤務に興味がある」は『一人暮らし』が 33.3%と最も多く、次いで、『親と同居』（32.0%）、『子と同居』（30.6%）となっている。

## 5. これからの生活について

### (1) 高齢者とは何歳以上だと思うか

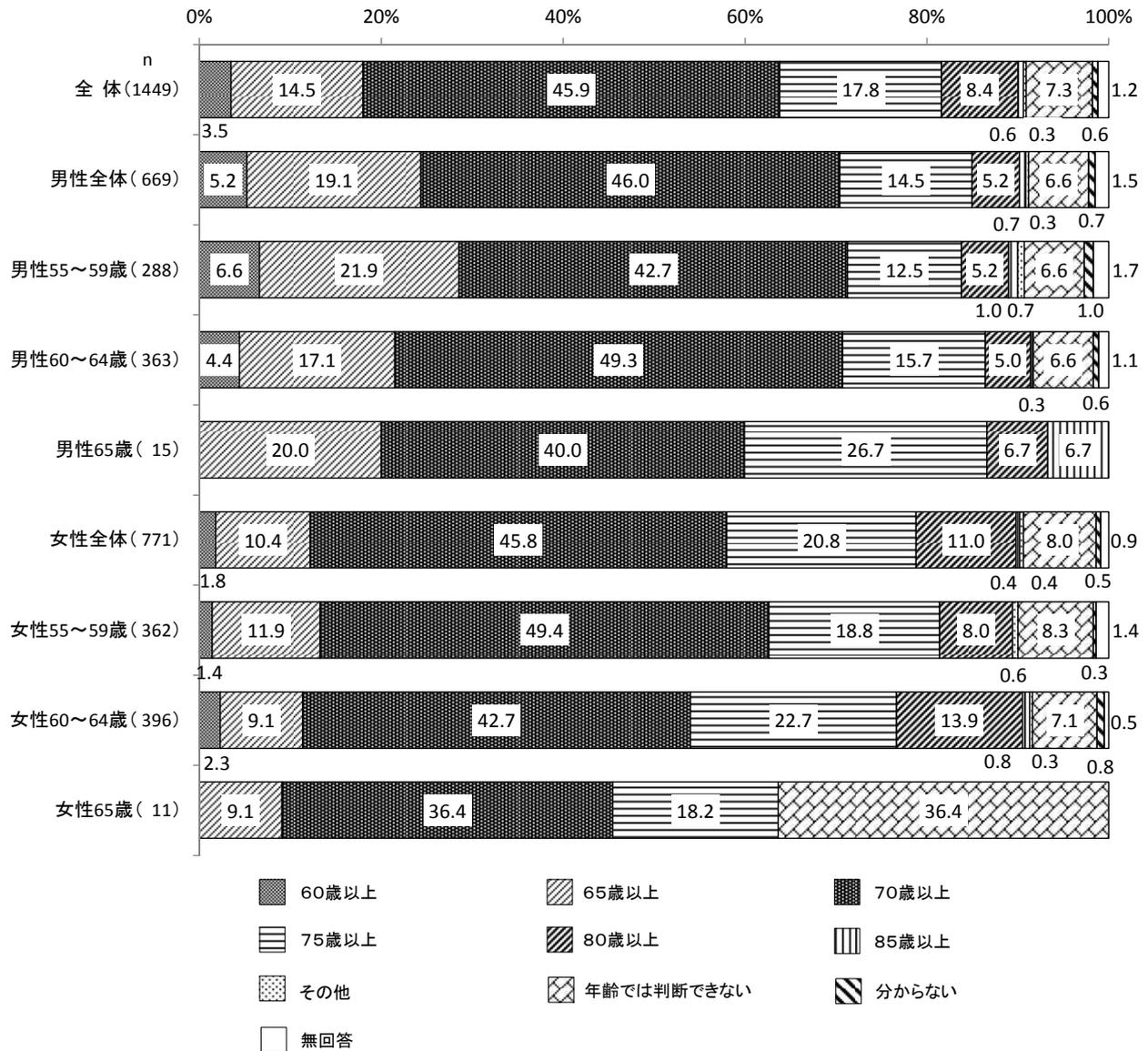
問 2 1. あなたは、高齢者とは何歳以上だと思いますか。(1つに○)

図表 5-1 高齢者とは何歳以上だと思うか



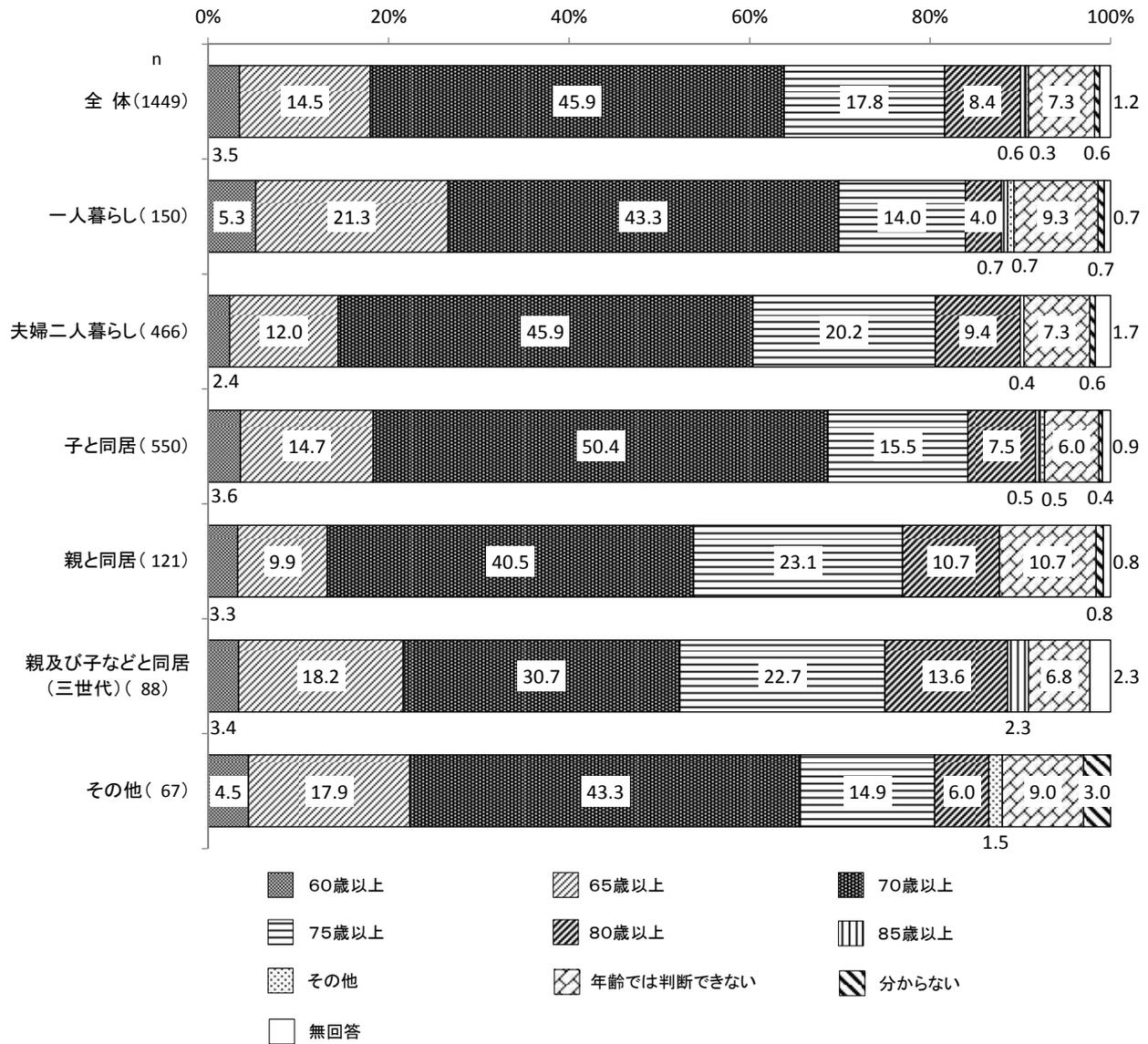
高齢者の年齢については、「70歳以上」が45.9%と最も多く、次いで、「75歳以上」(17.8%)、「65歳以上」14.5%と続いている。

図表 5-1-1 高齢者とは何歳以上だと思うか【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、全ての年齢で「70歳以上」が最も多くなっている。「75歳以上」は『男性65歳』が26.7%で最も多くなっている。

図表5-1-2 高齢者とは何歳以上だと思うか【世帯状況別】

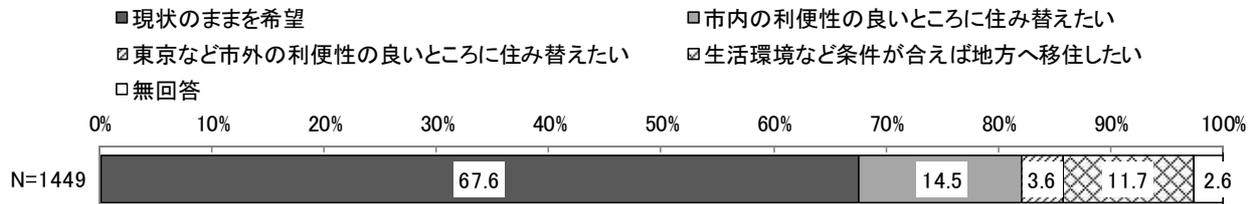


世帯状況別で見ると、全ての世帯状況で「70歳以上」が最も多く、『子と同居』が50.4%、次いで、『夫婦二人暮らし』(45.9%)、『一人暮らし』(43.3%)と続いている。「75歳以上」は『親と同居』が23.1%で最も多くなっている。

## (2) 住み替え等の希望

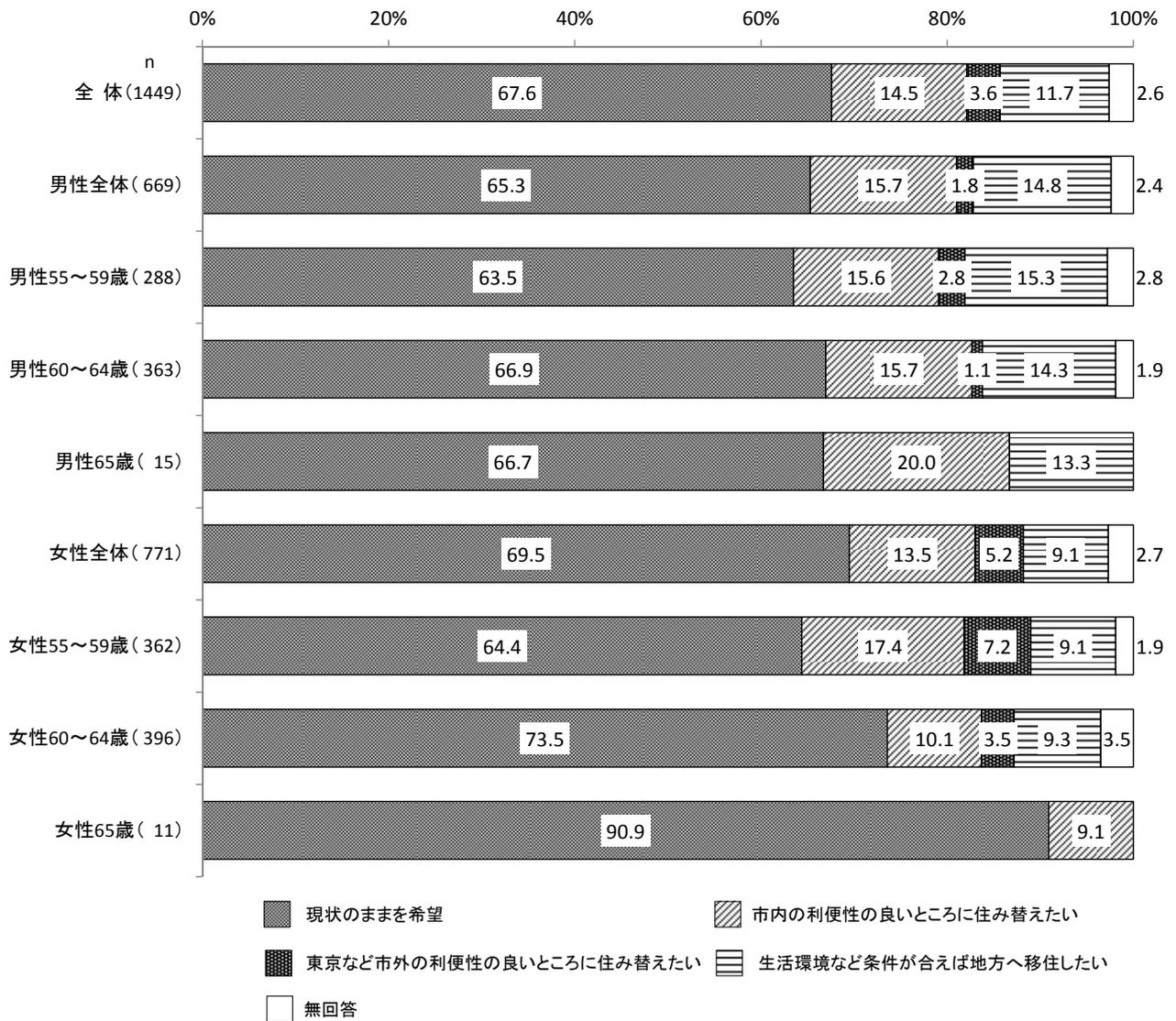
問 2 2. 住み替え等の希望についてご回答ください。(1つに○)

図表 5-2 住み替え等の希望について



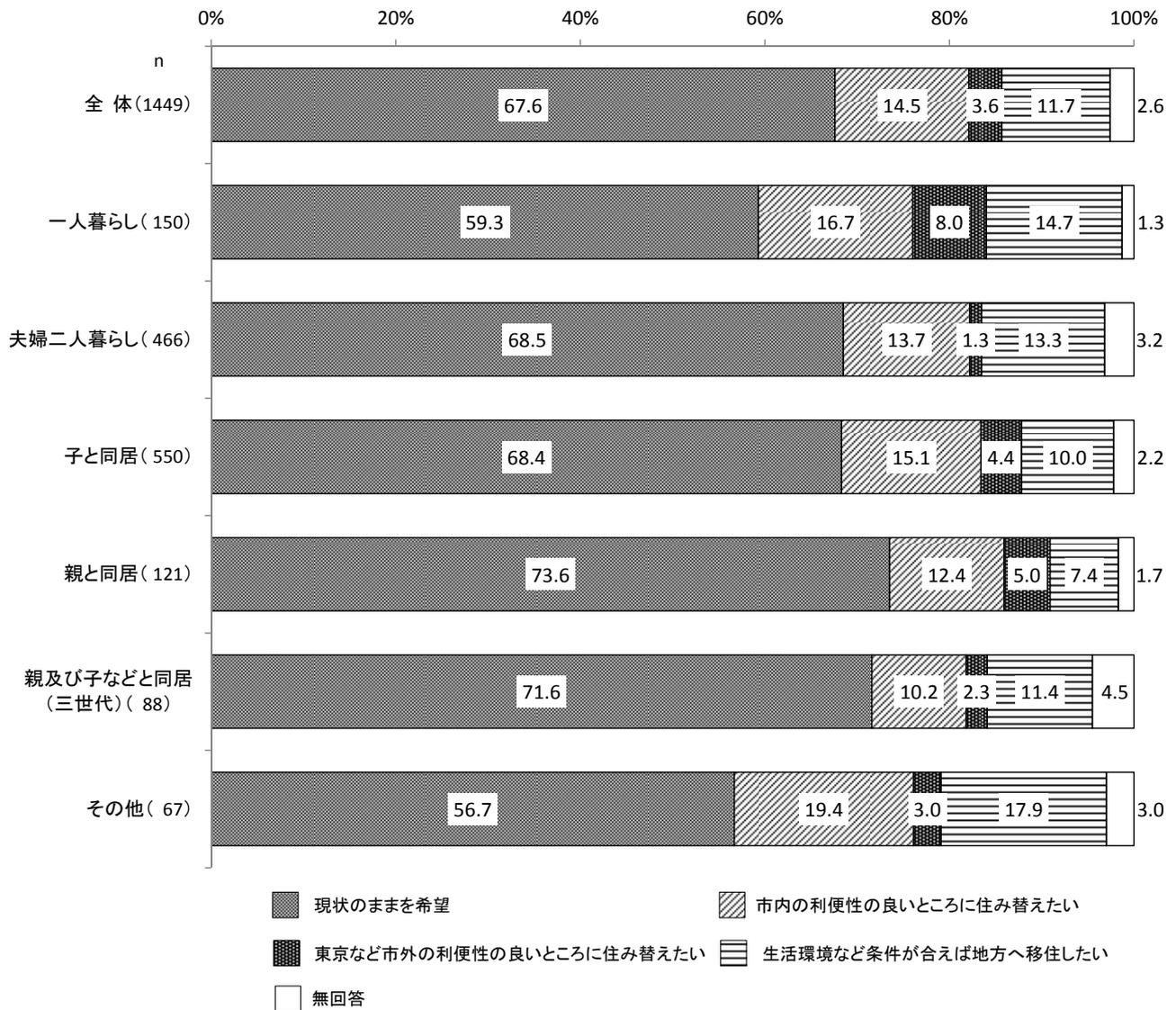
住み替え等の希望については、「現状のままを希望」が 67.6%と最も多く、次いで、「市内の利便性の良いところに住み替えたい」(14.5%)、「生活環境など条件が合えば地方へ移住したい」(11.7%)と続いている。

図表5-2-1 住み替え等の希望について【性別・年代別】



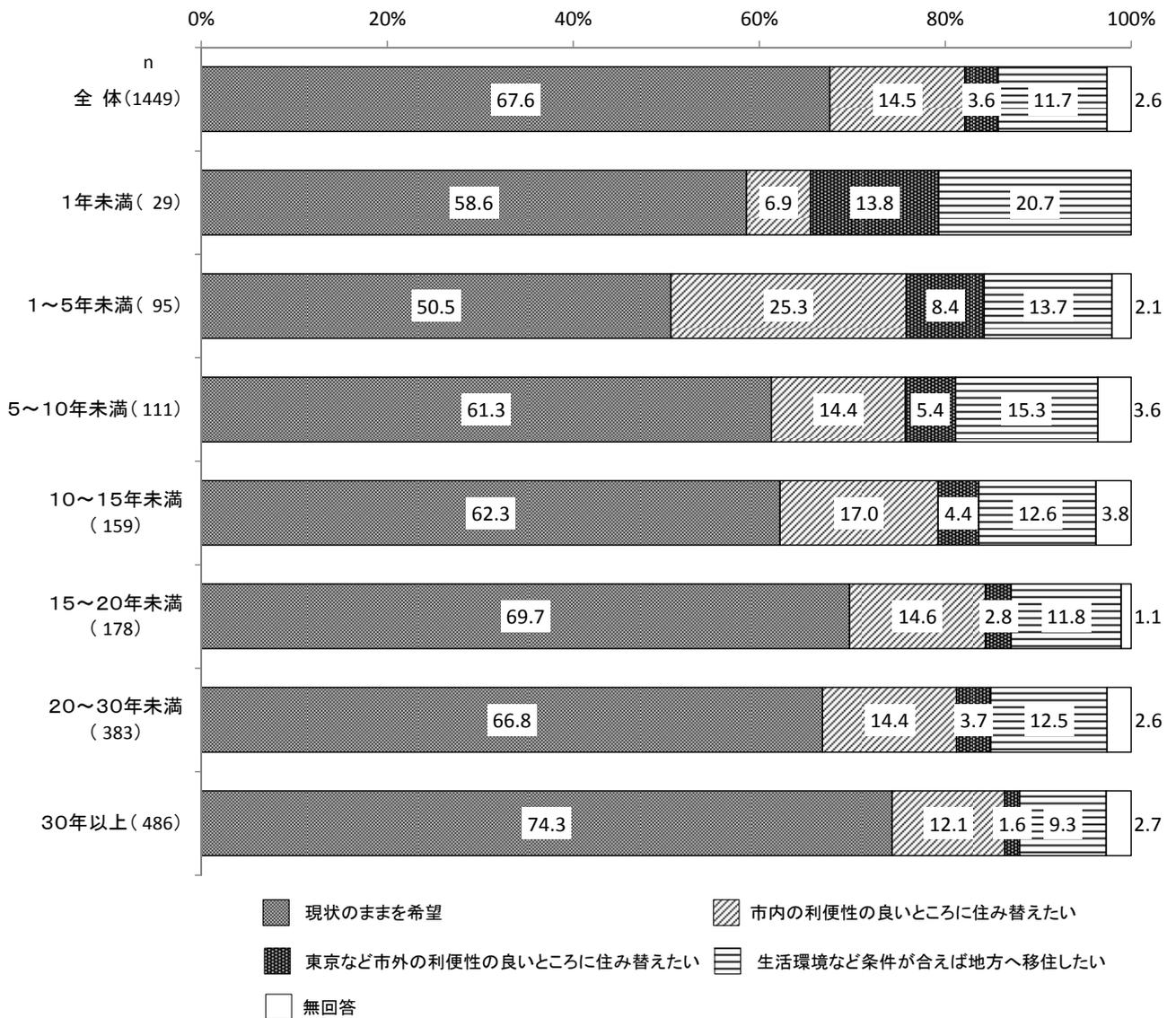
性別・年代別で見ると、全ての年齢で「現状のままを希望」が最も多くなっていて、『女性 65 歳』では 90.9%と最も多くなっている。「市内の利便性の良いところに住み替えたい」は『男性 65 歳』が 20.0%と最も多くなっている。

図表 5-2-2 住み替え等の希望について【世帯状況別】



世帯状況別で見ると、全ての世帯状況で「現状のままを希望」が 50%を超えていて、『親と同居』が 73.6%と最も多くなっている。「市内の利便性の良いところに住み替えたい」は『一人暮らし』が 16.7%と最も多くなっている。

図表5-2-3 住み替え等の希望について【居住年数別】

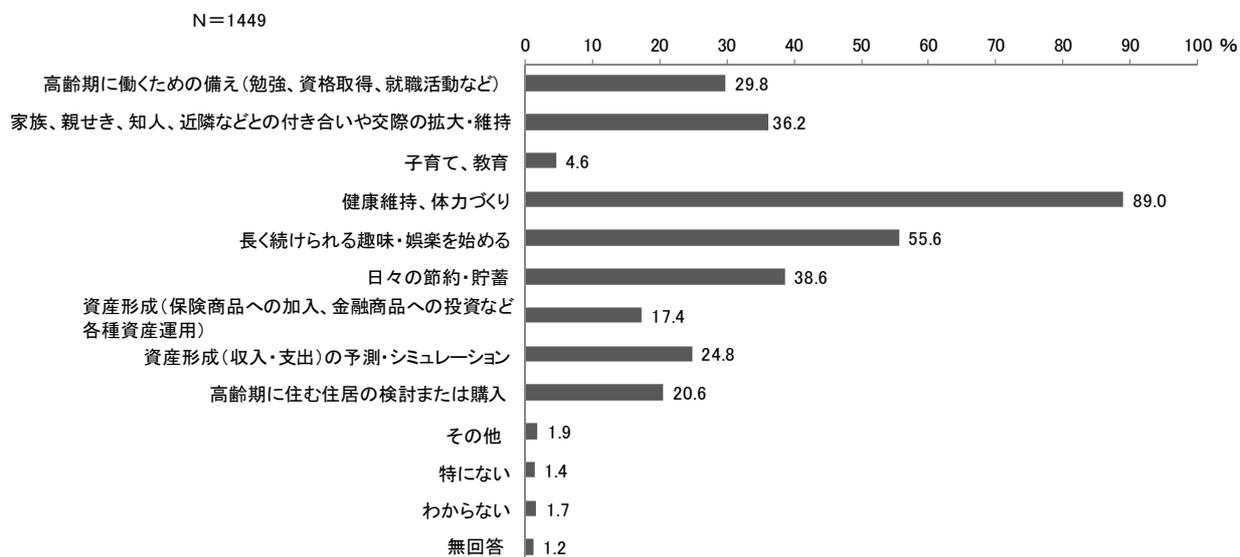


居住年数別で見ると、全ての居住年数で「現状のままを希望」が多くなっていて、『30年以上』は74.3%と多くなっている。『1～5年未満』では「市内の利便性の良いところに住み替えたい」が25.3%と多くなっている。

### (3) 高齢期に備えて取り組むことが大切だと思うこと

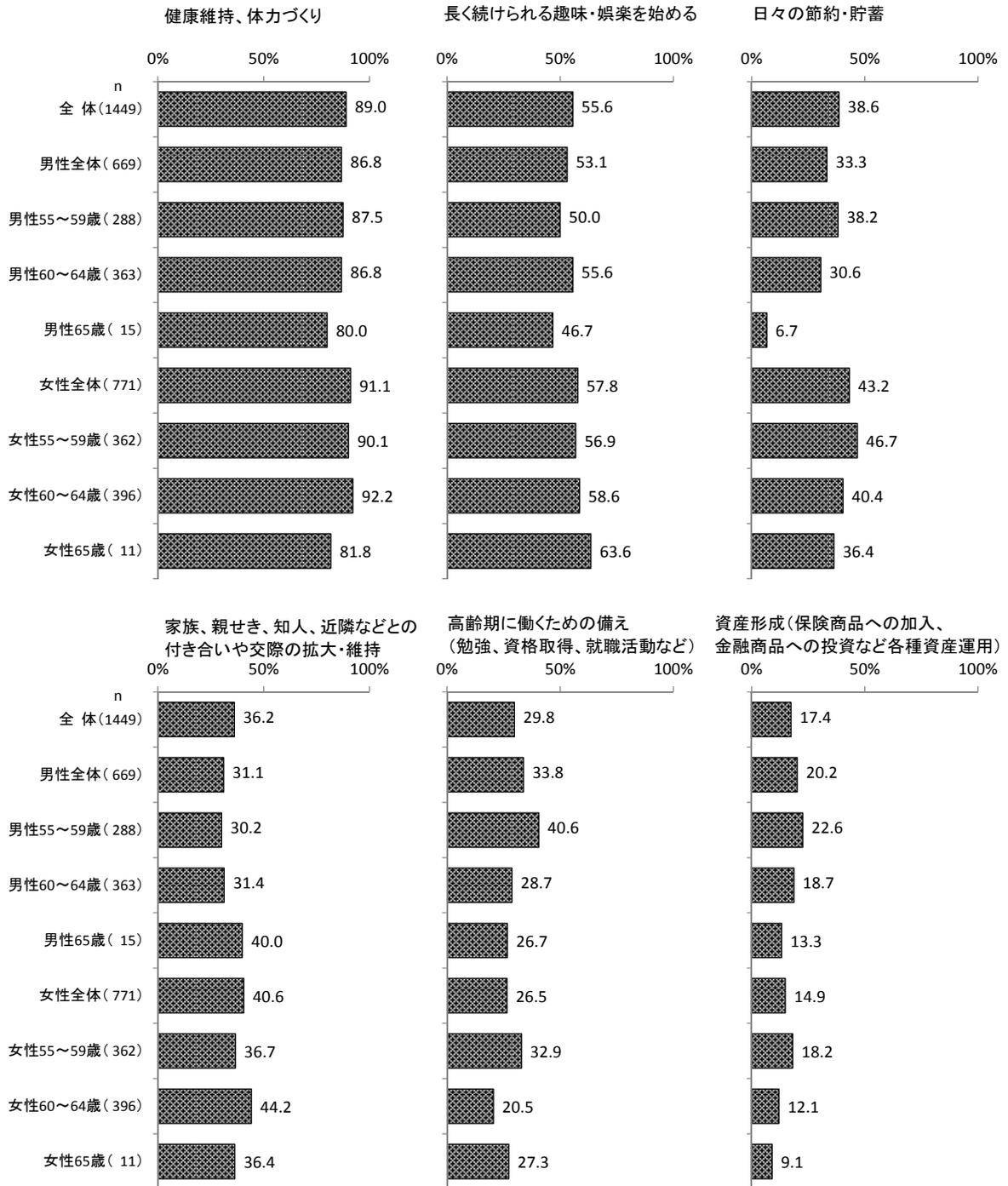
問23. 高齢期に備えてどのようなことに取り組むことが大切だと思いますか。大切だと思うことをご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

図表5-3 高齢期に備えて取り組むことが大切だと思うこと



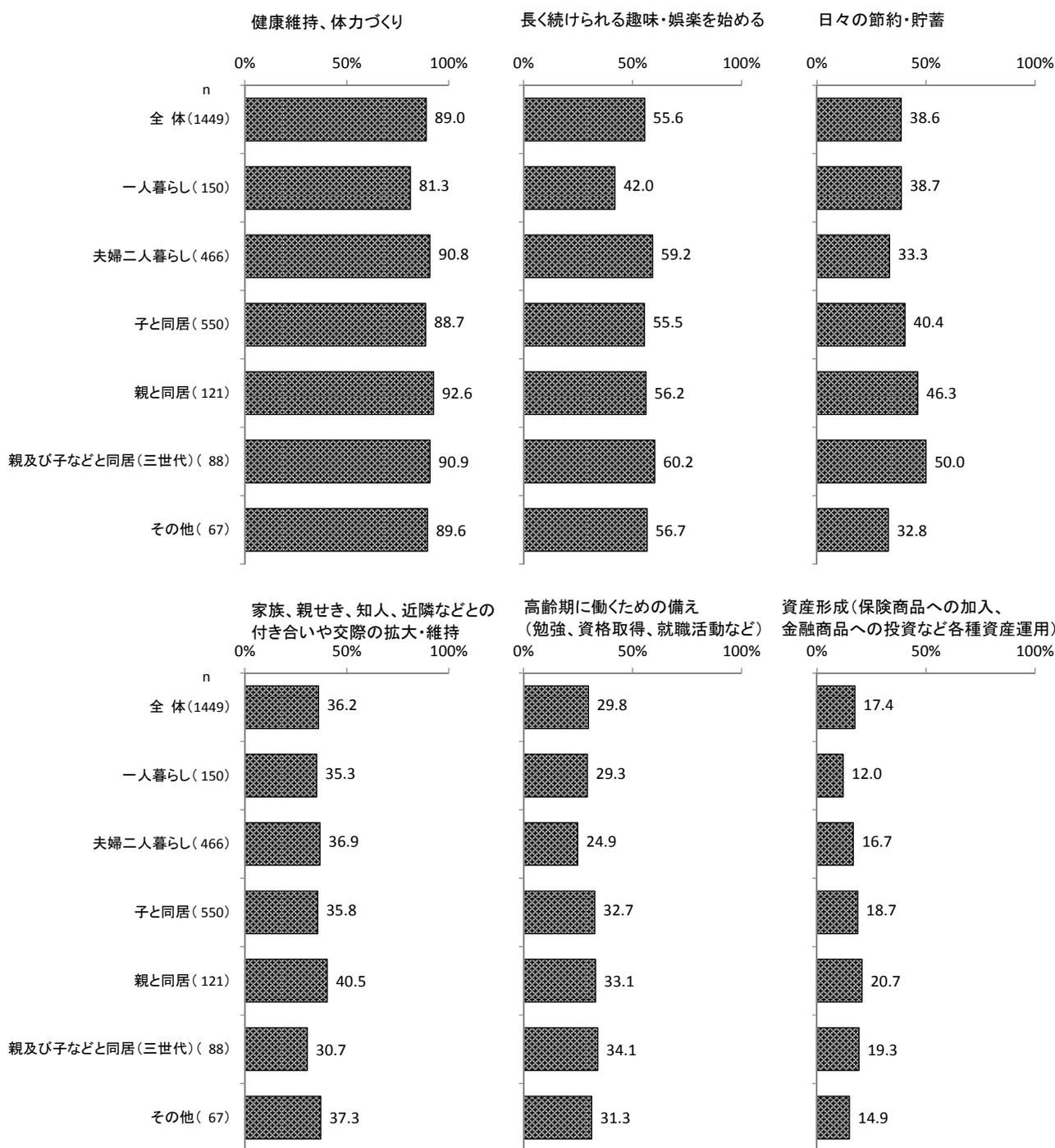
高齢期に備えて取り組むことが大切だと思うことは、「健康維持、体力づくり」が 89.0%と最も多く、次いで、「長く続けられる趣味・娯楽を始める」(55.6%)、「日々の節約・貯蓄」(38.6%)と続いている。

図表 5-3-1 高齢期に備えて取り組むことが大切だと思うこと  
【性別・年代別】(上位6つ)



性別・年代別でみると、全ての年齢で「健康維持、体力づくり」が80%を超えていた。「日々の節約・貯蓄」は女性の方が多く、『男性65歳』は6.7%となっている。「高齢期に働くための備え(勉強、資格取得、就職活動など)」は『男性55～59歳』で最も多く、40.6%となっている。

図表 5-3-2 高齢期に備えて取り組むことが大切だと思うこと【世帯状況別】(上位6つ)



世帯状況別でみると、全ての世帯状況で「健康維持、体力づくり」が80%を越えている。「長く続けられる趣味・娯楽を始める」は『一人暮らし』が42.0%と最も少なくなっている。「日々の節約・貯蓄」は『親及び子などと同居(三世帯)』が50.0%と最も多く、次いで、『親と同居』(46.3%)、『子と同居』(40.4%)と続いている。

## 6. 自由意見

自由記入形式で意見を伺ったところ、169件の回答があった。主な意見を以下にまとめる。

<b>高齢者施策等への提案・意見（35件）</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 元気な高齢者が多い反面、キャリア女性は子育てに現実的には四苦八苦しています。何とか両者が助け合えるようになるとういのですが。シニア世代を子育て支援にもっとうまく使えないものでしょうか。核家族よりも大家族の方がよい時代かもです。</li><li>・ 社会貢献できるキャリアを持った方々をもっと活躍できる環境が必要。もったいない人材を年齢でリタイヤさせている社会。人は何かの為に生きていてほしいと思います。</li><li>・ なるべく自宅で暮らすことができるような援助体制が充実する制度とシステムを確立してほしい。</li><li>・ 年齢を問わず、気軽に参加できるようなサロンがあったら良いと思います。現状をみると、枠にとらわれた責任や役割がつきまとうような気がします。前記のようなサロンがもしあれば、「ちょっと電球取り替えて」とか、気軽に頼めたり頼まれたりする（勿論無料）雰囲気は自然に出来ることが理想です。</li><li>・ 高齢化が進んでいるので、老人のための老人ホームを、安価で安心して入居できる公的な施設をたくさん作ってほしい。</li></ul>
ほか
<b>高齢期の過ごし方、思いについて（19件）</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者になっても社会の一員だという実感を得ることが大切だと思う。賃金も大切だが、人の役に立っている、毎日やるべきことがあるという思いは生きる活力になる。</li><li>・ 今年、60歳を迎える私にとって、今まで義母の介護、子育てをしながら、いくつかの職種を経験させてもらいました。そして、それらの人と経験が私の財産です。年齢を問わず「自分の健康が第一！」「身体が資本です」</li></ul>
ほか
<b>就労等について（18件）</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在の給与が仕事内容と見合っていない。やはり給与が上がれば、そして仕事を続けられれば、もっと安心して人生を楽しく過ごせると思います。</li><li>・ 健康であれば生きがいを持って働きたい方は多いです。年齢ではなく、経験や人間性で働ける場所を作してほしい。</li></ul>
ほか
<b>地域活動等について（5件）</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 引き続きボランティア及びその活動についての紹介を広報誌等をお願いします。</li></ul>
ほか
<b>高齢期での健康づくり等について（8件）</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ よこはまウォーキングポイントは利用しています。このサイトを基点とした各種情報は有効です。元気で働く高齢者の活用施策に期待しています。</li><li>・ 体力の低下は体幹バランスが低下してきたことで実感しています。健康維持のための生活習慣の更なる改善に心がけます。高齢者であることを自覚していくことが必要。</li></ul>
ほか

**生活への不安等について (26 件)**

- ・ 子育てが終わったら、次に 80 代の両方の両親の経済的支援もあり、今現在はなかなか自分達夫婦の老後のことを考えるゆとりはありません。周りの友人達 (60 代) もほとんど同じ様な感じですが。経済的な問題が一番頭を抱えます。
- ・ 老後の生活に不安を感じる。長生きすればするほど貯金が底をつくような気がする。公的年金だけでは、豊かな生活が望めない。
- ・ 認知症の親の介護で、いつまで仕事ができるか、わからない。

ほか

**その他行政への要望等 (30 件)**

- ・ 道路脇に草がっぱいな所が多いですが、近隣の自治会や老人会などに年間の報酬を支払い管理してもらい、日々道路がきれいにたもたれる事を望みます。
- ・ 大通りにはバスが走るが裏通り、人口の少ない所にバスが走らない。出掛けるのに不便なのに駅近くに駐車場が少ない。インフラの整備が必要である。
- ・ 特別なイベントへの参加募集は現状で足りていると思うが、日ごろの近所との交流を盛んにするような企画を頻繁に自治会を通して行っていただきたい。

ほか

**アンケート調査について (28 件)**

- ・ 質問されてみて、考える良い機会になりました。
- ・ このアンケートも税金を使った事業であるなら、結果を HP 等で公表すべきと考えます。

ほか



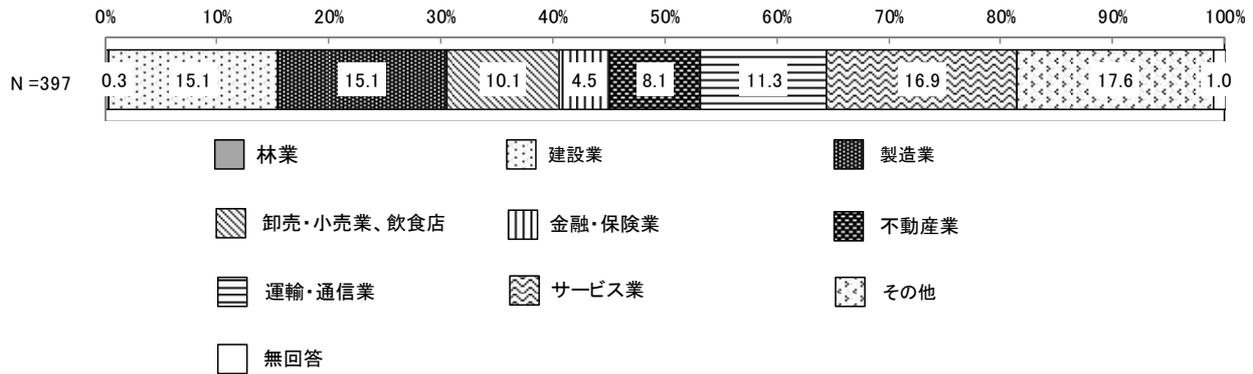
### Ⅲシニア層の活用に関する企業調査

#### 1. 会社概要について

##### (1) 業種

問1. 貴社の業種をご回答ください。(1つに○)

図表 1-1 業種

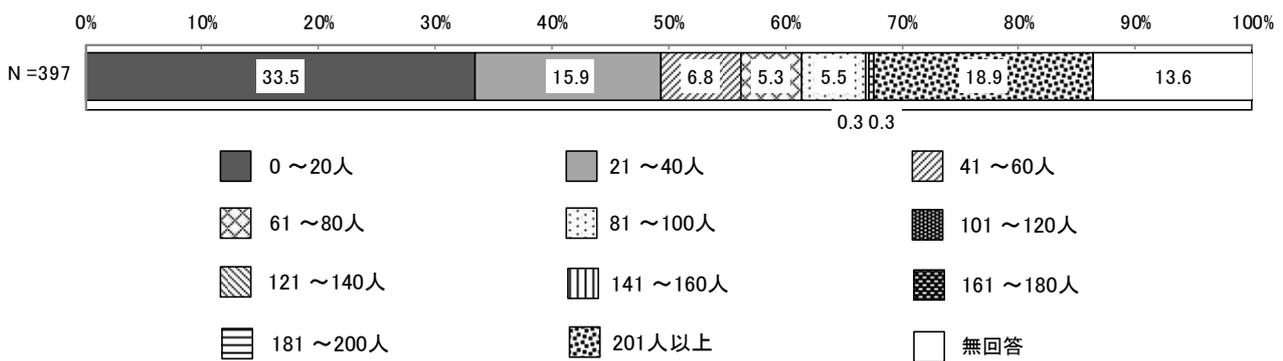


業種は「サービス業」が16.9%と最も多く、次いで「建設業」と「製造業」が15.1%と続いている。

##### (2) 従業員人数

問2. 貴社の従業員人数についてご回答ください。

図表 1-2 従業員人数

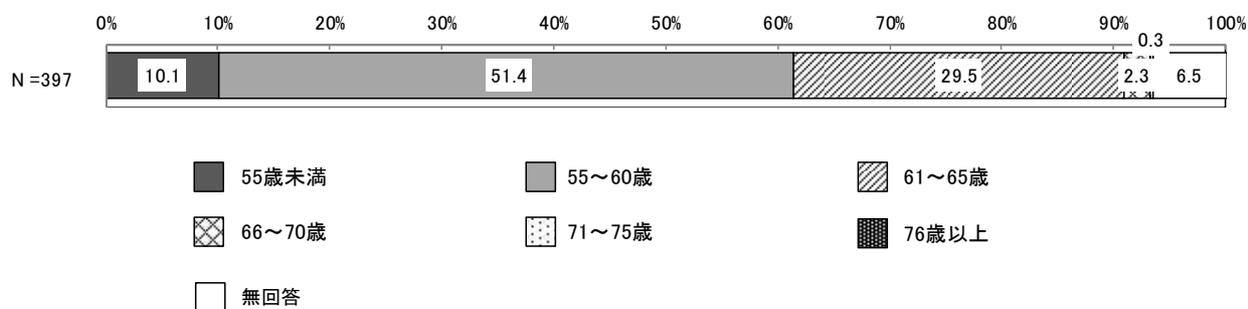


従業員の人数は「0~20人」が33.5%と最も多く、次いで、「201人以上」(18.9%)、「21~40人」(15.9%)と続いている。

### (3) 従業員の定年年齢

問3. 従業員の定年年齢についてご回答ください。

図表 1-3 従業員の定年年齢



従業員の定年年齢は「55～60歳」が51.4%と最も多く、次いで、「61～65歳」(29.5%)、「55歳未満」(10.1%)と続いている。

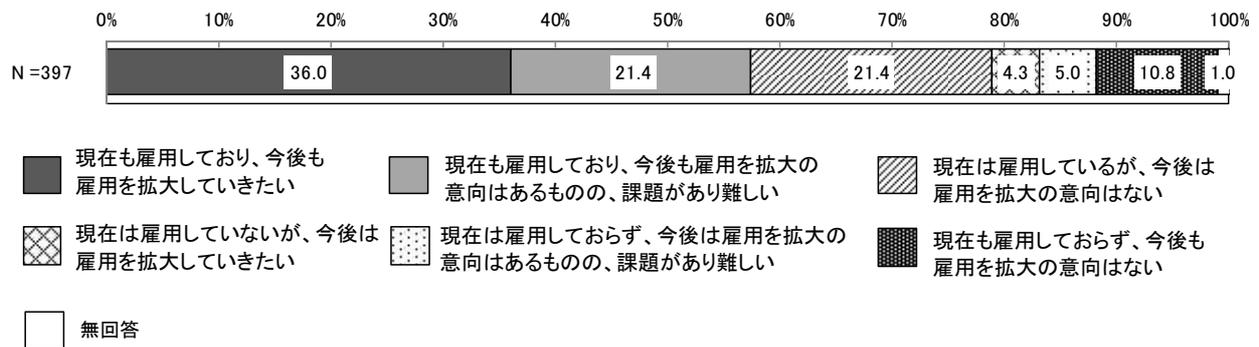
## 2. 高齢者の活用について

### (1) 高齢者の雇用について

#### ①現在の状況と今後の動向

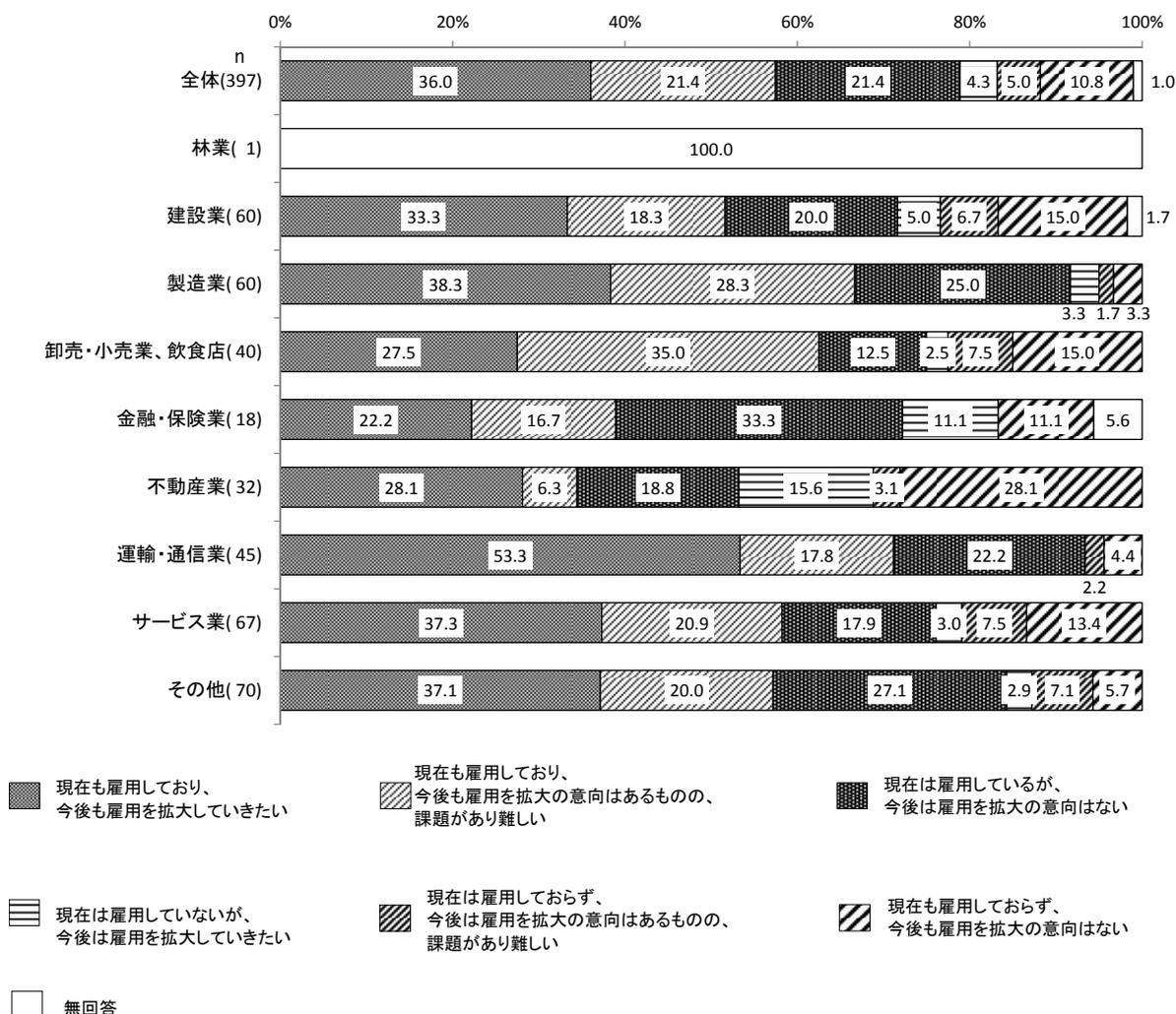
問4. 高齢者（定年年齢以上）の雇用（派遣、請負等含む）について、現在の状況と今後の動向についてご回答ください。（1つに○）

図表2-1 高齢者の雇用の現在の状況と今後の動向



高齢者の雇用について、現在の状況では、雇用している企業は78.8%、していない企業は20.1%となっている。今後の動向では「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい」が36.0%と最も多く、次いで、「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい」と「現在は雇用しているが、今後は雇用を拡大する意向はない」が21.4%と続いている。

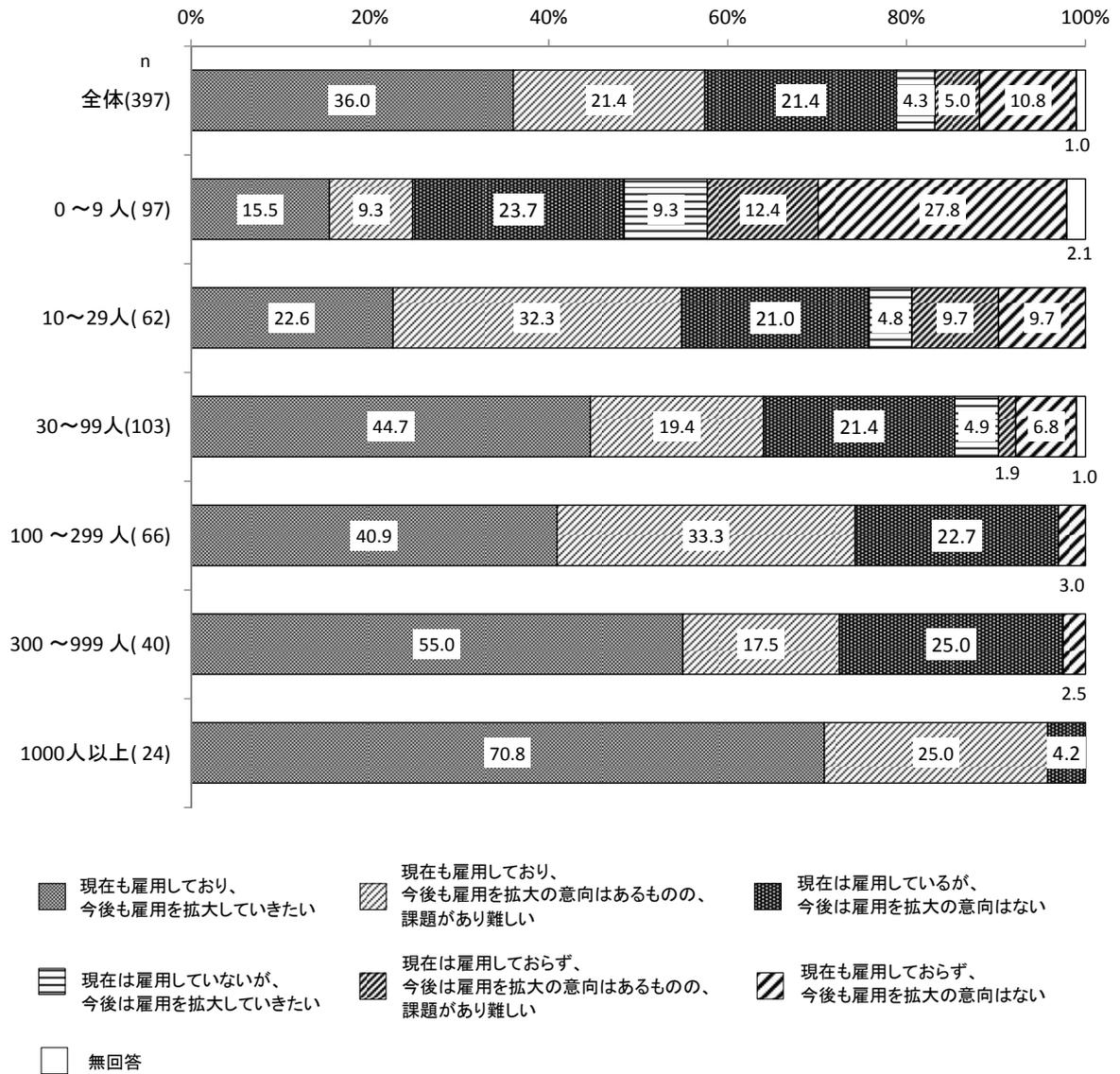
図表 2-1-1 高齢者の雇用の現在の状況と今後の動向【業種別】



業種別でみると、『建設業』『製造業』『不動産業』『運輸・通信業』『サービス業』で「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい」が最も多く、『不動産業』では「現在も雇用しておらず、今後も雇用を拡大する意向はない」も最も多くなっている。『卸売・小売業、飲食店』では「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい」、『金融・保険業』では「現在は雇用しているが、今後は雇用を拡大する意向はない」が最も多くなっている。

「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい」と「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大の意向はあるものの、課題があり難しい」を合わせた、雇用の拡大の意向があるが最も多いのは『運輸・通信業』で71.1%となっている。次いで、『製造業』(66.6%)、『卸売・小売業、飲食店』(62.5%)と続いている。

図表 2-1-2 高齢者の雇用の現在の状況と今後の動向【従業員人数別】



従業員人数別で見ると、「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい」が『1000人以上』が70.8%と最も多く、次いで、『300～999人』(55.0%)、『30～99人』(44.7%)と続いている。

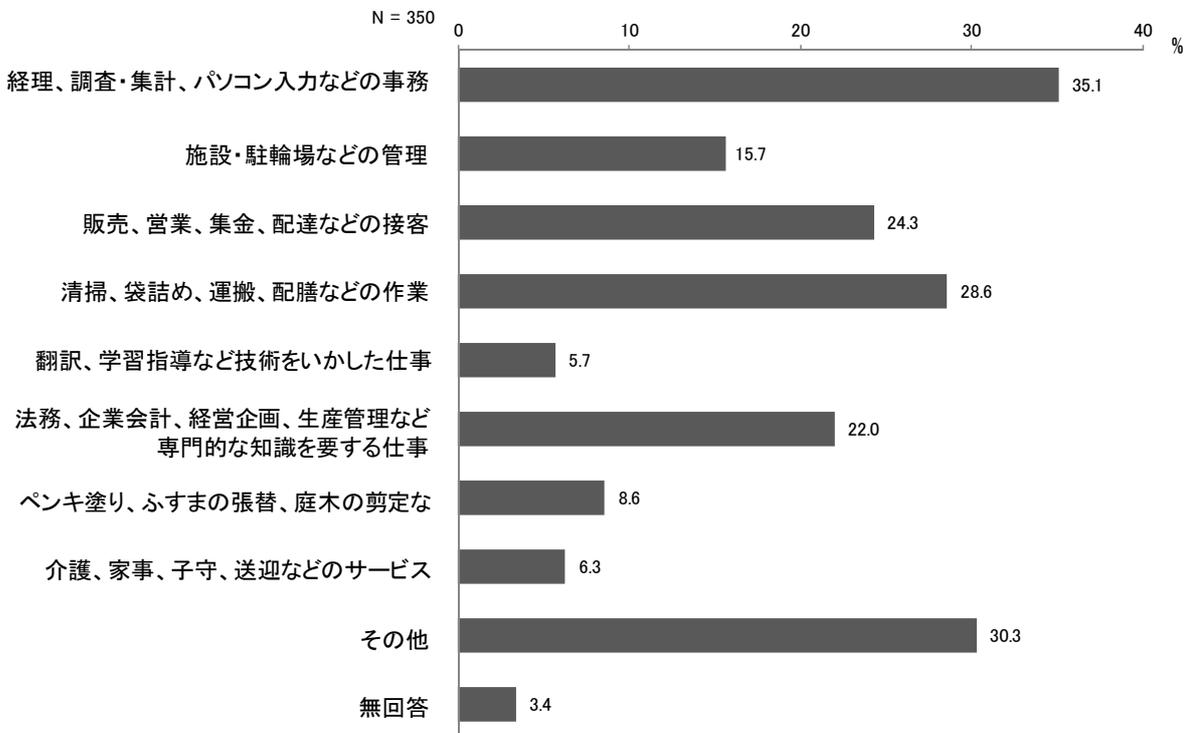
また、『0～9人』は「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい」が最も少なく、15.5%となっており、従業員人数が多い方が「現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい」と答える傾向にある。

『0～9人』で最も多いのは『現在も雇用しておらず、今後は雇用を拡大する意向はない』(27.8%)、次いで、『現在は雇用しているが、今後は雇用を拡大する意向はない』(23.7%)と雇用の拡大の意向がないという回答が多くなっている。

## ②提供できる仕事内容

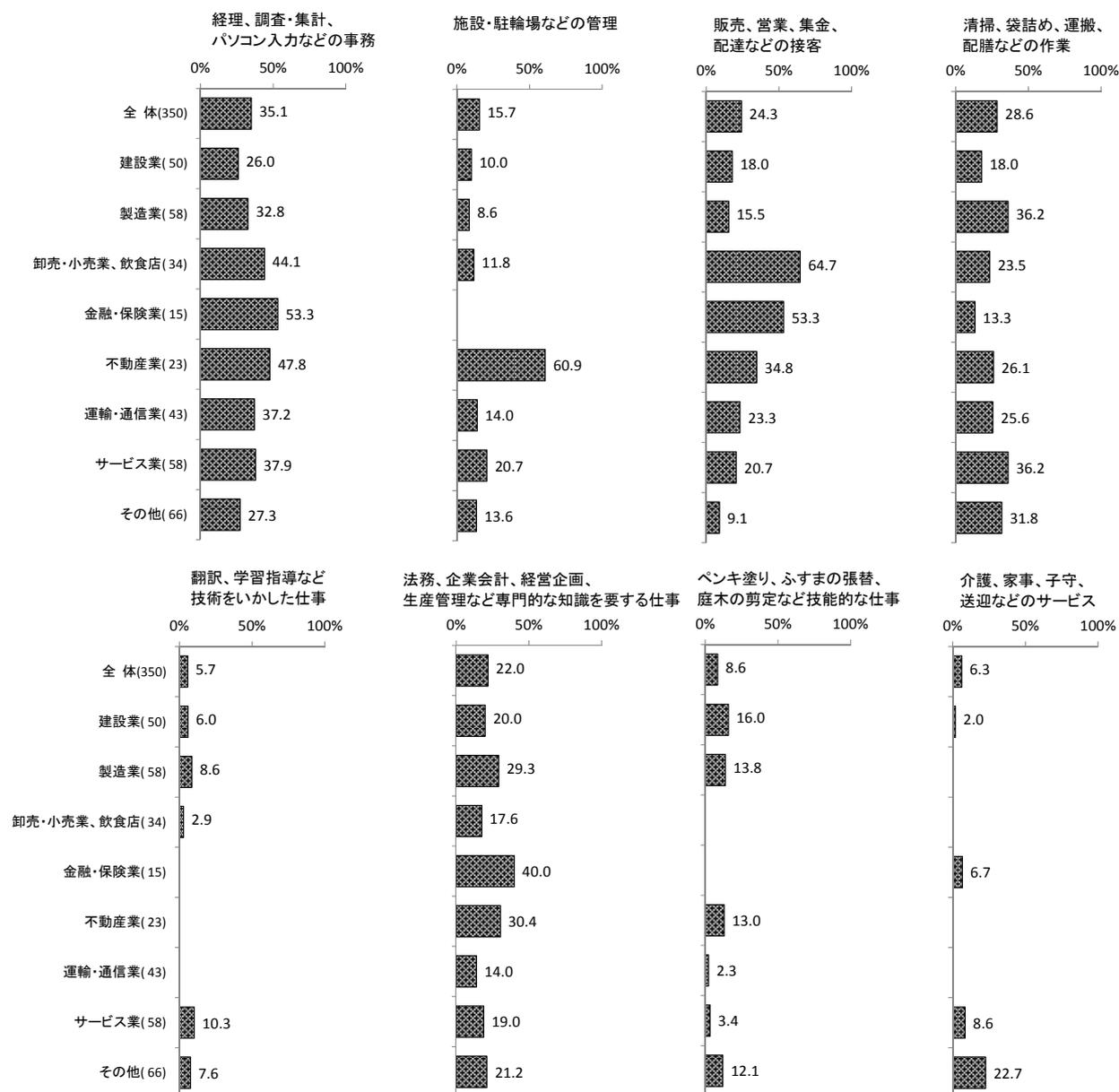
問5-1. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）する場合に、提供できる仕事内容についてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

図表 2-2 高齢者に提供できる仕事の内容



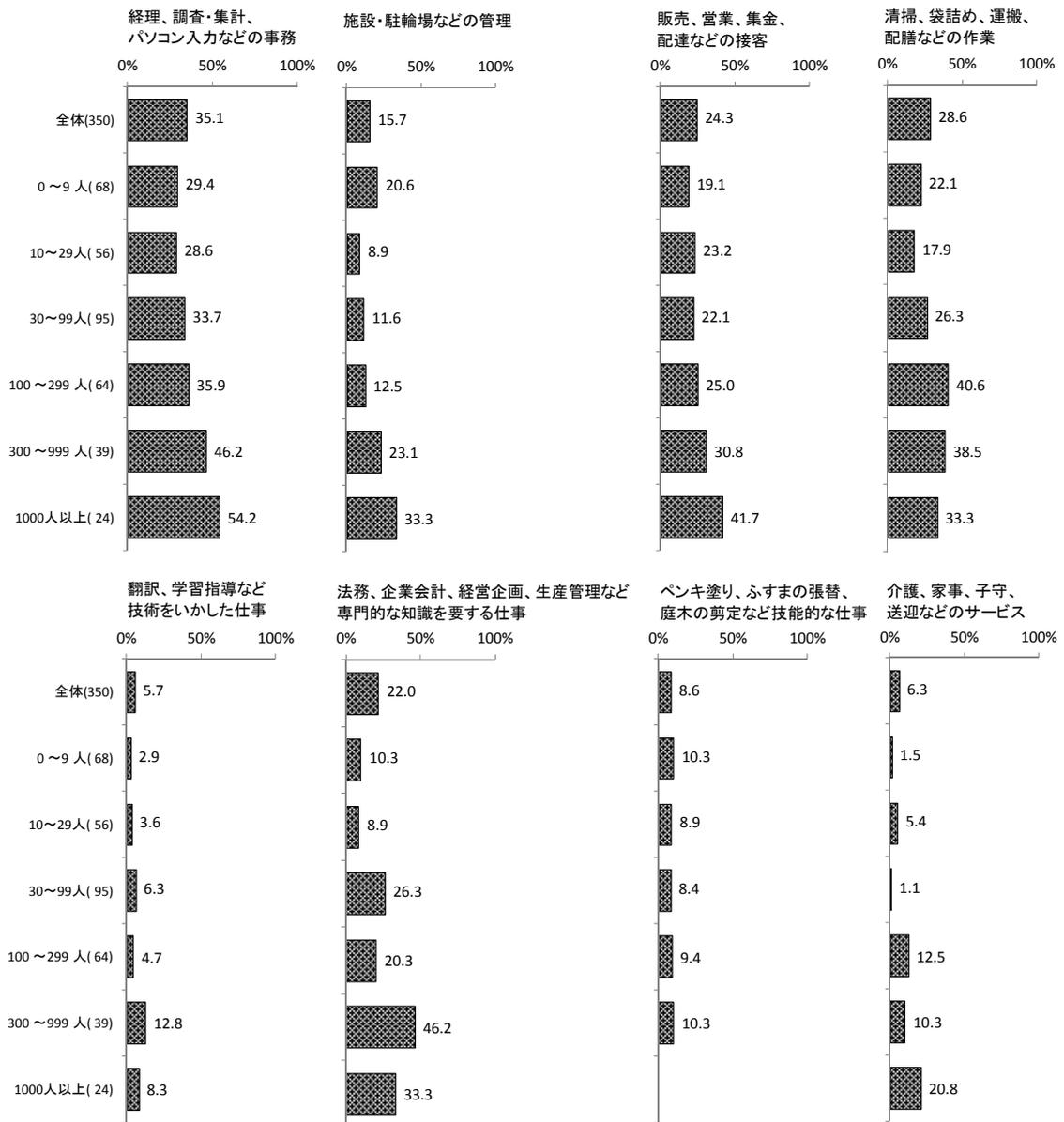
提供できる仕事内容は、「経理、調査・集計、パソコン入力などの事務」が 35.1%と最も多く、次いで、「清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業」(28.6%)、「販売、営業、集金、配達などの接客」(24.3%)と続いている。

図表 2-2-1 高齢者に提供できる仕事の内容【業種別】



業種別でみると、『卸売・小売業、飲食店』では「販売、営業、集金、配達などの接客」(64.7%)が最も多くなっている。『金融・保険業』では「経理、調査・集計、パソコン入力などの事務」「販売、営業、集金、配達などの接客」が53.3%と最も多く、次いで、「法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事」が40.0%となっている。『不動産業』では「施設・駐輪場などの管理」(60.9%)が最も多くなっていて、全体的に多くなっているのは「経理、調査・集計、パソコン入力などの事務」である。

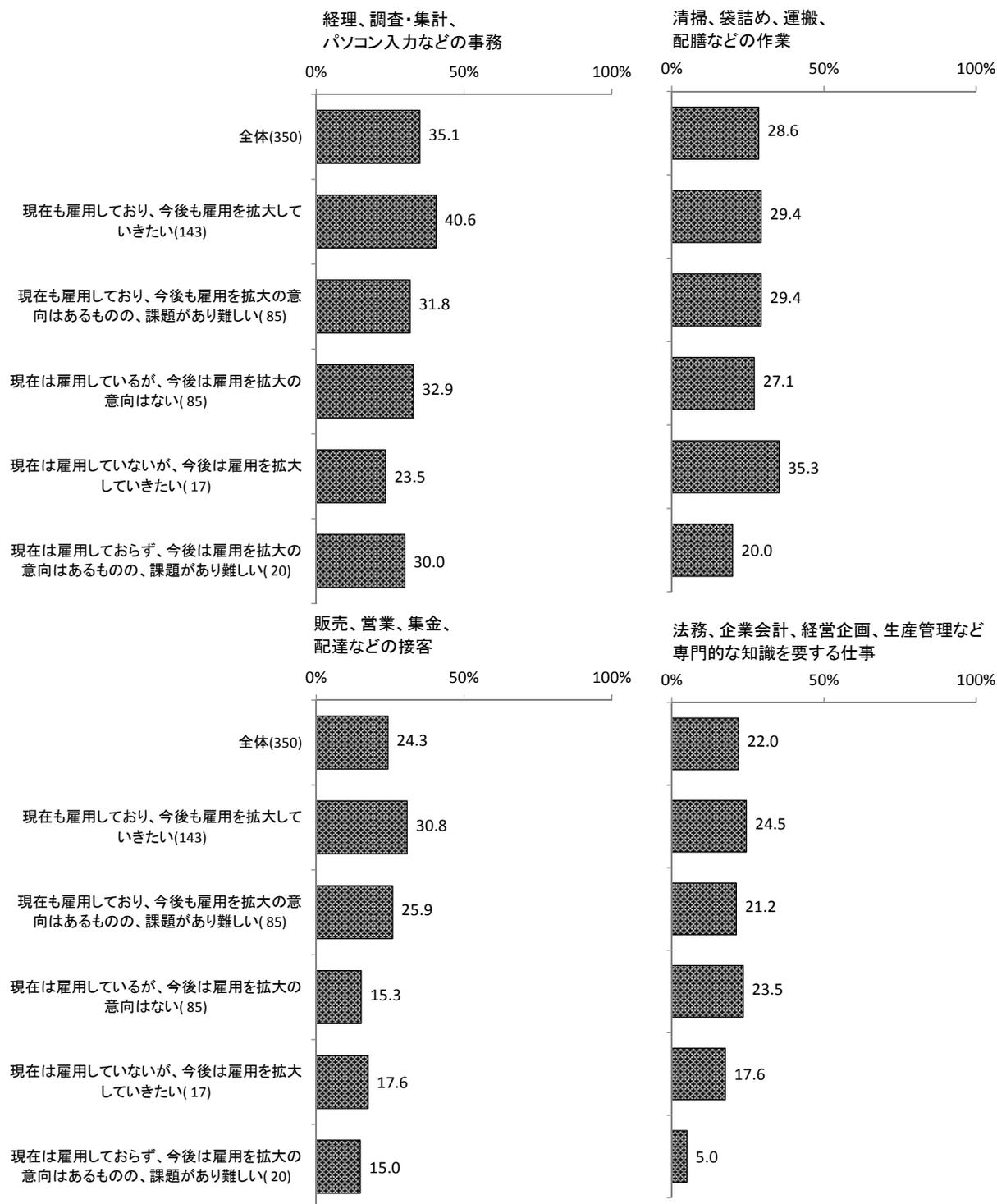
図表 2-2-2 高齢者に提供できる仕事の内容【従業員人数別】



従業員人数別で見ると、ほとんどの人数で「経理、調査・集計、パソコン入力などの事務」がほぼ30%以上となっている。

「1000人以上」では「経理、調査・集計、パソコン入力などの事務」「施設・駐輪場などの管理」「販売、営業、集金、配達などの接客」「清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業」「法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事」で30%を超えている。また、「1000人以上」だけが、「介護、家事、子守、送迎などのサービス」で20%を超えている。

図表 2-2-3 高齢者に提供できる仕事の内容【雇用の状況・動向別】（上位4つ）



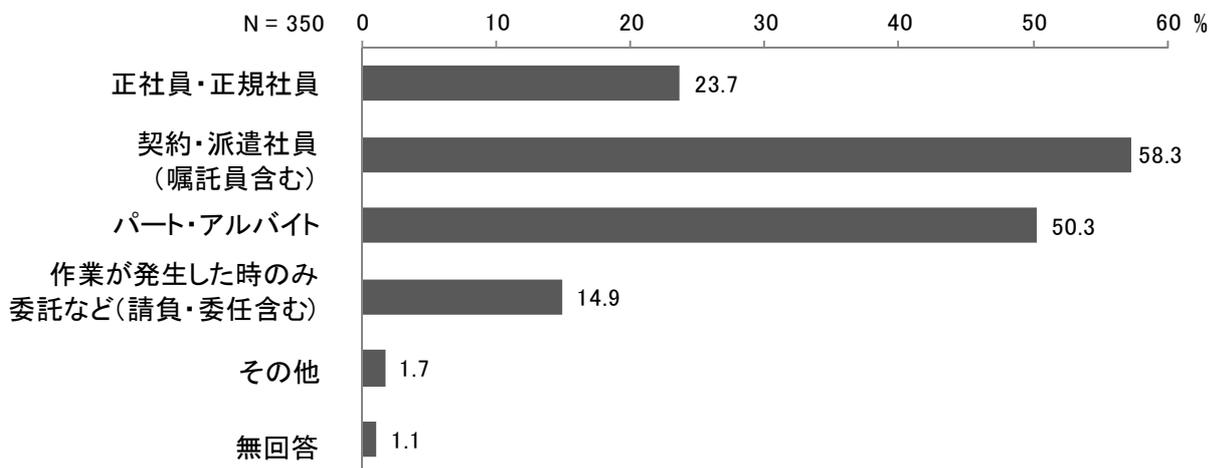
雇用の状況・動向別でみると、「清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業」は『現在は雇用していないが、今後は雇用の拡大をしていきたい』が多くなっているが、その他の仕事内容では『現在も雇用しており、今後は雇用を拡大していきたい』が多くなっている。

### ③雇用形態

問5-2. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）する場合の形態についてご回答ください。

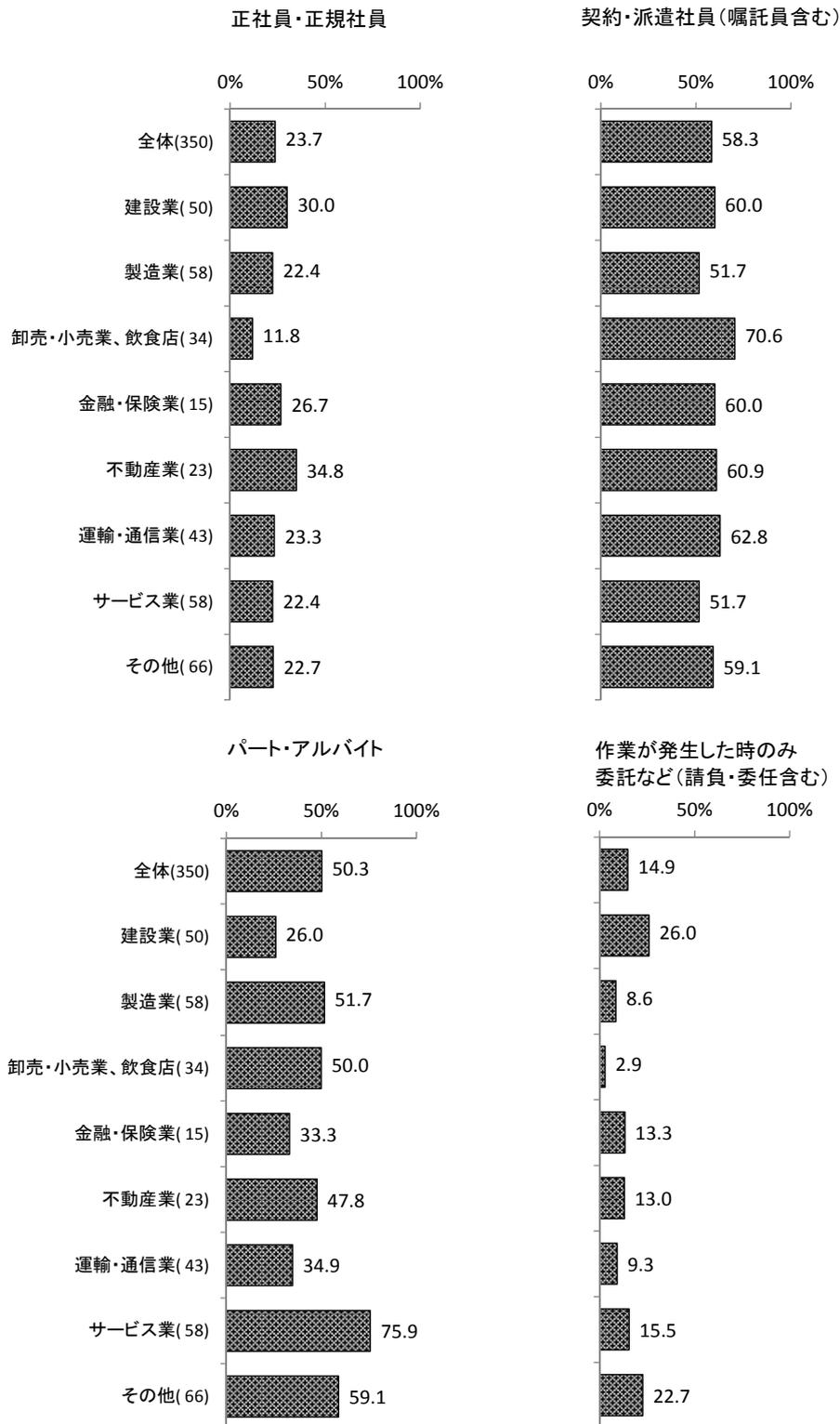
（あてはまるもの全てに○）

図表2-3 高齢者の雇用形態



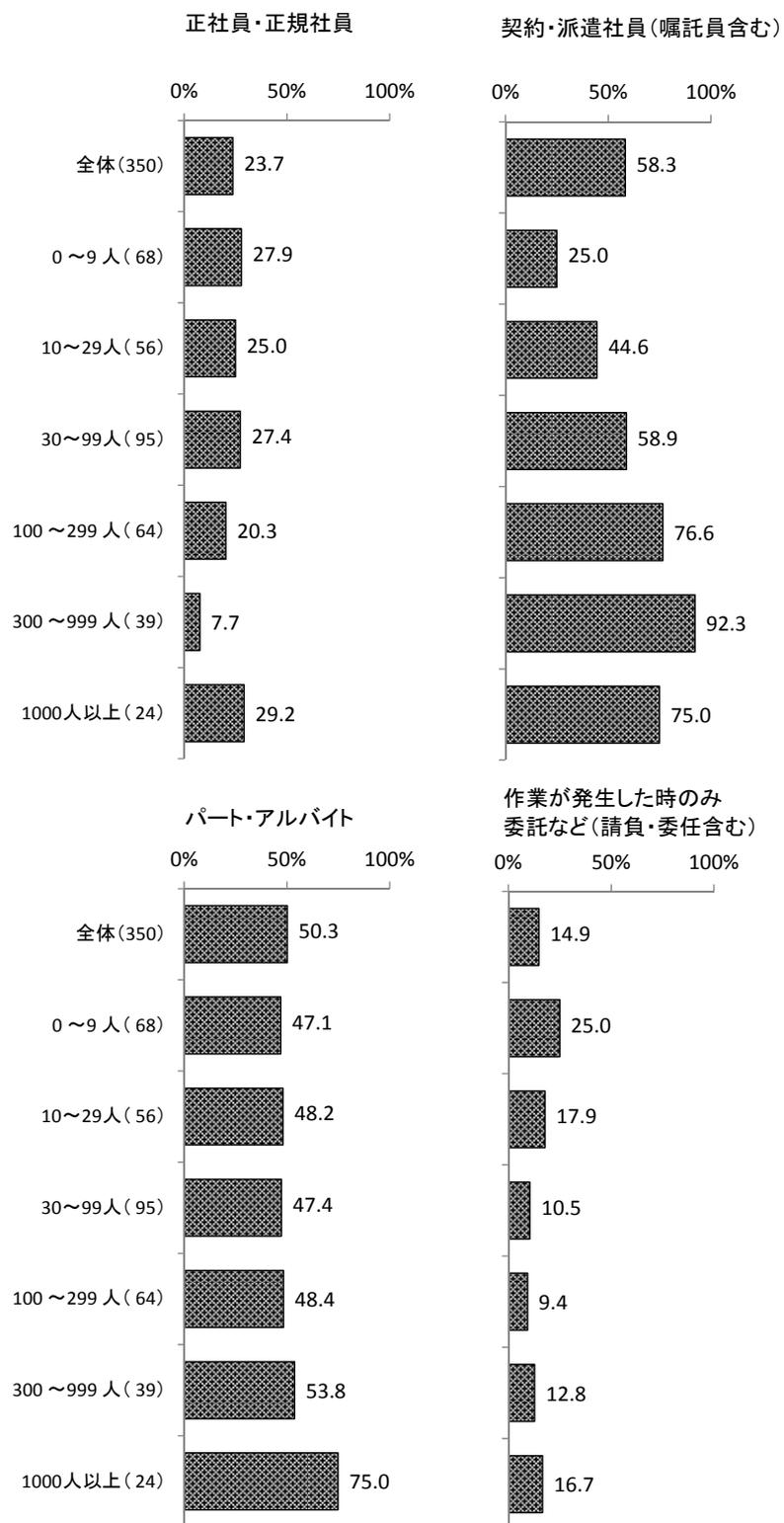
高齢者の雇用形態は、「契約・派遣社員（嘱託員含む）」が 58.3%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト」（50.3%）「正社員・正規社員」（23.7%）と続いている。

図表 2-3-1 高齢者の雇用形態【業種別】



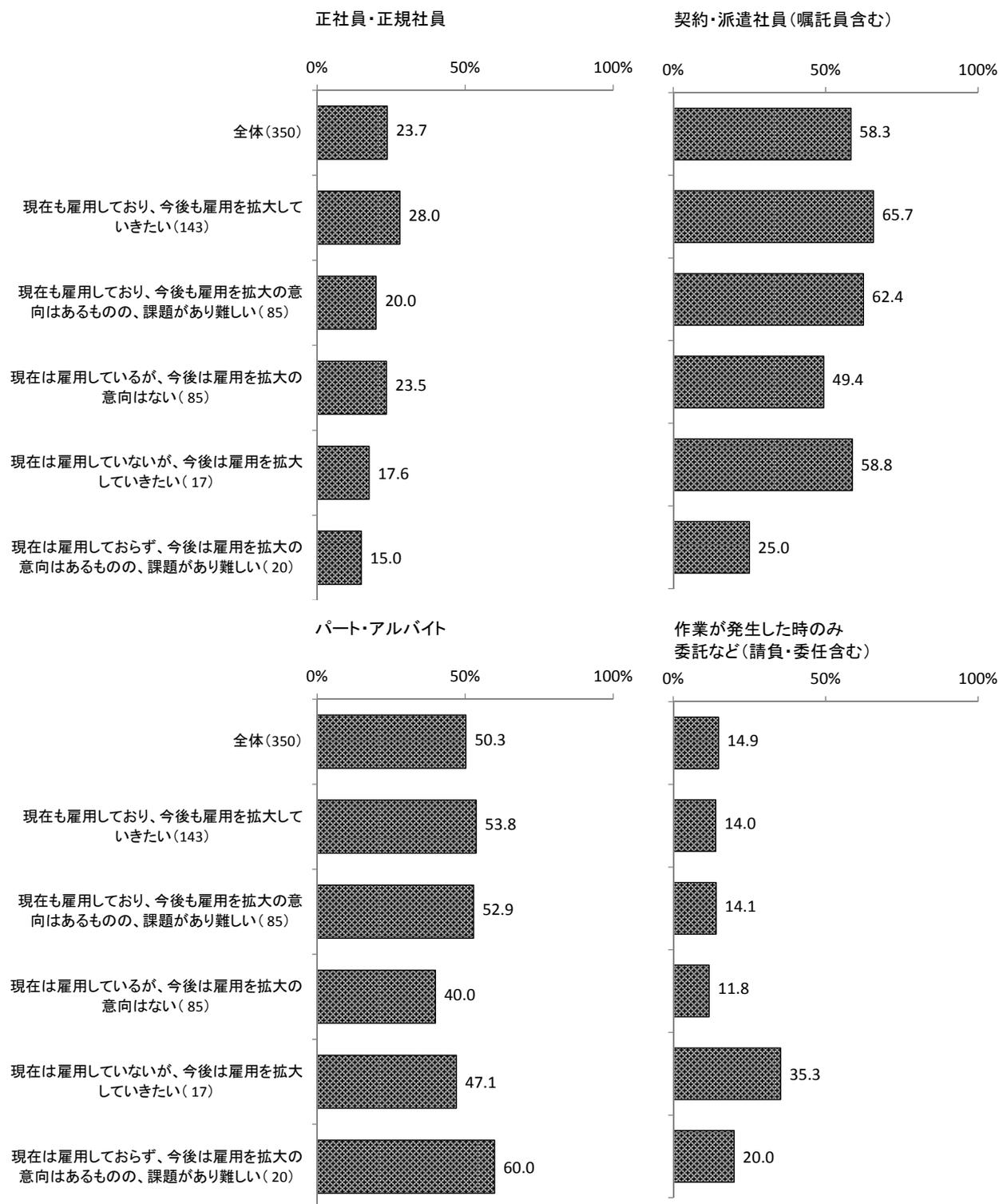
業種別でみると、「正社員・正規社員」が最も多いのは『不動産業』(34.8%)で次いで、『建設業』(30.0%)となっている。「契約・派遣社員」は『卸売・小売業、飲食店』(70.6%)、「パート・アルバイト」は『サービス業』(75.9%)が最も多くなっている。

図表 2-3-2 高齢者の雇用形態【従業員人数別】



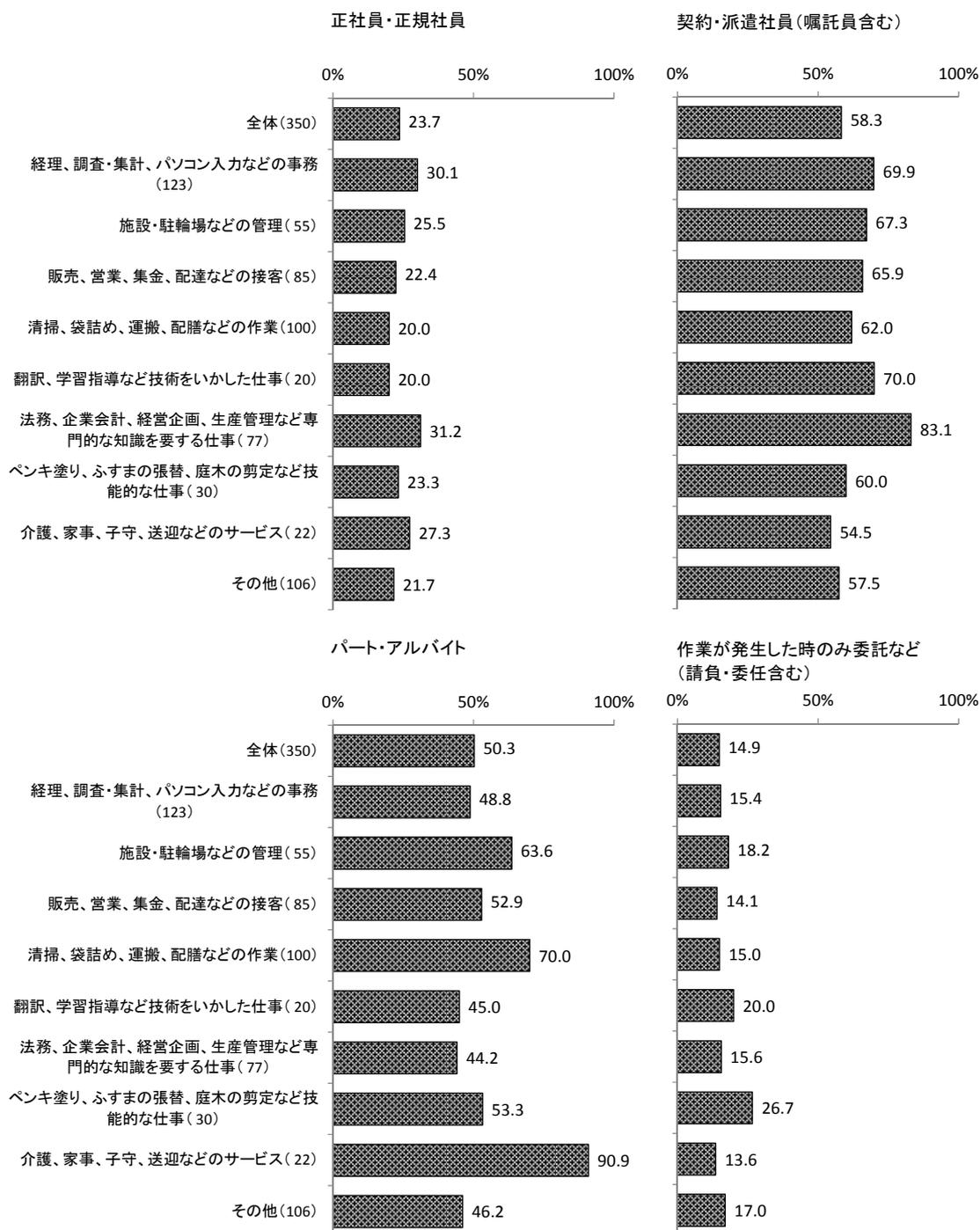
従業員人数別でみると、「契約・派遣社員は『300~999人』が92.3%、「パート・アルバイト」は『1000人以上が』75.0%と最も多くなっている。「正社員・正規社員」は『300~999人』以外では20%台となっている。

図表 2-3-3 高齢者の雇用形態【雇用の状況・動向別】



雇用の状況・動向別でみると、「正社員・正規社員」は現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたいが最も多く、28.0%となっている。

図表 2-3-4 高齢者の雇用形態【提供できる仕事内容】



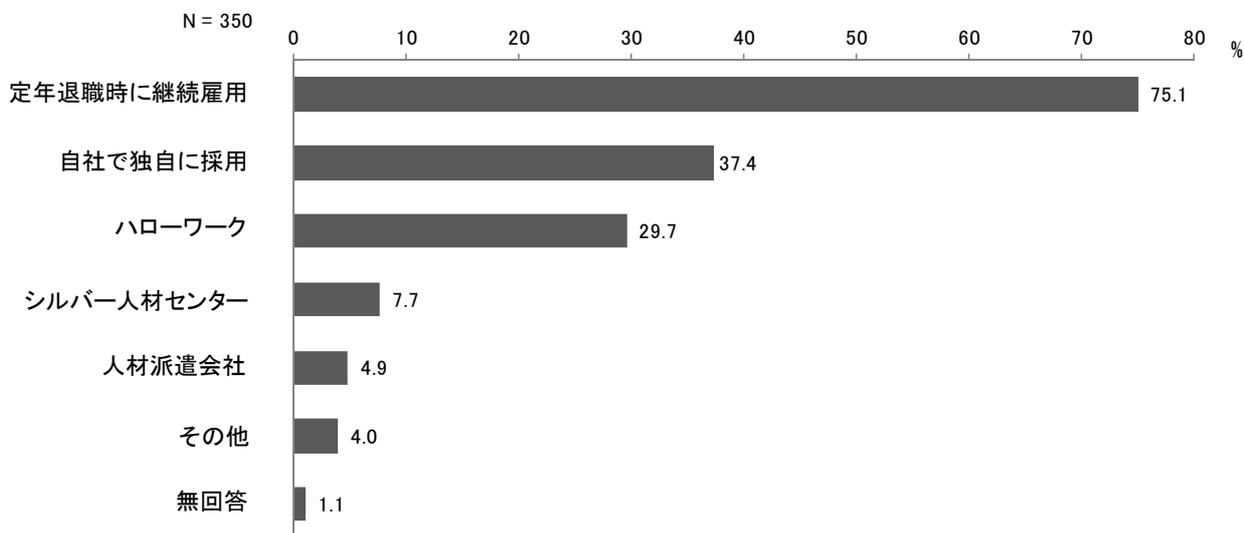
提供できる仕事内容別で見ると、「契約・派遣社員」はすべての仕事内容で50%を、「パート・アルバイト」では40%を越えている。

また、「正社員・正規社員」では『法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事』が31.2%で最も多く、次いで、『経理、調査・集計、パソコン入力などの事務』(30.1%)、『介護、家事、子守、送迎などのサービス』(27.3%)と続いている。

#### ④募集方法

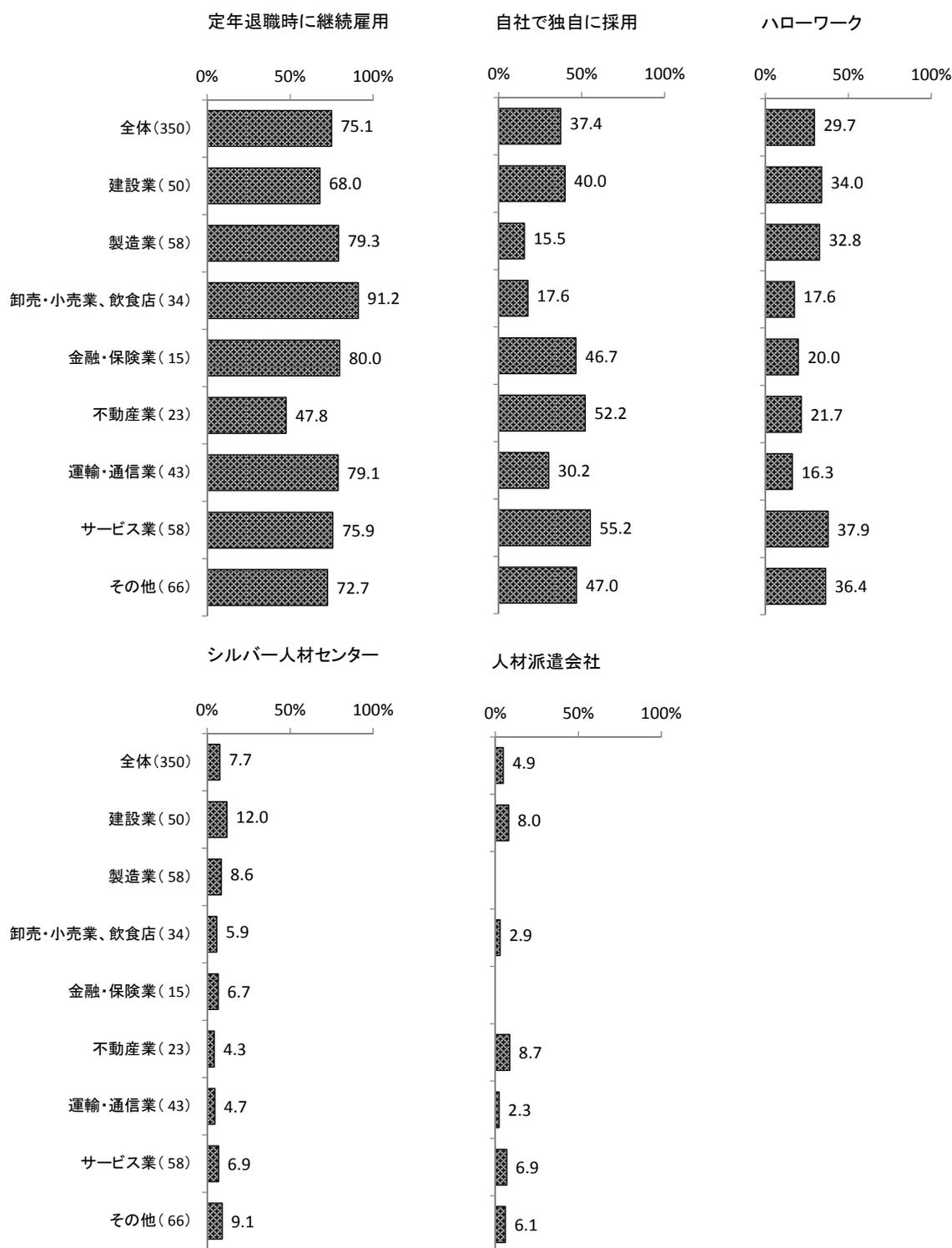
問5-3. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）する場合の募集方法についてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

図表2-4 高齢者を雇用する場合の募集方法



高齢者の募集方法は、「定年退職時に継続雇用」が 75.1%と最も多く、次いで、「自社で独自に採用」(37.4%)、「ハローワーク」(29.7%)と続いている。

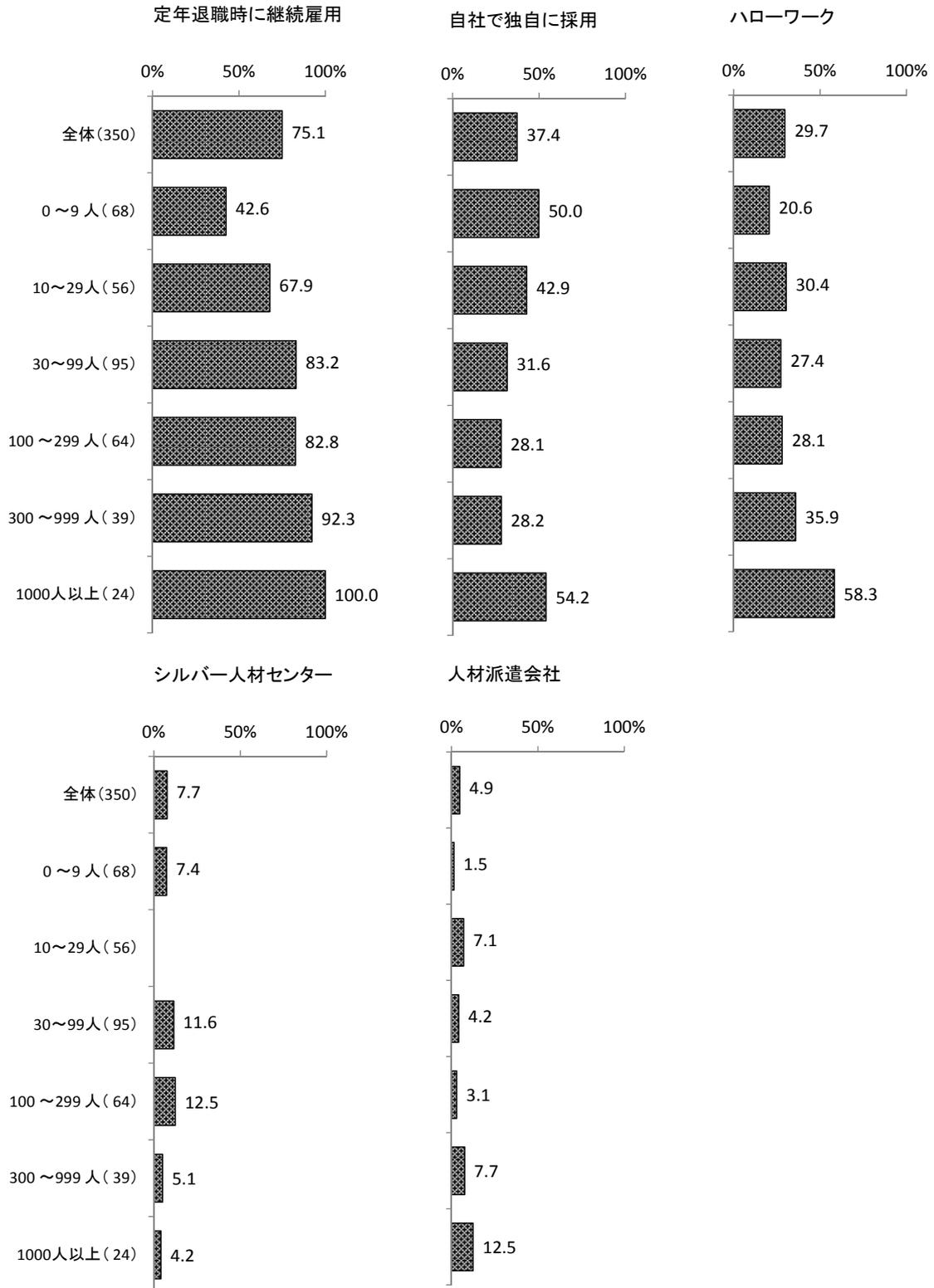
図表2-4-1 高齢者を雇用する場合の募集方法【業種別】



業種別でみると、「定年退職時に継続雇用」はほとんどの業種で60%以上となっている。「自社で独自に採用」では『サービス業』が55.2%と最も多く、次いで『不動産業』(52.2%)となっている。

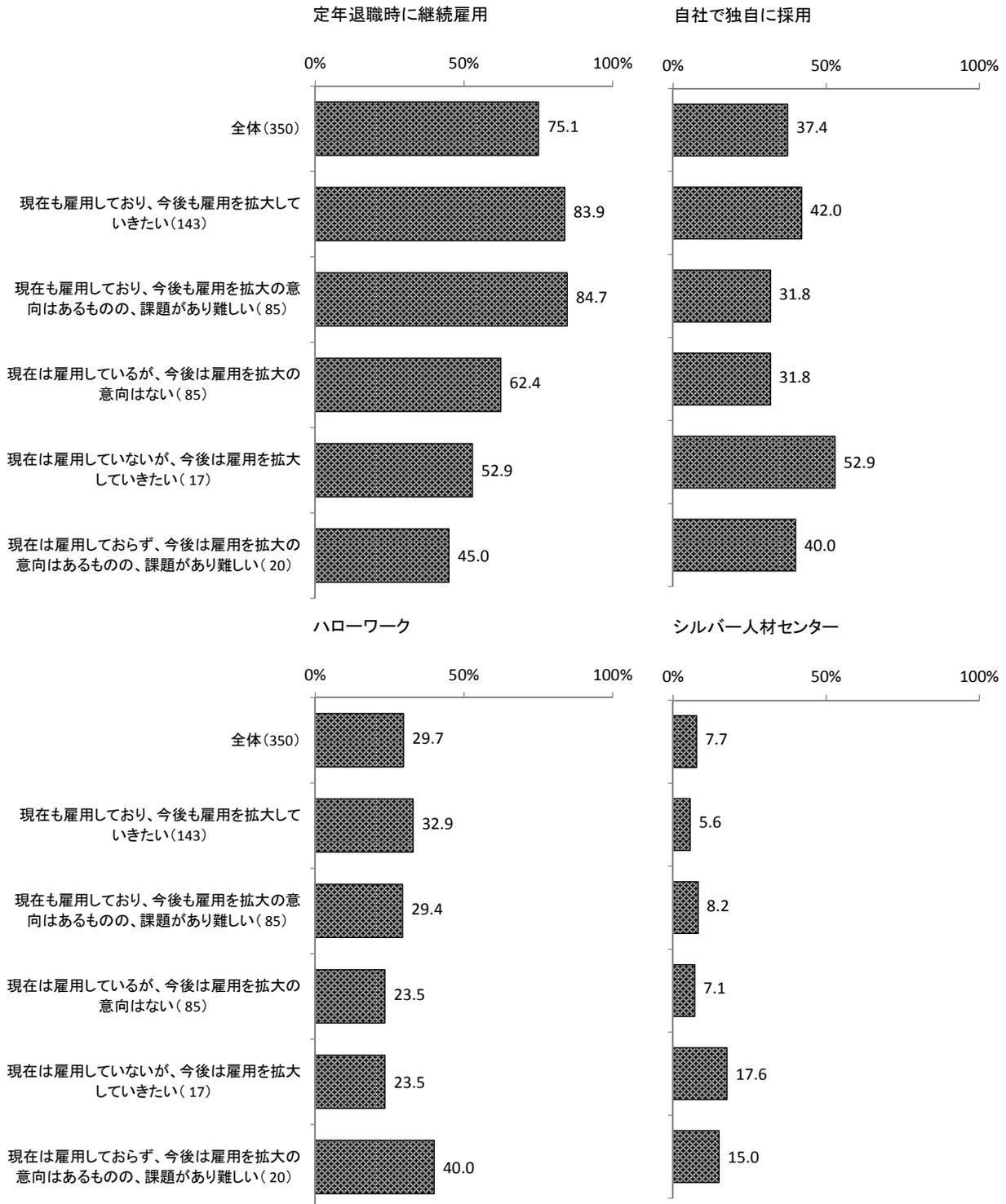
「シルバー人材センター」「人材派遣会社」は少なく、それぞれ『建設業』で12.0%、『不動産業』で8.7%が最も多くなっている。

図表 2-4-2 高齢者を雇用する場合の募集方法【従業員人数別】



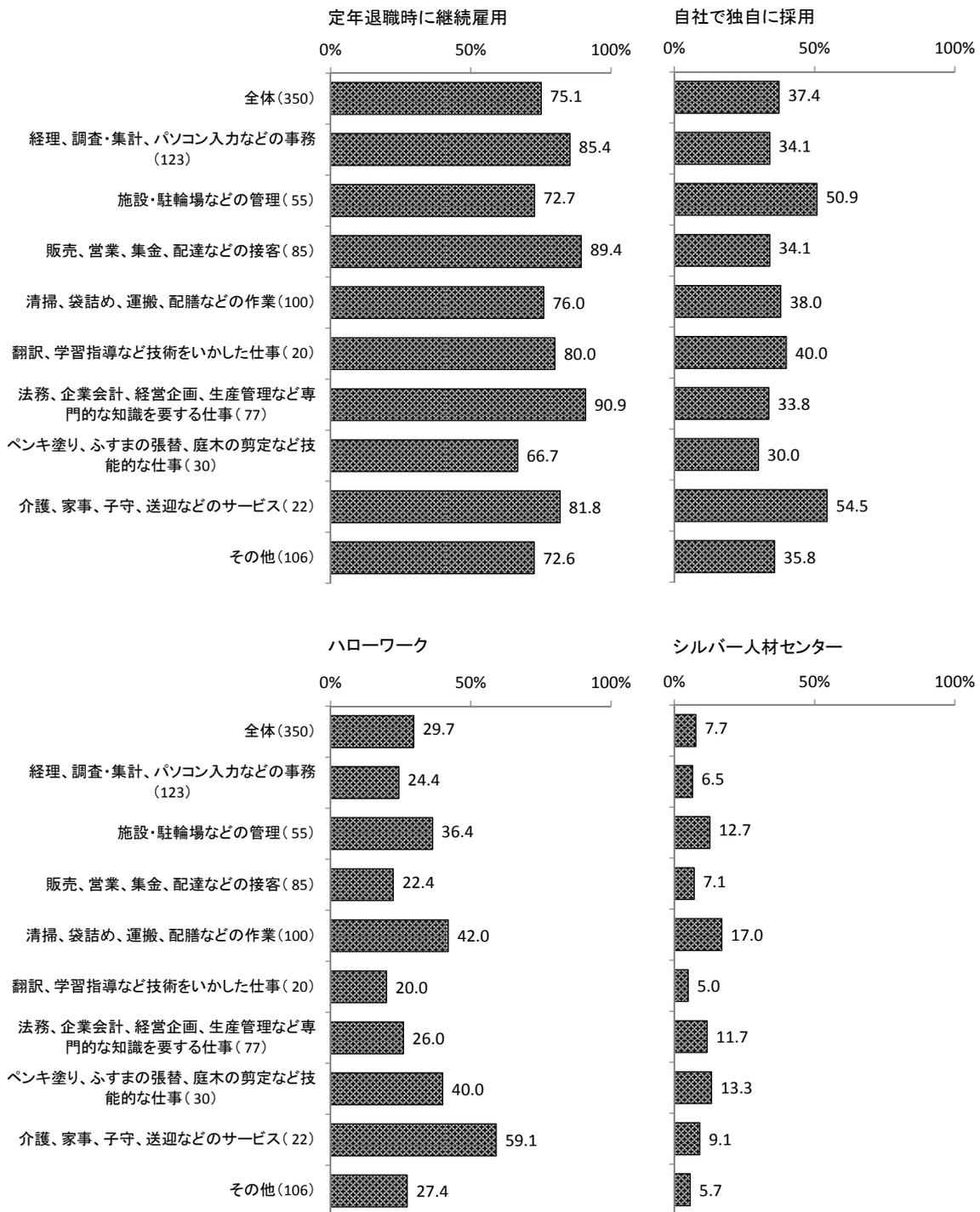
従業員人数別で見ると、「定年退職時に継続雇用」は『1000人以上』で100%となっている。「自社で独自に採用」では『1000人以上』が54.2%と最も多く、次いで『0～9人』(50.0%)となっている。

図表 2-4-3 高齢者を雇用する場合の募集方法【雇用の状況・動向別】（上位4つ）



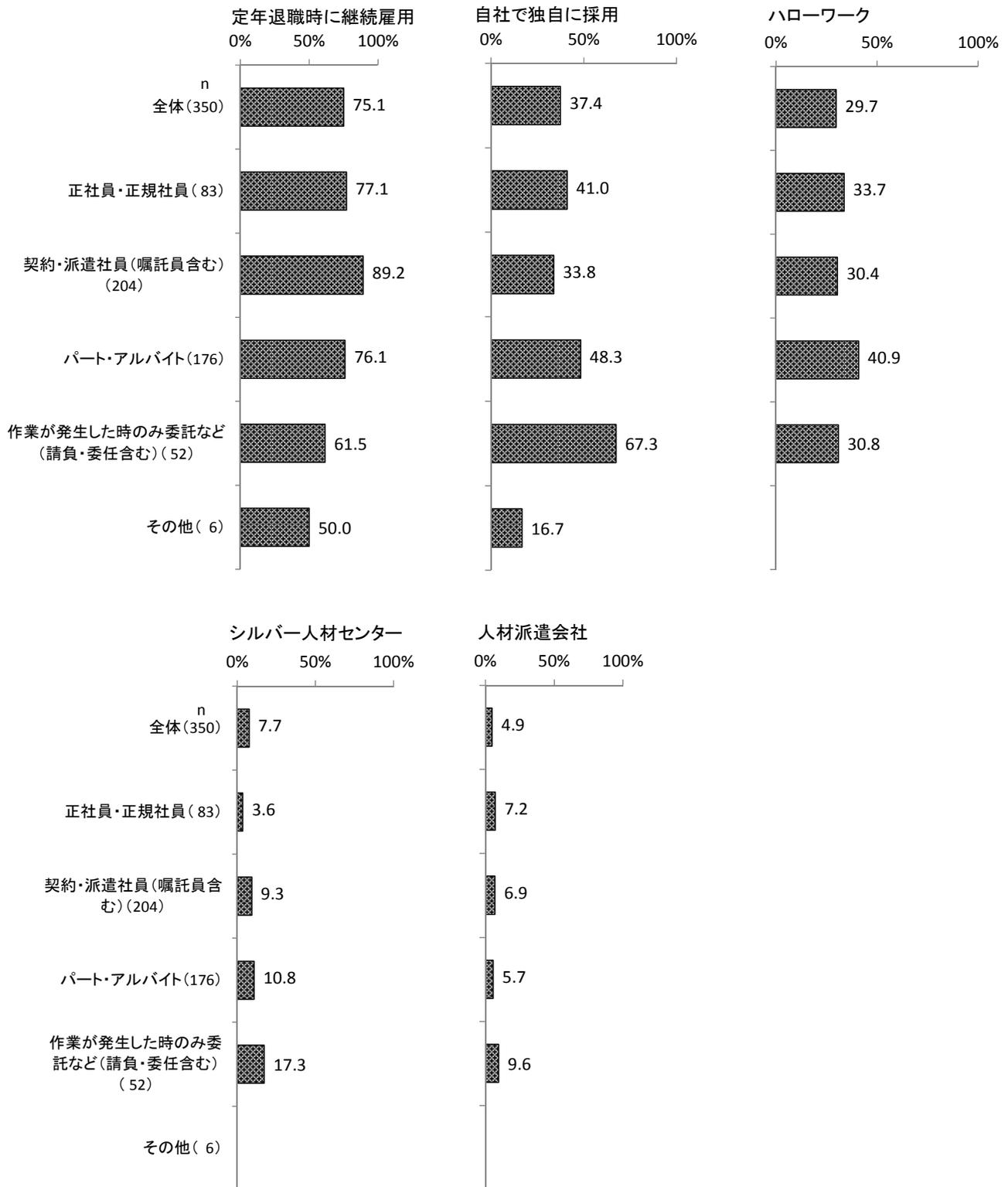
雇用の状況・動向別でみると、「定年退職時に継続雇用」は『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』が84.7%、『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい』が83.9%と多くなっている。「自社で独自に採用」は『現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい』が52.9%と最も多くなっている。

図表 2-4-4 高齢者を雇用する場合の募集方法  
【提供できる仕事内容別】(上位4つ)



提供できる仕事内容別でみると、「定年退職時に継続雇用」はほとんどの仕事内容で多く、『法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事』が 90.9%と最も多くなっている。『介護、家事、子守、送迎などのサービス』は「自社で独自に採用」が 54.5%、「ハローワーク」が 59.1%と最も多くなっている。

図表 2-4-5 高齢者を雇用する場合の募集方法【雇用形態別】

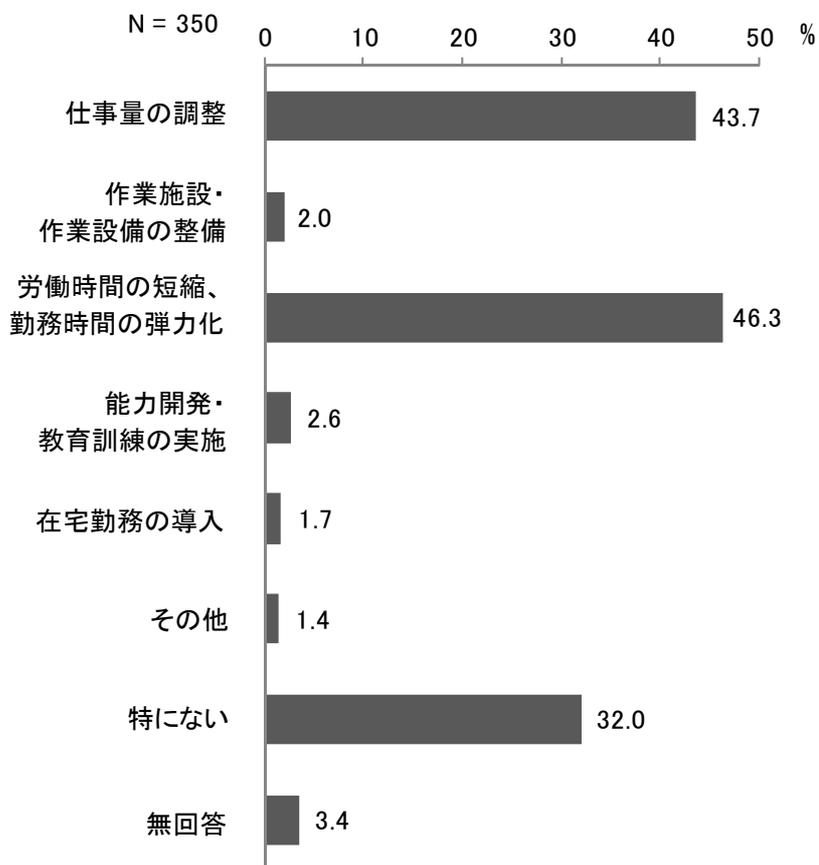


雇用形態別で見ると、「定年退職時に継続雇用」はほとんどの雇用形態で60%を超えている。

### ⑤実施している措置

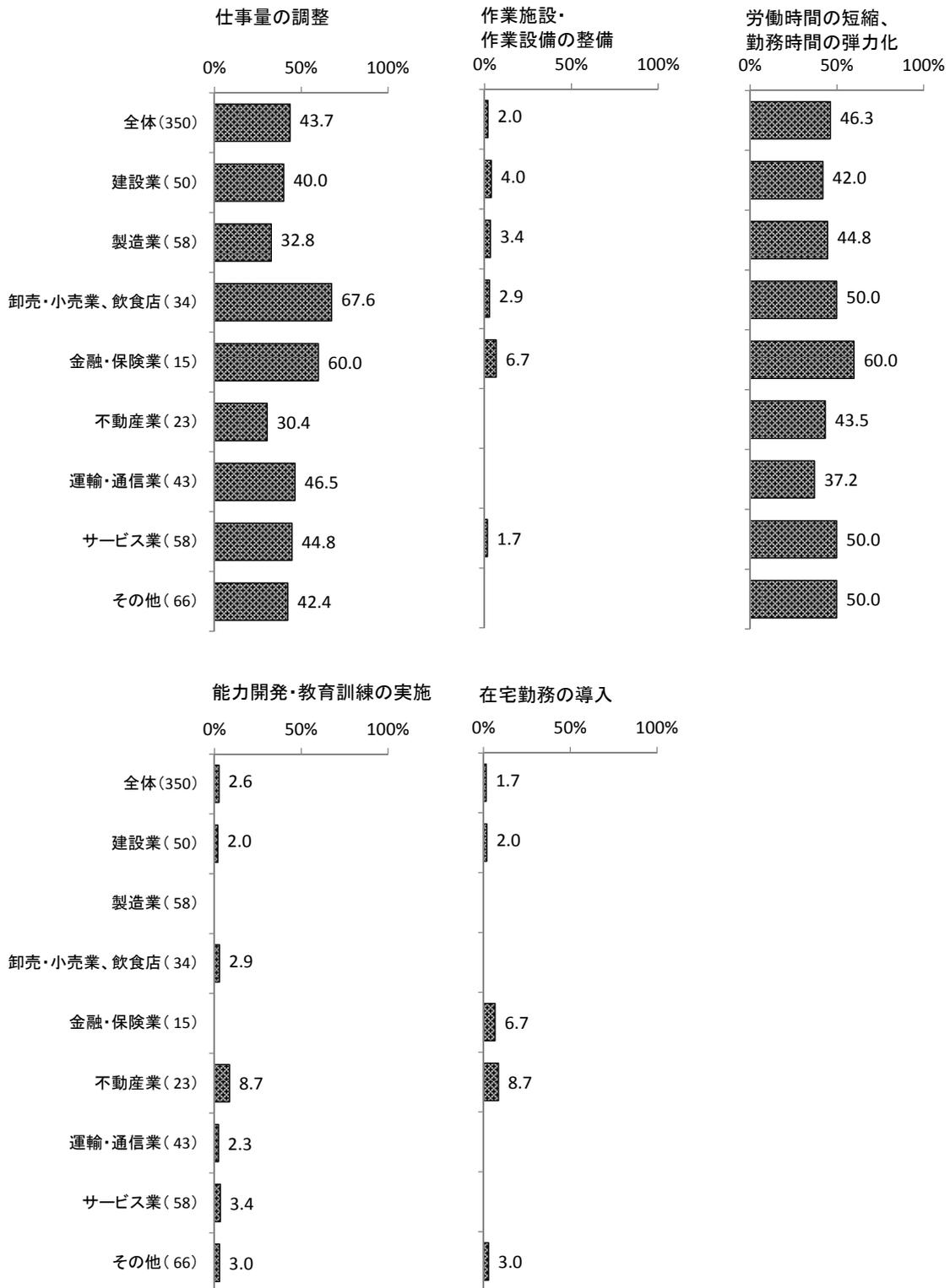
問5-4. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するために実施されている措置がありましたら、ご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

図表2-5 実施している措置



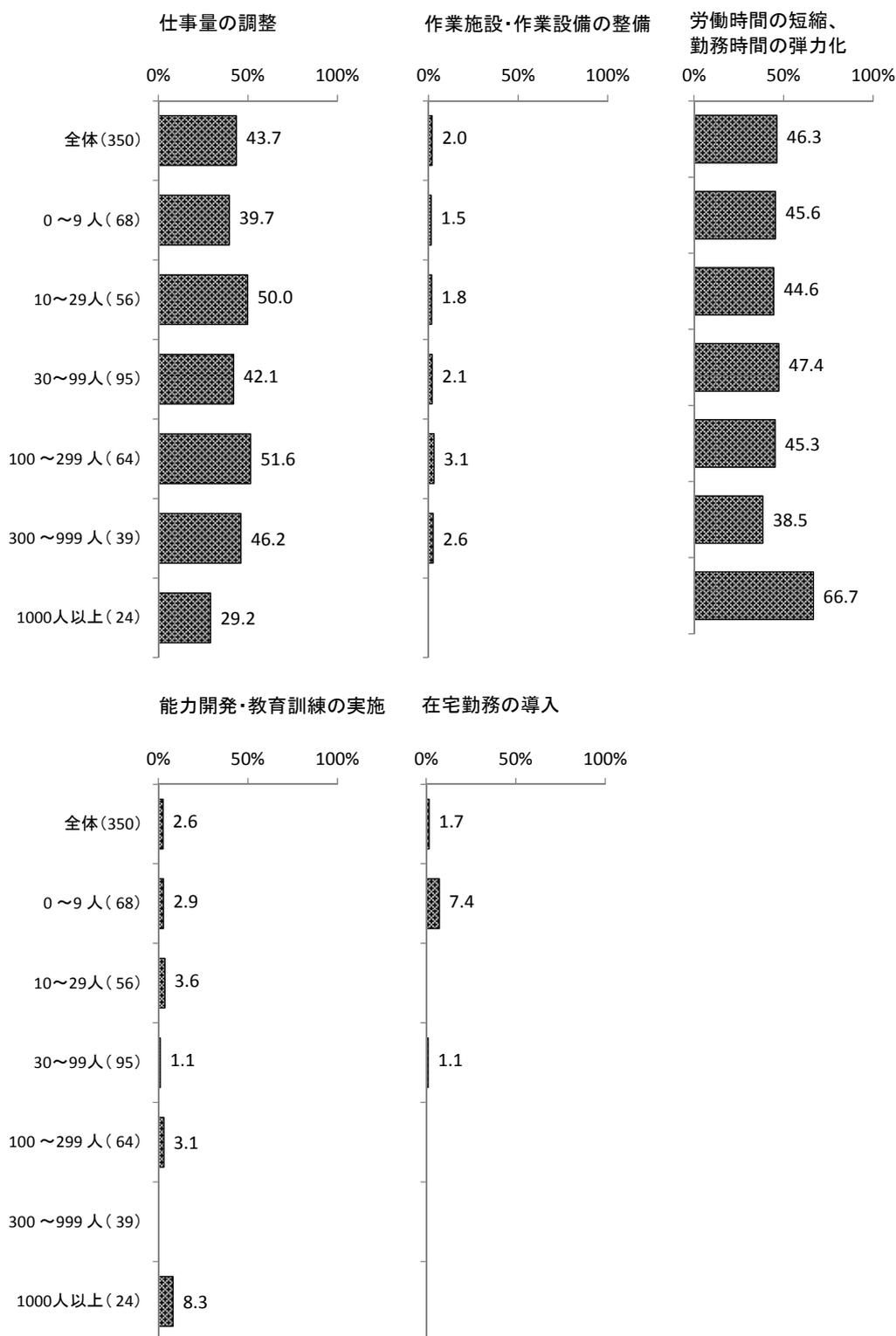
高齢者を雇用するために実施されている措置は、「労働時間の短縮、勤務時間の弾力化」が 46.3%と最も多く、次いで、「仕事量の調整」(43.7%)、「特にない」(32.0%)と続いている。

図表 2-5-1 実施している措置【業種別】



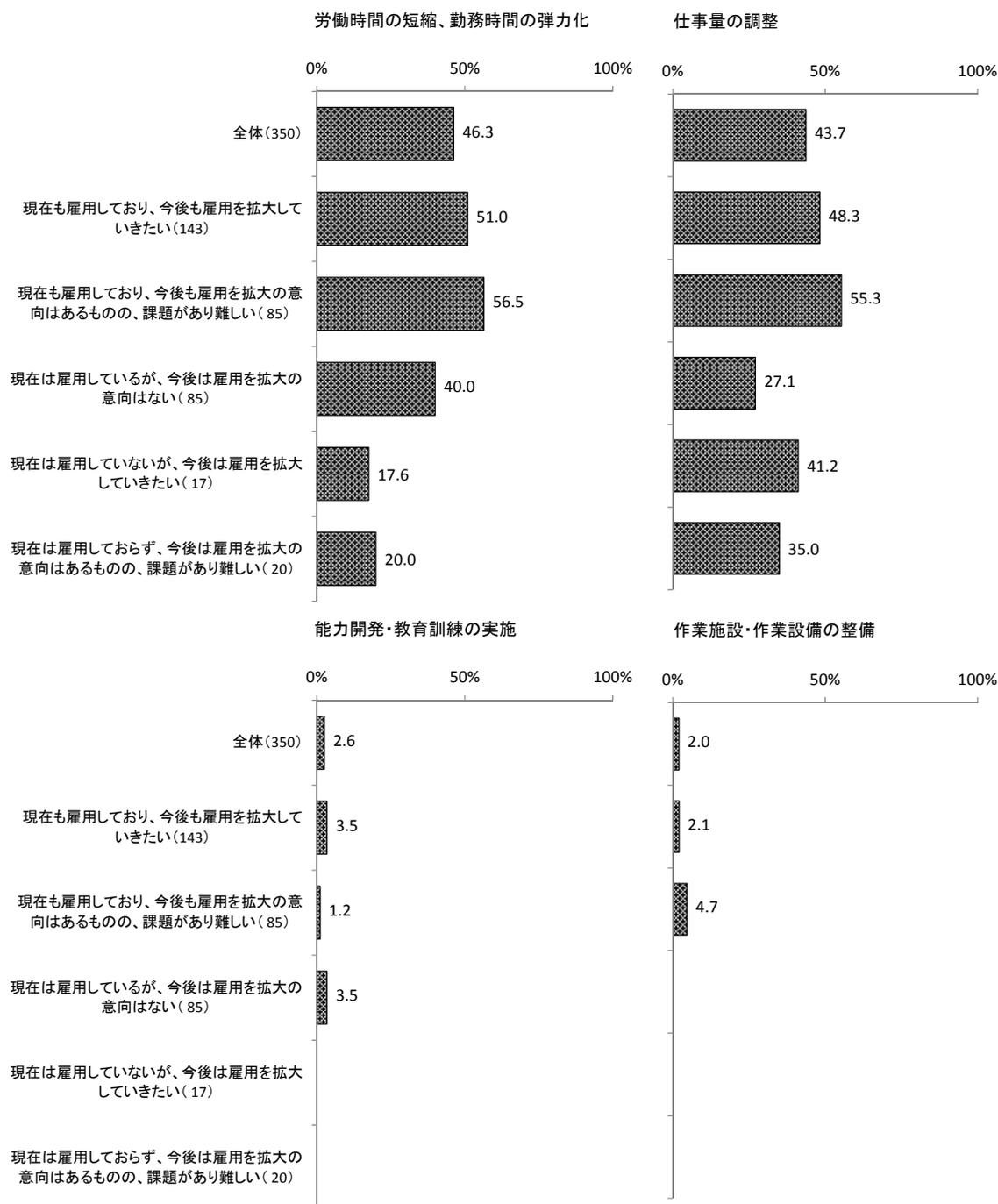
業種別でみると、「仕事量の調整」は『卸売・小売業、飲食店』が 67.6%と最も多く、次いで、『金融・保険業』が 60.0%と続いている。「労働時間の短縮・勤務時間の弾力化」は『金融・保険業』が 60.0%と最も多くなっている。

図表 2-5-2 実施している措置【従業員人数別】



従業員人数別でみると、「仕事量の調整」では『100～299人』が51.6%で最も多く、次いで、『10～29人』(50.0%)、『300～999人』(46.2%)と続いている。「労働時間の短縮、勤務時間の弾力化」は『1000人以上』が66.7%と最も多く、それ以外もほとんど40%を越えている。

図表 2-5-3 実施している措置【雇用の状況・動向別】（上位4つ）

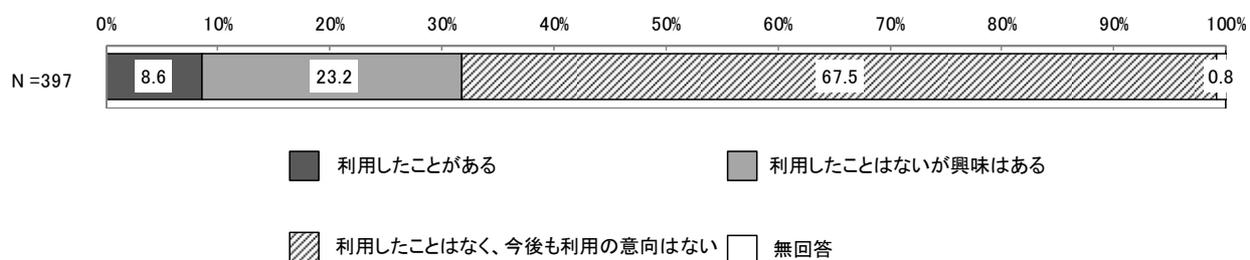


雇用の状況・動向別でみると、「労働時間の短縮、勤務時間の弾力化」「仕事量の調整」でともに『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』が最も多く、次いで、『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい』となっている。3番目に多いのは「仕事量の調整」で『現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい』、「労働時間の短縮、勤務時間の弾力化」では『現在は雇用しているが、今後は雇用を拡大する意向はない』となっている。

(2) インターネットを活用した仕事の発注の利用状況

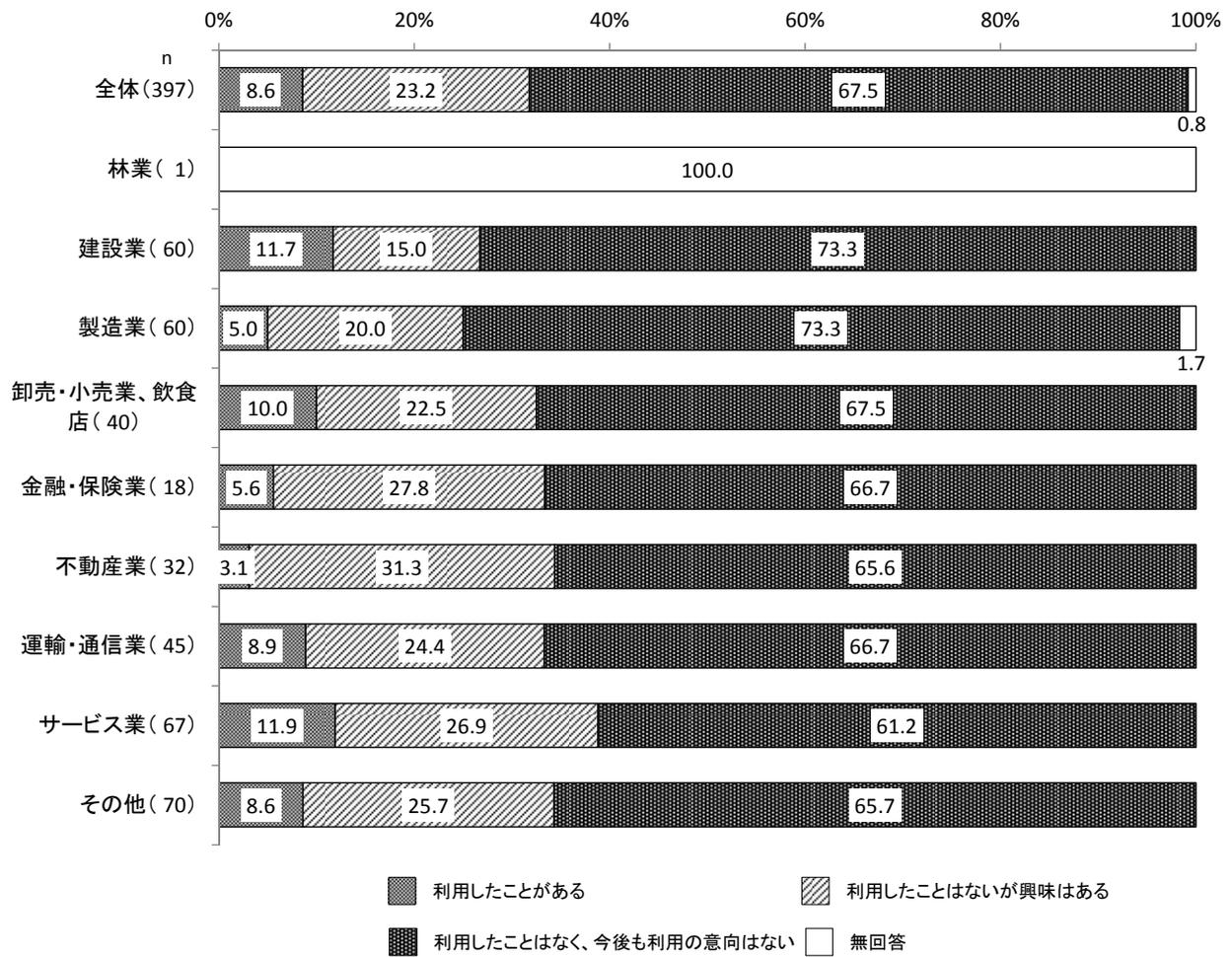
問6. インターネットを活用した仕事の発注（クラウドソーシングなど）の利用状況についてご回答ください。（1つに○）

図表 2-6 インターネットを活用した仕事の発注の利用状況



インターネットを活用した仕事の発注の利用状況は、「利用したことはなく、今後も利用の意向はない」が67.5%と最も多く、次いで、「利用したことはないが興味はある」(23.2%)、「利用したことがある」(8.6%)と続いている。

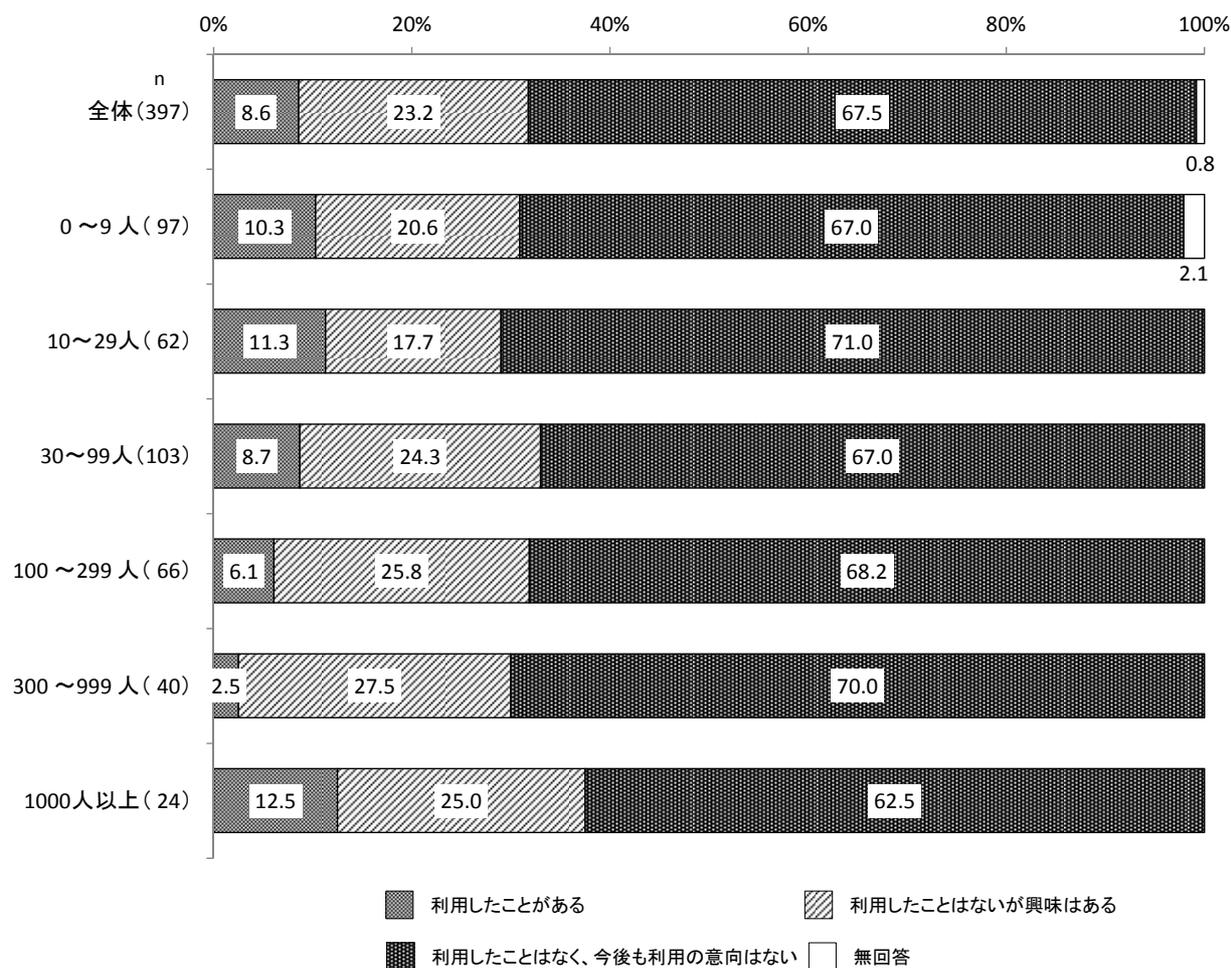
図表 2-6-1 インターネットを活用した仕事の発注の利用状況【業種別】



業種別でみると、「利用したことがある」は『サービス業』が 11.9%で最も多く、次いで、『建設業』(11.7%)、『卸売・小売業、飲食店』(10.0%)と続いている。

「利用したことはないが興味はある」は『不動産業』が 31.3%で最も多く、次いで、『金融・保険業』(27.8%)、『サービス業』(26.9%)と続いている。

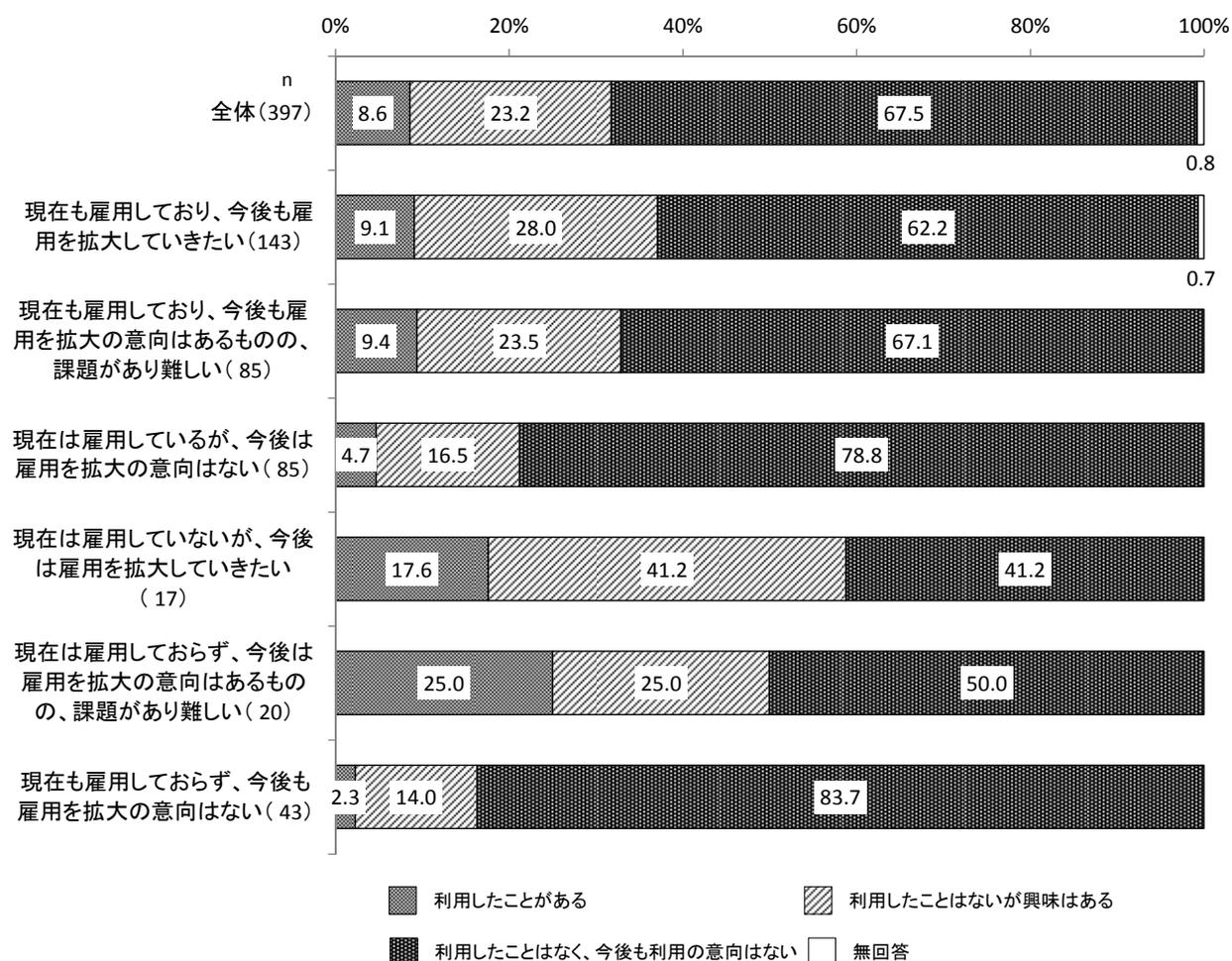
図表 2-6-1 インターネットを活用した仕事の発注の利用状況【従業員人数別】



従業員人数別で見ると、「利用したことがある」は『1000人以上』が12.5%で最も多く、次いで、『10～29人』(11.3%)、『0～9人』(10.3%)と続いている。

「利用したことはないが興味はある」は『300～999』が27.5%で最も多く、次いで、『100～299』(25.8%)、『1000人以上』(25.0%)と続いている。

図表 2-6-1 インターネットを活用した仕事の発注の利用状況  
【雇用の状況・動向別】



雇用の状況・動向別でみると、「利用したことがある」は『現在は雇用しておらず、今後は雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』が 25.0%で最も多く、次いで、『現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい』(17.6%)、『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』(9.4%)と続いている。

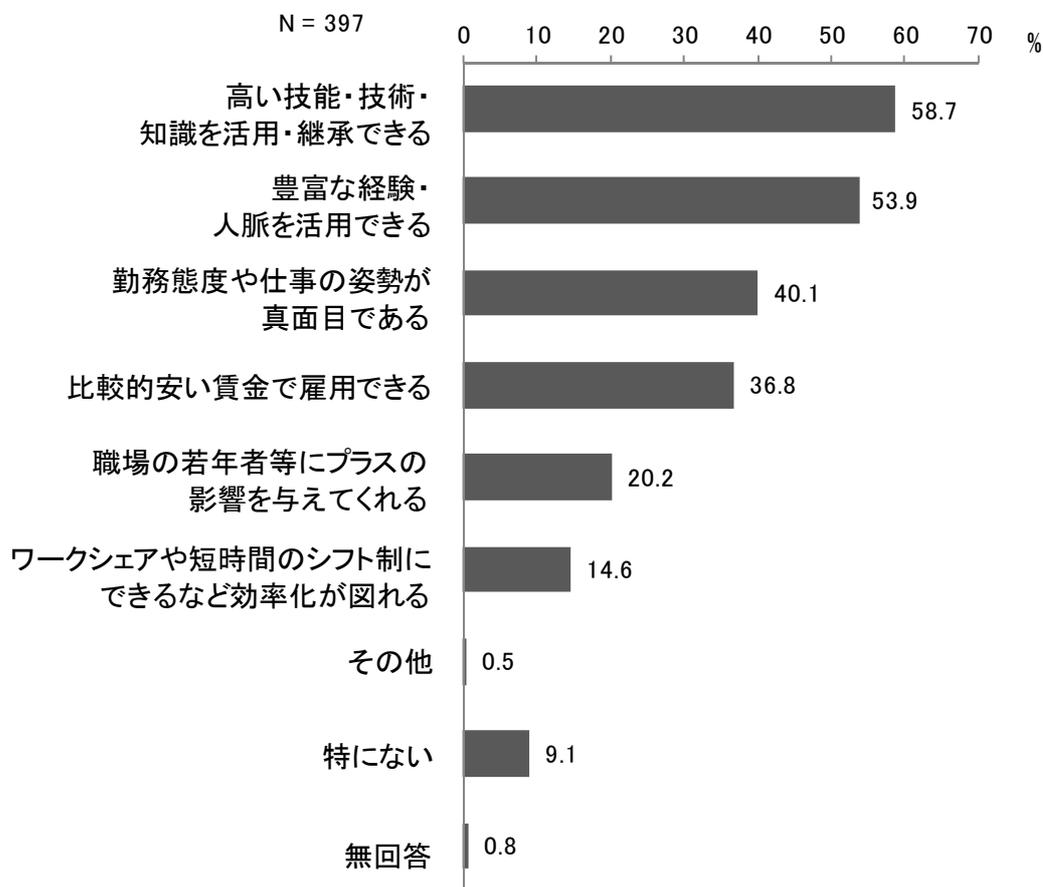
「利用したことはないが興味はある」は『現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい』が 41.2%で最も多く、次いで、『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい』(28.0%)、『現在は雇用しておらず、今後は雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』(25.0%)と続いている。

(3) 高齢者を雇用するにあたって期待すること

問7. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するにあたって期待することについてご回答ください。

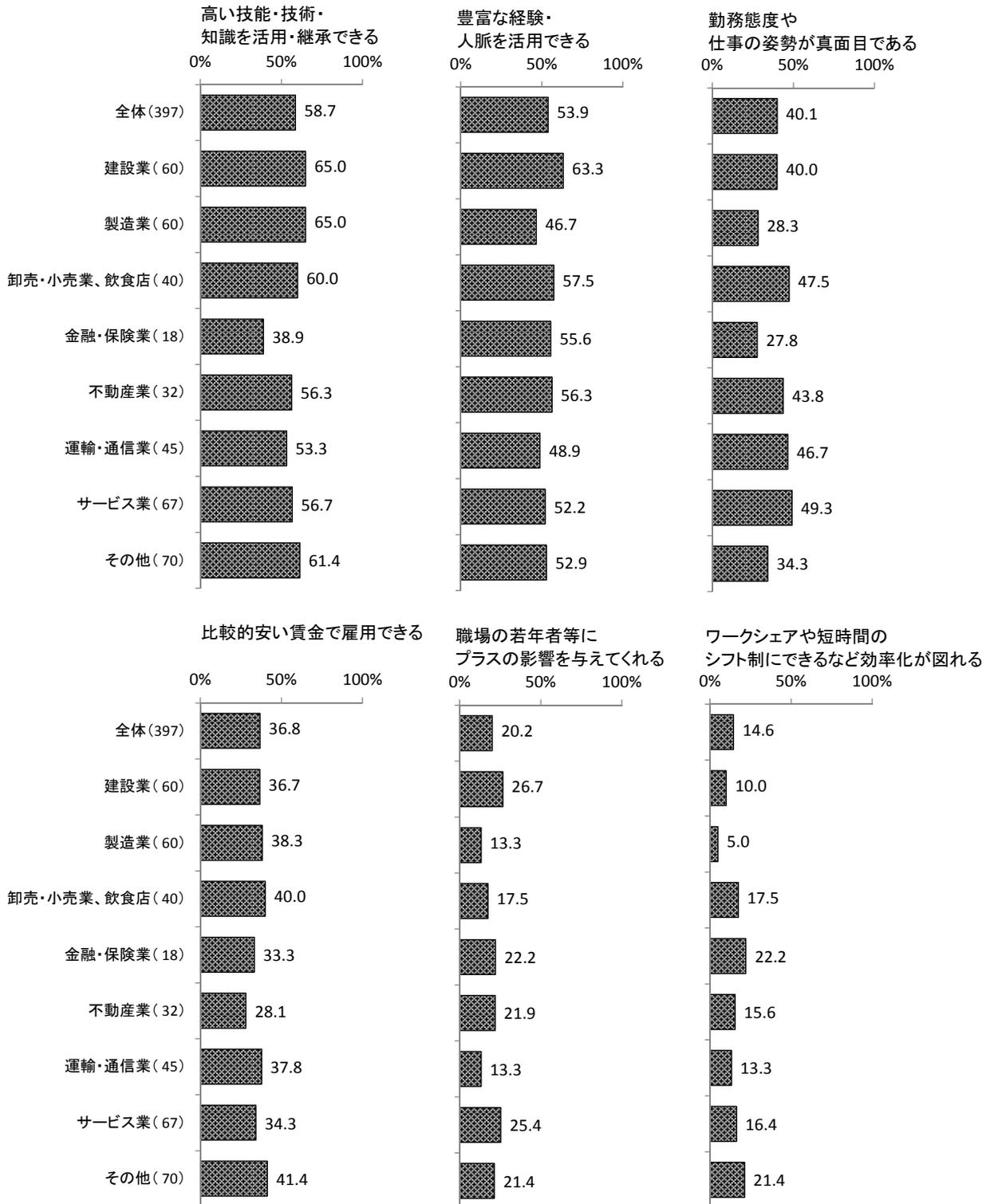
（あてはまるもの全てに○）

図表 2-7 高齢者を雇用するにあたって期待すること



高齢者の雇用で期待することは、「高い技能・技術・知識を活用・継承できる」が 58.7%と最も多く、次いで、「豊富な経験・人脈を活用できる」(53.9%)、「勤務態度や仕事の姿勢が真面目である」(40.1%)と続いている。

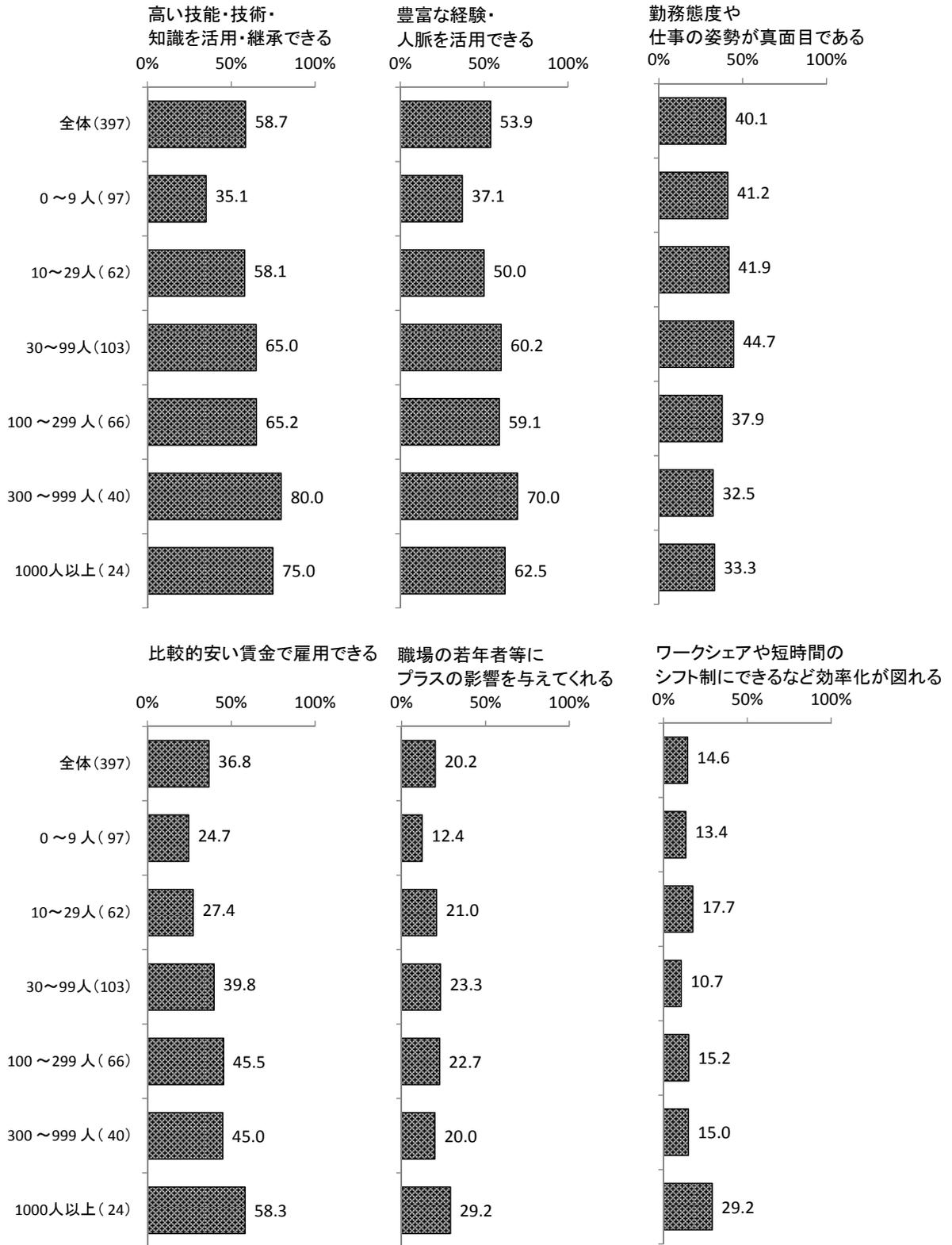
図表 2-7-1 高齢者を雇用するにあたって期待すること【業種別】



業種別でみると、「高い技能・技術・知識を活用・継承できる」では『建設業』『製造業』の技術職がともに65.0%と最も多くなっている。

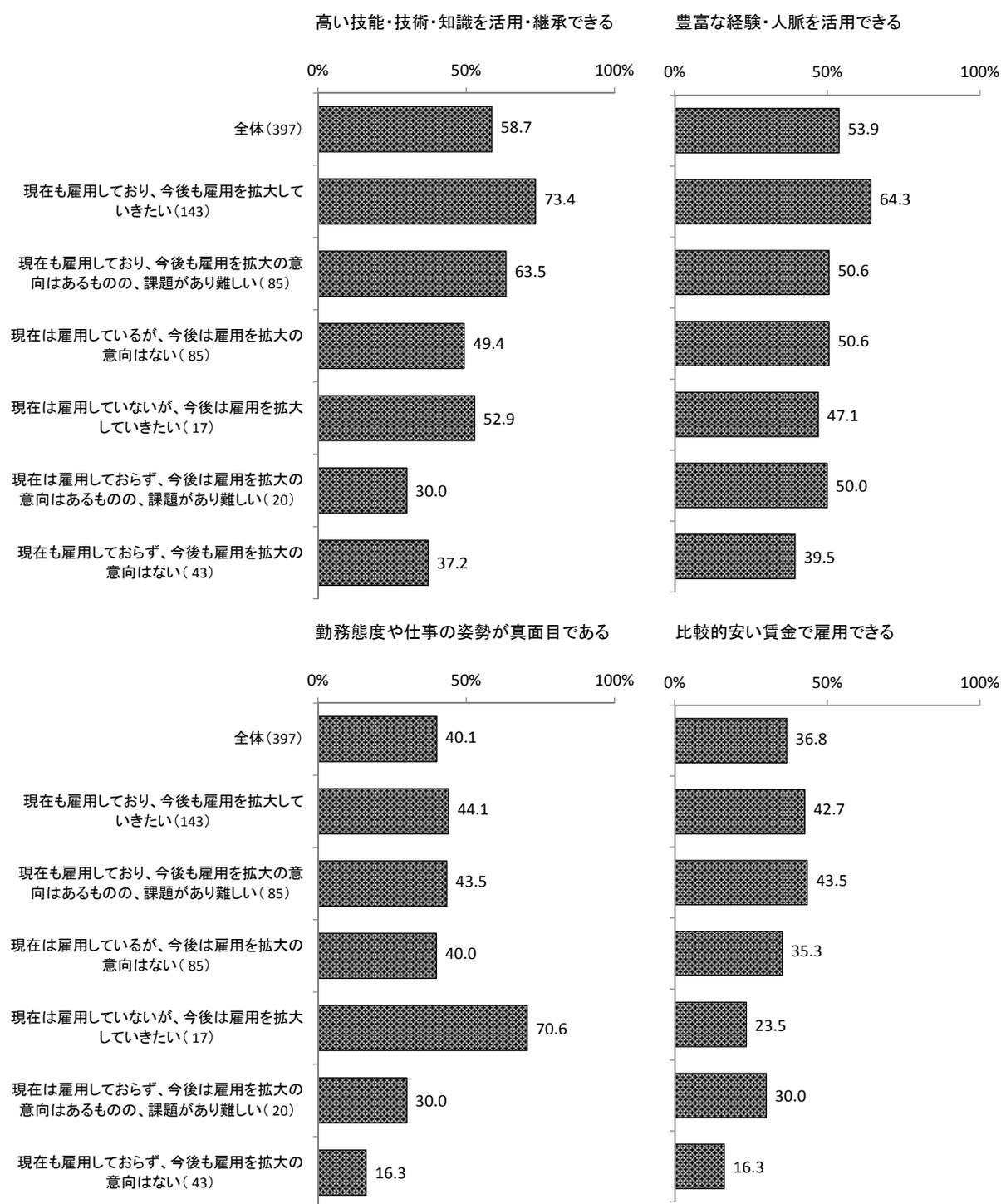
また、「豊富な経験・人脈を活用できる」はほとんどの業種で50%を越えている。

図表2-7-2 高齢者を雇用するにあたって期待すること【従業員人数別】



従業員人数別で見ると、ほとんどの項目で従業員の人数による大きな差は見られない。「比較的安い賃金で雇用できる」は従業員数の増加につれて多くなる傾向がみられる。

図表2-7-3 高齢者を雇用するにあたって期待すること  
【雇用の状況・動向別】(上位4つ)



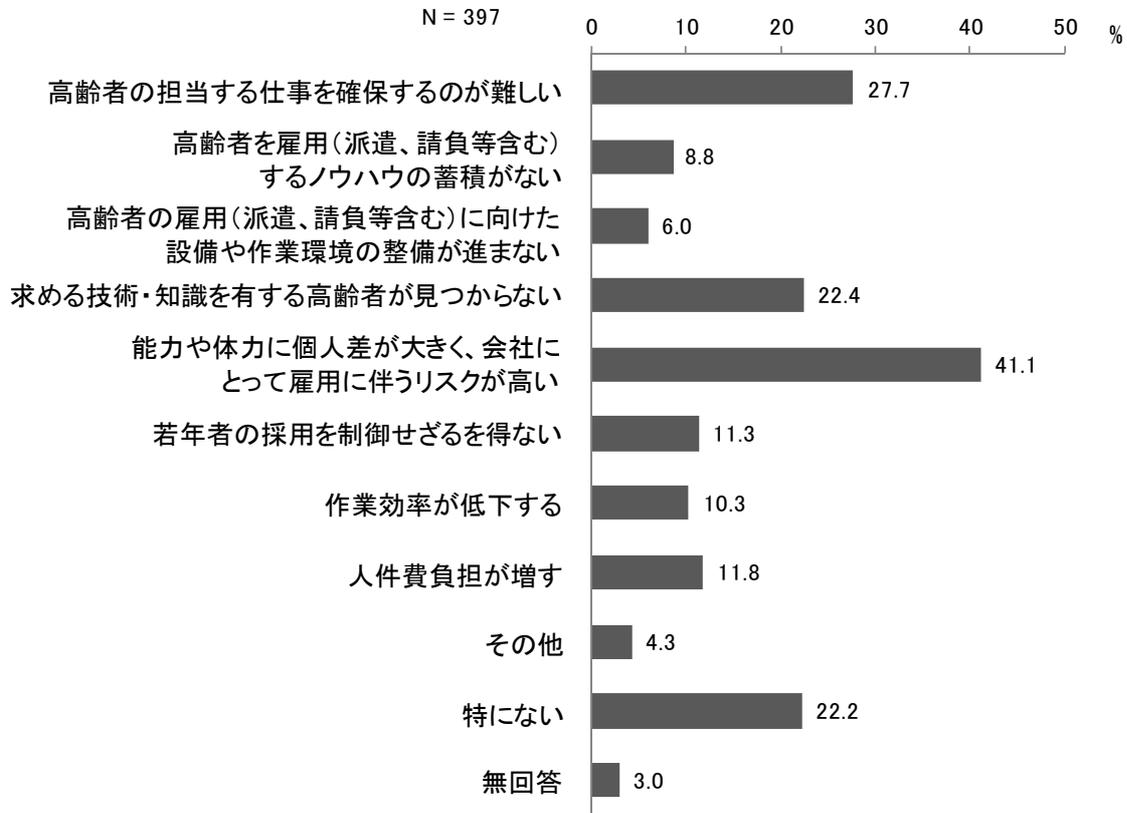
雇用の状況・動向別でみると、『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい』は「高い技能・技術・知識を活用・継承できる」「豊富な経験・人脈を活用できる」が多くなっている。

また、『現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい』では、「勤務態度や仕事の姿勢が真面目である」が最も多くなっている。

(4) 高齢者を雇用するにあたっての課題

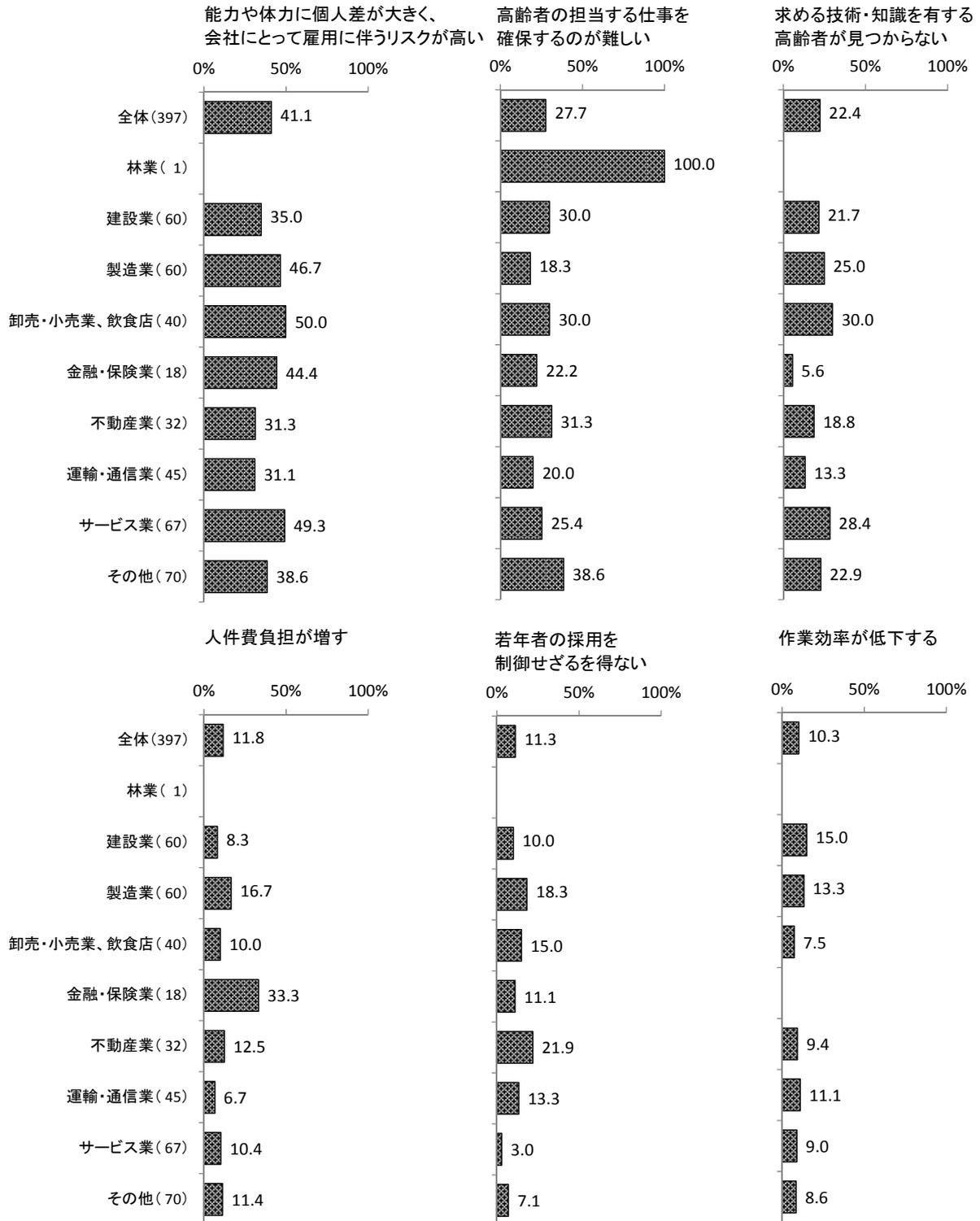
問8. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するにあたっての課題についてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

図表2-8 高齢者を雇用するにあたっての課題



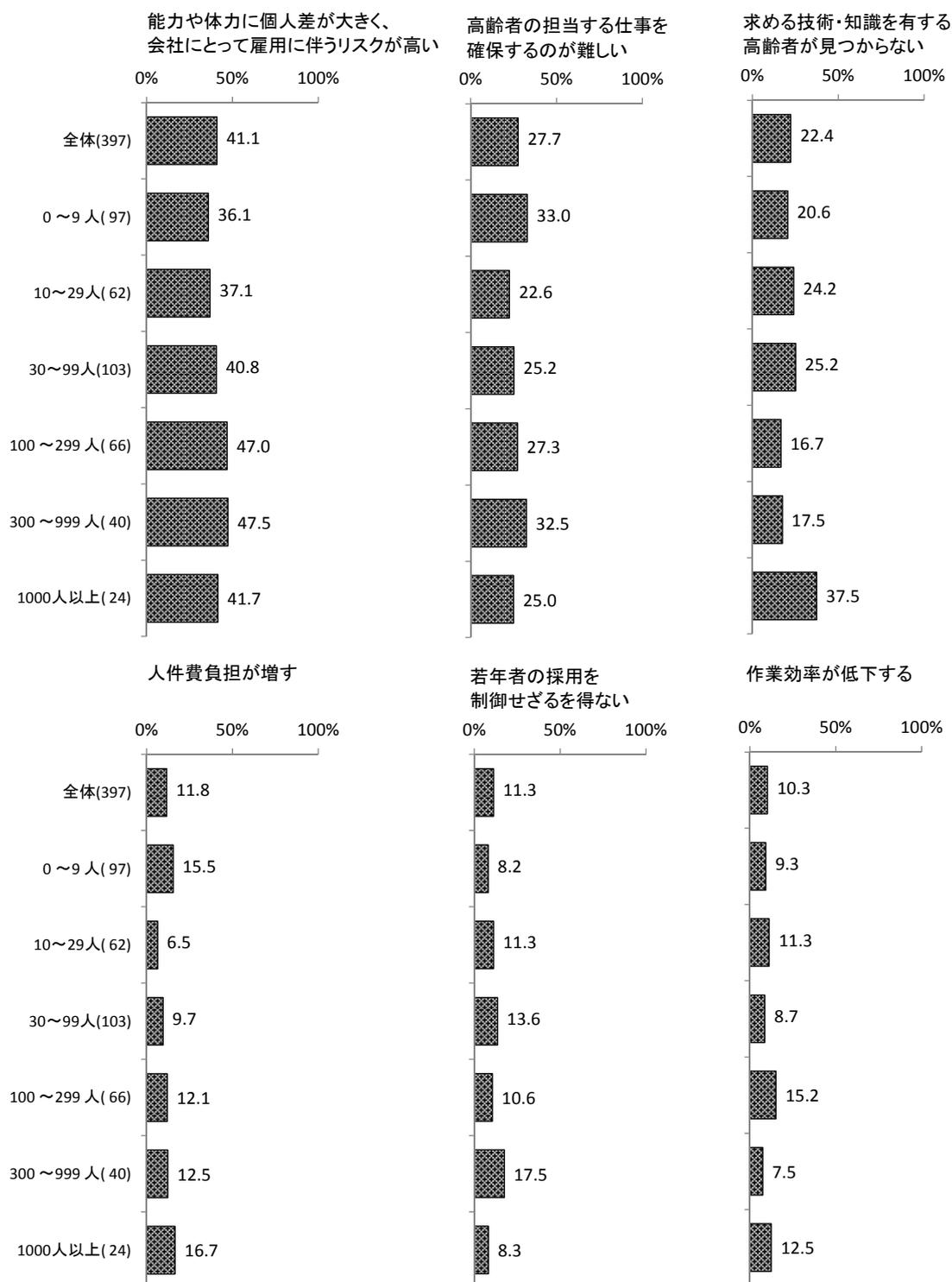
高齢者を雇用するにあたっての課題は、「能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い」が 41.1%と最も多く、次いで、「高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい」(27.7%)、「求める技術・知識を有する高齢者が見つからない」(22.4%)と続いている。

図表 2-8-1 高齢者を雇用するにあたっての課題【業種別】（上位 6 つ）



業種別でみると、『林業』以外のすべての業種で「能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い」は30%を超えている。「高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい」は『不動産業』で31.3%と最も多く、次いで、『建設業』『卸売・小売業、飲食店』が30%と続いている。

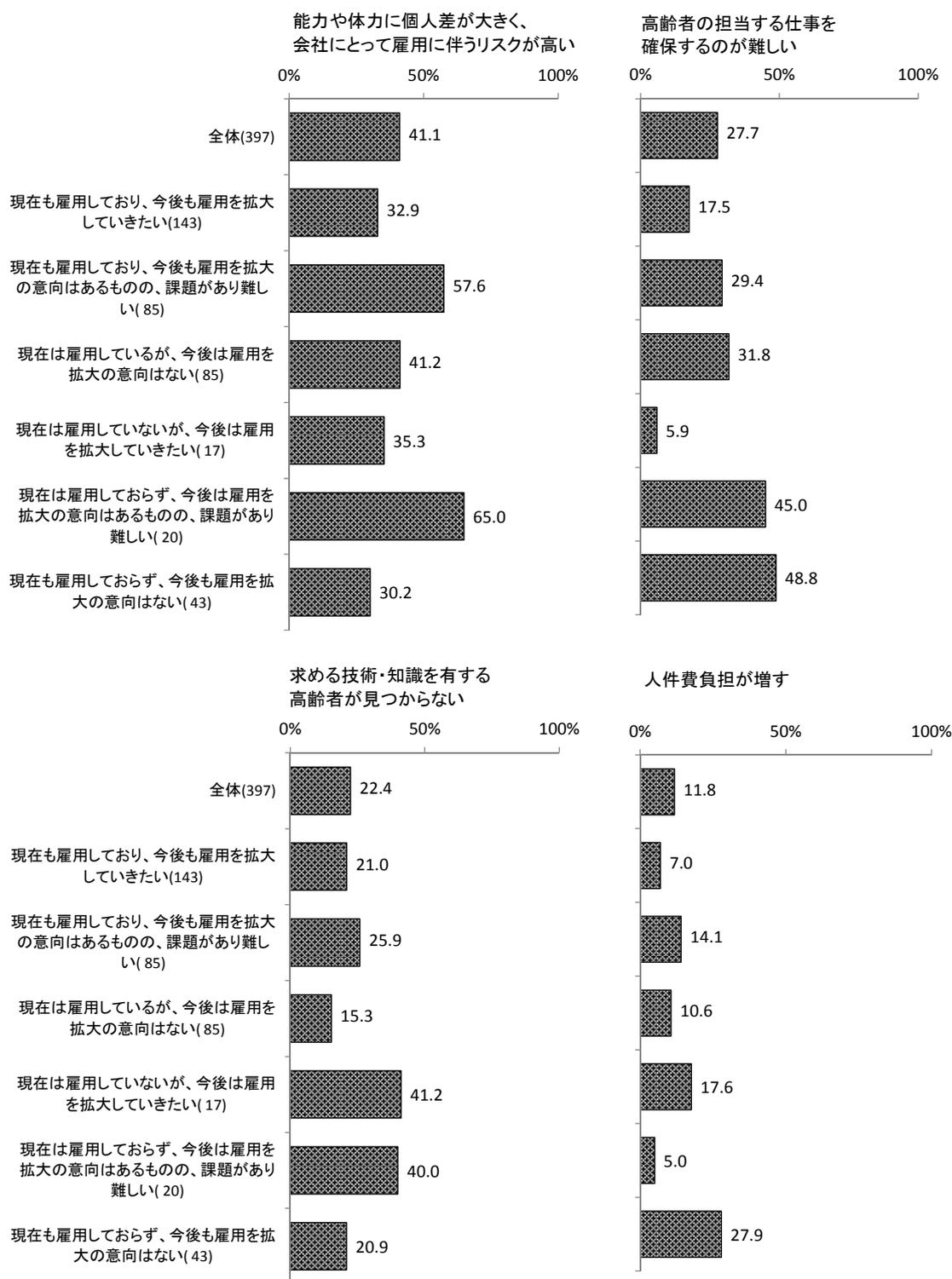
図表 2-8-2 高齢者を雇用するにあたっての課題【従業員人数別】（上位 6 つ）



従業員人数別で見ると、『1000人以上』は「求める技術・知識を有する高齢者が見つからない」で37.5%、「人件費用負担が増す」で16.7%と最も多くなっている。

また、『0～9人』は「高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい」で最も多くなっている。

図表 2-8-3 高齢者を雇用するにあたっての課題  
【雇用の状況・動向別】(上位4つ)

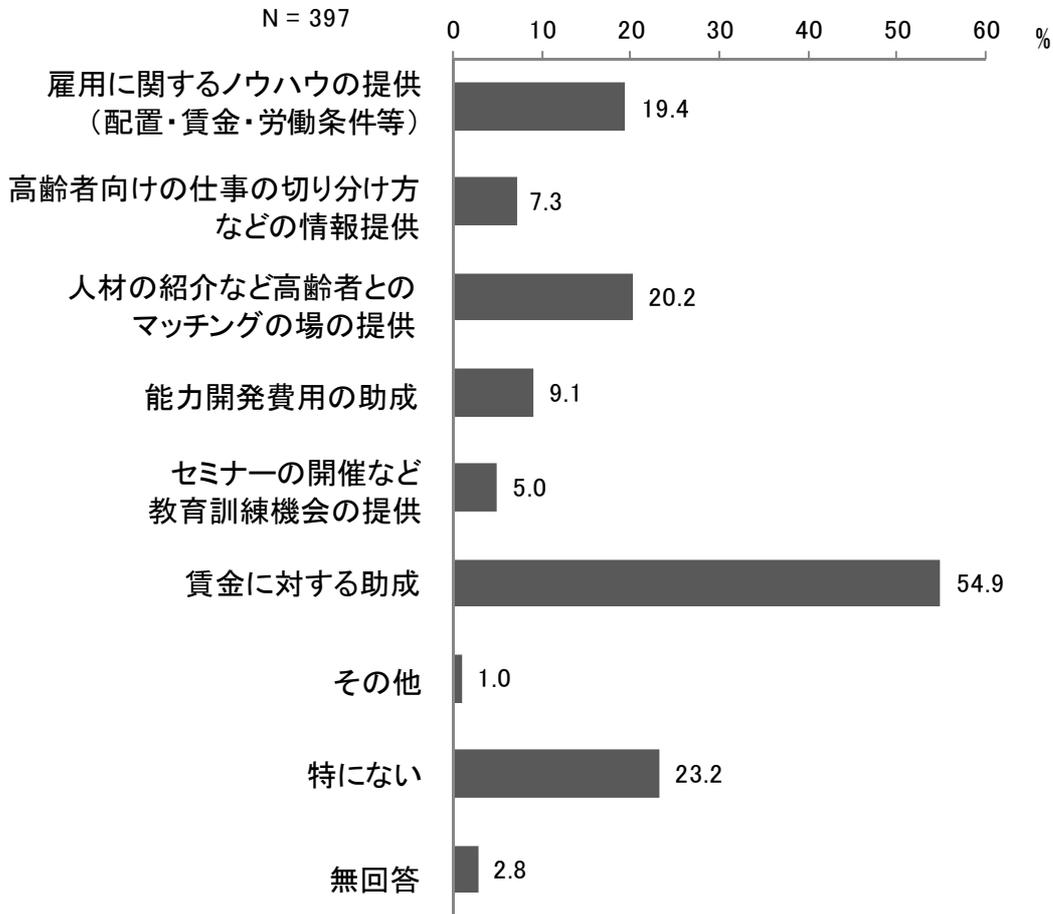


雇用の状況・動向別でみると、「能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い」は『現在は雇用しておらず、今後は雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』が 65.0%と最も多くなっている。

(5) 高齢者を雇用するために必要な公的援助

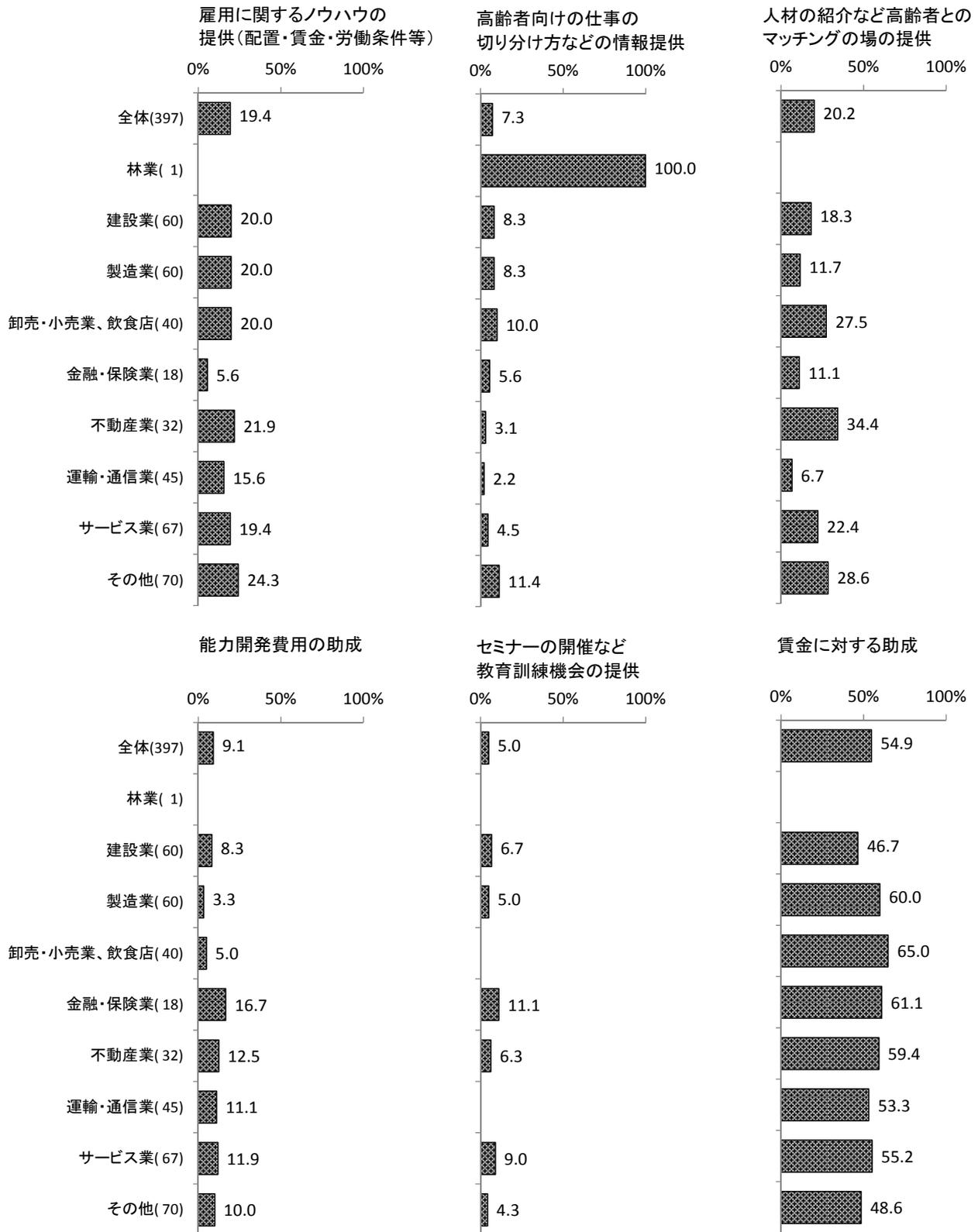
問9. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するために必要な公的援助についてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

図表 2-9 必要な公的援助



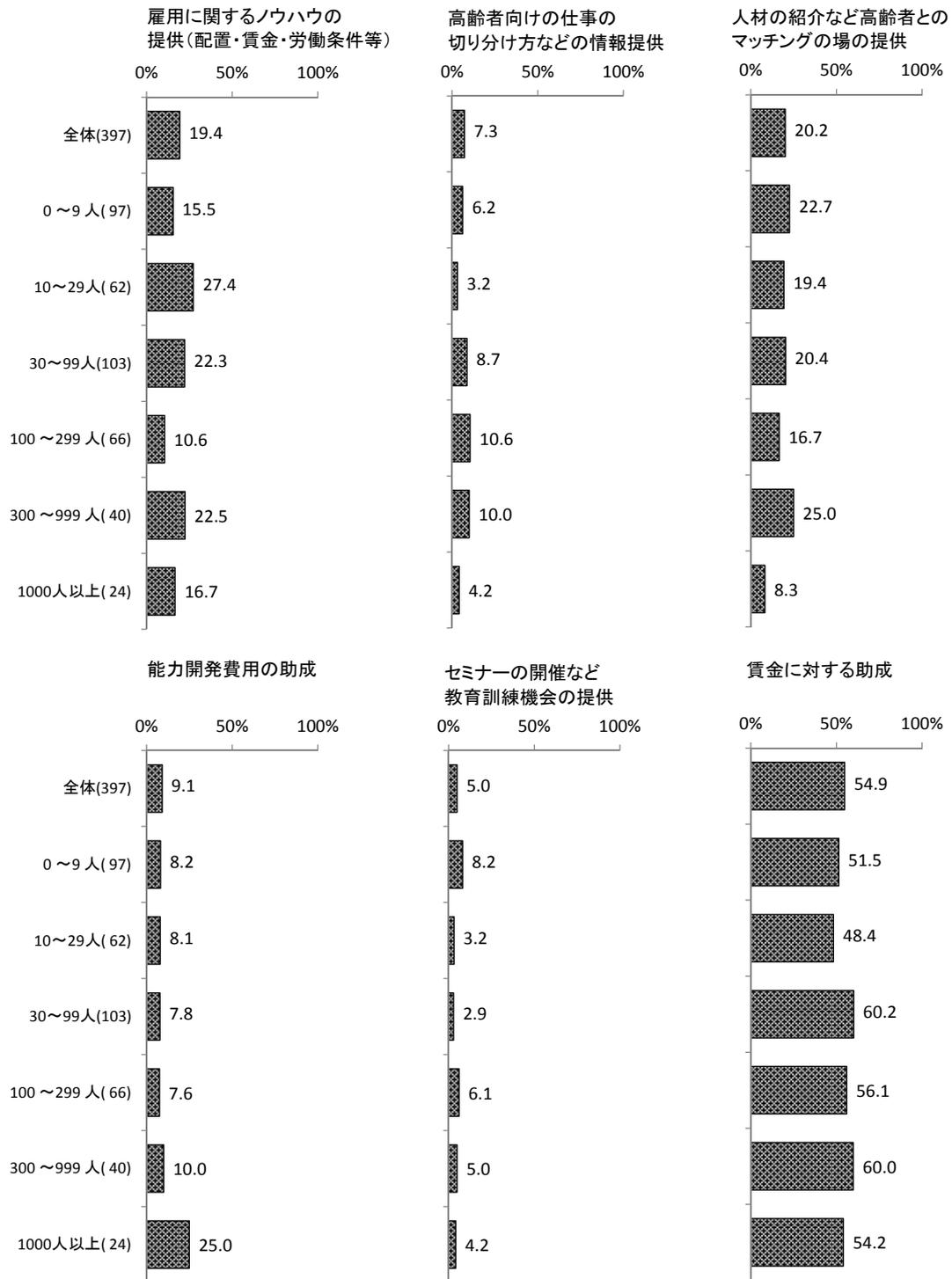
高齢者を雇用するために必要な公的援助は、「賃金に対する助成」が 54.9%と最も多く、「特に必要な公的援助はない」(23.2%)、「人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供」(20.2%)、「雇用に関するノウハウの提供（配置・賃金・労働条件等）」(19.4%)と続いている。

図表 2-9-1 必要な公的援助【業種別】



業種別でみると、「賃金に対する助成」が『林業』以外の業種で40%を越えている。

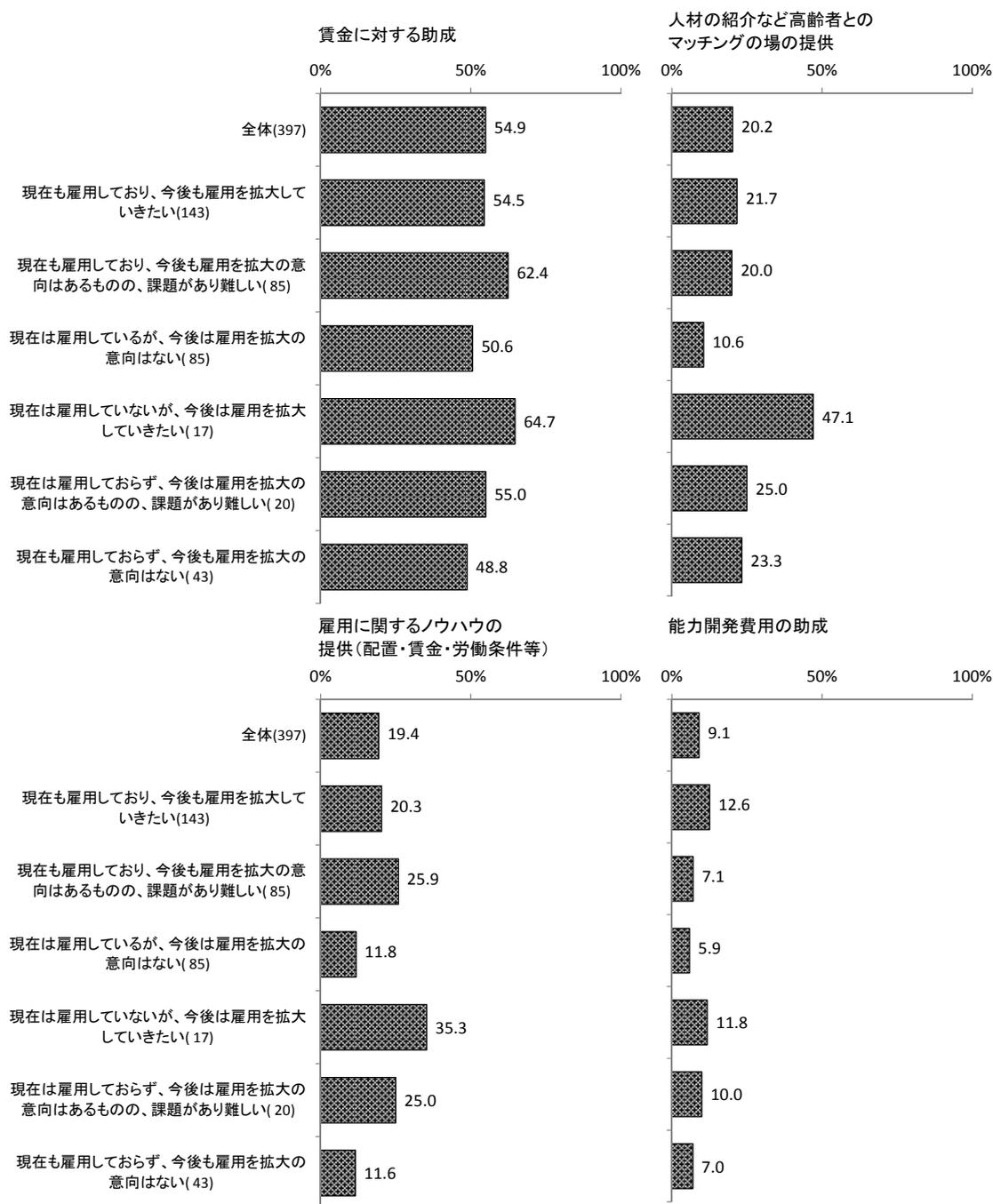
図表 2-9-2 必要な公的援助【従業員人数別】



従業員人数別で見ると、「賃金に対する助成」が『10～29人』以外で50%を越えている。『10～29人』は48.4%とほぼ50%である。

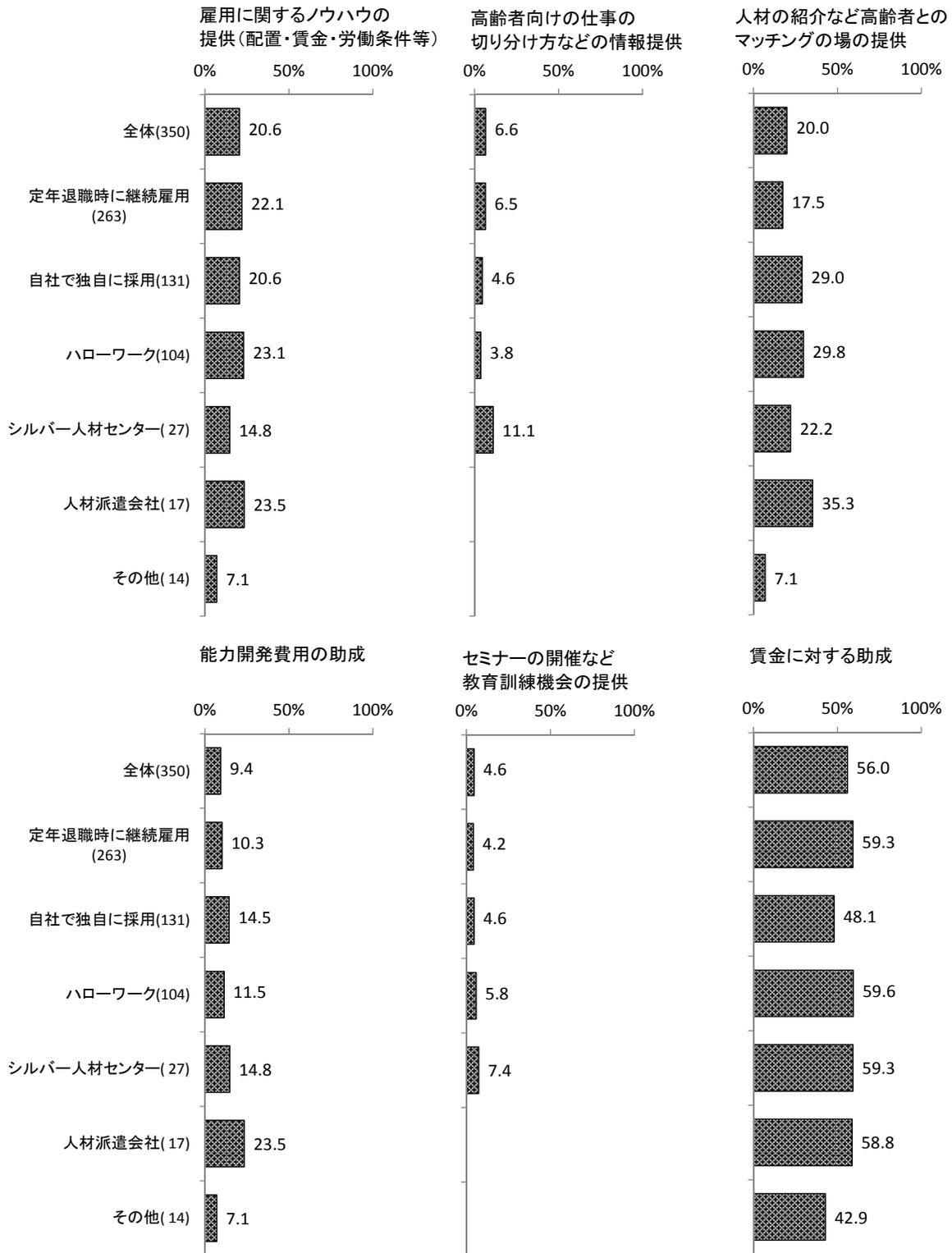
「能力開発費用の助成」は『1000人以上』では25.0%と多くなっているが、それ以外の人数ではあまり必要とされていない。

図表 2-9-3 必要な公的援助【雇用の状況・動向別】（上位4つ）



雇用の状況・動向別で見ると、『現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい』が「賃金に対する助成」（64.7%）、「人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供」（47.1%）、「雇用に関するノウハウの提供（配置・賃金・労働条件等）」（35.3%）と最も多くなっている。「能力開発費の助成」では『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい』が12.6%と最も多くなっている。『現在も雇用しており、今後も雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』では「賃金に対する助成」が62.4%と最も多くなっている。『現在は雇用しておらず、今後は雇用を拡大する意向はあるものの、課題があり難しい』でも「賃金に対する助成」が55.0%と最も多くなっている。

図表 2-9-4 必要な公的援助【募集方法別】



募集方法別でみると、「人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供」で『自社で独自に採用』『ハローワーク』『人材派遣会社』でほぼ30%となっている。



---

## 第 3 章 參考資料

---



## I 元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査

### (1) 調査票

# 元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査

平成27年10月

#### 【調査ご協力をお願い】

日頃から横浜市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
横浜市では、高齢者が地域や職場でいきいきと活躍できるよう施策検討を致しております。  
このたび、横浜市内にお住いの55歳から65歳の男女3,000人(平成27年9月1日時点)を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。  
また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

#### 【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ポールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、( )内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 3 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 4 ご回答いただいた調査票は、**10月21日(水)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 5 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### 〈調査実施機関〉

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 HORIZON.1ビル  
株式会社アストジェイ「シニア層に関する状況調査」事務局  
電話：03-6380-2121 (平日9:30~17:30)

#### 〈調査主体〉

〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
横浜市政策局政策課  
電話：045-671-3978 (平日8:45~17:15)

## I. ご自身に関することについてお聞きします

問1. あなたの性別をご回答ください。(1つに〇)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢をご回答ください。(1つに〇)

- |           |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| 1. 55～59歳 | 2. 60～64歳 | 3. 65歳 |
|-----------|-----------|--------|

問3. あなたの居住区をご回答ください。(1つに〇)

- |          |         |         |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 鶴見区   | 2. 神奈川区 | 3. 西区   | 4. 中区   | 5. 南区   | 6. 港南区  |
| 7. 保土ヶ谷区 | 8. 旭区   | 9. 磯子区  | 10. 金沢区 | 11. 港北区 | 12. 緑区  |
| 13. 青葉区  | 14. 都筑区 | 15. 戸塚区 | 16. 栄区  | 17. 泉区  | 18. 瀬谷区 |

問4. 現在の区での居住年数をご回答ください。(1つに〇)

- |             |             |            |             |
|-------------|-------------|------------|-------------|
| 1. 1年未満     | 2. 1～5年未満   | 3. 5～10年未満 | 4. 10～15年未満 |
| 5. 15～20年未満 | 6. 20～30年未満 | 7. 30年以上   |             |

問5. 現在の世帯の状況をご回答ください。(1つに〇)

- |           |                  |         |
|-----------|------------------|---------|
| 1. 一人暮らし  | 2. 夫婦二人暮らし       | 3. 子と同居 |
| 4. 親と同居   | 5. 親及び子など同居(三世代) |         |
| 6. その他( ) |                  |         |

問6. あなたの年収をご回答ください。(1つに〇)

- |                 |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 50万未満        | 2. 50～100万未満   | 3. 100万～300万未満 |
| 4. 300万～500万未満  | 5. 500万～700万未満 | 6. 700万～900万未満 |
| 7. 900万～1000万未満 | 8. 1,000万以上    |                |

問7. 世帯の年収をご回答ください。(1つに〇)

- |                 |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 50万未満        | 2. 50～100万未満   | 3. 100万～300万未満 |
| 4. 300万～500万未満  | 5. 500万～700万未満 | 6. 700万～900万未満 |
| 7. 900万～1000万未満 | 8. 1,000万以上    |                |

問 8. 問 7 でお答えいただいた世帯収入の種類をご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

- |          |          |              |
|----------|----------|--------------|
| 1. 公的年金  | 2. 給与    | 3. 自営業・自由業   |
| 4. 不動産収入 | 5. 株式の配当 | 6. 親族等からの仕送り |
| 7. その他 ( |          | )            |

## Ⅱ. 就業についてお聞きします

問 9. 現在の働き方についてご回答ください。(1つに○)

- |  |                   |                  |
|--|-------------------|------------------|
| 1. 正社員・正規職員                              | 2. 契約・派遣社員(委託員含む) | 3. パート・アルバイト     |
| 4. 自営業・自由業・家族従業員                         | 5. 内職             | 6. シルバー人材センターで就労 |
| 7. ボランティア                                | 8. その他 (          | )                |
| 9. <u>働いていない</u> → 5 ページの問 12-1 へお進みください |                   |                  |

【以下の問 10 では、問 9 で「1」～「8」を選択された方にお聞きします。】

問 10-1. 現在の仕事の頻度をご回答ください。(1つに○)

- |             |             |              |        |
|-------------|-------------|--------------|--------|
| 1. 週に 5 日以上 | 2. 週に 3～4 日 | 3. 週 1～2 日程度 | 4. 不定期 |
|-------------|-------------|--------------|--------|

問 10-2. 現在の一日の就労時間をご回答ください。(1つに○)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～2 時間 | 2. 3～4 時間 | 3. 5～6 時間 | 4. 7 時間以上 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問 10-3. 今後希望する働き方があればご回答ください。(1つに○)

- |                  |                   |                   |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 正社員・正規職員      | 2. 契約・派遣社員(委託員含む) | 3. パート・アルバイト      |
| 4. 自営業・自由業・家族従業員 | 5. 起業             | 6. 内職             |
| 7. シルバー人材センター    | 8. ボランティア         | 9. <u>働く意向はない</u> |

→ 5 ページの問 12-1 へお進みください

【以下の問 11 では、問 10-3 で「1」～「8」を選択された方にお聞きします。】

問 11-1. 今後希望する勤務の頻度についてご回答ください。(1つに○)

- |             |             |              |        |
|-------------|-------------|--------------|--------|
| 1. 週に 5 日以上 | 2. 週に 3～4 日 | 3. 週 1～2 日程度 | 4. 不定期 |
|-------------|-------------|--------------|--------|

問 11-2. 今後希望する一日の就労時間についてご回答ください。(1つに○)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～2 時間 | 2. 3～4 時間 | 3. 5～6 時間 | 4. 7 時間以上 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

**問 1 1 - 3. 今後目標とする年収についてご回答ください。(1つに○)**

- |                 |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 50万未満        | 2. 50~100万未満   | 3. 100万~300万未満 |
| 4. 300万~500万未満  | 5. 500万~700万未満 | 6. 700万~900万未満 |
| 7. 900万~1000万未満 | 8. 1,000万以上    |                |

**問 1 1 - 4. 今後希望する仕事内容についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)**

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 経理、調査・集計、パソコン等の入力事務             |
| 2. 施設・駐車場などの管理                     |
| 3. 販売、営業、集金、配達などの接客                |
| 4. 清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業               |
| 5. 介護、家事、子守、送迎などのサービス              |
| 6. 翻訳、学習指導など技術をいかした仕事              |
| 7. 法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事 |
| 8. ペンキ塗り、ふすまの張替、庭木の剪定など技術的な仕事      |
| 9. 趣味や特技を活かして地域活動に参画               |
| 10. その他 ( )                        |

**問 1 1 - 5. 今後も仕事をしたいと考える理由をご回答ください。(最大3つに○)**

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 仕事が好きだから                 |
| 2. 生きがいが得られるから              |
| 3. 生活費を得たいから                |
| 4. 自由に使えるお金がほしいから           |
| 5. 不測の事態に備えるため              |
| 6. 健康に良いから                  |
| 7. 仕事を通じて友人、仲間を得ることができるから   |
| 8. 仕事を通じて社会に貢献すべきと思うから      |
| 9. 他にやることがないから              |
| 10. 周囲の人が働いているから            |
| 11. 人手不足や後継者が不足のため、辞められないから |
| 12. その他 ( )                 |
| 13. わからない                   |

**⇒回答後は、5ページの間 1 3へお進みください**

**【以下の問12では、問9で「9.働いていない」とご回答された方、また問10-3で「9.働く意向はない」とご回答された方にお聞きします。】**

**問12-1. そのように考える理由についてご回答ください。(最大3つに○)**

1. 条件に合う仕事がない
2. 年齢制限で仕事が見つからない
3. 体力的に働くのはきつい
4. 健康がすぐれないから
5. 後継者(子供など)に家業を譲ったから
6. 収入を増やそうと思わないから
7. 仕事以外の趣味などに時間を使いたいから
8. 家でしなければならないことがあるから
9. その他( )
10. 特に理由はない
11. よくわからない

**【問12で「8」とご回答された方にお聞きします。】**

**問12-2. 家でしなければならないことについてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)**

1. 家事
2. 介護
3. 自分の子どもの世話
4. 孫の世話
5. その他( )

**ここからは、全ての方にお聞きします。**

**問13. 仕事を探す場合、どのような手段を利用しますか。(あてはまるもの全てに○)**

1. ハローワーク
2. 求人情報誌・チラシ
3. インターネット
4. 知人の紹介
5. その他( )

**問14. 仕事を選ぶにあたって、重視する条件をご回答ください。(あてはまるもの全てに○)**

1. 収入(賃金)
2. 勤務時間
3. 経験が活かせること
4. 体力的に軽い仕事であること
5. 仕事先を探すのが容易であること
6. 年金が減額されないこと
7. 通勤時間
8. その他( )
9. 働く予定はない
10. わからない

### Ⅲ. 地域活動・ボランティアについてお聞きします

問15. 過去1年間に参加したもの・今後参加したいものについてご回答ください。  
(それぞれあてはまるもの全てに○)

	参加したもの	今後参加したいもの 引き続き参加したいもの
1. 俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動		
2. 体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動		
3. 学習会、子ども会の活動、郷土芸能の伝承等の活動		
4. 環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動		
5. 交通安全、防犯・防災等の活動		
6. 家事援助、移送等の高齢者の支援活動		
7. 保育の手伝い等の子育て支援活動		
8. 祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事		
9. その他( )		
10. 上記の中で参加した活動・今後参加したい活動はない		

問16. 問15で回答した活動について、参加するきっかけとなったもの、または参加するきっかけになると思うものについて、ご回答ください。(参加した・したい活動はないの方は参加のきっかけになるだろうと思われるものをお選びください)  
(あてはまるもの全てに○)

1. 友人・家族のすすめ
2. 市の広報やホームページ等からの情報
3. タウンニュースなど、市以外の広報やホームページ等からの情報
4. 活動団体からの呼びかけ
5. 自治会・町内会の誘い
6. 個人の意思(やりたいことや問題意識があったため)
7. その他( )
8. 特になし

問17. 地域活動に参加する上で必要だと思うことをご回答ください。(最大3つに○)

1. 一緒に参加する仲間がいること	2. 参加を呼び掛ける団体、世話役があること
3. 経済的な援助があること	4. 作業に当たって肉体的な負担が重くないこと
5. これまでの技術・経験が生かせること	6. 時間や期間にあまり拘束されないこと
7. 活動場所が自宅からあまり離れていない(身近にできる)こと	8. 自分自身が健康であること
9. その他( )	10. 特に必要なことはない
11. わからない	

## Ⅳ. インターネットについてお聞きします

問18. インターネットの利用についてご回答ください。(1つに○)

1. 利用している
2. 今は利用していないが、今後利用してみたい
3. 今は利用しておらず、今後も利用しない → 次のページの間21へお進みください

問19. どのような機器でインターネットを利用しますか(したいと思いませんか)。  
(あてはまるもの全てに○)

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1. 自宅のパソコン              | 2. スマートフォン   |
| 3. 携帯電話、PHS、携帯情報端末(PDA) | 4. 自宅以外のパソコン |
| 5. タブレット型端末             | 6. テレビ       |
| 7. インターネットに接続できるゲーム機など  | 8. その他( )    |

問20. インターネットを活用した就労等への関心についてご回答ください。  
(あてはまるもの全てに○)

1. インターネットを活用した仕事の受注(クラウドソーシング※1)や在宅勤務に興味がある
2. インターネットを活用した資金収集、起業支援や投資を受けること(クラウドファンディング※2)に興味がある
3. 1・2のいずれにも興味はない

※1 クラウドソーシングとは、企業等が発注したい業務の内容をインターネット上で告知し、受注者側が業務内容や収入等の条件を見ながら、受注したい業務に応募する仕組み。

※2 クラウドファンディングとは、起業や、製品・サービスの開発趣旨等をインターネット上に掲載し、それに賛同する一般の人々から出資を受ける仕組み。

## V. これからの生活についてお聞きします

問21. あなたは、高齢者とは何歳以上だと思えますか。(1つに○)

- |               |          |              |          |
|---------------|----------|--------------|----------|
| 1. 60歳以上      | 2. 65歳以上 | 3. 70歳以上     | 4. 75歳以上 |
| 5. 80歳以上      | 6. 85歳以上 | 7. その他( )歳以上 |          |
| 8. 年齢では判断できない |          | 9. 分からない     |          |

問22. 住み替え等の希望についてご回答ください。(1つに○)

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 現状のままを希望                | 2. 市内の利便性の良いところに住み替えたい  |
| 3. 東京など市外の利便性の良いところに住み替えたい | 4. 生活環境など条件が合えば地方へ移住したい |

問23. 高齢期に備えてどのようなことに取り組むことが大切だと思えますか。大切だと思うことをご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 高齢期に働くための備え(勉強、資格取得、就職活動など)     |
| 2. 家族、親せき、知人、近隣などとの付き合いや交際の拡大・維持   |
| 3. 子育て、教育                          |
| 4. 健康維持、体力づくり                      |
| 5. 長く続けられる趣味・娯楽を始める                |
| 6. 日々の節約・貯蓄                        |
| 7. 資産形成(保険商品への加入、金融商品への投資など各種資産運用) |
| 8. 資産形成(収入・支出)の予測・シミュレーション         |
| 9. 高齢期に住む住居の検討または購入                |
| 10. その他( )                         |
| 11. 特にない                           |
| 12. わからない                          |

◎その他、ご意見などございましたらご記入をお願いします

--

ご協力いただきありがとうございました。

10月21日(水)までに同封の返信封筒(切手不要)にてご返送ください。

(2) 単純集計結果

問1. あなたの性別をご回答ください。(1つに○)

全 体	男性	女性	無回答
1449	669	771	9
100.0	46.2	53.2	0.6

問2. あなたの年齢をご回答ください。(1つに○)

全 体	55～59歳	60～64歳	65歳	無回答
1449	652	760	26	11
100.0	45.0	52.4	1.8	0.8

問3. あなたの居住区をご回答ください。(1つに○)

全 体	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	無回答
1449	76	68	81	85	82	92	72	90	84	69	73	78	79	77	82	87	89	74	11
100.0	5.2	4.7	5.6	5.9	5.7	6.3	5.0	6.2	5.8	4.8	5.0	5.4	5.5	5.3	5.7	6.0	6.1	5.1	0.8

問4. 現在の区での居住年数をご回答ください。(1つに○)

全 体	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
1449	29	95	111	159	178	383	486	8
100.0	2.0	6.6	7.7	11.0	12.3	26.4	33.5	0.6

問5. 現在の世帯の状況をご回答ください。(1つに○)

全 体	一人暮らし	夫婦二人暮らし	子と同居	親と同居	親及び子など同居(三世帯)	その他	無回答
1449	150	466	550	121	88	67	7
100.0	10.4	32.2	38.0	8.4	6.1	4.6	0.5

問6. あなたの年収をご回答ください。(1つに○)

全 体	50万未満	50～100万未満	100万～300万未満	300万～500万未満	500万～700万未満	700万～900万未満	900万～1,000万未満	1,000万以上	無回答
1449	270	183	373	213	119	105	38	105	43
100.0	18.6	12.6	25.7	14.7	8.2	7.2	2.6	7.2	3.0

問7. 世帯の年収をご回答ください。(1つに○)

全 体	50万未満	50～100万未満	100万～300万未満	300万～500万未満	500万～700万未満	700万～900万未満	900万～1,000万未満	1,000万以上	無回答
1449	27	36	308	333	235	159	69	249	33
100.0	1.9	2.5	21.3	23.0	16.2	11.0	4.8	17.2	2.3

問8. 問7でお答えいただいた世帯収入の種類をご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全 体	公的年金	給与	自営業・自由業	不動産収入	株式の配当	親族等からの仕送り	その他	無回答
1449	620	1112	139	97	65	6	70	20
100.0	42.8	76.7	9.6	6.7	4.5	0.4	4.8	1.4

問9. 現在の働き方についてご回答ください。(1つに○)

全 体	正社員・正規職員	契約・派遣社員(委託員含む)	パート・アルバイト	自営業・自由業・家族従業員	内職	シルバー人材センターで就労	ボランティア	その他	働いていない	無回答
1449	467	153	285	123	2	3	11	29	355	21
100.0	32.2	10.6	19.7	8.5	0.1	0.2	0.8	2.0	24.5	1.4

問10-1. 現在の仕事の頻度をご回答ください。(1つに○)

全体	週に5日以上	週に3~4日	週1~2日程度	不定期	無回答
1073	728	232	51	51	11
100.0	67.8	21.6	4.8	4.8	1.0

問10-2. 現在の一日の就労時間をご回答ください。(1つに○)

全体	1~2時間	3~4時間	5~6時間	7時間以上	無回答
1073	31	105	185	739	13
100.0	2.9	9.8	17.2	68.9	1.2

問10-3. 今後希望する働き方があればご回答ください。(1つに○)

全体	正社員・正規職員	契約・派遣社員(委託員含む)	パート・アルバイト	自営業・自由業・家族従業員	起業	内職	シルバー人材センター	ボランティア	働く意向はない	無回答
1073	398	111	273	99	24	6	26	34	64	38
100.0	37.1	10.3	25.4	9.2	2.2	0.6	2.4	3.2	6.0	3.5

問11-1. 今後希望する勤務の頻度についてご回答ください。(1つに○)

全体	週に5日以上	週に3~4日	週1~2日程度	不定期	無回答
971	392	462	80	24	13
100.0	40.4	47.6	8.2	2.5	1.3

問11-2. 今後希望する一日の就労時間についてご回答ください。(1つに○)

全体	1~2時間	3~4時間	5~6時間	7時間以上	無回答
971	17	155	395	397	7
100.0	1.8	16.0	40.7	40.9	0.7

問11-3. 今後目標とする年収についてご回答ください。(1つに○)

全体	50万未満	50~100万未満	100万~300万未満	300万~500万未満	500万~700万未満	700万~900万未満	900万~1,000万未満	1,000万以上	無回答
971	21	129	246	238	129	63	27	96	22
100.0	2.2	13.3	25.3	24.5	13.3	6.5	2.8	9.9	2.3

問11-4. 今後希望する仕事内容についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	経理、調査・集計、パソコン等の入力事務	施設・駐車場などの管理	販売、営業、集金、配達などの接客	清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業	介護、家事、子守、送迎などのサービス	翻訳、学習指導など技術をいかした仕事	法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事	ペンキ塗り、ふすまの張替、庭木の剪定など技術的な仕事	趣味や特技を活かして地域活動に参加	その他	無回答
971	254	119	178	107	132	106	145	52	215	133	38
100.0	26.2	12.3	18.3	11.0	13.6	10.9	14.9	5.4	22.1	13.7	3.9

問11-5. 今後も仕事をしたいと考える理由をご回答ください。(最大3つに○)

全体	仕事が好きだから	生きがいがあるから	生活費を得たいから	自由に使えるお金がほしいから	不測の事態に備えるため	健康に良いから	仕事を通じて友人、仲間を得ることが出来るから	仕事を通じて社会に貢献すべしと思うから	他にやることがないから	周囲の人が働いているから	人手不足や後継者が不足のため、辞められないから	その他	わからない	無回答
971	206	279	659	364	118	284	233	232	32	5	37	19	3	13
100.0	21.2	28.7	67.9	37.5	12.2	29.2	24.0	23.9	3.3	0.5	3.8	2.0	0.3	1.3

問12-1. そのように考える理由についてご回答ください。(最大3つに○)

全体	条件に合う仕事がない	年齢制限で仕事が見つからない	体力的に働くのはきつい	健康がすぐれないから	後継者(子供など)に家業を譲ったから	収入を増やそうと思わないから	仕事以外の趣味などに時間を使いたいから	家でしなければならぬことがあるから	その他	特に理由はない	よくわからない	無回答
422	57	63	72	76	2	26	118	143	50	42	3	16
100.0	13.5	14.9	17.1	18.0	0.5	6.2	28.0	33.9	11.8	10.0	0.7	3.8

問12-2. 家でしなければならないことについてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全 体	家事	介護	自分の子ども の世話	孫の世話	その他	無回答
143	100	59	15	30	23	-
100.0	69.9	41.3	10.5	21.0	16.1	-

問13. 仕事を探す場合、どのような手段を利用しますか。(あてはまるもの全てに○)

全 体	ハローワーク	求人情報誌・ チラシ	インターネット	知人の紹介	その他	無回答
1449	727	863	512	574	82	53
100.0	50.2	59.6	35.3	39.6	5.7	3.7

問14. 仕事を選ぶにあたって、重視する条件をご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全 体	収入(賃金)	勤務時間	経験が活か せること	体力的に軽 い仕事であ ること	仕事先を探 るのが容易 であること	年金が減額 されないこと	通勤時間	その他	働く予定はな い	わからない	無回答
1449	841	897	706	414	84	336	817	27	155	19	32
100.0	58.0	61.9	48.7	28.6	5.8	23.2	56.4	1.9	10.7	1.3	2.2

問15. 過去1年間に参加したものについてご回答ください。(それぞれあてはまるもの全てに○)

全 体	俳句、詩吟、 陶芸等の趣 味の活動	体操、歩こ う会、ゲー トボール等 の健康・スポ ーツ活動	学習会、子 ども会の活 動、郷土芸 能の伝承等 の活動	環境美化、 緑化推進、 まちづくり 等の活動	交通安全、 防犯・防災 等の活動	家事援助、 移送等の高 齢者の支援 活動	保育の手伝 い等の子育 て支援活動	祭りなど地 域の催し物 の世話役等 の地域行事	その他	上記の中で 参加した活 動・今後参 加したい活 動はない	無回答
1449	68	168	37	100	110	21	24	180	53	160	835
100.0	4.7	11.6	2.6	6.9	7.6	1.4	1.7	12.4	3.7	11.0	57.6

問15. 今後参加したいものについてご回答ください。(それぞれあてはまるもの全てに○)

全 体	俳句、詩吟、 陶芸等の趣 味の活動	体操、歩こ う会、ゲー トボール等 の健康・スポ ーツ活動	学習会、子 ども会の活 動、郷土芸 能の伝承等 の活動	環境美化、 緑化推進、 まちづくり 等の活動	交通安全、 防犯・防災 等の活動	家事援助、 移送等の高 齢者の支援 活動	保育の手伝 い等の子育 て支援活動	祭りなど地 域の催し物 の世話役等 の地域行事	その他	上記の中で 参加した活 動・今後参 加したい活 動はない	無回答
1449	181	352	75	187	100	73	97	144	37	85	724
100.0	12.5	24.3	5.2	12.9	6.9	5.0	6.7	9.9	2.6	5.9	50.0

問16. 問15で回答した活動について、参加するきっかけとなったもの、または参加するきっかけになると思うものについて、ご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全 体	友人・家族の すすめ	市の広報や ホームページ 等からの情 報	タウンニュー スなど、市以 外の広報や ホームページ 等からの情 報	活動団体か らの呼びか け	自治会・町内 会の誘い	個人の意思 (やりたいこ とや問題意 識があったた め)	その他	特にな い	無回答
1449	327	353	210	152	399	409	30	137	321
100.0	22.6	24.4	14.5	10.5	27.5	28.2	2.1	9.5	22.2

問17. 地域活動に参加する上で必要だと思うことをご回答ください。(最大3つに○)

全 体	一緒に参加 する仲間が いること	参加を呼び 掛ける団体、 世話役があ ること	経済的な援 助があること	作業に当 たって肉 体的負担が 重くないこと	これまでの 技術・経験が 生かせること	時間や期間 にあまり拘束 されないこと	活動場所が 自宅からあ まり離れて いない(身近 にできる)こ と	自分自身が 健康であるこ と	その他	特に必要 ことはない	わからない	無回答
1449	458	206	110	222	216	649	576	882	12	29	33	107
100.0	31.6	14.2	7.6	15.3	14.9	44.8	39.8	60.9	0.8	2.0	2.3	7.4

問18. インターネットの利用についてご回答ください。(1つに○)

全 体	利用している	今は利用し ていないが、 今後利用し てみたい	今は利用し ておらず、今 後も利用し ない	無回答
1449	1068	136	202	43
100.0	73.7	9.4	13.9	3.0

問19. どのような機器でインターネットを利用しますか(したいと思いますか)。(あてはまるもの全てに○)

全体	自宅のパソコン	スマートフォン	携帯電話、PHS、携帯情報端末(PDA)	自宅以外のパソコン	タブレット型端末	テレビ	インターネットに接続できるゲーム機など	その他	無回答
1204	984	646	211	247	319	49	14	7	9
100.0	81.7	53.7	17.5	20.5	26.5	4.1	1.2	0.6	0.7

問20. インターネットを活用した就労等への関心についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	インターネットを活用した仕事の受注(クラウドソーシング)や在宅勤務に興味がある	インターネットを活用した資金収集、起業支援や投資を受けること(クラウドファンディング)に興味がある	1・2のいずれにも興味はない	無回答
1204	349	101	772	50
100.0	29.0	8.4	64.1	4.2

問21. あなたは、高齢者とは何歳以上だと思いますか。(1つに○)

全体	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	その他( )歳以上	年齢では判断できない	分からない	無回答
1449	50	210	665	258	121	8	5	106	9	17
100.0	3.5	14.5	45.9	17.8	8.4	0.6	0.3	7.3	0.6	1.2

問22. 住み替え等の希望についてご回答ください。(1つに○)

全体	現状のままを希望	市内の利便性の良いところに住み替えたい	東京など市外の利便性の良いところに住み替えたい	生活環境など条件が合えば地方へ移住したい	無回答
1449	980	210	52	170	37
100.0	67.6	14.5	3.6	11.7	2.6

問23. 高齢期に備えてどのようなことに取り組むことが大切だと思いますか。大切だと思うことをご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	高齢期に働くための備え(勉強、資格取得、就職活動など)	家族、親せき、知人、近隣などとの付き合いや交際の拡大・維持	子育て、教育	健康維持、体づくり	長く続けられる趣味・娯楽を始める	日々の節約・貯蓄	資産形成(保険商品への加入、金融商品への投資など各種資産運用)	資産形成(収入・支出)の予測・シミュレーション	高齢期に住む住居の検討または購入	その他	特になし	わからない	無回答
1449	432	525	67	1289	806	560	252	359	298	28	20	24	18
100.0	29.8	36.2	4.6	89.0	55.6	38.6	17.4	24.8	20.6	1.9	1.4	1.7	1.2

# シニア層の活用に関する企業調査

平成27年10月

## 【調査ご協力をお願い】

日頃から横浜市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

横浜市では、高齢者が地域や職場でいきいきと活躍できるよう施策検討を致しております。

このたび、横浜市内の企業 1,000 社を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、企業名・お名前等をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、( )内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 3 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 4 ご回答いただいた調査票は、**10月21日(水)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 5 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

### 〈調査実施機関〉

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 HORIZON.1ビル

株式会社アストジェイ 「シニア層に関する状況調査」事務局

電話：03-6380-2121 (平日9:30~17:30)

### 〈調査主体〉

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

横浜市政策局政策課

電話：045-671-3978 (平日8:45~17:15)

## I. 会社概要について

問1. 貴社の業種をご回答ください。(1つに○)

- |               |                   |         |
|---------------|-------------------|---------|
| 1. 農業         | 2. 林業             | 3. 漁業   |
| 4. 鉱業         | 5. 建設業            | 6. 製造業  |
| 7. 卸売・小売業、飲食店 | 8. 金融・保険業         | 9. 不動産業 |
| 10. 運輸・通信業    | 11. 電気・ガス・水道・熱供給業 |         |
| 12. サービス業     | 13. その他 ( )       |         |

問2. 貴社の従業員人数についてご回答ください。

( ) 人

問3. 従業員の定年年齢についてご回答ください。

( ) 歳

## II. 貴社の高齢者の活用について

問4. 高齢者(定年年齢以上)の雇用(派遣、請負等含む)について、現在の状況と今後の動向についてご回答ください。(1つに○)

- |  |
|--|
| 1. 現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい              |
| 2. 現在も雇用しており、今後も雇用を拡大の意向はあるものの、課題があり難しい  |
| 3. 現在は雇用しているが、今後は雇用を拡大の意向はない             |
| 4. 現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい            |
| 5. 現在は雇用しておらず、今後は雇用を拡大の意向はあるものの、課題があり難しい |
| 6. 現在も雇用しておらず、今後も雇用を拡大の意向はない             |

→ 3 ページの問6へお進みください

問5では【問4にて「1」～「5」】とご回答された方にお聞きします。

問5-1. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)する場合に、提供できる仕事内容についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 経理、調査・集計、パソコン入力などの事務            |
| 2. 施設・駐輪場などの管理                     |
| 3. 販売、営業、集金、配達などの接客                |
| 4. 清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業               |
| 5. 翻訳、学習指導など技術をいかした仕事              |
| 6. 法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事 |
| 7. ペンキ塗り、ふすまの張替、庭木の剪定など技能的な仕事      |
| 8. 介護、家事、子守、送迎などのサービス              |
| 9. その他 ( )                         |

問5-2. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）する場合の形態についてご回答ください。  
（あてはまるもの全てに○）

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 1. 正社員・正規社員  | 2. 契約・派遣社員（嘱託員含む）          |
| 3. パート・アルバイト | 4. 作業が発生した時のみ委託など（請負・委任含む） |
| 5. その他（      | ）                          |

問5-3. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）する場合の募集方法についてご回答ください。  
（あてはまるもの全てに○）

- |               |               |   |
|---------------|---------------|---|
| 1. 定年退職時に継続雇用 | 2. 自社で独自に採用   |   |
| 3. ハローワーク     | 4. シルバー人材センター |   |
| 5. 人材派遣会社     | 6. その他（       | ） |

問5-4. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するために実施されている措置がありましたら、ご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 仕事量の調整           | 2. 作業施設・作業設備の整備 |
| 3. 労働時間の短縮、勤務時間の弾力化 | 4. 能力開発・教育訓練の実施 |
| 5. 在宅勤務の導入          |                 |
| 6. その他（             | ）               |
| 7. 特にない             |                 |

**ここからは、全ての方にお聞きします。**

問6. インターネットを活用した仕事の発注（クラウドソーシング\*など）の利用状況についてご回答ください。（1つに○）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 利用したことがある             |
| 2. 利用したことはないが興味はある       |
| 3. 利用したことはなく、今後も利用の意向はない |

※クラウドソーシング：発注したい業務の内容をインターネット上で告知し、受注者側が業務内容や収入等の条件を見ながら、受注したい業務に応募する仕組み。

問7. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するにあたって期待することについてご回答ください。  
（あてはまるもの全てに○）

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. 高い技能・技術・知識を活用・継承できる          |   |
| 2. 豊富な経験・人脈を活用できる               |   |
| 3. 勤務態度や仕事の姿勢が真面目である            |   |
| 4. 比較的安い賃金で雇用できる                |   |
| 5. 職場の若年者等にプラスの影響を与えてくれる        |   |
| 6. ワークシェアや短時間のシフト制にできるなど効率化が図れる |   |
| 7. その他（                         | ） |
| 8. 特に期待することはない                  |   |



(2) 単純集計結果

問1. 貴社の業種をご回答ください。(1つに○)

全体	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	電気・ガス・水道・熱供給業	サービス業	その他	無回答
397	-	1	-	-	60	60	40	18	32	45	-	67	70	4
100.0	-	0.3	-	-	15.1	15.1	10.1	4.5	8.1	11.3	-	16.9	17.6	1.0

問2. 貴社の従業員人数についてご回答ください。

全体	0～20人	21～40人	41～60人	61～80人	81～100人	101～120人	121～140人	141～160人	161～180人	181～200人	201以上人	無回答
397	133	63	27	21	22	-	-	1	-	1	75	54
100.0	33.5	15.9	6.8	5.3	5.5	-	-	0.3	-	0.3	18.9	13.6

問3. 従業員の定年年齢についてご回答ください。

全体	55歳未満	55～60歳	61～65歳	66～70歳	71～75歳	76歳以上	無回答
397	40	204	117	9	1	-	26
100.0	10.1	51.4	29.5	2.3	0.3	-	6.5

問4. 高齢者(定年年齢以上)の雇用(派遣、請負等含む)について、現在の状況と今後の動向についてご回答ください。(1つに○)

全体	現在も雇用しており、今後も雇用を拡大していきたい	現在も雇用しており、今後も雇用を拡大の意向はあるものの、課題があり難しい	現在は雇用しているが、今後は雇用を拡大の意向はない	現在は雇用していないが、今後は雇用を拡大していきたい	現在は雇用しておらず、今後は雇用を拡大の意向はあるものの、課題があり難しい	現在も雇用しておらず、今後も雇用を拡大の意向はない	無回答
397	143	85	85	17	20	43	4
100.0	36.0	21.4	21.4	4.3	5.0	10.8	1.0

問5-1. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)する場合に、提供できる仕事内容についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	経理、調査・集計、パソコン入力などの事務	施設・駐輪場などの管理	販売、営業、集金、配達などの接客	清掃、袋詰め、運搬、配膳などの作業	翻訳、学習指導など技術をいかした仕事	法務、企業会計、経営企画、生産管理など専門的な知識を要する仕事	ペンキ塗り、ふすまの張替、庭木の剪定など技能的な仕事	介護、家事、子守、送迎などのサービス	その他	無回答
350	123	55	85	100	20	77	30	22	106	12
100.0	35.1	15.7	24.3	28.6	5.7	22.0	8.6	6.3	30.3	3.4

問5-2. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)する場合の形態についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	正社員・正規社員	契約・派遣社員(嘱託員含む)	パート・アルバイト	作業が発生した時のみ委託など(請負・委任含む)	その他	無回答
350	83	204	176	52	6	4
100.0	23.7	58.3	50.3	14.9	1.7	1.1

問5-3. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)する場合の募集方法についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	定年退職時に継続雇用	自社で独自に採用	ハローワーク	シルバー人材センター	人材派遣会社	その他	無回答
350	263	131	104	27	17	14	4
100.0	75.1	37.4	29.7	7.7	4.9	4.0	1.1

問5-4. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)するために実施されている措置がありましたら、ご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	仕事量の調整	作業施設・作業設備の整備	労働時間の短縮、勤務時間の弾力化	能力開発・教育訓練の実施	在宅勤務の導入	その他	特にない	無回答
350	153	7	162	9	6	5	112	12
100.0	43.7	2.0	46.3	2.6	1.7	1.4	32.0	3.4

問6. インターネットを活用した仕事の発注(クラウドソーシングなど)の利用状況についてご回答ください。(1つに○)

全体	利用したことがある	利用したことはないが興味はある	利用したことはなく、今後も利用の意向はない	無回答
397	34	92	268	3
100.0	8.6	23.2	67.5	0.8

問7. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)するにあたって期待することについてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	高い技能・技術・知識を活用・継承できる	豊富な経験・人脈を活用できる	勤務態度や仕事の姿勢が真面目である	比較的安い賃金で雇用できる	職場の若年者等にプラスの影響を与えてくれる	ワークシェアや短時間のシフト制などできるなど効率化が図れる	その他	特に期待することはない	無回答
397	233	214	159	146	80	58	2	36	3
100.0	58.7	53.9	40.1	36.8	20.2	14.6	0.5	9.1	0.8

問8. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)するにあたっての課題についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい	高齢者を雇用(派遣、請負等含む)するノウハウの蓄積がない	高齢者の雇用(派遣、請負等含む)に向けた設備や作業環境の整備が進まない	求める技術・知識を有する高齢者が見つからない	能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い	若年者の採用を制御せざるを得ない	作業効率低下	人件費負担が増す	その他	特に課題はない	無回答
397	110	35	24	89	163	45	41	47	17	88	12
100.0	27.7	8.8	6.0	22.4	41.1	11.3	10.3	11.8	4.3	22.2	3.0

問9. 高齢者を雇用(派遣、請負等含む)するために必要な公的援助についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体	雇用に関するノウハウの提供(配置・賃金・労働条件等)	高齢者向けの仕事の切り分け方などの情報提供	人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供	能力開発費用の助成	セミナーの開催など教育訓練機会の提供	賃金に対する助成	その他	特に必要な公的援助はない	無回答
397	77	29	80	36	20	218	4	92	11
100.0	19.4	7.3	20.2	9.1	5.0	54.9	1.0	23.2	2.8